履　修　案　内

2022 年度

東京海洋大学　海洋工学部

学科、コース	学科
	コース
年　　次	年　次
学 籍 番 号	
氏　　名	

履　修　案　内

2022 年度

東　京　海　洋　大　学

東京海洋大学の理念及び目標等

東京海洋大学は、大学の理念及び目標等を次のように掲げています。

大学の理念

人類社会の持続的発展に資するため、海洋を巡る学問及び科学技術に係わる基礎的・応用的教育研究を行う。

大学の人材養成と目標

我が国が海洋立国として発展し、国際貢献の一翼を担っていくためには、国内唯一の海洋系大学である東京海洋大学が、「海を知り、守り、利用する」ための教育研究の中心拠点となって、その使命を果たす必要がある。このような基本的観点に立ち、本学は、研究者を含む高度専門職業人養成を核として、海洋に関する総合的教育研究を行い、次の能力・素養を有する人材を養成する。

一　海洋に対する科学的認識を深化させ、自然環境の望ましい活用方策を提示し、実践する能力

二　論理的思考能力、適切な判断力、社会に対する責任感をもって行動する能力

三　現代社会の大局化した諸課題について理解・認識し、対応できる実践的指導力

四　豊かな人間性、幅広い教養、深い専門的知識・技術による課題探求、問題解決能力

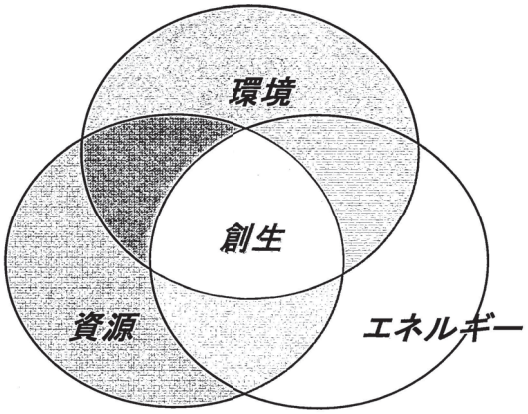
五　国際交流の基盤となる幅広い視野・能力と文化的素養

大学像

海洋分野において国際的に活躍する産官学のリーダーを輩出する世界最高水準の卓越した大学

大学の研究領域

本学は、環境、資源、エネルギーを中心に、これら３領域の複合部分、周辺領域を含めた幅広い研究に取り組む。



※この図は研究領域を示すもので、組織を示すものではない。

東京海洋大学　海洋工学部　カリキュラム・ポリシー

海洋工学部

１．教育課程編成の方針

海洋工学部においては、海、船、物流等に係わる諸課題の理解と解決に必要な高度な技術を身につけ、国際的にも活躍できる高度専門職業人を養成するため、全学共通科目を含む総合科目、基礎教育科目、学外実習、実習、実験、演習を含む専門科目を有機的に組み合わせたカリキュラムを編成します。

２．教育課程実施の方針

・総合科目は、全学体制のもとで開講し、幅広い視野、豊かな人間性と文化的素養を養うことを目的として、文化学系、哲学・科学論系、社会科学系、健康・スポーツ系、外国語系科目より構成されています。

・基礎教育科目は、数学、物理、情報系科目等からなり、これにより専門科目を学ぶための基礎学力を身につけます。

・専門科目により、海、船、物流等に関する必要な専門知識を身につけます。また、実学を重視した実習、実験、演習により、的確な判断力やコミュニケーション能力、リーダーシップの能力を身につけます。さらにゼミナールおよび卒業研究を通して、課題探求能力、問題解決能力を身につけます。

海事システム工学科

１．教育課程編成の方針

海事システム工学科においては、「実学」を重視した講義、実験、演習を中心に、1 年次から専門科目を基礎から応用に向けて学習するようにカリキュラムが組まれています。国際的にも活躍できる高度専門職業人を養成するため、全学共通科目を含む総合科目、基礎教育科目、乗船実習及び各種実習、実験、演習を含む専門科目を有機的に組み合わせたカリキュラムを編成します。三級海技士（航海）の資格取得を可能にするためのカリキュラムもあわせて編成します。

２．教育課程実施の方針

・文化学系、哲学・科学論系、社会科学系、健康・スポーツ系、外国語系科目からなる総合科目により、幅広い視野と豊かな人間性を育みます。

・2 年次後学期からは、船舶管理または海事工学の教育プログラムを選択し、専門科目を学びます。

・船舶管理教育プログラムでは、船舶の運航や船舶による輸送を安全かつ効率的に行うために必要な知識・技術に加え、気象・海象などの海洋環境の特性、危機管理技術、海事関連事業の経営学、海事関連の法学などを学びます。

・海事工学教育プログラムでは、船体の構造に関する理論、船舶の運動を制御する技術、レーダや GPS などから得られる情報を処理する技術、通信ネットワークや情報処理システムを含む船舶運航システムに関する知識・技術などを学びます。

・海技士資格の取得を目指す学生は、上記のプログラムだけでなく、海技士科目を学びます。また、4 年次の乗船実習（合計 4 ヵ月）や海事英語教育により、グローバル化に対応するための高いコミュニケーション能力と多種多様な人間関係の中での協調性を身につけます。

海洋電子機械工学科

１．教育課程編成の方針

海洋電子機械工学科においては、主に海洋の利用、開発に関連する機械、電気電子、エネルギー、環境等に係る諸課題の理解と解決に必要な高度な技術を身につけ、国際的にも活躍できる高度専門職業人を養成するため、全学共通科目を含む総合科目、基礎教育科目、乗船実習などの各種実習、実験、演習を含む専門科目を有機的に組み合わせたカリキュラムを編成します。　三級海技士（機関）の資格取得を可能にするためのカリキュラムもあわせて編成します。

２．教育課程実施の方針

・文化学系、哲学・科学論系、社会科学系、健康・スポーツ系、外国語系科目からなる総合科目により、幅広い視野と豊かな人間性を育みます。
・数学、物理、情報系科目等からなる基礎教育科目により、専門科目を学ぶための基礎学力を身につけます。
・主に海洋の利用、開発に関連する機械、電気、電子、エネルギー、環境等に関する専門科目により、必要な専門知識を身につけます。
・3 年次から海技士（機関）ならびにその関連技術者となることを目指すコースと、乗船実習の経験を活かした機器開発、運用技術者となることを目指すコースに分かれ、それぞれのコースで養成を行う技術者に必要な専門知識を身につけます。
・実学を重視した実習、実験、演習により、的確な判断力やコミュニケーション能力、リーダーシップの能力を身につけます。
・ゼミナールおよび卒業研究を通して、課題探求能力、問題解決能力を身につけます。

流通情報工学科

１．教育課程編成の方針

流通情報工学科においては、物流、ロジスティクス等に係る諸課題の理解と解決に必要な高度な技術を身に付け、国際的にも活躍できる専門職業人を養成するため、全学共通科目を含む総合科目、基礎教育科目、学外実習、実習、実験、演習を含む専門科目を有機的に組み合わせたカリキュラムを編成します。それらにより、大学院博士前期課程海運ロジスティクス専攻における流通システム工学、流通経営学に関する高度に専門的な修学の基礎を学びます。

２．教育課程実施の方針

・文化学系、哲学・科学論系、社会科学系、健康・スポーツ系、外国語系科目からなる総合科目により、幅広い視野と豊かな人間性を育みます。
・数学、物理、情報系科目等からなる基礎教育科目により、専門科目を学ぶための基礎学力を身につけます。
・物流、ロジスティクス等に関する専門科目により、少人数体制による理論と実践を共に重視した授業を通じて、物流・情報流・商流に関する専門知識を身につけます。そのため、ロジスティクス・交通計画・物流システムからなる工学系、数理情報・情報工学・システム工学・プログラミングからなる情報系、経済学・商学・経営学からなる社会科学系の 3 分野の科目をバランスよく開講します。
・実学を重視した実習、実験、演習により、能動的な学修を支援するとともに、的確な判断力やコミュニケーションの能力、リーダーシップの能力を身につけます。
・ゼミナールおよび卒業研究により、現代社会の大規模かつ複雑な諸課題について理解・認識し、対応できる実践的指導力、課題探求能力、問題解決能力を身につけます。

東京海洋大学　海洋工学部　ディプロマ・ポリシー

海洋工学部

１．目指すべき人材像（個性、特色、魅力）

海洋工学部においては、海上輸送に関連する海、船、物流等の問題に関心を持ち、専門的知識を含む幅広い教養と豊かな人間性とともに、課題の理解と解決に必要な高度な技術を身につけ、国際的にも活躍できる高度専門職業人の養成を目指します。

２．学生が身につけるべき能力、素養の目標

・海、船、物流等に関する専門的な知識を持ち、それらを活用して問題解決する能力
・社会のリーダーとして求められる実践的指導力
・課題に対して進んで取り組み、論理的に考え、的確な判断および行動ができる能力
・技術者として必要となる幅広い教養と国際的視野に裏打されたコミュニケーション能力およびリーダーシップの能力
・国際交流の基盤となる幅広い視野・能力と文化的素養

３．卒業認定の要件

学士課程にあっては、所定の年限を在学し、学部の教育目的に沿って設定した授業科目を履修して、基準となる単位数を修得した学生に対して卒業を認定し、学士（工学）の学位を授与します。

海事システム工学科

１．目指すべき人材像（個性、特色、魅力）

海事システム工学科伝統の「全人教育（all-round education)」、及び船舶実習、海事英語教育などの実践的な教育により、高いスキルを持った優秀な海事技術者、すなわち
⑴乗船経験を活かして船舶の運航管理及び保守管理ができる船舶管理者
⑵船舶の運航の視点から海事関連の機器・装置・システムの設計・開発、港湾・航路の設計・監理も含めた幅広い「ものづくり」ができる海事工学技術者
⑶グローバルにリーダーシップを発揮でき、世界の海技教育をもリードするような次世代の海技士など、海事分野の次代を担うプロフェッショナルな人材の養成を目指します。

２．学生が身につけるべき能力、素養の目標

⑴海事や工学に関する専門的かつ広い知識を持ち、それらを活用して問題解決する能力
⑵社会のリーダーとして求められる実践的指導力
⑶課題に対して進んで取り組み、論理的に考え、的確な判断および行動がとれる能力
⑷技術者として必要となる幅広い教養と国際的視野に裏打ちされたコミュニケーション能力およびリーダーシップの能力
⑸国際交流の基盤となる幅広い視野・能力と文化的素養

３．卒業認定の要件

所定の年限を在学し、学部および学科の教育目的に沿って設定した授業科目を履修して、基準となる単位数を修得した学生に対して卒業を認定し、学士（工学）の学位を授与します。

海洋電子機械工学科

１．目指すべき人材像（個性、特色、魅力）

海洋電子機械工学科においては、船舶機関、海洋機器や海洋環境に関する問題に関心を持ち、幅広い教養と豊かな人間性とともに、機器を開発するだけでなく管理・運用するまでの幅広い技術分野において、理論と実践が調和した知識に基づいて問題を解決する能力を身につけ、国際的にも活躍できる人材としての高度専門職業人の養成を目指します。

２．学生が身につけるべき能力、素養の目標

⑴主に海洋の利用、開発に関連する機械、電気、電子、エネルギー、環境等に関する専門的な知識を持ち、それらを活用して問題解決する能力
⑵社会のリーダーとして求められる実践的指導力
⑶課題に対して進んで取り組み、論理的に考え、的確な判断および行動がとれる能力
⑷技術者として必要となる幅広い教養と国際的視野に裏打ちされたコミュニケーション能力およびリーダーシップの能力
⑸国際交流の基盤となる幅広い視野・能力と文化的素養

３．卒業認定の要件

所定の年限を在学し、学部および学科の教育目的に沿って設定した授業科目を履修して、基準となる単位数を修得した学生に対して卒業を認定し、学士（工学）の学位を授与します。

流通情報工学科

１．目指すべき人物像（個性、特色、魅力）

流通情報工学科においては、わが国の衣食住を支える物流と、それを高度に機能させる情報システム、環境対策も含めたグローバルな経済活動の問題に関心を持ち、専門的知識を含む幅広い教養と豊かな人間性とともに、課題の理解と解決に必要な高度な技術を身に付け、国際的にも活躍できる人材としての高度専門職業人の養成を目指します。

２．学生が身につけるべき能力、素養の目標

⑴物流、ロジスティクス等に関する工学系、情報系、社会科学系の専門的な知識を持ち、それらを活用して問題解決する能力を身につけること
⑵社会のリーダーとして求められる実践的指導力
⑶課題に対して進んで取り組み、論理的に考え、的確な判断および行動がとれる能力
⑷幅広い教養と国際的視野に裏打されたコミュニケーションの能力およびリーダーシップの能力
⑸国際交流の基盤となる幅広い視野・能力と文化的素養

３．卒業認定の要件

所定の年限を在学し、学部および学科の教育目的に沿って設定した授業科目を履修して、基準となる単位数を修得した学生に対して卒業を認定し、学士（工学）の学位を授与します。

はしがき

この「履修案内」は、海洋工学部学生の履修すべき教育課程、授業科目の履修方法及び卒業要件等について細部の事項を解説した冊子です。

履修登録の際には、この冊子をよく読み、巻末の「授業時間表」と、各講義のシラバスをよく見て慎重に計画を立てて下さい。

なお、疑問等がある場合は、指導教員又は教育支援係に相談し、履修等について十分納得がいくよう心掛けて下さい。

2022年度 海洋工学部学事予定表（1年次）

前学期

4月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土		
	春季休業							履修登録期間														履修登録確認期間										
					新入生オリエンテーション	健康診断	入学式	前学期開始																					昭和の日			
						新入生オリエンテーション																										
5月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
			憲法記念日	みどりの日	こどもの日																											
6月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木		
				海王祭	海王祭																											
7月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
																		海の日							試験・補講							
8月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
	夏季休業（海洋電子機械工学科・流通情報工学科）																															
	海事システム工学科１年船舶実習																															
											山の日				夏季一斉休業	夏季一斉休業						補講										
9月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金		
	夏季休業（海事システム工学科・流通情報工学科）																															
	海洋電子機械工学科１年船舶実習																															
					補講														敬老の日				秋分の日									

※休業期間においても集中授業や補講等が行われる場合があります。

2022年度 海洋工学部学事予定表（1年次）

後学期

10月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	
			１．３．４年次履修登録期間														履修登録確認期間															
	海事・海洋２年船舶実習																															
										スポーツの日																						
11月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水		
	２年次履修登録期間													履修登録確認期間																		
			文化の日	海鷹祭	海鷹祭	海鷹祭	海事４年・海洋（機関）３年船舶実習																									
							海洋（制御）３年　制御システム工学演習																									
																							勤労感謝の日									
12月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
	海事・海洋船舶実習																												冬季休業			
	３年制御システム工学演習																															
1月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
	冬季休業				船舶実習Ⅲ開始				成人の日				臨時休業（全日）	大学入学共通テスト	大学入学共通テスト																	
	元日																															
2月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28				
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火				
						試験・補講期間					建国記念の日		試験・補講期間										天皇誕生日	臨時休業（全日）	学部入試前期日程							
3月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
										臨時休業（全日）		学部入試後期日程									春分の日			学位記授与式	春季休業							

※休業期間においても集中授業や補講等が行われる場合があります。

2022年度 海洋工学部学事予定表（2～4年次）

前学期

4月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土		
	春季休業							履修登録期間														履修登録確認期間							昭和の日			
					新入生オリエンテーション	健康診断	入学式	前学期開始																								
						新入生オリエンテーション													流通 3年① 汐路丸実験							流通 3年② 汐路丸実験						
5月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
			憲法記念日	みどりの日	こどもの日					海洋（機関） 4年① 汐路丸実験							海洋（機関） 4年② 汐路丸実験							海事 3年① 汐路丸実験							海事汐路②	
6月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木		
	海事 3年② 汐路丸実験		臨時休業（午後）	海王祭	海王祭		海事 3年③ 汐路丸実験																					海事 3年④ 汐路丸実験				
7月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
	大学院入試			海事 2年① 船舶実験（汐路丸）Ⅰ							海事 2年② 船舶実験（汐路丸）Ⅰ							海の日	夏季休業													
8月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
	夏季休業										山の日				夏季一斉休業	夏季一斉休業		大学院入試	大学院入試													
9月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金		
					試験・補講							試験・補講							敬老の日				秋分の日					九月期学位記授与式				

※休業期間においても集中授業や補講等が行われる場合があります。

2022年度 海洋工学部学事予定表（2～4年次）

後学期

10月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	
			１．３．４年次履修登録期間														履修登録確認期間															
	海事・海洋２年船舶実習																															
					海事 ３年① 汐路丸実験					スポーツの日		海事 ３年② 汐路丸実験																				
11月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水		
	２年次履修登録期間													履修登録確認期間																		
			文化の日	海鷹祭	海鷹祭	海鷹祭		海洋（制御） ３年① 汐路丸実験							海洋（制御） ３年② 汐路丸実験								勤労感謝の日							海事汐路③		
	海事４年・海洋（機関）３年船舶実習																															
	海洋（制御）３年　制御システム工学演習																															
12月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
	海事・海洋船舶実習																												冬季休業			
	３年制御システム工学演習																															
		海事 ３年③ 汐路丸実験					海事 ３年④ 汐路丸実験																									
1月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
	冬季休業				船舶実習Ⅲ開始				成人の日				臨時休業（全日）	大学入学共通テスト	大学入学共通テスト																	
	元日																															
2月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28				
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火				
		大学院入試	大学院入試			試験・補講期間					建国記念の日		試験・補講期間										天皇誕生日	臨時休業（全日）	学部入試前期日程							
3月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
										臨時休業（全日）		学部入試後期日程									春分の日			学位記授与式	春季休業							

※休業期間においても集中授業や補講等が行われる場合があります。

目　次

Ⅰ．授業等に関する基本的事項

1　学期 …… 1
2　授業の方法 …… 1
3　単位 …… 1
4　授業時間 …… 1
5　授業時間表 …… 1
6　授業科目 …… 1
7　授業への出席 …… 2
8　学務システム …… 2
9　休講・補講・授業時間表変更 …… 2
10　気象警報発令時及び交通機関不通時等の授業等の取扱い …… 2

Ⅱ．履修に関する事項

1　履修関係の概要 …… 5
　(1)　履修の原則 …… 5
　(2)　WEB履修登録方法 …… 6
　(3)　WEB履修登録除外科目 …… 6
　(4)　卒業研究の履修方法 …… 6
　(5)　履修登録期間及び確認期間終了後の登録内容の修正 …… 7
　(6)　履修前提科目 …… 7
　(7)　特別履修措置 …… 8
　(8)　再履修 …… 9
　(9)　ナンバリング …… 9

2　専門科目（選択科目）の履修方法に関する注意 …… 10

＜授業科目及び単位数＞
　◎入学年度別の授業科目及び単位数
　・2016 年度入学者（商船教員養成コースを除く） …… 12
　・2017・2018 年度入学者（商船教員養成コースを除く） …… 19
　・2019 年度入学者（商船教員養成コースを除く） …… 26
　・2020 年度入学者（商船教員養成コースを除く） …… 33
　・2021 年度入学者（商船教員養成コースを除く） …… 40
　・2022 年度入学者（商船教員養成コースを除く） …… 47
　・2020 年度　海洋電子機械工学科商船教員養成コース入学者 …… 54
　・2021 年度　海洋電子機械工学科商船教員養成コース入学者 …… 58
　◎2016～2021 年度入学者の対応科目表 …… 62
3　船舶実習 …… 63
4　インターンシップ …… 63
5　高度海洋技術者専門コース …… 64
6　グローバル・リーダーシップ・イニシアティブ（GLI）認定コース …… 65
7　数理・データサイエンス・AI 教育プログラム …… 68
8　海洋電子機械工学科商船教員養成コース …… 69
9　外国人留学生等の履修方法の特例について …… 70
10　他学部・他学科・他コースで開設されている授業科目の履修 …… 72
11　大学院先行履修制度 …… 74
12　障害等のある学生に対する事前相談について …… 74

Ⅲ．本学以外の学修

1　既修得単位の認定 …… 75
2　大学以外の教育施設等における学修 …… 75
3　東京農工大学工学部の授業科目の履修 …… 77
4　学生交流協定に基づく海外の大学における学修 …… 77

Ⅳ．成績及び試験関係

1　成績評価 …… 79
　○成績の評価等
　○成績表の配布
　○成績評価に対する申し立て制度
　○単位を授与しないケース
2　成績評点システム（GPA） …… 80
3　試験関係 …… 81
　○定期試験　○追試験　○試験等における不正行為等
4　追加合格制度 …… 82

Ⅴ．在学年限、進級及び卒業等

1　在学年限 …… 83
2　進級 …… 83
　（1）２年次進級 …… 83
　（2）３年次進級 …… 85
　（3）４年次進級 …… 87
3　コース分け …… 87
4　卒業 …… 88
5　学位 …… 92
6　早期卒業 …… 93
7　年度途中（前学期末）卒業 …… 93
8　転学部・転学科 …… 93
9　再入学 …… 94

Ⅵ．資格取得

1　教員免許状 …… 95
2　船舶職員に関係する資格 …… 115
　○船舶職員養成施設及び海技免許講習の修了資格 …… 115
　○船舶衛生管理者の資格 …… 118
　○ECDIS 講習の資格 …… 118
　○第一級海上特殊無線技士の資格 …… 119
　○資格試験と就職 …… 119
　　【一級海技士及び二級海技士の筆記試験】【第三級海上無線通信士】
　○GMDSS（世界海洋遭難安全システム）訓練 …… 120
　○乗船実習科 …… 120

Ⅶ．　国立科学博物館等の利用

1　国立科学博物館 …… 123
2　国立美術館 …… 123

Ⅷ．　各種システム利用マニュアル

○ポータルシステム利用マニュアル
　【授業連絡（休講等）、レポート、授業共有ファイル等】 …… 125

○教務システム利用マニュアル
　【基本的事項、履修登録、学籍情報更新、シラバス閲覧方法、履修登録確認表】 … 141

Ⅸ．　規則

○東京海洋大学海洋工学部履修規則 …… 157

Ⅰ. 授業等に関する基本的事項

1　学期

2　授業の方法

3　単位

4　授業時間

5　授業時間表

6　授業科目

7　授業への出席

8　学務システム

9　休講・補講・授業時間表変更

10　台風接近等による授業等の取扱い

Ⅰ．　授業等に関する基本的事項

1. 学期

学年を次の通り2学期に区分しています。
＜前学期＞　4月1日から9月30日まで
＜後学期＞　10月1日から翌年の3月31日まで

詳細な日程は、学事予定表で確認して下さい。

2. 授業の方法

授業は講義、演習、実験、実習もしくは実技のいずれかの方法により行われます。

3. 単位

各授業科目の単位数は、次の基準により計算します。

(a) 1単位の履修時間は、教室内及び教室外を合わせて45時間とします。
(b) 講義は、15時間の授業をもって1単位とします。1時間の講義に対して2時間の予習、復習を必要とします。
(c) 外国語系の科目及び演習は、30時間の授業をもって1単位とします。2時間の演習に対して1時間の予習、復習を必要とします。
(d) 実験、実習及び実技は、45時間の授業をもって1単位とします。

4. 授業時間

各時限の授業時間は次のとおりです。
なお、1コマ（1時限）は、単位履修時間2時間と計算します。

<table>
<tr><th>時　限</th><th>１時限</th><th>２時限</th><th>３時限</th><th>４時限</th><th>５時限</th></tr>
<tr><td rowspan="3">時　間</td><td>8：50～10：20</td><td>10：30～12：00</td><td>13：00～14:30</td><td>14：40～16:10</td><td>16：20～17:50</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2">13:00～15：15</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3"></td><td colspan="2">14:40～16：55</td><td></td></tr>
</table>

5. 授業時間表

授業は、週単位で決められた授業時間表に従って行われます。授業時間表には、曜日・時限・授業科目名・担当教員名・教室が一覧で記載されており、学年の始めに周知します。

6. 授業科目

授業科目は、その内容によりいくつかに区分されていて、それぞれ履修方法が定められています。

具体的には、入学した年度によってその適用が異なるので、**自分の入学年度の「授業科目及び単位数」の表でよく確認して下さい。**また、2016年度から2021年度入学者については、カリキュラム改正等により開講されていない科目もあるため、本冊子掲載の「2016～2021年度入学者の対応科目表」を見て、注意して履修して下さい。

なお、「教職に関する授業科目」及び「大学院先行履修制度による授業科目」は**卒業要件の**

単位数には算入されません。このほか、学科及び入学年度により、卒業・進級要件の単位数に算入されない授業科目がありますので注意して下さい。

外国人留学生等を対象にした日本語科目等もありますが、これらの授業科目は一般の学生は受講できません。

7. 授業への出席

授業への出欠の状況は、成績を評価する際の重要な要素となります。

理由のいかんを問わず、授業科目の総時間数の3分の1を超えて欠席した学生には単位は与えられません。実験・実習・演習及びそれらに準ずる授業科目の中には、説明会やガイダンスを含め全出席を要するものもあります。

疾病により引き続き7日以上欠席する場合、インフルエンザ等感染症により欠席する場合及び忌引等で欠席する場合は、診断書あるいはその他事由を証明できる書類等を添えて、「欠席届」を教育支援係へ提出して下さい。

なお、欠席届の要件に該当しない場合は、授業担当教員に直接相談して下さい。

8. 学務システム

本学では、「学務システム」というシステムを用い、生活面・学習面のサポートに役立てています。「学務システム」には「ポータルシステム」と「教務システム」があり、「ポータルシステム」では大学からの連絡や休講情報などの確認、「教務システム」では履修登録や成績を確認することができます。

詳しくは、本冊子掲載の「ポータルシステム利用マニュアル」「教務システム利用マニュアル」を見て確認して下さい。

9. 休講・補講・授業時間表変更

休講、補講、曜日・時限変更、教室変更等の事項は、いずれも学務システムを通じてお知らせします。越中島地区事務室前の掲示板に掲示をする場合もありますが、**毎日必ず学務システムにログインして、確認して下さい。**

10. 気象警報発令及び交通機関不通時等の授業等の取扱いについて

本学では、台風などの悪天候・災害等における学生の身体の安全を確保すること、並びに交通機関の不通時の対応を目的として、講義、実験、実習、演習、ゼミ、集中授業、定期試験等（以下「授業等」という。）の休講措置等について、次のとおり定めています。

台風による休講の取扱い　判断チャート

◆「警報」とは…台風の接近による、暴風特別警報または暴風警報のことをいいます。
◆「発令」とは…東京２３区のいずれかの区域で発令されることをいいます。

①午前６時の時点ですでに警報が発令されている場合

②午前６時～８時 50 分（１時限開始前）に警報が発令された場合

③午前８時 50 分以降（１時限開始後）に警報が発令された場合

午前中（１、２時限）の授業等を休講とします。

午前１０時の時点で警報が解除されていない場合は、さらに午後（３時限以降）の授業等も休講とします。

次の時限以降の授業等を全て休講とします。

◆警報の発令状況は、気象庁のホームページで確認してください。
（http://www.jma.go.jp/jma/index.html）
◆台風接近により授業等を休講する場合は、原則として、周知・連絡は行いません。

交通機関不通時の休講の取扱い　判断チャート

【品川地区】① JR 山手線が全面運行中止となっている場合
② JR 京浜東北線、JR 東海道線（東京-小田原間）、JR 横須賀線、京急本線のうち２線以上が全面運行中止となっている場合
【越中島地区】JR 京葉線、東京メトロ東西線、東京メトロ有楽町線、都営地下鉄大江戸線のうち２線以上が全面運行中止となっている場合

午前６時の時点で該当（品川地区は①又は②のいずれか）する場合

午前中（１、２時限）の授業等を休講とします。

午前１０時の時点で該当（品川地区は①又は②のいずれか）する場合

午後（３時限以降）の授業等を休講とします。

◆交通機関の運行情報は、交通機関各社の公式ホームページで確認してください。
◆本取扱いにより授業等を休講する場合は、原則として、周知・連絡は行いません。

上記以外の理由による休講の取扱い

◆以下のような理由により、授業等を休講することを学長が決定した場合は、大学のホームページ、緊急時連絡システム等で周知・連絡します。
①気象警報の発令や交通機関の運行中止の発表以前であっても通学困難な状況が予想されるとき
②東京 23 区内に台風接近以外による警報等が発令された場合や、広域にわたる公共交通機関の運休、大規模災害が発生した場合等で、授業等を休講とすることが必要と判断されるとき

◆その他の注意事項
・キャンパス外で行われる学外実習、教育実習、博物館実習、乗船実習、インターンシップおよび課外活動等については、各実習先担当者の指示に従ってください。
・休講となった授業等の補講については、掲示に従ってください。

Ⅱ．履修に関する事項

1　履修関係の概要

2　専門科目（選択科目）の履修方法に関する注意

＜授業科目及び単位数＞
　◎入学年度別の授業科目及び単位数

＜2016～2021 年度入学者の対応科目表＞

3　船舶実習

4　インターンシップ

5　高度海洋技術者専門コース

6　グローバル・リーダーシップ・イニシアティブ（GLI）認定コース

7　海洋電子機械工学科商船教員養成コース

8　外国人留学生等の履修方法の特例について

9　他学部・他学科・他コースで開設されている授業科目の履修

10　大学院先行履修制度

11　障害等のある学生に対する事前相談について

Ⅱ．履修に関する事項

1．履修関係の概要

(1) 履修の原則

●授業科目は、学科・コース別、年次別に、順序に従って履修して下さい。

・在籍する年次より上の年次に開設されている授業科目は、履修できません。
・在籍する学科・コース、年次に開設されている授業科目と科目名が同じでも、他の学科・コース、年次に開設されている授業科目は、原則として履修できません。
・入学した年度より後に新設された授業科目は、原則として履修できません。

●既に単位を修得した授業科目を再履修することはできません。

●履修登録できる授業科目の単位数の上限は、年間で60単位です。

ただし、以下の単位は上限単位数に含みません。
・集中授業（特定の期間に集中して行う授業）
・卒業研究
・認定された単位

また、英語科目や数学科目の集中授業、「特別履修措置申請書」による授業科目及び大学院先行履修制度による授業科目は、上限単位数に含みますので、注意して下さい。

なお、２年次以降で前年度までの成績評価において、年度GPAが３．５以上であり、かつ、前年度までに開講される必修科目を全て修得している場合については、当該年度の履修登録単位数の上限を超えて８単位まで履修登録することができます。

●履修登録の方法

履修登録は、原則としてWEB上で行いますが、申請書等の紙媒体で申請する科目、受講者を授業後に教育支援係でまとめて履修登録する科目（次ページ参照）があります。

●通年科目の履修登録

通年科目は**前学期履修登録期間及び確認期間内に履修登録**して下さい。
後学期履修登録期間及び確認期間内には履修登録できませんので、注意して下さい。

●履修登録期間及び履修登録確認期間

各学期の始めに履修登録期間及び履修登録確認期間が設定されています（日程は「学事予定表）参照）。

履修登録期間	履修を希望する科目を、学内のパソコン端末もしくは所有するパソコン等からWEB上で行って下さい。
履修登録確認期間	「履修登録確認表」を印刷し、最終確認後に修正がある場合は、WEB上では修正出来ませんので、必ずこの期間中に「履修登録確認表」に手書きで赤字修正のうえ、教育支援係に提出して下さい。 ※「履修登録確認表」は、教務システムの時間割関連の個人時間割表画面から印刷できます。

上記の通り、1年間に履修登録を出来る単位数が決まっているので、1年間の履修の計画を立て履修登録を行って下さい。

前期の履修登録期間及び履修登録確認期間中に、後学期の授業科目を登録することが可能です。後期の履修登録期間及び履修登録確認期間において、前学期に済ませた後学期の履修登録科目を修正することも可能です。

なお、特別履修措置申請書等による登録については、履修登録期間及び履修登録確認期間に教育支援係に申し出て下さい。

(2) WEB履修登録方法

●教務システムによる履修登録（WEB履修登録）

履修登録は、履修登録期間（本冊子掲載の「学事予定表」参照。なお、変更がある場合は掲示で周知します。）に学内のパソコン端末もしくは所有するパソコン等からWEB上で行います。登録方法については本冊子掲載の「教務システム利用マニュアル」を参照して下さい。

履修登録後、履修登録期間及び確認期間内に、必ず教務システムから「履修登録確認表」を取得し、正しく登録されていることを確認して下さい。

●WEB履修登録に関する注意事項

1つの時限に2科目登録しなければいけない科目があります。履修漏れに注意して下さい。

具体例：（全学科）

1年前期必修　「海洋工学概論」「海洋生命科学概論」

（海事システム工学科）

3年前期必修「海事システム工学実験演習Ⅰ」「海事システム工学実験演習Ⅱ」

3年後期必修「海事システム工学実験演習Ⅲ」「海事システム工学実験演習Ⅳ」

(3) WEB履修登録除外科目

・次の授業科目は、担当教員から提出された履修者名簿に基づき、教育支援係が履修登録を行うので、学生がWEB履修登録する必要はありません。

「フレッシュマンセミナー」「海洋実習」「船舶実験（汐路丸）」「船舶実験Ⅰ（汐路丸）」「船舶実習Ⅰ～Ⅲ」、「国際海事訓練セミナー」「制御システム工学演習」「機関実務実習」「学外実習」「短期学外実習（海外）Ⅰ・Ⅱ」「長期学外実習（海外）Ⅰ・Ⅱ」「海洋開発環境エネルギー概論」「教育実習」「教育実習事前事後指導」「教職実践演習」

・次の授業科目は、履修登録期間中に掲示により登録方法を案内するので、その掲示に従って下さい。なお、各学生が所定の用紙を教育支援係に提出することで履修登録することになりますので、WEBで履修登録する必要はありません。

「卒業研究」、先行履修による大学院の授業科目

(4) 卒業研究の履修方法

4年（3年次編入学者は2年、2年次編入学者は3年）間在学（休学期間は含みません。）し、多くの専門知識を修得したうえで、特に自分の研究したいテーマについて卒業研究の指導教員の指導の下に各種の研究・実験・調査を行い、その成果を論文形式にまとめて、4年次の1月末日までに提出するのが卒業研究です。

卒業研究は必修科目（5単位）であり、不合格のときは卒業できません。

履修登録手続

次の手続きを3年次の後学期から始め、4年次の前学期履修登録期間及び確認期間内に完了して下さい。

① 卒業研究の指導教員を定め、教員に「卒業研究指導願」を提出し、承認を得て下さい。
（「卒業研究指導願兼卒業研究履修申請書」は4月上旬に配布します。）

② 卒業研究の指導教員の指導の下、題目・内容等を決定し、**「卒業研究履修申請書」**を

4年次前期履修登録期間及び履修登録確認期間内に教育支援係に提出して下さい。
卒業論文の提出方法及び提出期限等については、4年次11月頃に掲示等により指示します。

なお、卒業研究の履修にあたり本学部の学生は、2017年度入学者より各学科において3年次後学期に開講されるゼミナールで研究者倫理教育を実施します。なお、当該ゼミナールの単位修得要件には本学が指定する研究者倫理教育の学修を修了することが含まれます。

(5) 履修登録期間及び確認期間終了後の登録内容の修正

原則として、履修登録期間及び確認期間終了後に登録内容を修正することはできません。
ただし、下記①～③のケースは、登録内容の修正を許可する場合がありますので、教育支援係に問い合わせて下さい。

①疾病・外傷又は忌引その他やむを得ない理由により、履修登録期間の全日を欠席した場合の履修登録科目の追加、取消し

②交換留学制度により学期途中から留学する場合や、疾病・外傷又は忌引その他やむを得ない理由により欠席し継続して履修することが不可能になった場合の履修登録した科目の取消し

③交換留学制度により学期途中に帰国した場合の履修登録科目の追加

履修登録を行っていない授業科目については、仮に授業に出席したとしても、試験を受けることができず、従って、単位を修得することもできません。

(6) 履修前提科目

・総合科目(外国語系選択科目)「Effective EnglishⅠ・Ⅱ」、「Interactive EnglishⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」、「Intensive EnglishⅠ・Ⅱ」、海事システム工学科専門科目「航海英語Ⅰ・Ⅱ」及び「Topics in Maritime Linguistics」は、以下の**履修前提科目３科目全てを修得**した後でなければ履修することができません。
【履修前提科目】
「Basic EnglishⅠ」「Basic EnglishⅡ」「Practical EnglishⅠ」
なお、外国人留学生等にあっては、「日本語Ⅰ（2016年度以前入学者）」もしくは「総合日本語Ⅰ又は総合日本語Ⅱ（2017年度以降入学者）」を修得した場合は、上記履修前提科目のいずれかの単位修得に代えることができます。

・**第二外国語のⅡはⅠを**（例：ドイツ語Ⅱはドイツ語Ⅰを）、**ⅢはⅠとⅡを、ⅣはⅠとⅡとⅢを**修得した後でなければ履修することができません。
ただし、授業担当教員の承諾を得ることにより、履修することを許可される場合がありますので、履修を希望する学生は、教育支援係で配付する**「特別履修措置申請書」**に授業担当教員の承認を得た後、各学期の履修登録期間内に教育支援係に提出して下さい。
なお、この場合、教育支援係が履修登録を行うので、各学生がWEBで履修登録する必要はありません。

・ 海事システム工学科2021年度までの入学者は、海事システム工学科専門科目**「海事システム工学実験演習Ⅴ」、「船舶実習Ⅱ」**及び**「船舶実習Ⅲ」**は、以下の**履修前提科目10科目全てを修得**した後でなければ履修することができません。
【履修前提科目】
「船舶基礎力学」「大気環境学」「計測工学Ⅰ」「運航管理」「海商法」「海事法規」

「船舶実験（汐路丸）」「船体管理」「航海システムⅢ」「航海英語Ⅱ」

・ 海事システム工学科2022年度以降の入学者は、海事システム工学科専門科目**「海事システム工学実験演習Ⅴ」**は、以下の**履修前提科目全てを修得**した後でなければ履修することができません。

【履修前提科目】

「船舶基礎力学」「大気環境学」「計測工学Ⅰ」「運航管理」「海商法」「海事法規」
「船舶実験（汐路丸）」「船体管理」「航海システムⅢ」「航海英語Ⅱ」

また、**「船舶実習Ⅱ」**及び**「船舶実習Ⅲ」**は、以下の**履修前提科目を修得**した後でなければ履修することができません。

【履修前提科目】

「海事システム工学実験演習Ⅴ」

・基礎教育科目「微分積分Ⅰ」及び「線形代数Ⅰ」については、再履修者対象の集中授業を後学期に開講します。ただし、原則として当該年度前学期に履修した2年次学生を対象とします。

・その他、各授業担当教員より、前もって履修しておくと望ましい授業科目を指定している場合があります。詳しくは、各授業のシラバスを参照して下さい。

(7) 特別履修措置

授業時間が重複する授業科目は履修することはできません。

ただし、下記特別履修措置による場合は履修を許可されることがありますので、履修措置を申請する学生は、教育支援係で配付する**「特別履修措置申請書」**に授業担当教員の承認を得た後、各学期の履修登録期間内に教育支援係に提出して下さい。なお、この場合、教育支援係が履修登録を行うので、各学生がWEBで履修登録する必要はありません。

＜特別履修措置＞

1. 在籍年次での**必修科目（免許・資格の取得に必要な授業科目を含む）**と**再履修**での必修科目の曜日・時限が重複する場合で、両科目を履修登録する必要がある場合、授業担当教員の承諾を得ることにより特別に履修することを許可される場合があります。

2. 1に関わらず、予め各学科が指定した以下に示す授業科目の場合は、**必修科目**と**選択科目**の場合であっても、授業担当教員の承諾を得ることにより特別に履修することを許可される場合があります。

学　科	指定科目
海事システム工学科	情報リテラシー、短艇実習（2020年度以前入学者は短艇実習Ⅰ）、短艇実習Ⅱ、海事システム工学実験演習Ⅰ、海事システム工学実験演習Ⅱ、海事システム工学実験演習Ⅲ、海事システム工学実験演習Ⅳ、海事システム工学実験演習Ⅴ、海事システム工学ゼミナールⅠ、海事システム工学ゼミナールⅡ、海事システム工学ゼミナールⅢ
海洋電子機械工学科	情報リテラシー、電子機械工学実習、電子機械工学実験、短艇実習
流通情報工学科	情報リテラシー、基礎プログラミング演習、データサイエンス演習、流通情報工学実験、流通情報工学演習

3. 編入学生で、在籍年次での必修科目（免許・資格の取得に必要な授業科目を含む）と在籍年次より低年次に開講される必修科目の曜日・時限が重複する場合で、両科目を履修する必要がある場合、授業担当教員の承諾を得ることにより特別に履修することを許可されることがあります。また、「Basic EnglishⅠ」については、曜日・時限が重複す

る科目が必修科目でなくても、授業担当教員の承諾を得ることにより特別に履修することを許可されることがあります。

4. 各第二外国語のⅡはⅠを（例：ドイツ語Ⅱはドイツ語Ⅰを）、ⅢはⅠとⅡを、ⅣはⅠとⅡとⅢを修得していることを履修前提科目とするが、履修前提科目を修得していなくても授業担当教員が特別に履修することを許可されることがあります。

●対応科目の履修登録

カリキュラム改正等により開講されていない科目を履修登録する場合は、本冊子掲載の「2016～2021年度入学者の対応科目表」を参考に、対応科目を履修登録して下さい。対応科目がない場合は、教育支援係で配付する**「特別履修措置申請書」**に授業担当教員の承認を得た後、各学期の履修登録期間内に教育支援係に提出して下さい。なお、この場合、教育支援係が履修登録を行うので、各学生がWEBで履修登録する必要はありません。

(8) 再履修

不合格となった授業科目を、次の年度以降に再度履修登録をして授業を受け、試験を受験することを再履修といいます。授業科目によっては、カリキュラムの改正に伴い、再履修者が履修しようとする場合に当該授業科目が変更されている場合があります。この場合、再履修者は変更後の授業科目を読み替えて履修することになります。詳しくは、本冊子掲載の「2016～2021年度入学者の対応科目表」を見て確認して下さい。

(9) ナンバリング

本学で実施する授業科目全てについて、授業内容、水準（難易度）等に応じて特定のナンバーを付与しています。これにより学生が学修したい分野について、どのように学修を進めていけば良いか等が明確になり体系的に学修を進めることが可能となります。

●科目ナンバリングコードの考え方

科目ナンバリングコードには、本学で開講されている授業科目の内容を表せるように複数のコードを設けています。コードに割り当てるコード記号は、授業科目の開設学年、必修・選択の別等を設定しています。

●科目ナンバリングの構成

本学における科目ナンバリングは次の１２桁で構成されます。科目ナンバリングの構成を以下に示します。

桁数	1	2	3	4	5	6	7・8	9	10	11・12
コード	学部 専攻科 大学院 の区別	学科 大学院専 攻の区別	学部 大学院の課 程 コース の区別	水準 （難易度）	科目 区分	必修・ 選択の 区別	科目整理番号	授業 形態	使用 言語	関連する 大学院分 野

●ナンバリングの利用方法

学務システムのシラバス検索でフリーワード検索に、1 桁目から 3 桁目までの該当学部等の英数字（コード）を入力すると、その学部等の開講科目を検索することができます。11 桁と 12 桁のコード記号を用いて、大学院博士前期課程の専攻分野に関連する学部の開講科目(専門科目)を検索することもできます。また、授業科目を開講し

ている学部・学科や専攻の確認、上位学年の同じ分野の科目の確認などをすることができます。　科目ナンバリングコードは、同一名称の科目であっても開講学科、専攻ごとに別々のナンバリングコードが設定されます。例えば、複数学科で開講させる共通科目は、学科ごとに異なる科目ナンバリングコードになります。しかし、4 桁目から 10 桁目は同じコードとなるため、部局別の開講科目の検索、整理等に利用することができます。

詳しい説明を学務システムの授業サポートの授業共有ファイルに載せています。

2. 専門科目（選択科目）の履修方法に関する注意

【対象学科等：海事システム工学科、海洋電子機械工学科】

海事システム工学科

海事システム工学科の専門科目のうち選択科目については、分野ごとに次のように修得しなければならないので、充分注意して履修して下さい。

●船舶管理系

専門科目（選択科目）の卒業要件 26 単位を次のように修得して下さい。

「船舶管理系」分野の科目から　　22 単位
「基盤数理系」分野の科目から　　4 単位

●海事工学系

専門科目（選択科目）の卒業要件 26 単位を次のように修得して下さい。

「海事工学系」分野の科目から　　22 単位
「基盤数理系」分野の科目から　　4 単位

なお、船舶管理系又は海事工学系の修得単位数の多い系の単位が卒業要件単位となり、修得単位数の少ない系の単位はオーバー単位となるので注意して下さい。

海洋電子機械工学科

海洋電子機械工学科の専門科目のうち選択科目については、分野ごとに次のように修得しなければならないので、充分注意して履修して下さい。

●機関システム工学コース

専門科目（選択科目）の卒業要件 24 単位を次のように修得して下さい。

「機関系」分野の選択科目から　6 単位
「その他 A」分野の選択科目から　6 単位
分野を問わず　　12 単位

（この 12 単位には、他コース、他学科及び他学部（以下「2012～2016 年度入学者は、海洋科学部」、「2017 年度以降入学者は、海洋生命科学部又は海洋資源環境学部」）の専門科目 6 単位を含むことができます。ただし、他学部の専門科目で、同学部において卒業に必要な単位数に含まない授業科目を除きます。なお、外国人留学生等にあっては、他学部の専門科目に振り替えることができる同学部の外国人留学生代替科目の単位を含むことができますので、具体的な授業科目名については、教育支援係に問い合わせて下さい。）

●機関システム工学コース（商船教員養成コース）

専門科目（選択必修科目）の卒業要件 16 単位を次のように修得して下さい。

「機関系」分野の選択必修科目から　　8 単位
「その他Ａ」分野の選択必修科目から　6 単位

「教育行政学」「比較教育制度論」から 1 科目（2 単位）

また、専門科目（選択科目）の卒業要件 10 単位を修得して下さい。なお、この 10 単位には、他コース、他学科及び他学部の専門科目 6 単位を含むことができます。ただし、他学部の専門科目で、同学部において卒業に必要な単位数に含まない授業科目を除きます。なお、外国人留学生等にあっては、他学部の専門科目に振り替えることができる同学部の外国人留学生代替科目の単位を含むことができますので、具体的な授業科目名については、教育支援係に問い合わせて下さい。

●制御システム工学コース

専門科目（選択科目）の卒業要件 23 単位を次のように修得して下さい。

「機械系」分野の選択科目から	4 単位
「電子・制御系」分野の選択科目から	6 単位
「その他 B」分野の選択科目から	6 単位
分野を問わず	7 単位

（この 7 単位には、他コース、他学科及び他学部の専門科目 6 単位を含むことができます。ただし、他学部の専門科目で、同学部において卒業に必要な単位数に含まない授業科目を除きます。なお、外国人留学生等にあっては、他学部の専門科目に振り替えることができる同学部の外国人留学生代替科目の単位を含むことができますので、具体的な授業科目名については、教育支援係に問い合わせて下さい。）

授業科目及び単位数（2016年度入学者）※商船教員養成コースを除く

1　総合科目　　【2016年度】

授業科目	単位数		毎週授業時間数								備考
			1年次		2年次		3年次		4年次		
	必修	選択	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	
全学共通科目											
フレッシュマンセミナー	1		集								
海の科学	1		1								
船の科学	1		1								
海と生命	1		1								
海と文化	1		1								
文化学系											
文化人類学		2			2						
民族誌		2				2					
文学		2					2				4単位以上
歴史学		2						2			
水中考古学		2					2				
哲学・科学論系											
哲学		2	2								
論理学		2			2						
倫理学		2						2			4単位以上
心理学		2		2							
科学論		2				2					
社会科学系											
経済学		2		2							
民法		2			2						
日本国憲法		2		2							4単位以上
国際政治学		2				2					
社会学		2					2				
健康・スポーツ系											
スポーツⅠ	1		2								
スポーツⅡ	1			2							
健康科学		2		2							2単位以上
生涯スポーツⅠ		1			2						
生涯スポーツⅡ		1				2					
その他											
教養ゼミナール		1	集（前・後期）								
職業指導（商船）		2							2		
職業指導（工業）		2							2		
外国語系											
Basic EnglishⅠ	1		2								※
Basic EnglishⅡ	1			2							※
Practical EnglishⅠ	1		2								※
Practical EnglishⅡ	1			2							
Effective EnglishⅠ		1			2		②		②		
Effective EnglishⅡ		1				2		②			○数字は複数年次
Interactive EnglishⅠ		1			2		②		②		開設
Interactive EnglishⅡ		1				2		②			
Intensive EnglishⅠ		1			2		②		②		
Intensive EnglishⅡ		1				2		②			
ドイツ語Ⅰ		1	2								
ドイツ語Ⅱ		1		2							
ドイツ語Ⅲ		1			2						
ドイツ語Ⅳ		1				2					必修4単位
フランス語Ⅰ		1	2								
フランス語Ⅱ		1		2							選択必修2単位
フランス語Ⅲ		1			2						
フランス語Ⅳ		1				2					選択2単位
スペイン語Ⅰ		1	2								
スペイン語Ⅱ		1		2							を含め合計8単位
スペイン語Ⅲ		1			2						
スペイン語Ⅳ		1				2					以上
中国語Ⅰ		1	2								
中国語Ⅱ		1		2							
中国語Ⅲ		1			2						
中国語Ⅳ		1				2					
自由選択											4単位以上

履修単位

卒業要件31単位　　内訳　必修科目11単位　選択必修科目2単位　選択科目18単位

備考　1）外国語系の選択必修科目は英語以外の1外国語2単位を選択必修。
2）総合科目のうち自由選択については、本学部の総合科目の中から各授業科目区分ごとに定める卒業に必要な単位数を超えて修得した単位数を自由選択科目として履修したものとみなし、その単位数を自由選択科目の修得単位数とします。また、海洋科学部の総合科目のうち、本学部と授業科目の名称が異なるものも含めることができます。
3）「Effective EnglishⅠ・Ⅱ」「Interactive EnglishⅠ・Ⅱ」「Intensive EnglishⅠ・Ⅱ」は、「Basic EnglishⅠ・Ⅱ」「Practical EnglishⅠ」の全ての単位を修得した後に履修することができます。なお、外国人留学生等にあっては、上記履修前提科目（「Basic EnglishⅠ・Ⅱ」「Practical EnglishⅠ」）のいずれかの単位修得に代えて、「日本語Ⅰ」の単位を修得した場合は、履修前提科目の内1科目の単位を修得すれば履修することができます。

※「Basic EnglishⅠ・Ⅱ」「Practical EnglishⅠ」…再履修者を対象とした集中授業を前学期及び後学期に開講します。

2　基礎教育科目　　【2016年度】

授業科目	単位数		毎週授業時間数								備考
			1年次		2年次		3年次		4年次		
	必修	選択	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	
全学共通科目											
情報リテラシー	2		2								
日本語表現法	2			2							
学部共通科目											
微分積分Ⅰ	2		2								※5
微分積分Ⅱ	2			2							
線形代数Ⅰ	2		2								※5
線形代数Ⅱ	2			2							
物理学	2		2								
数学演習		1		2							
力学		2		2							※2
天文学		2	2								
物理学実験		1	3								※4
物理学演習		1	2								
化学		2	2								
化学熱力学		2		2							
統計学		2	2								
計算機科学		2	2								
情報処理基礎論		2		2							※1　※3
航海システム概論		2	2								※1
電子機械工学入門		2	2								※2
常微分方程式		2			2						
基礎数学		2				2					
電磁気学		2			2						
物質科学		2			2						
化学実験		1				3					
契約法		2				2					

履修単位

卒業要件25単位

内訳　海事システム工学科　必修科目18単位　選択科目7単位
　　海洋電子機械工学科　必修科目18単位　選択科目7単位
　　流通情報工学科　必修科目16単位　選択科目9単位

※1　「情報処理基礎論」「航海システム概論」…海事システム工学科は必修
※2　「力学」「電子機械工学入門」…海洋電子機械工学科は必修
※3　「情報処理基礎論」…流通情報工学科は必修
※4　「物理学実験」…海洋電子機械工学科は前学期、海事システム工学科及び流通情報工学科は後学期に開設
※5　「微分積分Ⅰ」「線形代数Ⅰ」･･･再履修者を対象とした集中講義を2年次後学期に開設。
ただし、原則として当該年度前学期に履修した2年次学生が履修することができる。

3　専門科目

(1)　海事システム工学科

【2016年度】

分野		授業科目	単位数 必修	単位数 選択	毎週授業時間数 1年次 前学期	1年次 後学期	2年次 前学期	2年次 後学期	3年次 前学期	3年次 後学期	4年次 前学期	4年次 後学期 Ⅰ	4年次 後学期 Ⅱ	備考
基礎専門科目系		海事システム工学概論	2			2								
		電気工学	2			2								
		船舶基礎力学	2				2							
		電子通信工学	2				2							
		信号情報処理	2				2							
		アルゴリズム	2				2							
		大気環境学	2				2							
		抵抗推進論	2					2						
		計測工学Ⅰ	2					2						
		航海システムⅠ	2					2						
		運航管理	2						2					
		船体管理	2							2				
基盤数理系		ラプラス・フーリエ解析		2			2							
		最適化数学		2			2							
		確率論		2				2						
		振動と波動		2				2						
		複素解析		2				2						
		数値解析		2						2				
船舶管理系	船舶管理	海運経営論		2			2							
		安全工学		2				2						
		保険契約法		2						2				
		損害賠償法		2					2					
		海運実務論		2						2				
		海上危機管理論		2							2			
	海技士	海洋環境学		2				2						
		国際法		2				2						
		船舶運航論		2					2					
		輸送管理		2						2				
		海商法		2					2					
		組織管理論		2						2				
海事工学系	海事工学	信頼性工学		2			2							
		海事情報処理		2				2						
		通信ネットワーク		2				2						
		計測工学Ⅱ		2					2					
		船舶制御		2						2				
		舶用工業実務論		2						2				
	海技士	船体構造論		2				2						
		浮体運動論		2						2				
		航海システムⅡ		2					2					
		航海システムⅢ		2						2				
		制御工学		2					2					
		マリナーズファクターと安全運航		2							2			
		機関システム工学概論		2							2			
実験・演習・実習（＊注）	実験演習	海洋開発環境エネルギー概論		3					集					＊注
		キャリア形成論		2			集							
		国際輸送実務論		2						2				※2021年度のみ開講
		海事システム工学実験演習Ⅰ	2						6					
		海事システム工学実験演習Ⅱ	2						6					
		海事システム工学実験演習Ⅲ	2							6				
		海事システム工学実験演習Ⅳ	2							6				
		海事システム工学ゼミナールⅠ	1					2						
		海事システム工学ゼミナールⅡ	1						2					
		海事システム工学ゼミナールⅢ	1							2				
		船舶実験（汐路丸）	2						集					
		卒業研究	5									集		
	実習	海洋実習	1		集									
		短艇実習Ⅰ	1		1.5	1.5								
		短艇実習Ⅱ	1				3							
		学外実習		1					集					
		短期学外実習（海外）		1				集	集					
		長期学外実習（海外）		2				集	集					
		船舶実習Ⅰ	3		集			集						

(1)　海事システム工学科　　【2016年度】

分野	授業科目	単位数		毎週授業時間数									備考
				1年次		2年次		3年次		4年次			
		必修	選択	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期 Ⅰ	後学期 Ⅱ	
資格・海技士（＊注）	航海英語Ⅰ		2					2					※1
	航海英語Ⅱ		2						2				※1
	海事法規		2					2					
	海上無線法規		2							2			
	船舶医学		2							2			
	Topics in Maritime Linguistics		2							2			※1
	国際海事訓練セミナー		1							集			
	海事教育技法		2							2			
	海事システム工学実験演習Ⅴ		4							12			※2
	船舶実習Ⅱ		2								集		※2
	船舶実習Ⅲ		5									集	※2
履修単位	海事システム工学科 (1)船舶管理系　卒業要件74単位　　内訳　必修科目48単位　選択科目26単位 選択科目内訳　船舶管理系から22単位、基盤数理系から4単位 (2)海事工学系　卒業要件74単位　　内訳　必修科目48単位　選択科目26単位 選択科目内訳　海事工学系から22単位、基盤数理系から4単位 2年次より、上記(1)船舶管理系と(2)海事工学系の2系統の選択科目が開講されるので、2つの系のいずれかを選択すること。なお、**船舶管理系又は海事工学系の修得単位数の多い系の単位が卒業要件単位となり、修得単位数の少ない系の単位はオーバー単位となるので注意すること。** ※1 **「航海英語Ⅰ・Ⅱ」及び「Topics in Maritime Linguistics」**は、以下の履修前提科目を全て修得した後でなければ履修することができません。 **【履修前提科目】** **「Basic EnglishⅠ」「Basic EnglishⅡ」「Practical EnglishⅠ」** ただし、外国人留学生等にあっては、上記履修前提科目（「Basic EnglishⅠ・Ⅱ」「Practical EnglishⅠ」）の修得に代えて、「日本語Ⅰ」を修得した場合は、履修前提科目の内１科目（「Basic EnglishⅠ・Ⅱ」「Practical EnglishⅠ」の内1科目）を修得すれば履修することができます。 ※2 **「海事システム工学実験演習Ⅴ」、「船舶実習Ⅱ」及び「船舶実習Ⅲ」**は、以下の履修前提科目を全て修得した後でなければ履修することができません。 **【履修前提科目】** **「船舶基礎力学」「大気環境学」「計測工学Ⅰ」「運航管理」「海商法」** **「海事法規」「船舶実験（汐路丸）」「船体管理」「航海システムⅢ」** **「航海英語Ⅱ」** ＊注　「海洋開発環境エネルギー概論」及び資格・海技士の11科目は，卒業要件に含めない。 ＊注　実験・演習・実習分野の選択科目（「海洋開発環境エネルギー概論」を除く4科目）は、修得しても卒業要件単位数には算入されないので注意すること。												

（注意）選択科目の内訳に注意すること。指定された系以外の単位を修得してもオーバー単位となり卒業要件単位数には算入されません。
また、海洋科学部・他学科科目を修得してもオーバー単位となり卒業要件単位数には算入されません。

(2)　海洋電子機械工学科　　【2016年度】

分野		授業科目	単位数 機関システム工学コース 必修	単位数 機関システム工学コース 選択	単位数 制御システム工学コース 必修	単位数 制御システム工学コース 選択	毎週授業時間数 1年次 前学期	1年次 後学期	2年次 前学期	2年次 後学期	3年次 前学期	3年次 後学期	4年次 前学期	4年次 後学期 I	4年次 後学期 II	備考
機関系		機関システム工学入門	2		2			2								
		ターボ動力工学Ⅰ	2		2					2						
		ターボ動力工学Ⅱ		2		2					2					
		ガスタービン工学		2		2						2				
		内燃機関工学Ⅰ	2		2					2						
		内燃機関工学Ⅱ		2		2					2					
		エネルギー工学	2		2						2					
		原子力機関工学		2		2						2				
		補助機械工学	2		2					2						
		冷凍空調工学		2		2					2					
		流体機械工学		2		2						2				
		電気工学	2		2					2						
		電気機器学		2		2					2					
機械系		材料力学	2		2				2							
		機械力学	2		2					2						
		トライボロジー		2		2						2				
		金属材料学	2		2				2							
		環境材料学		2		2				2						
		工業熱力学	2		2				2							
		伝熱工学		2		2				2						
		流体工学	2		2				2							
		機械設計製図	2		2						3	3				
		精密加工学		2		2		2								
		材料物理工学		2		2					2					
		計算物理学		2		2						2				
電子・制御系		ロボット工学Ⅰ	2		2						2					
		ロボット工学Ⅱ		2		2						2				
		ソフトウェア工学		2		2			2							
		制御工学Ⅰ	2		2					2						
		制御工学Ⅱ		2		2					2					
		基礎電子工学	2		2					2						
		エレクトロニクスⅠ		2	2						2					
		エレクトロニクスⅡ		2		2						2				
		振動と波動		2		2				2						
		計測工学		2		2					2					
		化学エネルギー変換工学		2		2						2				
その他	A	船舶工学Ⅰ		2		2			2							
		船舶工学Ⅱ		2		2				2						
		船舶医学		2		2							2			
		機関英語Ⅰ		2		2					2					
		機関英語Ⅱ		2								2				
		海事法概論		2		2							2			
		国際法		2		2						2				
		海運経営論		2		2					2					
		海運実務論		2		2						2				
		国際輸送実務論		2		2						2				※2021年度のみ開講
	B	信号情報処理		2		2					2					
		信頼性工学		2		2					2					
		ラプラス・フーリエ解析		2		2			2							
		確率論		2		2				2						
		最適化数学		2		2			2							
		複素解析		2		2				2						
		データ構造とアルゴリズム		2		2			2							
		情報数学		2		2					2					
		数値解析		2		2						2				
		舶用工業実務論		2		2						2				
		海洋開発環境エネルギー概論		3		3					集					＊注

(2)　海洋電子機械工学科　　【2016年度】

分野	授業科目	単位数				毎週授業時間数									備考
		機関システム工学コース		制御システム工学コース		1年次		2年次		3年次		4年次			
		必修	選択	必修	選択	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期 I	後学期 II	
実験・実習等	電子機械工学実習	2		2				3	3						
	電子機械工学実験	2		2						3	3				
	制御システム工学演習			1							集				
	材料・機械力学演習	1		1						2					
	熱流体工学演習	1		1							2				
	船舶実験（汐路丸）	1										集			
				1							集				
	電子機械工学ゼミナール	1		1							2				
	キャリア形成論		2		2			集							
	学外実習		1		1			㊟集		集					
	短期学外実習（海外）		1		1			㊟集		集					
	長期学外実習（海外）		2		2			㊟集		集					
	卒業研究	5		5											
	海洋実習	1		1		集									
	短艇実習	1		1		1.5	1.5								
	船舶実習Ⅰ	3		3		集			集						
	船舶実習Ⅱ	2									集				
	船舶実習Ⅲ		5											集	
	機関実務実習		1									集			＊注

履修単位

海洋電子機械工学科

機関システム工学コース　　卒業要件74単位　　内訳　必修科目50単位　選択科目24単位

選択科目内訳　機関系分野から6単位
その他A分野から6単位
分野を問わず12単位

制御システム工学コース　　卒業要件74単位　　内訳　必修科目51単位　選択科目23単位

選択科目内訳　機械系分野から4単位
電子・制御系分野から6単位
その他B分野から6単位
分野を問わず7単位

選択科目（分野を問わず）の単位は他コース、他学科及び海洋科学部の専門科目6単位を含むことができます。なお、外国人留学生等にあっては、海洋科学部の専門科目に振り替えることができる同学部の外国人留学生代替科目の単位を含むことができます。
ただし、海洋科学部の専門科目で、同学部において卒業に必要な単位数に含まない授業科目を除きます。

＊注　「海洋開発環境エネルギー概論」及び「機関実務実習」は、卒業要件に含めない。

(3)　流通情報工学科　　【2016年度】

授業科目	単位数		毎週授業時間数									備考
			1年次		2年次		3年次		4年次			
										後学期		
	必修	選択	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	Ⅰ	Ⅱ	
ロジスティクス概論	2		2									
物流施設計画学		2		2								
コンテナ輸送工学	2			2								
物流管理工学	2				2							
物流リスク工学		2			2							
流通最適化工学	2					2						
流通基盤計画学	2					2						
港湾環境工学		2					2					
物流システム工学		2				2						
流通オペレーションズ・リサーチ		2					2					
作業管理工学		2					2					
交通計画学		2					2					
流通データ分析		2						2				
通関実務論		2					2					
物流シミュレーション工学		2					2					
基礎プログラミング演習	1			2								
応用プログラミング演習	1					2						
アルゴリズム設計	2				2							
流通情報システム	2					2						
認知情報科学		2					2					
情報数学		2					2					
データ構造とアルゴリズム	2				2							
最適化数学		2			2							
確率論	2					2						
数値解析		2						2				
物流経済論		2				2						
国際経済論	2					2						
交通経済論	2				2							
国際交通論		2					2					
都市交通論	2							2				
流通経済論	2				2							
流通チャネル論		2						2				
産業政策論	2					2						
産業経済論		2					2					
保険契約法		2						2				
損害賠償法		2					2					
マーケティング論		2						2				
流通情報工学ゼミナールⅠ	1						2					
流通情報工学ゼミナールⅡ	1							2				
流通情報工学実験	1					3						
流通情報工学演習	1						2					
卒業研究	5											
キャリア形成論		2			集							
学外実習		1			集		集					
短期学外実習（海外）		1			集		集					
長期学外実習（海外）		2			集		集					
ラプラス・フーリエ解析		2			2							
複素解析		2				2						
安全管理学		2							2			
衛星測位工学		2					2					
安全工学		2						2				
国際輸送実務論		2						2				※2021年度のみ開講
舶用工業実務論		2						2				
海洋開発環境エネルギー概論		3					集					＊注

履修単位	
	流通情報工学科　　卒業要件74単位　　内訳　必修科目39単位　選択科目35単位 選択科目の単位は他コース、他学科及び海洋科学部の専門科目6単位を含むことができます。 なお、外国人留学生等にあっては、海洋科学部の専門科目に振り替えることができる同学部の外国人留学生代替科目の単位を含むことができます。 ただし、海洋科学部の専門科目で、同学部において卒業に必要な単位数に含まない授業科目を除きます。 ＊注　「海洋開発環境エネルギー概論」は、卒業要件に含めない。

授業科目及び単位数（2017・2018年度入学者）※商船教員養成コースを除く

1　総合科目　　【2017・2018年度】

授業科目	単位数		毎週授業時間数								備考
			1年次		2年次		3年次		4年次		
	必修	選択	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	
共通導入科目											
フレッシュマンセミナー	1		集								
海洋生命科学概論	1		1								
海洋工学概論	1		1								
海洋資源環境学概論	1		1								
情報リテラシー	2		2								
日本語表現法	2			2							
文化学系											
文化人類学		2			2						4単位以上
民族誌		2				2					
文学		2					2				
歴史学		2						2			
水中考古学		2					2				
哲学・科学論系											
哲学		2	2								4単位以上
論理学		2			2						
倫理学		2						2			
心理学		2		2							
科学論		2				2					
社会科学系											
経済学		2		2							4単位以上
民法		2			2						
日本国憲法		2		2							
国際政治学		2				2					
社会学		2					2				
健康・スポーツ系											
スポーツⅠ	1		2								2単位以上
スポーツⅡ	1			2							
健康科学		2		2							
生涯スポーツⅠ		1			集						
生涯スポーツⅡ		1				集					
外国語系											
Basic EnglishⅠ	1		2								※
Basic EnglishⅡ	1			2							※
Practical EnglishⅠ	1		2								※
Practical EnglishⅡ	1			2							
Effective EnglishⅠ		1			2		②		②		
Effective EnglishⅡ		1				2		②			○数字は複数年次開設
Interactive EnglishⅠ		1			2		②		②		
Interactive EnglishⅡ		1				2		②			
Intensive EnglishⅠ		1			2		②		②		
Intensive EnglishⅡ		1				2		②			
ドイツ語Ⅰ		1	2								
ドイツ語Ⅱ		1		2							
ドイツ語Ⅲ		1			2						
ドイツ語Ⅳ		1				2					必修4単位
フランス語Ⅰ		1	2								
フランス語Ⅱ		1		2							選択必修2単位
フランス語Ⅲ		1			2						
フランス語Ⅳ		1				2					選択2単位
スペイン語Ⅰ		1	2								
スペイン語Ⅱ		1		2							を含め合計8単位
スペイン語Ⅲ		1			2						
スペイン語Ⅳ		1				2					以上
中国語Ⅰ		1	2								
中国語Ⅱ		1		2							
中国語Ⅲ		1			2						
中国語Ⅳ		1				2					
自由選択											4単位以上

履修単位

卒業要件34単位　　内訳　必修科目14単位　選択必修科目2単位　選択科目18単位

備考　1）外国語系の選択必修科目は英語以外の1外国語2単位を選択必修。
2）総合科目のうち自由選択については、本学部の総合科目の中から各授業科目区分ごとに定める卒業に必要な単位数を超えて修得した単位数を自由選択科目として履修したものとみなし、その単位数を自由選択科目の修得単位数とします。また、他学部の総合科目のうち、本学部と授業科目の名称が異なるものも含めることができます。
3）「Effective EnglishⅠ・Ⅱ」「Interactive EnglishⅠ・Ⅱ」「Intensive EnglishⅠ・Ⅱ」は、「Basic EnglishⅠ・Ⅱ」「Practical EnglishⅠ」の全ての単位を修得した後に履修することができます。なお、外国人留学生等にあっては、「総合日本語Ⅰ」及び「総合日本語Ⅱ」の単位を修得した場合は、上記履修前提科目（「Basic EnglishⅠ・Ⅱ」、「Practical EnglishⅠ」）のいずれかの単位修得に代えることができます。

※「Basic EnglishⅠ・Ⅱ」「Practical EnglishⅠ」…再履修者を対象とした集中授業を前学期及び後学期に開講します。

2　基礎教育科目　　【2017・2018年度】

授業科目	単位数		毎週授業時間数								備考
			1年次		2年次		3年次		4年次		
	必修	選択	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	
学部共通科目											
微分積分Ⅰ	2		2								※5
微分積分Ⅱ	2			2							
線形代数Ⅰ	2		2								※5
線形代数Ⅱ	2			2							
物理学	2		2								
数学演習		1		2							
力学		2		2							※2
天文学		2	2								
物理学実験		1	3								※4
化学熱力学		2	2								
統計学		2	2								
計算機科学		2	2								
情報処理基礎論		2		2							※1　※3
航海システム概論		2	2								※1
電子機械工学入門		2	2								※2
基礎ゼミナール		1	集								
常微分方程式		2			2						
基礎数学		2				2					
電磁気学		2			2						
物質科学		2			2						
化学実験		1				3					
契約法		2				2					

履修単位

卒業要件21単位

内訳　海事システム工学科　必修科目14単位　選択科目7単位
　　海洋電子機械工学科　必修科目14単位　選択科目7単位
　　流通情報工学科　　必修科目12単位　選択科目9単位

※1　「情報処理基礎論」「航海システム概論」…海事システム工学科は必修
※2　「力学」「電子機械工学入門」…海洋電子機械工学科は必修
※3　「情報処理基礎論」…流通情報工学科は必修
※4　「物理学実験」…海洋電子機械工学科は前学期、海事システム工学科及び流通情報工学科は後学期に開設
※5　「微分積分Ⅰ」「線形代数Ⅰ」・・・再履修者を対象とした集中講義を2年次後学期に開設。
ただし、原則として当該年度前学期に履修した2年学生が履修することができる。

3　専門科目

(1)　海事システム工学科

【2017・2018年度】

分野		授業科目	単位数 必修	単位数 選択	1年次 前学期	1年次 後学期	2年次 前学期	2年次 後学期	3年次 前学期	3年次 後学期	4年次 前学期	4年次 後学期 Ⅰ	4年次 後学期 Ⅱ	備考
基礎専門科目系		海事システム工学概論	2			2								
		電気工学	2			2								
		船舶基礎力学	2				2							
		電子通信工学	2				2							
		信号情報処理	2				2							
		アルゴリズム	2				2							
		大気環境学	2				2							
		抵抗推進論	2					2						
		計測工学Ⅰ	2					2						
		航海システムⅠ	2					2						
		運航管理	2						2					
		船体管理	2							2				
基盤数理系		ラプラス・フーリエ解析		2			2							
		最適化数学		2			2							
		確率論		2				2						
		振動と波動		2				2						
		複素解析		2				2						
		数値解析		2						2				
船舶管理系	船舶管理	海運経営論		2			2							
		安全工学		2				2						
		保険契約法		2						2				
		損害賠償法		2					2					
		海運実務論		2						2				
		海上危機管理論		2							2			
	海技士	海洋環境学		2				2						
		国際法		2				2						
		船舶運航論		2					2					
		輸送管理		2						2				
		海商法		2					2					
		組織管理論		2						2				
海事工学系	海事工学	信頼性工学		2			2							
		海事情報処理		2				2						
		通信ネットワーク		2				2						
		計測工学Ⅱ		2					2					
		船舶制御		2						2				
		舶用工業実務論		2						2				
	海技士	船体構造論		2				2						
		浮体運動論		2						2				
		航海システムⅡ		2					2					
		航海システムⅢ		2						2				
		制御工学		2					2					
		マリナーズファクターと安全運航		2							2			
		機関システム工学概論		2							2			
実験・演習・実習（＊注）	実験演習	海洋開発環境エネルギー概論		3					集					＊注
		キャリア形成論		2			集							
		国際輸送実務論		2						2				※2021年度のみ開講
		職業指導（商船）		2							2			
		職業指導（工業）		2							2			
		海事システム工学実験演習Ⅰ	2						6					
		海事システム工学実験演習Ⅱ	2						6					
		海事システム工学実験演習Ⅲ	2							6				
		海事システム工学実験演習Ⅳ	2							6				
		海事システム工学ゼミナールⅠ	1					2						
		海事システム工学ゼミナールⅡ	1						2					
		海事システム工学ゼミナールⅢ	1							2				
		船舶実験（汐路丸）	2						集					
		卒業研究	5									集		
	実習	海洋実習	1		集									
		短艇実習Ⅰ	1		1.5	1.5								
		短艇実習Ⅱ	1				3							
		学外実習		1					集					
		短期学外実習（海外）		1			集		集					
		長期学外実習（海外）		2			集		集					
		船舶実習Ⅰ	3		集			集						

(1)　海事システム工学科　　【2017・2018年度】

分野	授業科目	単位数		毎週授業時間数									備考
				1年次		2年次		3年次		4年次			
		必修	選択	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期 Ⅰ	後学期 Ⅱ	
資格・海技士（＊注）	航海英語Ⅰ		2					2					※1
	航海英語Ⅱ		2						2				※1
	海事法規		2					2					
	海上無線法規		2							2			
	船舶医学		2							2			
	Topics in Maritime Linguistics		2							2			※1
	国際海事訓練セミナー		1							集			
	海事教育技法		2							2			
	海事システム工学実験演習Ⅴ		4							12			※2
	船舶実習Ⅱ		2								集		※2
	船舶実習Ⅲ		5									集	※2
履修単位	海事システム工学科 (1)船舶管理系　卒業要件74単位　　内訳　必修科目48単位　選択科目26単位 選択科目内訳　船舶管理系から22単位、基盤数理系から4単位 (2)海事工学系　卒業要件74単位　　内訳　必修科目48単位　選択科目26単位 選択科目内訳　海事工学系から22単位、基盤数理系から4単位 2年次より、上記(1)船舶管理系と(2)海事工学系の2系統の選択科目が開講されるので、2つの系のいずれかを選択すること。なお、**船舶管理系又は海事工学系の修得単位数の多い系の単位が卒業要件単位となり、修得単位数の少ない系の単位はオーバー単位となるので注意すること。** ※1 **「航海英語Ⅰ・Ⅱ」及び「Topics in Maritime Linguistics」**は、以下の履修前提科目を全て修得した後でなければ履修することができません。 **【履修前提科目】** **「Basic EnglishⅠ」「Basic EnglishⅡ」「Practical EnglishⅠ」** ただし、外国人留学生等にあっては、上記履修前提科目（「Basic EnglishⅠ・Ⅱ」「Practical EnglishⅠ」）の修得に代えて、「総合日本語Ⅰ」及び「総合日本語Ⅱ」を修得した場合は、履修前提科目の内1科目（「Basic EnglishⅠ・Ⅱ」「Practical EnglishⅠ」の内1科目）を修得すれば履修することができます。 ※2 **「海事システム工学実験演習Ⅴ」、「船舶実習Ⅱ」及び「船舶実習Ⅲ」**は、以下の履修前提科目を全て修得した後でなければ履修することができません。 **【履修前提科目】** **「船舶基礎力学」「大気環境学」「計測工学Ⅰ」「運航管理」「海商法」** **「海事法規」「船舶実験（汐路丸）」「船体管理」「航海システムⅢ」** **「航海英語Ⅱ」** ＊注　「海洋開発環境エネルギー概論」及び資格・海技士の11科目は，卒業要件に含めない。 ＊注　実験・演習・実習分野の選択科目（「海洋開発環境エネルギー概論」を除く6科目）は、修得しても卒業要件単位数には算入されないので注意すること。												

（注意）選択科目の内訳に注意すること。指定された系以外の単位を修得してもオーバー単位となり卒業要件単位数には算入されません。
また、他学部・他学科科目を修得してもオーバー単位となり卒業要件単位数には算入されません。

(2)　海洋電子機械工学科　　【2017・2018年度】

分野	授業科目	単位数				毎週授業時間数									備考
		機関システム工学コース		制御システム工学コース		1年次		2年次		3年次		4年次			
		必修	選択	必修	選択	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期 I	後学期 II	
機関系	機関システム工学入門	2		2			2								
	ターボ動力工学Ⅰ	2		2					2						
	ターボ動力工学Ⅱ		2		2					2					
	ガスタービン工学		2		2						2				
	内燃機関工学Ⅰ	2		2					2						
	内燃機関工学Ⅱ		2		2					2					
	エネルギー工学	2		2						2					
	海洋流体工学		2		2						2				
	原子力機関工学		2		2						2				
	補助機械工学	2		2					2						
	冷凍空調工学		2		2					2					
	流体機械工学		2		2						2				
	電気工学	2		2					2						
	電気機器学		2		2					2					
	電気推進基礎論		2		2							2			
	機関システム管理工学		2		2						2				
機械系	材料力学	2		2				2							
	機械力学	2		2					2						
	トライボロジー		2		2						2				
	金属材料学	2		2				2							
	環境材料学		2		2				2						
	工業熱力学	2		2				2							
	伝熱工学		2		2				2						
	流体工学	2		2				2							
	機械設計製図	2		2						3	3				
	機械加工学		2		2		2								
	材料物理工学		2		2					2					
	計算物理学		2		2						2				
電子・制御系	ロボット工学Ⅰ	2		2						2					
	ロボット工学Ⅱ		2		2						2				
	水中機器学		2		2							2			
	ソフトウェア工学		2		2					2					
	制御工学Ⅰ	2		2					2						
	制御工学Ⅱ		2		2					2					
	応用制御工学		2		2						2				
	基礎電子工学	2		2				2							
	半導体工学		2	2						2					
	電子回路論		2		2						2				
	振動と波動		2		2				2						
	計測工学		2		2					2					
	化学エネルギー変換工学		2		2						2				
その他 A	船舶工学Ⅰ		2		2			2							
	船舶工学Ⅱ		2		2				2						
	船舶医学		2		2							2			
	機関英語Ⅰ		2		2					2					
	機関英語Ⅱ		2								2				
	海事法概論		2		2							2			
	国際法		2		2						2				
	海運経営論		2		2					2					
	海運実務論		2		2						2				
	国際輸送実務論		2		2						2				※2021年度のみ開講
その他 B	信号情報処理		2		2					2					
	信頼性工学		2		2					2					
	ラプラス・フーリエ解析		2		2			2							
	確率論		2		2				2						
	最適化数学		2		2			2							
	複素解析		2		2				2						
	データ構造とアルゴリズム		2		2			2							
	情報数学		2		2					2					
	数値解析		2		2						2				
	舶用工業実務論		2		2						2				
	海洋開発環境エネルギー概論		3		3					集					＊注

(2)　海洋電子機械工学科　　【2017・2018年度】

分野	授業科目	単位数				毎週授業時間数									備考
		機関システム工学コース		制御システム工学コース		1年次		2年次		3年次		4年次			
		必修	選択	必修	選択	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期 Ⅰ	後学期 Ⅱ	
実験・実習等	電子機械工学実習	2		2				3	3						
	電子機械工学実験	2		2						3	3				
	制御システム工学演習			1							集				
	材料・機械力学演習	1		1						2					
	熱流体工学演習	1		1							2				
	船舶実験（汐路丸）	1										集			
				1							集				
	電子機械工学ゼミナール	1		1							2				
	キャリア形成論		2		2			集							
	学外実習		1		1			集		集					
	短期学外実習（海外）		1		1			集		集					
	長期学外実習（海外）		2		2			集		集					
	卒業研究	5		5											
	海洋実習	1		1		集									
	短艇実習	1		1		1.5	1.5								
	船舶実習Ⅰ	3		3		集			集						
	船舶実習Ⅱ	2									集				
	船舶実習Ⅲ		5											集	
	機関実務実習		1									集			＊注
	職業指導（商船）		2									2			
	職業指導（工業）				2							2			

履修単位

海洋電子機械工学科

機関システム工学コース　　卒業要件74単位　　内訳　必修科目50単位　選択科目24単位

選択科目内訳　機関系分野から6単位
その他A分野から6単位
分野を問わず12単位

制御システム工学コース　　卒業要件74単位　　内訳　必修科目51単位　選択科目23単位

選択科目内訳　機械系分野から4単位
電子・制御系分野から6単位
その他B分野から6単位
分野を問わず7単位

選択科目の単位は他コース、他学科及び他学部の専門科目6単位を含むことができます。
なお、外国人留学生等にあっては、他学部の専門科目に振り替えることができる同学部の外国人留学生代替科目の単位を含むことができます。
ただし、他学部の専門科目で、同学部において卒業に必要な単位数に含まない授業科目を除きます。

＊注　「海洋開発環境エネルギー概論」及び「機関実務実習」は、卒業要件に含めない。

(3)　流通情報工学科　　【2017・2018年度】

授業科目	単位数		毎週授業時間数									備考
			1年次		2年次		3年次		4年次			
	必修	選択	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期 Ⅰ	後学期 Ⅱ	
ロジスティクス概論	2		2									
物流施設計画学		2		2								
コンテナ輸送工学	2			2								
物流管理工学	2				2							
物流リスク工学		2			2							
流通最適化工学	2					2						
流通基盤計画学	2					2						
港湾環境工学		2					2					
物流システム工学		2				2						
流通オペレーションズ・リサーチ		2					2					
作業管理工学		2					2					
交通計画学		2					2					
流通データ分析		2						2				
通関実務論		2					2					
物流シミュレーション工学		2					2					
基礎プログラミング演習	1			2								
応用プログラミング演習	1					2						
アルゴリズム設計	2				2							
流通情報システム	2					2						
認知情報科学		2					2					
情報数学		2					2					
データ構造とアルゴリズム	2				2							
最適化数学		2			2							
確率論	2					2						
数値解析		2						2				
物流経済論		2				2						
国際経済論	2					2						
交通経済論	2				2							
国際交通論		2					2					
都市交通論	2							2				
流通経済論	2				2							
流通チャネル論		2						2				
産業政策論	2					2						
産業経済論		2					2					
保険契約法		2						2				
損害賠償法		2					2					
マーケティング論		2						2				
流通情報工学ゼミナールⅠ	1						2					
流通情報工学ゼミナールⅡ	1							2				
流通情報工学実験	1					3						
流通情報工学演習	1						2					
卒業研究	5											
キャリア形成論		2			集							
学外実習		1			㊥集		集					
短期学外実習（海外）		1			㊥集		集					
長期学外実習（海外）		2			㊥集		集					
職業指導（工業）		2							2			
ラプラス・フーリエ解析		2			2							
複素解析		2				2						
安全管理学		2							2			
衛星測位工学		2					2					
安全工学		2					2					
国際輸送実務論		2						2				※2021年度のみ開講
舶用工業実務論		2						2				
海洋開発環境エネルギー概論		3					集					＊注

履修単位	
	流通情報工学科　　卒業要件74単位　　内訳　必修科目39単位　選択科目35単位 選択科目の単位は他コース、他学科及び他学部の専門科目6単位を含むことができます。 なお、外国人留学生等にあっては、他学部の専門科目に振り替えることができる同学部の外国人留学生代替科目の単位を含むことができます。 ただし、他学部の専門科目で、同学部において卒業に必要な単位数に含まない授業科目を除きます。 ＊注　「海洋開発環境エネルギー概論」は、卒業要件に含めない。

授業科目及び単位数（2019年度入学者）※商船教員養成コースを除く

1　総合科目　　【2019年度】

授業科目	単位数		毎週授業時間数								備考
			1年次		2年次		3年次		4年次		
	必修	選択	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	
共通導入科目											
フレッシュマンセミナー	1		集								
海洋生命科学概論	1		1								
海洋工学概論	1		1								
海洋資源環境学概論	1		1								
情報リテラシー	2		2								
日本語表現法	2			2							
文化学系											
文化人類学		2			2						4単位以上
民族誌		2				2					
文学		2					2				
歴史学		2						2			
水中考古学		2					2				
哲学・科学論系											
哲学		2	2								4単位以上
論理学		2			2						
倫理学		2						2			
心理学		2		2							
科学論		2				2					
社会科学系											
経済学		2		2							4単位以上
民法		2			2						
日本国憲法		2		2							
国際政治学		2				2					
社会学		2					2				
健康・スポーツ系											
スポーツⅠ	1		2								2単位以上
スポーツⅡ	1			2							
健康科学		2		2							
生涯スポーツⅠ		1			集						
生涯スポーツⅡ		1				集					
外国語系											
Basic EnglishⅠ	1		2								※
Basic EnglishⅡ	1			2							※
Practical EnglishⅠ	1		2								※
Practical EnglishⅡ	1			2							
Effective EnglishⅠ		1			2		②		②		
Effective EnglishⅡ		1				2		②			○数字は複数年次開設
Interactive EnglishⅠ		1			2		②		②		
Interactive EnglishⅡ		1				2		②			
Interactive EnglishⅢ		1			2		②		②		
Interactive EnglishⅣ		1				2		②			
Intensive EnglishⅠ		1			2		②		②		
Intensive EnglishⅡ		1				2		②			
ドイツ語Ⅰ		1	2								
ドイツ語Ⅱ		1		2							
ドイツ語Ⅲ		1			2						
ドイツ語Ⅳ		1				2					必修4単位
フランス語Ⅰ		1	2								
フランス語Ⅱ		1		2							選択必修2単位
フランス語Ⅲ		1			2						
フランス語Ⅳ		1				2					選択2単位
スペイン語Ⅰ		1	2								
スペイン語Ⅱ		1		2							を含め合計8単位
スペイン語Ⅲ		1			2						
スペイン語Ⅳ		1				2					以上
中国語Ⅰ		1	2								
中国語Ⅱ		1		2							
中国語Ⅲ		1			2						
中国語Ⅳ		1				2					
自由選択											4単位以上

・履修単位

・注意事項

卒業要件34単位　　内訳　必修科目14単位　選択必修科目2単位　選択科目18単位

備考　1）外国語系の選択必修科目は英語以外の1外国語2単位を選択必修。
2）総合科目のうち自由選択については、本学部の総合科目の中から各授業科目区分ごとに定める卒業に必要な単位数を超えて修得した単位数を自由選択科目として履修したものとみなし、その単位数を自由選択科目の修得単位数とします。また、他学部の総合科目のうち、本学部と授業科目の名称が異なるものも含めることができます。
3）「Effective EnglishⅠ・Ⅱ」「Interactive EnglishⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」「Intensive EnglishⅠ・Ⅱ」は、「Basic EnglishⅠ・Ⅱ」「Practical EnglishⅠ」の全ての単位を修得した後に履修することができます。
なお、外国人留学生等にあっては、「総合日本語Ⅰ」及び「総合日本語Ⅱ」の単位を修得した場合は、上記履修前提科目（「Basic EnglishⅠ・Ⅱ」、「Practical EnglishⅠ」）のいずれかの単位修得に代えることができます。

※「Basic EnglishⅠ・Ⅱ」「Practical EnglishⅠ」…再履修者を対象とした集中授業を前学期及び後学期に開講します。

2　基礎教育科目　　【2019年度】

授業科目	単位数		毎週授業時間数								備考
			1年次		2年次		3年次		4年次		
	必修	選択	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	
学部共通科目											
微分積分Ⅰ	2		2								※5
微分積分Ⅱ	2			2							
線形代数Ⅰ	2		2								※5
線形代数Ⅱ	2			2							
物理学	2		2								
数学演習		1		2							
力学		2		2							※2
天文学		2	2								
物理学実験		1	3								※4
化学熱力学		2	2								
統計学		2	2								
計算機科学		2	2								
情報処理基礎論		2		2							※1　※3
航海システム概論		2	2								※1
電子機械工学入門		2	2								※2
基礎ゼミナール		1	集								
常微分方程式		2			2						
基礎数学		2				2					
電磁気学		2			2						
物質科学		2			2						
化学実験		1				3					
契約法		2				2					

・履修単位

卒業要件21単位

内訳　海事システム工学科　必修科目14単位　選択科目7単位
　　海洋電子機械工学科　必修科目14単位　選択科目7単位
　　流通情報工学科　必修科目12単位　選択科目9単位

・注意事項

※1　「情報処理基礎論」「航海システム概論」…海事システム工学科は必修
※2　「力学」「電子機械工学入門」…海洋電子機械工学科は必修
※3　「情報処理基礎論」…流通情報工学科は必修
※4　「物理学実験」…海洋電子機械工学科は前学期、海事システム工学科及び流通情報工学科は後学期に開設
※5　「微分積分Ⅰ」「線形代数Ⅰ」･･･再履修者を対象とした集中講義を2年次後学期に開設。ただし、原則として当該年度前学期に履修した2年学生が履修することができる。

3　専門科目

(1)　海事システム工学科　　【2019年度】

分野		授業科目	単位数 必修	単位数 選択	1年次 前学期	1年次 後学期	2年次 前学期	2年次 後学期	3年次 前学期	3年次 後学期	4年次 前学期	4年次 後学期 Ⅰ	4年次 後学期 Ⅱ	備考
基礎専門科目系		海事システム工学概論	2			2								
		電気工学	2			2								
		船舶基礎力学	2				2							
		電子通信工学	2				2							
		信号情報処理	2				2							
		アルゴリズム	2				2							
		大気環境学	2				2							
		抵抗推進論	2					2						
		計測工学Ⅰ	2					2						
		航海システムⅠ	2					2						
		運航管理	2						2					
		船体管理	2							2				
基盤数理系		ラプラス・フーリエ解析		2			2							
		最適化数学		2			2							
		確率論		2				2						
		振動と波動		2				2						
		複素解析		2				2						
		数値解析		2						2				
船舶管理系	船舶管理	海運経営論		2			2							
		安全工学		2				2						
		保険契約法		2						2				
		損害賠償法		2					2					
		海運実務論		2						2				
		海上危機管理論		2							2			
	海技士	海洋環境学		2				2						
		国際法		2				2						
		船舶運航論		2					2					
		輸送管理		2						2				
		海商法		2					2					
		組織管理論		2						2				
海事工学系	海事工学	信頼性工学		2			2							
		海事情報処理		2				2						
		通信ネットワーク		2				2						
		計測工学Ⅱ		2					2					
		船舶制御		2						2				
		舶用工業実務論		2						2				
	海技士	船体構造論		2				2						
		浮体運動論		2						2				
		航海システムⅡ		2					2					
		航海システムⅢ		2						2				
		制御工学		2					2					
		マリナーズファクターと安全運航		2							2			
		機関システム工学概論		2							2			
実験・演習・実習（＊注）	実験演習	海洋開発環境エネルギー概論		3					集					
		キャリア形成論		2			集							
		国際輸送実務論		2						2				※2021年度のみ開講
		職業指導（商船）		2							2			※4
		職業指導（工業）		2							2			※5
		商船科指導法Ⅰ		2					2					※4
		商船科指導法Ⅱ		2						2				※4
		工業科指導法Ⅰ		2					2					※5
		工業科指導法Ⅱ		2						2				※5
		海事システム工学実験演習Ⅰ	2						6					
		海事システム工学実験演習Ⅱ	2						6					
		海事システム工学実験演習Ⅲ	2							6				
		海事システム工学実験演習Ⅳ	2							6				
		海事システム工学ゼミナールⅠ	1					2						
		海事システム工学ゼミナールⅡ	1						2					
		海事システム工学ゼミナールⅢ	1							2				
		船舶実験（汐路丸）	2						集					
		卒業研究	5								集			

(1)　海事システム工学科　　【2019年度】

分野		授業科目	単位数 必修	単位数 選択	毎週授業時間数 1年次 前学期	1年次 後学期	2年次 前学期	2年次 後学期	3年次 前学期	3年次 後学期	4年次 前学期	4年次 後学期 Ⅰ	4年次 後学期 Ⅱ	備考
実験・演習・実習（＊注）	実習	海洋実習	1		集									
		短艇実習Ⅰ	1		1.5	1.5								
		短艇実習Ⅱ	1				3							
		学外実習		1					集					
		短期学外実習Ⅰ（海外）		1			集		集					
		短期学外実習Ⅱ（海外）		1			集		集					
		長期学外実習Ⅰ（海外）		2			集		集					
		長期学外実習Ⅱ（海外）		2			集		集					
		船舶実習Ⅰ	3		集			集						
資格・海技士（＊注）		航海英語Ⅰ		2					2					※1
		航海英語Ⅱ		2						2				※1
		海事法規		2					2					
		海上無線法規		2							2			
		船舶医学		2							2			
		Topics in Maritime Linguistics		2							2			※1
		国際海事訓練セミナー		1							集			
		海事教育技法		2							2			
		海事システム工学実験演習Ⅴ		4							12			※2
		船舶実習Ⅱ		2								集		※2
		船舶実習Ⅲ		5									集	※2

履修単位

海事システム工学科
(1)船舶管理系　卒業要件74単位　　内訳　必修科目48単位　選択科目26単位
　選択科目内訳　船舶管理系から22単位、基盤数理系から4単位
(2)海事工学系　卒業要件74単位　　内訳　必修科目48単位　選択科目26単位
　選択科目内訳　海事工学系から22単位、基盤数理系から4単位
2年次より、上記(1)船舶管理系と(2)海事工学系の2系統の選択科目が開講されるので、2つの系のいずれかを選択すること。なお、船舶管理系又は海事工学系の修得単位数の多い系の単位が卒業要件単位となり、修得単位数の少ない系の単位はオーバー単位となるので注意すること。

※1　「航海英語Ⅰ・Ⅱ」及び「Topics in Maritime Linguistics」は、以下の履修前提科目を全て修得した後でなければ履修することができません。
【履修前提科目】
「Basic EnglishⅠ」「Basic EnglishⅡ」「Practical EnglishⅠ」
ただし、外国人留学生等にあっては、上記履修前提科目（「Basic EnglishⅠ・Ⅱ」「Practical EnglishⅠ」）の修得に代えて、「総合日本語Ⅰ」及び「総合日本語Ⅱ」を修得した場合は、履修前提科目の内1科目（「Basic EnglishⅠ・Ⅱ」「Practical EnglishⅠ」の内1科目）を修得すれば履修することができます。

※2　「海事システム工学実験演習Ⅴ」、「船舶実習Ⅱ」及び「船舶実習Ⅲ」は、以下の履修前提科目を全て修得した後でなければ履修することができません。
【履修前提科目】
「船舶基礎力学」「大気環境学」「計測工学Ⅰ」「運航管理」「海商法」「海事法規」
「船舶実験（汐路丸）」「船体管理」「航海システムⅢ」「航海英語Ⅱ」

※3　実験・演習・実習分野の選択科目13科目及び資格・海技士の11科目は、卒業要件に含めない。

※4　高等学校教諭一種免許状（商船）を取得するためには、「職業指導（商船）」、「商船科指導法Ⅰ」、「商船科指導法Ⅱ」の単位を修得すること。

※5　高等学校教諭一種免許状（工業）を取得するためには、「職業指導（工業）」、「工業科指導法Ⅰ」、「工業科指導法Ⅱ」の単位を修得すること。

また、他学部・他学科科目を修得してもオーバー単位となり卒業要件単位数には算入されません。

(2)　海洋電子機械工学科　　【2019年度】

分野	授業科目	単位数 機関システム工学コース 必修	単位数 機関システム工学コース 選択	単位数 制御システム工学コース 必修	単位数 制御システム工学コース 選択	毎週授業時間数 1年次 前学期	1年次 後学期	2年次 前学期	2年次 後学期	3年次 前学期	3年次 後学期	4年次 前学期	4年次 後学期 I	4年次 後学期 II	
機関系	機関システム工学入門	2		2			2								
	ターボ動力工学Ⅰ	2		2					2						
	ターボ動力工学Ⅱ		2		2					2					
	ガスタービン工学		2		2						2				
	内燃機関工学Ⅰ	2		2					2						
	内燃機関工学Ⅱ		2		2					2					
	エネルギー工学	2		2						2					
	海洋流体工学		2		2						2				
	原子力機関工学		2		2						2				
	補助機械工学	2		2					2						
	冷凍空調工学		2		2					2					
	流体機械工学		2		2						2				
	電気工学	2		2					2						
	電気機器学		2		2					2					
	電気推進基礎論		2		2							2			
	機関システム管理工学		2		2						2				
機械系	材料力学	2		2				2							
	機械力学	2		2					2						
	トライボロジー		2		2						2				
	金属材料学	2		2				2							
	環境材料学		2		2				2						
	工業熱力学	2		2				2							
	伝熱工学		2		2				2						
	流体工学	2		2				2							
	機械設計製図	2		2						3	3				
	機械加工学		2		2		2								
	材料物理工学		2		2					2					
	計算物理学		2		2						2				
電子・制御系	ロボット工学Ⅰ	2		2						2					
	ロボット工学Ⅱ		2		2						2				
	水中機器学		2		2							2			
	ソフトウェア工学		2		2					2					
	制御工学Ⅰ	2		2					2						
	制御工学Ⅱ		2		2					2					
	応用制御工学		2		2						2				
	基礎電子工学	2		2				2							
	半導体工学		2	2						2					
	電子回路論		2		2						2				
	振動と波動		2		2				2						
	計測工学		2		2					2					
	化学エネルギー変換工学		2		2						2				
その他 A	船舶工学Ⅰ		2		2			2							
	船舶工学Ⅱ		2		2				2						
	船舶医学		2		2							2			
	機関英語Ⅰ		2		2					2					
	機関英語Ⅱ		2								2				
	海事法概論		2		2							2			
	国際法		2		2						2				
	海運経営論		2		2					2					
	海運実務論		2		2						2				
	国際輸送実務論		2		2						2				※2021年度のみ開講
その他 B	信号情報処理		2		2					2					
	信頼性工学		2		2					2					
	ラプラス・フーリエ解析		2		2			2							
	確率論		2		2				2						
	最適化数学		2		2			2							
	複素解析		2		2				2						
	データ構造とアルゴリズム		2		2			2							
	情報数学		2		2					2					
	数値解析		2		2						2				
	舶用工業実務論		2		2						2				
	海洋開発環境エネルギー概論		3		3					集					

(2)　海洋電子機械工学科　　【2019年度】

分野	授業科目	単位数				毎週授業時間数									
		機関システム工学コース		制御システム工学コース		1年次		2年次		3年次		4年次			
		必修	選択	必修	選択	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期 Ⅰ	後学期 Ⅱ	
実験・実習等	電子機械工学実習	2		2				3	3						
	電子機械工学実験	2		2						3	3				
	制御システム工学演習			1							集				
	材料・機械力学演習	1		1						2					
	熱流体工学演習	1		1							2				
	船舶実験（汐路丸）	1										集			
				1							集				
	電子機械工学ゼミナール	1		1							2				
	キャリア形成論		2		2			集							
	学外実習		1		1			㊗集		集					
	短期学外実習Ⅰ（海外）		1		1			㊗集		集					
	短期学外実習Ⅱ（海外）		1		1			㊗集		集					
	長期学外実習Ⅰ（海外）		2		2			㊗集		集					
	長期学外実習Ⅱ（海外）		2		2			㊗集		集					
	卒業研究	5		5											
	海洋実習	1		1		集									
	短艇実習	1		1		1.5	1.5								
	船舶実習Ⅰ	3		3		集			集						
	船舶実習Ⅱ	2									集				
	船舶実習Ⅲ		5											集	
	機関実務実習		1									集			
	職業指導（商船）		2									2			※3
	職業指導（工業）				2							2			※4
	商船科指導法Ⅰ		2							2					※3
	商船科指導法Ⅱ		2								2				※3
	工業科指導法Ⅰ				2					2					※4
	工業科指導法Ⅱ				2						2				※4

履修単位

海洋電子機械工学科

機関システム工学コース　　卒業要件74単位　　内訳　必修科目50単位　選択科目24単位

選択科目内訳　機関系分野から6単位
その他A分野から6単位
分野を問わず12単位

制御システム工学コース　　卒業要件74単位　　内訳　必修科目51単位　選択科目23単位

選択科目内訳　機械系分野から4単位
電子・制御系分野から6単位
その他B分野から6単位
分野を問わず7単位

選択科目の単位は他コース、他学科及び他学部の専門科目6単位を含むことができます。
なお、外国人留学生等にあっては、他学部の専門科目に振り替えることができる同学部の外国人留学生代替科目の単位を含むことができます。
ただし、他学部の専門科目で、同学部において卒業に必要な単位数に含まない授業科目を除きます。

※1　「海洋開発環境エネルギー概論」「短期学外実習Ⅱ（海外）」「長期学外実習Ⅱ（海外）」「機関実務実習」「職業指導（商船）」「職業指導（工業）」「商船科指導法Ⅰ」「商船科指導法Ⅱ」「工業科指導法Ⅰ」「工業科指導法Ⅱ」は、卒業要件に含めない。

※2　他学部開講科目の「海外派遣キャリア演習Ⅰ」及び「海外派遣キャリア演習Ⅱ」は、卒業要件に含めない。

※3　高等学校教諭一種免許状（商船）を取得するためには、「職業指導（商船）」「商船科指導法Ⅰ」「商船科指導法Ⅱ」の単位を修得すること。

※4　高等学校教諭一種免許状（工業）を取得するためには、「職業指導（工業）」「工業科指導法Ⅰ」「工業科指導法Ⅱ」の単位を修得すること。

(3)　流通情報工学科　　【2019年度】

授業科目	単位数		毎週授業時間数									備考
			1年次		2年次		3年次		4年次			
	必修	選択	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期 Ⅰ	後学期 Ⅱ	
ロジスティクス概論	2		2									
物流施設計画学		2		2								
コンテナ輸送工学	2			2								
物流管理工学	2				2							
物流リスク工学		2			2							
流通最適化工学	2					2						
流通基盤計画学	2					2						
港湾環境工学		2					2					
物流システム工学		2				2						
流通オペレーションズ・リサーチ		2					2					
作業管理工学		2					2					
交通計画学		2					2					
流通データ分析		2						2				
通関実務論		2					2					
物流シミュレーション工学		2					2					
基礎プログラミング演習	1			2								
応用プログラミング演習	1					2						
アルゴリズム設計	2				2							
流通情報システム	2					2						
認知情報科学		2					2					
情報数学		2					2					
データ構造とアルゴリズム	2				2							
最適化数学		2			2							
確率論	2					2						
数値解析		2						2				
物流経済論		2				2						
国際経済論	2					2						
交通経済論	2				2							
国際交通論		2					2					
都市交通論	2							2				
流通経済論	2				2							
流通チャネル論		2						2				
産業政策論	2					2						
産業経済論		2					2					
保険契約法		2						2				
損害賠償法		2					2					
マーケティング論		2						2				
流通情報工学ゼミナールⅠ	1						2					
流通情報工学ゼミナールⅡ	1							2				
流通情報工学実験	1					3						
流通情報工学演習	1						2					
卒業研究	5											
キャリア形成論		2			集							
学外実習		1			㊦集		集					
短期学外実習Ⅰ（海外）		1			㊦集		集					
短期学外実習Ⅱ（海外）		1			㊦集		集					
長期学外実習Ⅰ（海外）		2			㊦集		集					
長期学外実習Ⅱ（海外）		2			㊦集		集					
職業指導（工業）		2							2			※3
工業科指導法Ⅰ		2					2					※3
工業科指導法Ⅱ		2						2				※3
ラプラス・フーリエ解析		2			2							
複素解析		2				2						
安全管理学		2							2			
衛星測位工学		2					2					
安全工学		2					2					
国際輸送実務論		2						2				※2021年度のみ開講
舶用工業実務論		2						2				
海洋開発環境エネルギー概論		3					集					

履修単位	
	流通情報工学科　　卒業要件74単位　　内訳　必修科目39単位　選択科目35単位 選択科目の単位は他コース、他学科及び他学部の専門科目6単位を含むことができます。 なお、外国人留学生等にあっては、他学部の専門科目に振り替えることができる同学部の外国人留学生代替科目の単位を含むことができます。 ただし、他学部の専門科目で、同学部において卒業に必要な単位数に含まない授業科目を除きます。 ※1「海洋開発環境エネルギー概論」　「職業指導（工業）」「工業科指導法Ⅰ」「工業科指導法Ⅱ」は、卒業要件に含めない。 ※2　他学部開講科目の「海外派遣キャリア演習Ⅰ」及び「海外派遣キャリア演習Ⅱ」は、卒業要件に含めない。 ※3　高等学校教諭一種免許状（工業）を取得するためには、「職業指導（工業）」「工業科指導法Ⅰ」「工業科指導法Ⅱ」の単位を修得すること。

授業科目及び単位数（2020年度入学者）※商船教員養成コースを除く

1　総合科目　　【2020年度】

授業科目	単位数		毎週授業時間数								備考
			1年次		2年次		3年次		4年次		
	必修	選択	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	
共通導入科目											
フレッシュマンセミナー	1		集								
海洋生命科学概論	1		1								
海洋工学概論	1		1								
海洋資源環境学概論	1		1								
情報リテラシー	2		2								
日本語表現法	2			2							
文化学系											
文化人類学		2			2						4単位以上
民族誌		2				2					
文学		2					2				
歴史学		2						2			
水中考古学		2					2				
哲学・科学論系											
哲学		2	2								4単位以上
論理学		2			2						
倫理学		2						2			
心理学		2		2							
科学論		2				2					
社会科学系											
経済学		2		2							4単位以上
民法		2			2						
日本国憲法		2		2							
国際政治学		2				2					
社会学		2					2				
健康・スポーツ系											
スポーツⅠ	1		2								2単位以上
スポーツⅡ	1			2							
健康科学		2		2							
生涯スポーツⅠ		1			集						
生涯スポーツⅡ		1				集					
外国語系											
Basic EnglishⅠ	1		2								※
Basic EnglishⅡ	1			2							※
Practical EnglishⅠ	1		2								※
Practical EnglishⅡ	1			2							
Effective EnglishⅠ		1			2		②		②		
Effective EnglishⅡ		1				2		②			○数字は複数年次開設
Interactive EnglishⅠ		1			2		②		②		
Interactive EnglishⅡ		1				2		②			
Interactive EnglishⅢ		1			2		②		②		
Interactive EnglishⅣ		1				2		②			
Intensive EnglishⅠ		1			2		②		②		
Intensive EnglishⅡ		1				2		②			
ドイツ語Ⅰ		1	2								
ドイツ語Ⅱ		1		2							
ドイツ語Ⅲ		1			2						
ドイツ語Ⅳ		1				2					必修4単位
フランス語Ⅰ		1	2								
フランス語Ⅱ		1		2							選択必修2単位
フランス語Ⅲ		1			2						
フランス語Ⅳ		1				2					選択2単位
スペイン語Ⅰ		1	2								
スペイン語Ⅱ		1		2							を含め合計8単位
スペイン語Ⅲ		1			2						
スペイン語Ⅳ		1				2					以上
中国語Ⅰ		1	2								
中国語Ⅱ		1		2							
中国語Ⅲ		1			2						
中国語Ⅳ		1				2					
自由選択											4単位以上

・履修単位 ・注意事項	卒業要件34単位　　内訳　必修科目14単位　選択必修科目2単位　選択科目18単位 備考　1）外国語系の選択必修科目は英語以外の1外国語2単位を選択必修。 2）総合科目のうち自由選択については、本学部の総合科目の中から各授業科目区分ごとに定める卒業に必要な単位数を超えて修得した単位数を自由選択科目として履修したものとみなし、その単位数を自由選択科目の修得単位数とします。また、他学部の総合科目のうち、本学部と授業科目の名称が異なるものも含めることができます。 3）「Effective EnglishⅠ・Ⅱ」「Interactive EnglishⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」「Intensive EnglishⅠ・Ⅱ」は、「Basic EnglishⅠ・Ⅱ」「Practical EnglishⅠ」の全ての単位を修得した後に履修することができます。 なお、外国人留学生等にあっては、「総合日本語Ⅰ」及び「総合日本語Ⅱ」の単位を修得した場合は、上記履修前提科目（「Basic EnglishⅠ・Ⅱ」、「Practical EnglishⅠ」）のいずれかの単位修得に代えることができます。 ※「Basic EnglishⅠ・Ⅱ」「Practical EnglishⅠ」…再履修者を対象とした集中授業を前学期及び後学期に開講します。

2　基礎教育科目　　【2020年度】

授業科目	単位数		毎週授業時間数								備考
			1年次		2年次		3年次		4年次		
	必修	選択	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	
学部共通科目											
微分積分Ⅰ	2		2								※5
微分積分Ⅱ	2			2							
線形代数Ⅰ	2		2								※5
線形代数Ⅱ	2			2							
物理学	2		2								
数学演習		1		2							
力学		2		2							※2
天文学		2	2								
物理学実験		1	3								※4
化学熱力学		2	2								
統計学		2	2								
計算機科学		2	2								
情報処理基礎論		2		2							※1　※3
航海システム概論		2	2								※1
電子機械工学入門		2	2								※2
基礎ゼミナール		1	集								
常微分方程式		2			2						
電磁気学		2			2						
物質科学		2			2						
化学実験		1				3					
契約法		2				2					

・履修単位

卒業要件21単位

内訳　海事システム工学科　必修科目14単位　選択科目7単位
　　海洋電子機械工学科　必修科目14単位　選択科目7単位
　　流通情報工学科　必修科目12単位　選択科目9単位

・注意事項

※1　「情報処理基礎論」「航海システム概論」…海事システム工学科は必修
※2　「力学」「電子機械工学入門」…海洋電子機械工学科は必修
※3　「情報処理基礎論」…流通情報工学科は必修
※4　「物理学実験」…海洋電子機械工学科は前学期、海事システム工学科及び流通情報工学科は後学期に開設
※5　「微分積分Ⅰ」「線形代数Ⅰ」･･･再履修者を対象とした集中講義を2年次後学期に開設。ただし、原則として当該年度前学期に履修した2年学生が履修することができる。

3　専門科目

(1)　海事システム工学科

【2020年度】

分野		授業科目	単位数 必修	単位数 選択	1年次 前学期	1年次 後学期	2年次 前学期	2年次 後学期	3年次 前学期	3年次 後学期	4年次 前学期	4年次 後学期 Ⅰ	4年次 後学期 Ⅱ	備考
基礎専門科目系		海事システム工学概論	2			2								
		電気工学	2			2								
		船舶基礎力学	2				2							
		電子通信工学	2				2							
		信号情報処理	2				2							
		アルゴリズム	2				2							
		大気環境学	2				2							
		抵抗推進論	2					2						
		計測工学Ⅰ	2					2						
		航海システムⅠ	2					2						
		運航管理	2						2					
		船体管理	2							2				
基盤数理系		ラプラス・フーリエ解析		2			2							
		最適化数学		2			2							
		確率論		2				2						
		振動と波動		2				2						
		複素解析		2				2						
		数値解析		2						2				
船舶管理系	船舶管理	海運経営論		2			2							
		安全工学		2				2						
		保険契約法		2						2				
		損害賠償法		2					2					
		海運実務論		2						2				
		海上危機管理論		2							2			
	海技士	海洋環境学		2				2						
		国際法		2				2						
		船舶運航論		2					2					
		輸送管理		2						2				
		海商法		2					2					
		組織管理論		2						2				
海事工学系	海事工学	信頼性工学		2			2							
		海事情報処理		2				2						
		通信ネットワーク		2				2						
		計測工学Ⅱ		2					2					
		船舶制御		2						2				
		舶用工業実務論		2						2				
	海技士	船体構造論		2				2						
		浮体運動論		2						2				
		航海システムⅡ		2					2					
		航海システムⅢ		2						2				
		制御工学		2					2					
		マリナーズファクターと安全運航		2							2			
		機関システム工学概論		2							2			
実験・演習・実習（＊注）	実験演習	海洋開発環境エネルギー概論		3					集					
		キャリア形成論		2			集							
		職業指導（商船）		2							2			※4
		職業指導（工業）		2							2			※5
		商船科指導法Ⅰ		2					2					※4
		商船科指導法Ⅱ		2						2				※4
		工業科指導法Ⅰ		2					2					※5
		工業科指導法Ⅱ		2						2				※5
		海事システム工学実験演習Ⅰ	2						6					
		海事システム工学実験演習Ⅱ	2						6					
		海事システム工学実験演習Ⅲ	2							6				
		海事システム工学実験演習Ⅳ	2							6				
		海事システム工学ゼミナールⅠ	1					2						
		海事システム工学ゼミナールⅡ	1						2					
		海事システム工学ゼミナールⅢ	1							2				
		船舶実験（汐路丸）	2						集					
		卒業研究	5								集			

(1)　海事システム工学科　　【2020年度】

分野		授業科目	単位数 必修	単位数 選択	毎週授業時間数 1年次 前学期	1年次 後学期	2年次 前学期	2年次 後学期	3年次 前学期	3年次 後学期	4年次 前学期	4年次 後学期 Ⅰ	4年次 後学期 Ⅱ	備考
実験・演習・実習（＊注）	実習	海洋実習	1		集									
		短艇実習Ⅰ	1		1.5	1.5								
		短艇実習Ⅱ	1				3							
		学外実習		1					集					
		短期学外実習Ⅰ（海外）		1				集		集				
		短期学外実習Ⅱ（海外）		1				集		集				
		長期学外実習Ⅰ（海外）		2				集		集				
		長期学外実習Ⅱ（海外）		2				集		集				
		船舶実習Ⅰ	3		集			集						
資格・海技士（＊注）		航海英語Ⅰ		2					2					※1
		航海英語Ⅱ		2						2				※1
		海事法規		2					2					
		海上無線法規		2							2			
		船舶医学		2							2			
		Topics in Maritime Linguistics		2							2			※1
		国際海事訓練セミナー		1							集			
		海事教育技法		2							2			
		海事システム工学実験演習Ⅴ		4							12			※2
		船舶実習Ⅱ		2								集		※2
		船舶実習Ⅲ		5									集	※2

履修単位

海事システム工学科
(1)船舶管理系　卒業要件74単位　　内訳　必修科目48単位　選択科目26単位
選択科目内訳　船舶管理系から22単位、基盤数理系から4単位
(2)海事工学系　卒業要件74単位　　内訳　必修科目48単位　選択科目26単位
選択科目内訳　海事工学系から22単位、基盤数理系から4単位
2年次より、上記(1)船舶管理系と(2)海事工学系の2系統の選択科目が開講されるので、2つの系のいずれかを選択すること。なお、船舶管理系又は海事工学系の修得単位数の多い系の単位が卒業要件単位となり、修得単位数の少ない系の単位はオーバー単位となるので注意すること。

※1　「航海英語Ⅰ・Ⅱ」及び「Topics in Maritime Linguistics」は、以下の履修前提科目を全て修得した後でなければ履修することができません。
【履修前提科目】
「Basic EnglishⅠ」「Basic EnglishⅡ」「Practical EnglishⅠ」
ただし、外国人留学生等にあっては、上記履修前提科目（「Basic EnglishⅠ・Ⅱ」「Practical EnglishⅠ」）の修得に代えて、「総合日本語Ⅰ」及び「総合日本語Ⅱ」を修得した場合は、履修前提科目の内1科目（「Basic EnglishⅠ・Ⅱ」「Practical EnglishⅠ」の内1科目）を修得すれば履修することができます。

※2　「海事システム工学実験演習Ⅴ」、「船舶実習Ⅱ」及び「船舶実習Ⅲ」は、以下の履修前提科目を全て修得した後でなければ履修することができません。
【履修前提科目】
「船舶基礎力学」「大気環境学」「計測工学Ⅰ」「運航管理」「海商法」「海事法規」
「船舶実験（汐路丸）」「船体管理」「航海システムⅢ」「航海英語Ⅱ」

※3　実験・演習・実習分野の選択科目13科目及び資格・海技士の11科目は、卒業要件に含めない。

※4　高等学校教諭一種免許状（商船）を取得するためには、「職業指導（商船）」、「商船科指導法Ⅰ」、「商船科指導法Ⅱ」の単位を修得すること。

※5　高等学校教諭一種免許状（工業）を取得するためには、「職業指導（工業）」、「工業科指導法Ⅰ」、「工業科指導法Ⅱ」の単位を修得すること。

また、他学部・他学科科目を修得してもオーバー単位となり卒業要件単位数には算入されません。

(2)　海洋電子機械工学科　　【2020年度】

分野		授業科目	単位数				毎週授業時間数									
			機関システム工学コース		制御システム工学コース		1年次		2年次		3年次		4年次			
			必修	選択	必修	選択	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期 I	後学期 II	
機関系		機関システム工学入門	2		2			2								
		ターボ動力工学Ⅰ	2		2					2						
		ターボ動力工学Ⅱ		2		2					2					
		ガスタービン工学		2		2						2				
		内燃機関工学Ⅰ	2		2					2						
		内燃機関工学Ⅱ		2		2					2					
		エネルギー工学	2		2						2					
		海洋流体工学		2		2						2				
		原子力機関工学		2		2						2				
		補助機械工学	2		2					2						
		冷凍空調工学		2		2					2					
		流体機械工学		2		2						2				
		電気工学	2		2					2						
		電気機器学		2		2					2					
		電気推進基礎論		2		2							2			
		機関システム管理工学		2		2						2				
機械系		材料力学	2		2				2							
		機械力学	2		2					2						
		トライボロジー		2		2						2				
		金属材料学	2		2				2							
		環境材料学		2		2				2						
		工業熱力学	2		2				2							
		伝熱工学		2		2				2						
		流体工学	2		2				2							
		機械設計製図	2		2						3	3				
		機械加工学		2		2		2								
		材料物理工学		2		2					2					
		計算物理学		2		2						2				
電子・制御系		ロボット工学Ⅰ	2		2						2					
		ロボット工学Ⅱ		2		2						2				
		水中機器学		2		2							2			
		ソフトウェア工学		2		2					2					
		制御工学Ⅰ	2		2					2						
		制御工学Ⅱ		2		2					2					
		応用制御工学		2		2						2				
		基礎電子工学	2		2				2							
		半導体工学		2	2						2					
		電子回路論		2		2						2				
		振動と波動		2		2				2						
		計測工学		2		2					2					
		化学エネルギー変換工学		2		2						2				
その他	A	船舶工学Ⅰ		2		2			2							
		船舶工学Ⅱ		2		2				2						
		船舶医学		2		2							2			
		機関英語Ⅰ		2		2					2					
		機関英語Ⅱ		2								2				
		海事法概論		2		2							2			
		国際法		2		2						2				
		海運経営論		2		2					2					
		海運実務論		2		2						2				
	B	信号情報処理		2		2					2					
		信頼性工学		2		2					2					
		ラプラス・フーリエ解析		2		2			2							
		確率論		2		2				2						
		最適化数学		2		2			2							
		複素解析		2		2				2						
		データ構造とアルゴリズム		2		2			2							
		機械学習		2		2					2					
		数値解析		2		2						2				
		舶用工業実務論		2		2						2				
		海洋開発環境エネルギー概論		3		3					集					

(2)　海洋電子機械工学科　　【2020年度】

分野	授業科目	単位数				毎週授業時間数									
		機関システム工学コース		制御システム工学コース		1年次		2年次		3年次		4年次			
		必修	選択	必修	選択	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期 Ⅰ	後学期 Ⅱ	
実験・実習等	電子機械工学実習	2		2				3	3						
	電子機械工学実験	2		2						3	3				
	制御システム工学演習			1							集				
	材料・機械力学演習	1		1						2					
	熱流体工学演習	1		1							2				
	船舶実験（汐路丸）	1										集			
				1							集				
	電子機械工学ゼミナール	1		1							2				
	キャリア形成論		2		2			集							
	学外実習		1		1			㊗集		集					
	短期学外実習Ⅰ（海外）		1		1			㊗集		集					
	短期学外実習Ⅱ（海外）		1		1			㊗集		集					
	長期学外実習Ⅰ（海外）		2		2			㊗集		集					
	長期学外実習Ⅱ（海外）		2		2			㊗集		集					
	卒業研究	5		5											
	海洋実習	1		1		集									
	短艇実習	1		1		1.5	1.5								
	船舶実習Ⅰ	3		3		集			集						
	船舶実習Ⅱ	2									集				
	船舶実習Ⅲ		5											集	
	機関実務実習		1									集			
	職業指導（商船）		2									2			※3
	職業指導（工業）				2							2			※4
	商船科指導法Ⅰ		2							2					※3
	商船科指導法Ⅱ		2								2				※3
	工業科指導法Ⅰ				2					2					※4
	工業科指導法Ⅱ				2						2				※4

履修単位

海洋電子機械工学科

機関システム工学コース　　卒業要件74単位　　内訳　必修科目50単位　選択科目24単位

選択科目内訳　機関系分野から6単位
その他A分野から6単位
分野を問わず12単位

制御システム工学コース　　卒業要件74単位　　内訳　必修科目51単位　選択科目23単位

選択科目内訳　機械系分野から4単位
電子・制御系分野から6単位
その他B分野から6単位
分野を問わず7単位

選択科目の単位は他コース、他学科及び他学部の専門科目6単位を含むことができます。
なお、外国人留学生等にあっては、他学部の専門科目に振り替えることができる同学部の外国人留学生代替科目の単位を含むことができます。
ただし、他学部の専門科目で、同学部において卒業に必要な単位数に含まない授業科目を除きます。

※1　「海洋開発環境エネルギー概論」「短期学外実習Ⅱ（海外）」「長期学外実習Ⅱ（海外）」「機関実務実習」「職業指導（商船）」「職業指導（工業）」「商船科指導法Ⅰ」「商船科指導法Ⅱ」「工業科指導法Ⅰ」「工業科指導法Ⅱ」は、卒業要件に含めない。

※2　他学部開講科目の「海外派遣キャリア演習Ⅰ」及び「海外派遣キャリア演習Ⅱ」は、卒業要件に含めない。

※3　高等学校教諭一種免許状（商船）を取得するためには、「職業指導（商船）」「商船科指導法Ⅰ」「商船科指導法Ⅱ」の単位を修得すること。

※4　高等学校教諭一種免許状（工業）を取得するためには、「職業指導（工業）」「工業科指導法Ⅰ」「工業科指導法Ⅱ」の単位を修得すること。

(3)　流通情報工学科　　【2020年度】

授業科目	単位数		毎週授業時間数									備考
			1年次		2年次		3年次		4年次			
	必修	選択	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期 Ⅰ	後学期 Ⅱ	
ロジスティクス概論	2		2									
物流施設計画学		2		2								
コンテナ輸送工学	2			2								
物流管理工学	2				2							
物流リスク工学		2			2							
流通最適化工学	2					2						
流通基盤計画学	2					2						
港湾環境工学		2					2					
データベース工学		2				2						
流通オペレーションズ・リサーチ		2					2					
作業管理工学		2					2					
交通計画学		2					2					
流通データ分析		2						2				
通関実務論		2					2					
データサイエンス		2					2					
基礎プログラミング演習	1			2								
データサイエンス演習	1					2						
応用プログラミング	2				2							
流通情報システム	2					2						
機械学習		2					2					
データ構造とアルゴリズム	2				2							
最適化数学		2			2							
確率論	2					2						
数値解析		2						2				
物流経済論		2				2						
国際経済論	2					2						
交通経済論	2				2							
国際交通論		2					2					
都市交通論	2							2				
流通経済論	2				2							
流通チャネル論		2						2				
産業政策論	2					2						
産業経済論		2					2					
保険契約法		2						2				
損害賠償法		2					2					
マーケティング論		2						2				
流通情報工学ゼミナールⅠ	1						2					
流通情報工学ゼミナールⅡ	1							2				
流通情報工学実験	1					3						
流通情報工学演習	1						2					
卒業研究	5											
キャリア形成論		2			集							
学外実習		1			㊐集		集					
短期学外実習Ⅰ（海外）		1			㊐集		集					
短期学外実習Ⅱ（海外）		1			㊐集		集					
長期学外実習Ⅰ（海外）		2			㊐集		集					
長期学外実習Ⅱ（海外）		2			㊐集		集					
職業指導（工業）		2							2			※3
工業科指導法Ⅰ		2					2					※3
工業科指導法Ⅱ		2						2				※3
ラプラス・フーリエ解析		2			2							
複素解析		2				2						
通信ネットワーク		2						2				
衛星測位工学		2					2					
安全工学		2					2					
舶用工業実務論		2						2				
海洋開発環境エネルギー概論		3					集					

履修単位	
	流通情報工学科　　卒業要件74単位　　内訳　必修科目39単位　選択科目35単位 選択科目の単位は他コース、他学科及び他学部の専門科目6単位を含むことができます。 なお、外国人留学生等にあっては、他学部の専門科目に振り替えることができる同学部の外国人留学生代替科目の単位を含むことができます。 ただし、他学部の専門科目で、同学部において卒業に必要な単位数に含まない授業科目を除きます。 ※1「海洋開発環境エネルギー概論」「職業指導（工業）」「工業科指導法Ⅰ」「工業科指導法Ⅱ」は、卒業要件に含めない。 ※2　他学部開講科目の「海外派遣キャリア演習Ⅰ」及び「海外派遣キャリア演習Ⅱ」は、卒業要件に含めない。 ※3　高等学校教諭一種免許状（工業）を取得するためには、「職業指導（工業）」「工業科指導法Ⅰ」「工業科指導法Ⅱ」の単位を修得すること。

授業科目及び単位数（2021年度入学者）※商船教員養成コースを除く

1　総合科目　　【2021年度】

授業科目	単位数		毎週授業時間数								備考
			1年次		2年次		3年次		4年次		
	必修	選択	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	
共通導入科目											
フレッシュマンセミナー	1		集								
海洋生命科学概論	1		1								
海洋工学概論	1		1								
海洋資源環境学概論	1		1								
情報リテラシー	2		2								
日本語表現法	2			2							
文化学系											
文化人類学		2			2						4単位以上
民族誌		2				2					
文学		2					2				
歴史学		2						2			
水中考古学		2					2				
哲学・科学論系											
哲学		2	2								4単位以上
論理学		2			2						
倫理学		2						2			
心理学		2		2							
科学論		2				2					
社会科学系											
経済学		2		2							4単位以上
民法		2			2						
日本国憲法		2		2							
国際政治学		2				2					
社会学		2					2				
健康・スポーツ系											
スポーツⅠ	1		2								2単位以上
スポーツⅡ	1			2							
健康科学		2		2							
生涯スポーツⅠ		1			集						
生涯スポーツⅡ		1				集					
外国語系											
GLI演習Ⅰ	1				2						選択必修
GLI演習Ⅱ		1				2					
Basic EnglishⅠ	1		2								※
Basic EnglishⅡ	1			2							※
Practical EnglishⅠ	1		2								※
Practical EnglishⅡ	1			2							
Effective EnglishⅠ		1			2		②		②		
Effective EnglishⅡ		1				2		②			○数字は複数年次開設
Interactive EnglishⅠ		1			2		②		②		
Interactive EnglishⅡ		1				2		②			
Interactive EnglishⅢ		1			2		②		②		
Interactive EnglishⅣ		1				2		②			
Intensive EnglishⅠ		1			2		②		②		
Intensive EnglishⅡ		1				2		②			
ドイツ語Ⅰ		1	2								
ドイツ語Ⅱ		1		2							
ドイツ語Ⅲ		1			2						
ドイツ語Ⅳ		1				2					必修4単位
フランス語Ⅰ		1	2								
フランス語Ⅱ		1		2							選択必修2単位
フランス語Ⅲ		1			2						
フランス語Ⅳ		1				2					選択2単位
スペイン語Ⅰ		1	2								
スペイン語Ⅱ		1		2							を含め合計8単位
スペイン語Ⅲ		1			2						
スペイン語Ⅳ		1				2					以上
中国語Ⅰ		1	2								
中国語Ⅱ		1		2							
中国語Ⅲ		1			2						
中国語Ⅳ		1				2					
自由選択											4単位以上

・履修単位 ・注意事項	卒業要件35単位　　内訳　必修科目14単位　選択必修科目3単位　選択科目18単位 備考　1）外国語系の選択必修科目は「GLI演習Ⅰ」「GLI演習Ⅱ」のいずれか一方及び英語以外の1外国語2単位を選択必修。 2）総合科目のうち自由選択については、本学部の総合科目の中から各授業科目区分ごとに定める卒業に必要な単位数を超えて修得した単位数を自由選択科目として履修したものとみなし、その単位数を自由選択科目の修得単位数とします。また、他学部の総合科目のうち、本学部と授業科目の名称が異なるものも含めることができます。 3）「Effective EnglishⅠ・Ⅱ」「Interactive EnglishⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」「Intensive EnglishⅠ・Ⅱ」は、「Basic EnglishⅠ・Ⅱ」「Practical EnglishⅠ」の全ての単位を修得した後に履修することができます。 なお、外国人留学生等にあっては、「総合日本語Ⅰ」及び「総合日本語Ⅱ」の単位を修得した場合は、上記履修前提科目（「Basic EnglishⅠ・Ⅱ」、「Practical EnglishⅠ」）のいずれかの単位修得に代えることができます。 ※「Basic EnglishⅠ・Ⅱ」「Practical EnglishⅠ」…再履修者を対象とした集中授業を前学期及び後学期に開講します。

2　基礎教育科目　　【2021年度】

授業科目	単位数		毎週授業時間数								備考
			1年次		2年次		3年次		4年次		
	必修	選択	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	
学部共通科目											
微分積分Ⅰ	2		2								※5
微分積分Ⅱ	2			2							
線形代数Ⅰ	2		2								※5
線形代数Ⅱ	2			2							
物理学	2		2								
数学演習		1		2							
力学		2		2							※2
天文学		2	2								
物理学実験		1	3								※4
化学熱力学		2	2								
統計学		2	2								
計算機科学		2	2								
情報処理基礎論		2		2							※1　※3
航海システム概論		2	2								※1
電子機械工学入門		2	2								※2
基礎ゼミナール		1	集								
常微分方程式		2			2						
電磁気学		2			2						
物質科学		2			2						
化学実験		1				3					
契約法		2				2					

・履修単位

卒業要件21単位

内訳　海事システム工学科　必修科目14単位　選択科目7単位
　　海洋電子機械工学科　必修科目14単位　選択科目7単位
　　流通情報工学科　必修科目12単位　選択科目9単位

・注意事項

※1　「情報処理基礎論」「航海システム概論」…海事システム工学科は必修
※2　「力学」「電子機械工学入門」…海洋電子機械工学科は必修
※3　「情報処理基礎論」…流通情報工学科は必修
※4　「物理学実験」…海洋電子機械工学科は前学期、海事システム工学科及び流通情報工学科は後学期に開設
※5　「微分積分Ⅰ」「線形代数Ⅰ」･･･再履修者を対象とした集中講義を2年次後学期に開設。ただし、原則として当該年度前学期に履修した2年学生が履修することができる。

3　専門科目

(1)　海事システム工学科　　【2021年度】

分野		授業科目	単位数 必修	単位数 選択	1年次 前学期	1年次 後学期	2年次 前学期	2年次 後学期	3年次 前学期	3年次 後学期	4年次 前学期	4年次 後学期 Ⅰ	4年次 後学期 Ⅱ	備考
基礎専門科目系		海事システム工学概論	2			2								
		電気工学	2			2								
		船舶基礎力学	2				2							
		電子通信工学	2				2							
		信号情報処理	2				2							
		アルゴリズム	2				2							
		大気環境学	2				2							
		抵抗推進論	2					2						
		計測工学Ⅰ	2					2						
		航海システムⅠ	2					2						
		運航管理	2						2					
		船体管理	2							2				
基盤数理系		ラプラス・フーリエ解析		2			2							
		最適化数学		2			2							
		確率論		2				2						
		振動と波動		2				2						
		複素解析		2				2						
		数値解析		2						2				
船舶管理系	船舶管理	海運経営論		2			2							
		安全工学		2				2						
		保険契約法		2						2				
		損害賠償法		2					2					
		海運実務論		2						2				
		海上危機管理論		2							2			
	海技士	海洋環境学		2				2						
		国際法		2				2						
		船舶運航論		2					2					
		輸送管理		2						2				
		海商法		2					2					
		組織管理論		2						2				
海事工学系	海事工学	信頼性工学		2			2							
		海事情報処理		2				2						
		通信ネットワーク		2				2						
		計測工学Ⅱ		2					2					
		船舶制御		2						2				
		舶用工業実務論		2						2				
	海技士	船体構造論		2				2						
		浮体運動論		2						2				
		航海システムⅡ		2					2					
		航海システムⅢ		2						2				
		制御工学		2					2					
		マリナーズファクターと安全運航		2							2			
		機関システム工学概論		2							2			
実験・演習・実習（＊注）	実験演習	海洋開発環境エネルギー概論		3					集					
		キャリア形成論		2			集							
		職業指導（商船）		2							2			※4
		職業指導（工業）		2							2			※5
		商船科指導法Ⅰ		2					2					※4
		商船科指導法Ⅱ		2						2				※4
		工業科指導法Ⅰ		2					2					※5
		工業科指導法Ⅱ		2						2				※5
		海事システム工学実験演習Ⅰ	2						6					
		海事システム工学実験演習Ⅱ	2						6					
		海事システム工学実験演習Ⅲ	2							6				
		海事システム工学実験演習Ⅳ	2							6				
		海事システム工学ゼミナールⅠ	1					2						
		海事システム工学ゼミナールⅡ	1						2					
		海事システム工学ゼミナールⅢ	1							2				
		船舶実験Ⅰ（汐路丸）	1				集							
		船舶実験Ⅱ（汐路丸）	2						集					
		卒業研究	5								集			

(1)　海事システム工学科　　【2021年度】

分野		授業科目	単位数 必修	単位数 選択	毎週授業時間数 1年次 前学期	1年次 後学期	2年次 前学期	2年次 後学期	3年次 前学期	3年次 後学期	4年次 前学期	4年次 後学期 Ⅰ	4年次 後学期 Ⅱ	備考
実験・演習・実習（＊注）	実習	海洋実習	1		集									
		短艇実習	1		1.5	1.5								
		学外実習		1					集					
		短期学外実習Ⅰ（海外）		1			(集)		集					
		短期学外実習Ⅱ（海外）		1			(集)		集					
		長期学外実習Ⅰ（海外）		2			(集)		集					
		長期学外実習Ⅱ（海外）		2			(集)		集					
		船舶実習Ⅰ	3		集			集						
資格・海技士（＊注）		航海英語Ⅰ		2					2					※1
		航海英語Ⅱ		2						2				※1
		海事法規		2					2					
		海上無線法規		2							2			
		船舶医学		2							2			
		Topics in Maritime Linguistics		2							2			※1
		国際海事訓練セミナー		1							集			
		海事教育技法		2							2			
		海事システム工学実験演習Ⅴ		4							12			※2
		船舶実習Ⅱ		2								集		※2
		船舶実習Ⅲ		5									集	※2

履修単位

海事システム工学科
(1)船舶管理系　卒業要件74単位　　内訳　必修科目48単位　選択科目26単位
選択科目内訳　船舶管理系から22単位、基盤数理系から4単位
(2)海事工学系　卒業要件74単位　　内訳　必修科目48単位　選択科目26単位
選択科目内訳　海事工学系から22単位、基盤数理系から4単位
2年次より、上記(1)船舶管理系と(2)海事工学系の2系統の選択科目が開講されるので、2つの系のいずれかを選択すること。なお、船舶管理系又は海事工学系の修得単位数の多い系の単位が卒業要件単位となり、修得単位数の少ない系の単位はオーバー単位となるので注意すること。

※1　「航海英語Ⅰ・Ⅱ」及び「Topics in Maritime Linguistics」は、以下の履修前提科目を全て修得した後でなければ履修することができません。
【履修前提科目】
「Basic EnglishⅠ」「Basic EnglishⅡ」「Practical EnglishⅠ」
ただし、外国人留学生等にあっては、上記履修前提科目（「Basic EnglishⅠ・Ⅱ」「Practical EnglishⅠ」）の修得に代えて、「総合日本語Ⅰ」及び「総合日本語Ⅱ」を修得した場合は、履修前提科目の内1科目（「Basic EnglishⅠ・Ⅱ」「Practical EnglishⅠ」の内1科目）を修得すれば履修することができます。

※2　「海事システム工学実験演習Ⅴ」、「船舶実習Ⅱ」及び「船舶実習Ⅲ」は、以下の履修前提科目を全て修得した後でなければ履修することができません。
【履修前提科目】
「船舶基礎力学」「大気環境学」「計測工学Ⅰ」「運航管理」「海商法」「海事法規」
「船舶実験Ⅱ（汐路丸）」「船体管理」「航海システムⅢ」「航海英語Ⅱ」

※3　実験・演習・実習分野の選択科目13科目及び資格・海技士の11科目は、卒業要件に含めない。

※4　高等学校教諭一種免許状（商船）を取得するためには、「職業指導（商船）」、「商船科指導法Ⅰ」、「商船科指導法Ⅱ」の単位を修得すること。

※5　高等学校教諭一種免許状（工業）を取得するためには、「職業指導（工業）」、「工業科指導法Ⅰ」、「工業科指導法Ⅱ」の単位を修得すること。

また、他学部・他学科科目を修得してもオーバー単位となり卒業要件単位数には算入されません。

(2)　海洋電子機械工学科　　【2021年度】

分野	授業科目	単位数				毎週授業時間数									
		機関システム工学コース		制御システム工学コース		1年次		2年次		3年次		4年次			
		必修	選択	必修	選択	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期 I	後学期 II	
機関系	機関システム工学入門	2		2			2								
	ターボ動力工学 I	2		2					2						
	ターボ動力工学 II		2		2					2					
	ガスタービン工学		2		2						2				
	内燃機関工学 I	2		2					2						
	内燃機関工学 II		2		2					2					
	エネルギー工学	2		2						2					
	海洋流体工学		2		2						2				
	原子力機関工学		2		2						2				
	補助機械工学	2		2					2						
	冷凍空調工学		2		2					2					
	流体機械工学		2		2						2				
	電気工学	2		2					2						
	電気機器学		2		2					2					
	電気推進基礎論		2		2							2			
	機関システム管理工学		2		2						2				
機械系	材料力学	2		2				2							
	機械力学	2		2					2						
	トライボロジー		2		2						2				
	金属材料学	2		2				2							
	環境材料学		2		2				2						
	工業熱力学	2		2				2							
	伝熱工学		2		2				2						
	流体工学	2		2				2							
	機械設計製図	2		2						3	3				
	機械加工学		2		2		2								
	材料物理工学		2		2					2					
	計算物理学		2		2						2				
電子・制御系	ロボット工学 I	2		2						2					
	ロボット工学 II		2		2						2				
	水中機器学		2		2							2			
	ソフトウェア工学		2		2					2					
	制御工学 I	2		2					2						
	制御工学 II		2		2					2					
	応用制御工学		2		2						2				
	基礎電子工学	2		2				2							
	半導体工学		2	2						2					
	電子回路論		2		2						2				
	振動と波動		2		2				2						
	計測工学		2		2					2					
	化学エネルギー変換工学		2		2						2				
その他 A	船舶工学 I		2		2			2							
	船舶工学 II		2		2				2						
	船舶医学		2		2							2			
	機関英語 I		2		2					2					
	機関英語 II		2								2				
	海事法概論		2		2							2			
	国際法		2		2						2				
	海運経営論		2		2					2					
	海運実務論		2		2						2				
その他 B	信号情報処理		2		2					2					
	信頼性工学		2		2					2					
	ラプラス・フーリエ解析		2		2			2							
	確率論		2		2				2						
	最適化数学		2		2			2							
	複素解析		2		2				2						
	データ構造とアルゴリズム		2		2			2							
	機械学習		2		2					2					
	数値解析		2		2						2				
	舶用工業実務論		2		2						2				
	海洋開発環境エネルギー概論		3		3					集					

(2)　海洋電子機械工学科　　【2021年度】

分野	授業科目	単位数				毎週授業時間数									
		機関システム工学コース		制御システム工学コース		1年次		2年次		3年次		4年次			
		必修	選択	必修	選択	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期 Ⅰ	後学期 Ⅱ	
実験・実習等	電子機械工学実習	2		2				3	3						
	電子機械工学実験	2		2						3	3				
	制御システム工学演習			1							集				
	材料・機械力学演習	1		1						2					
	熱流体工学演習	1		1							2				
	船舶実験（汐路丸）	1										集			
				1							集				
	電子機械工学ゼミナール	1		1							2				
	キャリア形成論		2		2			集							
	学外実習		1		1			㊗集		集					
	短期学外実習Ⅰ（海外）		1		1			㊗集		集					
	短期学外実習Ⅱ（海外）		1		1			㊗集		集					
	長期学外実習Ⅰ（海外）		2		2			㊗集		集					
	長期学外実習Ⅱ（海外）		2		2			㊗集		集					
	卒業研究	5		5											
	海洋実習	1		1		集									
	短艇実習	1		1		1.5	1.5								
	船舶実習Ⅰ	3		3		集			集						
	船舶実習Ⅱ	2									集				
	船舶実習Ⅲ		5											集	
	機関実務実習		1									集			
	職業指導（商船）		2									2			※3
	職業指導（工業）				2							2			※4
	商船科指導法Ⅰ		2							2					※3
	商船科指導法Ⅱ		2								2				※3
	工業科指導法Ⅰ				2					2					※4
	工業科指導法Ⅱ				2						2				※4

履修単位

海洋電子機械工学科

機関システム工学コース　　卒業要件74単位　　内訳　必修科目50単位　選択科目24単位

選択科目内訳　機関系分野から6単位
その他A分野から6単位
分野を問わず12単位

制御システム工学コース　　卒業要件74単位　　内訳　必修科目51単位　選択科目23単位

選択科目内訳　機械系分野から4単位
電子・制御系分野から6単位
その他B分野から6単位
分野を問わず7単位

選択科目の単位は他コース、他学科及び他学部の専門科目6単位を含むことができます。
なお、外国人留学生等にあっては、他学部の専門科目に振り替えることができる同学部の外国人留学生代替科目の単位を含むことができます。
ただし、他学部の専門科目で、同学部において卒業に必要な単位数に含まない授業科目を除きます。

※1　「海洋開発環境エネルギー概論」「短期学外実習Ⅱ（海外）」「長期学外実習Ⅱ（海外）」「機関実務実習」「職業指導（商船）」「職業指導（工業）」「商船科指導法Ⅰ」「商船科指導法Ⅱ」「工業科指導法Ⅰ」「工業科指導法Ⅱ」は、卒業要件に含めない。

※2　他学部開講科目の「海外派遣キャリア演習Ⅰ」及び「海外派遣キャリア演習Ⅱ」は、卒業要件に含めない。

※3　高等学校教諭一種免許状（商船）を取得するためには、「職業指導（商船）」「商船科指導法Ⅰ」「商船科指導法Ⅱ」の単位を修得すること。

※4　高等学校教諭一種免許状（工業）を取得するためには、「職業指導（工業）」「工業科指導法Ⅰ」「工業科指導法Ⅱ」の単位を修得すること。

(3)　流通情報工学科　　【2021年度】

授業科目	単位数		毎週授業時間数									備考
			1年次		2年次		3年次		4年次			
	必修	選択	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期 Ⅰ	後学期 Ⅱ	
ロジスティクス概論	2		2									
物流施設計画学		2		2								
コンテナ輸送工学	2			2								
物流管理工学	2				2							
物流リスク工学		2			2							
流通最適化工学	2					2						
流通基盤計画学	2					2						
港湾環境工学		2					2					
データベース工学		2				2						
流通オペレーションズ・リサーチ		2					2					
作業管理工学		2					2					
交通計画学		2					2					
流通データ分析		2						2				
通関実務論		2					2					
データサイエンス		2					2					
基礎プログラミング演習	1			2								
データサイエンス演習	1					2						
応用プログラミング	2				2							
流通情報システム	2					2						
機械学習		2					2					
データ構造とアルゴリズム	2				2							
最適化数学		2			2							
確率論	2					2						
数値解析		2						2				
物流経済論		2				2						
国際経済論	2					2						
交通経済論	2				2							
国際交通論		2					2					
都市交通論	2							2				
流通経済論	2				2							
流通チャネル論		2						2				
産業政策論	2					2						
産業経済論		2					2					
保険契約法		2						2				
損害賠償法		2					2					
マーケティング論		2						2				
流通情報工学ゼミナールⅠ	1						2					
流通情報工学ゼミナールⅡ	1							2				
流通情報工学実験	1					3						
流通情報工学演習	1						2					
卒業研究	5											
キャリア形成論		2			集							
学外実習		1			㊐集		集					
短期学外実習Ⅰ（海外）		1			㊐集		集					
短期学外実習Ⅱ（海外）		1			㊐集		集					
長期学外実習Ⅰ（海外）		2			㊐集		集					
長期学外実習Ⅱ（海外）		2			㊐集		集					
職業指導（工業）		2							2			※3
工業科指導法Ⅰ		2					2					※3
工業科指導法Ⅱ		2						2				※3
ラプラス・フーリエ解析		2			2							
複素解析		2				2						
通信ネットワーク		2						2				
衛星測位工学		2					2					
安全工学		2					2					
舶用工業実務論		2						2				
海洋開発環境エネルギー概論		3					集					

履修単位	
	流通情報工学科　　卒業要件74単位　　内訳　必修科目39単位　選択科目35単位 選択科目の単位は他コース、他学科及び他学部の専門科目6単位を含むことができます。 なお、外国人留学生等にあっては、他学部の専門科目に振り替えることができる同学部の外国人留学生代替科目の単位を含むことができます。 ただし、他学部の専門科目で、同学部において卒業に必要な単位数に含まない授業科目を除きます。 ※1「海洋開発環境エネルギー概論」　「職業指導（工業）」「工業科指導法Ⅰ」「工業科指導法Ⅱ」は、卒業要件に含めない。 ※2　他学部開講科目の「海外派遣キャリア演習Ⅰ」及び「海外派遣キャリア演習Ⅱ」は、卒業要件に含めない。 ※3　高等学校教諭一種免許状（工業）を取得するためには、「職業指導（工業）」「工業科指導法Ⅰ」「工業科指導法Ⅱ」の単位を修得すること。

授業科目及び単位数（2022年度入学者）※商船教員養成コースを除く

1　総合科目　　【2022年度】

授業科目	単位数		毎週授業時間数								備考
			1年次		2年次		3年次		4年次		
	必修	選択	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	
共通導入科目											
フレッシュマンセミナー	1		集								
海洋生命科学概論	1		1								
海洋工学概論	1		1								
海洋資源環境学概論	1		1								
情報リテラシー	2		2								
日本語表現法	2			2							
文化学系											
文化人類学		2			2						4単位以上
民族誌		2				2					
文学		2					2				
歴史学		2						2			
水中考古学		2					2				
哲学・科学論系											
哲学		2	2								4単位以上
論理学		2			2						
倫理学		2						2			
心理学		2		2							
科学論		2				2					
社会科学系											
経済学		2		2							4単位以上
民法		2			2						
日本国憲法		2		2							
国際政治学		2				2					
社会学		2					2				
健康・スポーツ系											
スポーツⅠ	1		2								2単位以上
スポーツⅡ	1			2							
健康科学		2		2							
生涯スポーツⅠ		1			集						
生涯スポーツⅡ		1				集					
外国語系											
GLI演習Ⅰ	1				2						選択必修
GLI演習Ⅱ		1				2					
Basic EnglishⅠ	1		2								※
Basic EnglishⅡ	1			2							※
Practical EnglishⅠ	1		2								※
Practical EnglishⅡ	1			2							
Effective EnglishⅠ		1			2		②		②		
Effective EnglishⅡ		1				2		②			○数字は複数年次開設
Interactive EnglishⅠ		1			2		②		②		
Interactive EnglishⅡ		1				2		②			
Interactive EnglishⅢ		1			2		②		②		
Interactive EnglishⅣ		1				2		②			
Intensive EnglishⅠ		1			2		②		②		
Intensive EnglishⅡ		1				2		②			
ドイツ語Ⅰ		1	2								
ドイツ語Ⅱ		1		2							
ドイツ語Ⅲ		1			2						
ドイツ語Ⅳ		1				2					必修4単位
フランス語Ⅰ		1	2								
フランス語Ⅱ		1		2							選択必修2単位
フランス語Ⅲ		1			2						
フランス語Ⅳ		1				2					選択2単位
スペイン語Ⅰ		1	2								
スペイン語Ⅱ		1		2							を含め合計8単位
スペイン語Ⅲ		1			2						
スペイン語Ⅳ		1				2					以上
中国語Ⅰ		1	2								
中国語Ⅱ		1		2							
中国語Ⅲ		1			2						
中国語Ⅳ		1				2					
自由選択											4単位以上

・履修単位 ・注意事項	卒業要件35単位　　内訳　必修科目14単位　選択必修科目3単位　選択科目18単位 備考　1）外国語系の選択必修科目は「GLI演習Ⅰ」「GLI演習Ⅱ」のいずれか一方及び英語以外の1外国語2単位を選択必修。 2）総合科目のうち自由選択については、本学部の総合科目の中から各授業科目区分ごとに定める卒業に必要な単位数を超えて修得した単位数を自由選択科目として履修したものとみなし、その単位数を自由選択科目の修得単位数とします。また、他学部の総合科目のうち、本学部と授業科目の名称が異なるものも含めることができます。 3）「Effective EnglishⅠ・Ⅱ」「Interactive EnglishⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」「Intensive EnglishⅠ・Ⅱ」は、「Basic EnglishⅠ・Ⅱ」「Practical EnglishⅠ」の全ての単位を修得した後に履修することができます。 なお、外国人留学生等にあっては、「総合日本語Ⅰ」及び「総合日本語Ⅱ」の単位を修得した場合は、上記履修前提科目（「Basic EnglishⅠ・Ⅱ」、「Practical EnglishⅠ」）のいずれかの単位修得に代えることができます。 ※「Basic EnglishⅠ・Ⅱ」「Practical EnglishⅠ」…再履修者を対象とした集中授業を前学期及び後学期に開講します。

2　基礎教育科目　　【2022年度】

授業科目	単位数		毎週授業時間数								備考
			1年次		2年次		3年次		4年次		
	必修	選択	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	
学部共通科目											
微分積分Ⅰ	2		2								※5
微分積分Ⅱ	2			2							
線形代数Ⅰ	2		2								※5
線形代数Ⅱ	2			2							
物理学	2		2								
数学演習		1		2							
力学		2		2							※2
天文学		2	2								
物理学実験		1	3								※4
化学熱力学		2	2								
統計学		2	2								
計算機科学		2	2								
情報処理基礎論		2		2							※1　※3
航海システム概論		2	2								※1
電子機械工学入門		2	2								※2
基礎ゼミナール		1	集								
常微分方程式		2			2						
電磁気学		2			2						
物質科学		2			2						
化学実験		1				3					
契約法		2				2					
データサイエンス入門A		1		2							
データサイエンス入門B		1		2							

・履修単位

卒業要件21単位

内訳　海事システム工学科　必修科目14単位　選択科目7単位
　　海洋電子機械工学科　必修科目14単位　選択科目7単位
　　流通情報工学科　必修科目12単位　選択科目9単位

・注意事項

※1　「情報処理基礎論」「航海システム概論」…海事システム工学科は必修
※2　「力学」「電子機械工学入門」…海洋電子機械工学科は必修
※3　「情報処理基礎論」…流通情報工学科は必修
※4　「物理学実験」…海洋電子機械工学科は前学期、海事システム工学科及び流通情報工学科は後学期に開設
※5　「微分積分Ⅰ」「線形代数Ⅰ」･･･再履修者を対象とした集中講義を2年次後学期に開設。ただし、原則として当該年度前学期に履修した2年学生が履修することができる。

3　専門科目

(1)　海事システム工学科　　【2022年度】

分野		授業科目	単位数 必修	単位数 選択	1年次 前学期	1年次 後学期	2年次 前学期	2年次 後学期	3年次 前学期	3年次 後学期	4年次 前学期	4年次 後学期 Ⅰ	4年次 後学期 Ⅱ	備考
基礎専門科目系		海事システム工学概論	2			2								
		電気工学	2			2								
		船舶基礎力学	2				2							
		電子通信工学	2				2							
		信号情報処理	2				2							
		アルゴリズム	2				2							
		大気環境学	2				2							
		抵抗推進論	2					2						
		計測工学Ⅰ	2					2						
		航海システムⅠ	2					2						
		運航管理	2						2					
		船体管理	2							2				
基盤数理系		ラプラス・フーリエ解析		2			2							
		最適化数学		2			2							
		確率論		2				2						
		振動と波動		2				2						
		複素解析		2				2						
		数値解析		2						2				
船舶管理系	船舶管理	海運経営論		2			2							
		安全工学		2				2						
		保険契約法		2						2				
		損害賠償法		2					2					
		海運実務論		2						2				
		海上危機管理論		2							2			
	海技士	海洋環境学		2				2						
		国際法		2				2						
		船舶運航論		2					2					
		輸送管理		2						2				
		海商法		2					2					
		組織管理論		2						2				
海事工学系	海事工学	信頼性工学		2			2							
		海事情報処理		2				2						
		通信ネットワーク		2				2						
		計測工学Ⅱ		2					2					
		船舶制御		2						2				
		舶用工業実務論		2						2				
	海技士	船体構造論		2				2						
		浮体運動論		2						2				
		航海システムⅡ		2					2					
		航海システムⅢ		2						2				
		制御工学		2					2					
		マリナーズファクターと安全運航		2							2			
		機関システム工学概論		2							2			
実験・演習・実習（＊注）	実験演習	海洋開発環境エネルギー概論		3					集					
		キャリア形成論		2			集							
		職業指導（商船）		2							2			※4
		職業指導（工業）		2							2			※5
		商船科指導法Ⅰ		2					2					※4
		商船科指導法Ⅱ		2						2				※4
		工業科指導法Ⅰ		2					2					※5
		工業科指導法Ⅱ		2						2				※5
		海事システム工学実験演習Ⅰ	2						6					
		海事システム工学実験演習Ⅱ	2						6					
		海事システム工学実験演習Ⅲ	2							6				
		海事システム工学実験演習Ⅳ	2							6				
		海事システム工学ゼミナールⅠ	1					2						
		海事システム工学ゼミナールⅡ	1						2					
		海事システム工学ゼミナールⅢ	1							2				
		船舶実験Ⅰ（汐路丸）	1				集							
		船舶実験Ⅱ（汐路丸）	2						集					
		卒業研究	5								集			

(1)　海事システム工学科　　【2022年度】

分野		授業科目	単位数 必修	単位数 選択	毎週授業時間数 1年次 前学期	1年次 後学期	2年次 前学期	2年次 後学期	3年次 前学期	3年次 後学期	4年次 前学期	4年次 後学期 Ⅰ	4年次 後学期 Ⅱ	備考
実験・演習・実習（＊注）	実習	海洋実習	1		集									
		短艇実習	1		1.5	1.5								
		学外実習		1					集					
		短期学外実習Ⅰ（海外）		1			(集)		集					
		短期学外実習Ⅱ（海外）		1			(集)		集					
		長期学外実習Ⅰ（海外）		2			(集)		集					
		長期学外実習Ⅱ（海外）		2			(集)		集					
		船舶実習Ⅰ	3		集			集						
資格・海技士（＊注）		航海英語Ⅰ		2					2					※1
		航海英語Ⅱ		2						2				※1
		海事法規		2					2					
		海上無線法規		2							2			
		船舶医学		2							2			
		Topics in Maritime Linguistics		2							2			※1
		国際海事訓練セミナー		1							集			
		海事教育技法		2							2			
		海事システム工学実験演習Ⅴ		4							12			※2
		船舶実習Ⅱ		2								集		※6
		船舶実習Ⅲ		5									集	※6

履修単位

海事システム工学科
(1)船舶管理系　卒業要件74単位　　内訳　必修科目48単位　選択科目26単位
選択科目内訳　船舶管理系から22単位、基盤数理系から4単位
(2)海事工学系　卒業要件74単位　　内訳　必修科目48単位　選択科目26単位
選択科目内訳　海事工学系から22単位、基盤数理系から4単位
2年次より、上記(1)船舶管理系と(2)海事工学系の2系統の選択科目が開講されるので、2つの系のいずれかを選択すること。なお、船舶管理系又は海事工学系の修得単位数の多い系の単位が卒業要件単位となり、修得単位数の少ない系の単位はオーバー単位となるので注意すること。

※1　「航海英語Ⅰ・Ⅱ」及び「Topics in Maritime Linguistics」は、以下の履修前提科目を全て修得した後でなければ履修することができません。
【履修前提科目】
「Basic EnglishⅠ」「Basic EnglishⅡ」「Practical EnglishⅠ」
ただし、外国人留学生等にあっては、上記履修前提科目（「Basic EnglishⅠ・Ⅱ」「Practical EnglishⅠ」）の修得に代えて、「総合日本語Ⅰ」及び「総合日本語Ⅱ」を修得した場合は、履修前提科目の内1科目（「Basic EnglishⅠ・Ⅱ」「Practical EnglishⅠ」の内1科目）を修得すれば履修することができます。

※2　「海事システム工学実験演習Ⅴ」、「船舶実習Ⅱ」及び「船舶実習Ⅲ」は、以下の履修前提科目を全て修得した後でなければ履修することができません。
【履修前提科目】
「船舶基礎力学」「大気環境学」「計測工学Ⅰ」「運航管理」「海商法」「海事法規」
「船舶実験Ⅱ（汐路丸）」「船体管理」「航海システムⅢ」「航海英語Ⅱ」

※3　実験・演習・実習分野の選択科目13科目及び資格・海技士の11科目は、卒業要件に含めない。

※4　高等学校教諭一種免許状（商船）を取得するためには、「職業指導（商船）」、「商船科指導法Ⅰ」、「商船科指導法Ⅱ」の単位を修得すること。

※5　高等学校教諭一種免許状（工業）を取得するためには、「職業指導（工業）」、「工業科指導法Ⅰ」、「工業科指導法Ⅱ」の単位を修得すること。

※6　「船舶実習Ⅱ」及び「船舶実習Ⅲ」は、以下の履修前提科目を修得した後でなければ履修することができません。
【履修前提科目】
「海事システム工学実験演習Ⅴ」

また、他学部・他学科科目を修得してもオーバー単位となり卒業要件単位数には算入されません。

(2)　海洋電子機械工学科　　【2022年度】

分野	授業科目	単位数				毎週授業時間数									
		機関システム工学コース		制御システム工学コース		1年次		2年次		3年次		4年次			
		必修	選択	必修	選択	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期 I	後学期 II	
機関系	機関システム工学入門	2		2			2								
	ターボ動力工学 I	2		2					2						
	ターボ動力工学 II		2		2					2					
	ガスタービン工学		2		2						2				
	内燃機関工学 I	2		2					2						
	内燃機関工学 II		2		2					2					
	エネルギー工学	2		2						2					
	海洋流体工学		2		2						2				
	原子力機関工学		2		2						2				
	補助機械工学	2		2					2						
	冷凍空調工学		2		2					2					
	流体機械工学		2		2						2				
	電気工学	2		2					2						
	電気機器学		2		2					2					
	電気推進基礎論		2		2							2			
	機関システム管理工学		2		2						2				
機械系	材料力学	2		2				2							
	機械力学	2		2					2						
	トライボロジー		2		2						2				
	金属材料学	2		2				2							
	環境材料学		2		2				2						
	工業熱力学	2		2				2							
	伝熱工学		2		2				2						
	流体工学	2		2				2							
	機械設計製図	2		2						3	3				
	機械加工学		2		2		2								
	材料物理工学		2		2					2					
	計算物理学		2		2						2				
電子・制御系	ロボット工学 I	2		2						2					
	ロボット工学 II		2		2						2				
	水中機器学		2		2							2			
	ソフトウェア工学		2		2					2					
	制御工学 I	2		2					2						
	制御工学 II		2		2					2					
	応用制御工学		2		2						2				
	基礎電子工学	2		2				2							
	半導体工学		2	2						2					
	電子回路論		2		2						2				
	振動と波動		2		2				2						
	計測工学		2		2					2					
	化学エネルギー変換工学		2		2						2				
その他 A	船舶工学 I		2		2			2							
	船舶工学 II		2		2				2						
	船舶医学		2		2							2			
	機関英語 I		2		2					2					
	機関英語 II		2								2				
	海事法概論		2		2							2			
	国際法		2		2						2				
	海運経営論		2		2					2					
	海運実務論		2		2						2				
その他 B	信号情報処理		2		2					2					
	信頼性工学		2		2					2					
	ラプラス・フーリエ解析		2		2			2							
	確率論		2		2				2						
	最適化数学		2		2			2							
	複素解析		2		2				2						
	データ構造とアルゴリズム		2		2			2							
	機械学習		2		2					2					
	数値解析		2		2						2				
	舶用工業実務論		2		2						2				
	海洋開発環境エネルギー概論		3		3					集					

(2)　海洋電子機械工学科　　【2022年度】

分野	授業科目	単位数				毎週授業時間数									
		機関システム工学コース		制御システム工学コース		1年次		2年次		3年次		4年次			
		必修	選択	必修	選択	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期 Ⅰ	後学期 Ⅱ	
実験・実習等	電子機械工学実習	2		2				3	3						
	電子機械工学実験	2		2						3	3				
	制御システム工学演習			1							集				
	材料・機械力学演習	1		1						2					
	熱流体工学演習	1		1							2				
	船舶実験（汐路丸）	1										集			
				1							集				
	電子機械工学ゼミナール	1		1							2				
	キャリア形成論		2		2			集							
	学外実習		1		1			㊗集		集					
	短期学外実習Ⅰ（海外）		1		1			㊗集		集					
	短期学外実習Ⅱ（海外）		1		1			㊗集		集					
	長期学外実習Ⅰ（海外）		2		2			㊗集		集					
	長期学外実習Ⅱ（海外）		2		2			㊗集		集					
	卒業研究	5		5											
	海洋実習	1		1		集									
	短艇実習	1		1		1.5	1.5								
	船舶実習Ⅰ	3		3		集			集						
	船舶実習Ⅱ	2									集				
	船舶実習Ⅲ		5											集	
	機関実務実習		1									集			
	職業指導（商船）		2									2			※3
	職業指導（工業）				2							2			※4
	商船科指導法Ⅰ		2							2					※3
	商船科指導法Ⅱ		2								2				※3
	工業科指導法Ⅰ				2					2					※4
	工業科指導法Ⅱ				2						2				※4

履修単位

海洋電子機械工学科

機関システム工学コース　　卒業要件74単位　　内訳　必修科目50単位　選択科目24単位

選択科目内訳　機関系分野から6単位
その他A分野から6単位
分野を問わず12単位

制御システム工学コース　　卒業要件74単位　　内訳　必修科目51単位　選択科目23単位

選択科目内訳　機械系分野から4単位
電子・制御系分野から6単位
その他B分野から6単位
分野を問わず7単位

選択科目の単位は他コース、他学科及び他学部の専門科目6単位を含むことができます。
なお、外国人留学生等にあっては、他学部の専門科目に振り替えることができる同学部の外国人留学生代替科目の単位を含むことができます。
ただし、他学部の専門科目で、同学部において卒業に必要な単位数に含まない授業科目を除きます。

※1　「海洋開発環境エネルギー概論」「短期学外実習Ⅱ（海外）」「長期学外実習Ⅱ（海外）」「機関実務実習」「職業指導（商船）」「職業指導（工業）」「商船科指導法Ⅰ」「商船科指導法Ⅱ」「工業科指導法Ⅰ」「工業科指導法Ⅱ」は、卒業要件に含めない。

※2　他学部開講科目の「海外派遣キャリア演習Ⅰ」及び「海外派遣キャリア演習Ⅱ」は、卒業要件に含めない。

※3　高等学校教諭一種免許状（商船）を取得するためには、「職業指導（商船）」「商船科指導法Ⅰ」「商船科指導法Ⅱ」の単位を修得すること。

※4　高等学校教諭一種免許状（工業）を取得するためには、「職業指導（工業）」「工業科指導法Ⅰ」「工業科指導法Ⅱ」の単位を修得すること。

(3)　流通情報工学科　　【2022年度】

授業科目	単位数		毎週授業時間数									備考
			1年次		2年次		3年次		4年次			
	必修	選択	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期 Ⅰ	後学期 Ⅱ	
ロジスティクス概論	2		2									
物流施設計画学		2		2								
コンテナ輸送工学	2			2								
物流管理工学	2				2							
物流リスク工学		2			2							
流通最適化工学	2					2						
流通基盤計画学	2					2						
港湾環境工学		2					2					
データベース工学		2				2						
流通オペレーションズ・リサーチ		2					2					
作業管理工学		2					2					
交通計画学		2					2					
流通データ分析		2						2				
通関実務論		2					2					
データサイエンス		2					2					
基礎プログラミング演習	1			2								
データサイエンス演習	1					2						
応用プログラミング	2				2							
流通情報システム	2					2						
機械学習		2					2					
データ構造とアルゴリズム	2				2							
最適化数学		2			2							
確率論	2					2						
数値解析		2						2				
国際経済論	2					2						
交通経済論	2				2							
国際交通論		2					2					
物流・交通政策の経済分析		2						2				
流通経済論	2				2							
流通チャネル論		2						2				
産業政策論	2					2						
産業経済論		2					2					
保険契約法		2						2				
損害賠償法		2					2					
マーケティング論		2						2				
流通情報工学ゼミナールⅠ	1						2					
流通情報工学ゼミナールⅡ	1							2				
流通情報工学実験	1					3						
流通情報工学演習	1						2					
卒業研究	5											
キャリア形成論		2			集							
学外実習		1			集		集					
短期学外実習Ⅰ（海外）		1			集		集					
短期学外実習Ⅱ（海外）		1			集		集					
長期学外実習Ⅰ（海外）		2			集		集					
長期学外実習Ⅱ（海外）		2			集		集					
職業指導（工業）		2							2			※3
工業科指導法Ⅰ		2					2					※3
工業科指導法Ⅱ		2						2				※3
ラプラス・フーリエ解析		2			2							
複素解析		2				2						
通信ネットワーク		2						2				
衛星測位工学		2					2					
安全工学		2					2					
舶用工業実務論		2						2				
海洋開発環境エネルギー概論		3					集					

履修単位

流通情報工学科　　卒業要件74単位　　内訳　必修科目37単位　選択科目37単位

選択科目の単位は他コース、他学科及び他学部の専門科目6単位を含むことができます。
なお、外国人留学生等にあっては、他学部の専門科目に振り替えることができる同学部の外国人留学生代替科目の単位を含むことができます。
ただし、他学部の専門科目で、同学部において卒業に必要な単位数に含まない授業科目を除きます。

※1「海洋開発環境エネルギー概論」「職業指導（工業）」「工業科指導法Ⅰ」「工業科指導法Ⅱ」は、卒業要件に含めない。

※2　他学部開講科目の「海外派遣キャリア演習Ⅰ」及び「海外派遣キャリア演習Ⅱ」は、卒業要件に含めない。

※3　高等学校教諭一種免許状（工業）を取得するためには、「職業指導（工業）」「工業科指導法Ⅰ」「工業科指導法Ⅱ」の単位を修得すること。

授業科目及び単位数（海洋電子機械工学科 機関システム工学コース（商船教員養成コース））
（2020年度入学者）

1 総合科目　　【2020年度】

授業科目	単位数		毎週授業時間数								備考
			1年次		2年次		3年次		4年次		
	必修	選択	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	
共通導入科目											
フレッシュマンセミナー	1		集								
海洋生命科学概論	1		1								
海洋工学概論	1		1								
海洋資源環境学概論	1		1								
情報リテラシー	2		2								
日本語表現法	2			2							
文化学系											
文化人類学		2			2						4単位以上
民族誌		2				2					
文学		2					2				
歴史学		2						2			
水中考古学		2					2				
哲学・科学論系											
哲学		2	2								4単位以上
論理学		2			2						
倫理学		2						2			
心理学		2		2							
科学論		2				2					
社会科学系											
経済学		2		2							日本国憲法を含む4単位以上
民法		2			2						
日本国憲法	2			2							
国際政治学		2				2					
社会学		2					2				
健康・スポーツ系											
スポーツⅠ	1		2								2単位以上
スポーツⅡ	1			2							
健康科学		2		2							
生涯スポーツⅠ		1			集						
生涯スポーツⅡ		1				集					
外国語系											
Basic EnglishⅠ	1		2								※
Basic EnglishⅡ	1			2							※
Practical EnglishⅠ	1		2								※
Practical EnglishⅡ	1			2							
Effective EnglishⅠ		1			2		②		②		
Effective EnglishⅡ		1				2		②			○数字は複数年次開設
Interactive EnglishⅠ		1			2		②		②		
Interactive EnglishⅡ		1				2		②			
Interactive EnglishⅢ		1			2		②		②		
Interactive EnglishⅣ		1				2		②			
Intensive EnglishⅠ		1			2		②		②		
Intensive EnglishⅡ		1				2		②			
ドイツ語Ⅰ		1	2								
ドイツ語Ⅱ		1		2							
ドイツ語Ⅲ		1			2						
ドイツ語Ⅳ		1				2					必修4単位
フランス語Ⅰ		1	2								
フランス語Ⅱ		1		2							選択必修2単位
フランス語Ⅲ		1			2						
フランス語Ⅳ		1				2					選択2単位
スペイン語Ⅰ		1	2								
スペイン語Ⅱ		1		2							を含め合計8単位
スペイン語Ⅲ		1			2						
スペイン語Ⅳ		1				2					以上
中国語Ⅰ		1	2								
中国語Ⅱ		1		2							
中国語Ⅲ		1			2						
中国語Ⅳ		1				2					
自由選択											2単位以上

履修単位

卒業要件32単位　　内訳　必修科目16単位　選択必修科目2単位　選択科目14単位

備考　1）外国語系の選択必修科目は英語以外の1外国語2単位を選択必修。
2）総合科目のうち自由選択については、本学部の総合科目の中から各授業科目区分ごとに定める卒業に必要な単位数を超えて修得した単位数を自由選択科目として履修したものとみなし、その単位数を自由選択科目の修得単位数とします。また、他学部の総合科目のうち、本学部と授業科目の名称が異なるものも含めることができます。
3）「Effective EnglishⅠ・Ⅱ」「Interactive EnglishⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」「Intensive EnglishⅠ・Ⅱ」は、「Basic EnglishⅠ・Ⅱ」「Practical EnglishⅠ」の全ての単位を修得した後に履修することができます。
なお、外国人留学生等にあっては、「総合日本語Ⅰ」及び「総合日本語Ⅱ」の単位を修得した場合は、上記履修前提科目（「Basic EnglishⅠ・Ⅱ」、「Practical EnglishⅠ」）のいずれかの単位修得に代えることができます。

※「Basic EnglishⅠ・Ⅱ」「Practical EnglishⅠ」…再履修者を対象とした集中授業を前学期及び後学期に開講します。

2　基礎教育科目

海洋電子機械工学科　機関システム工学コース（商船教員養成コース）　【2020年度】

授業科目	単位数		毎週授業時間数								備考
			1年次		2年次		3年次		4年次		
	必修	選択	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	
学部共通科目											
微分積分Ⅰ	2		2								※
微分積分Ⅱ	2			2							
線形代数Ⅰ	2		2								※
線形代数Ⅱ	2			2							
物理学	2		2								
数学演習		1		2							
力学	2			2							
天文学		2	2								
物理学実験		1	3								
化学熱力学		2	2								
統計学		2	2								
計算機科学		2	2								
情報処理基礎論		2		2							
航海システム概論		2	2								
電子機械工学入門	2		2								
基礎ゼミナール		1	集								
常微分方程式		2			2						
電磁気学		2			2						
物質科学		2			2						
化学実験		1				3					
契約法		2				2					
履修単位	卒業要件21単位 内訳　必修科目14単位　選択科目7単位 ※　「微分積分Ⅰ」「線形代数Ⅰ」･･･再履修者を対象とした集中授業を2年次後学期に開設。 ただし、原則として当該年度前学期に履修した2年学生が履修することができる。										

3　専門科目

海洋電子機械工学科　機関システム工学コース（商船教員養成コース）　【2020年度】

分野		授業科目	単位数 必修	単位数 選択必修	単位数 選択	毎週授業時間数 1年次 前学期	1年次 後学期	2年次 前学期	2年次 後学期	3年次 前学期	3年次 後学期	4年次 前学期	4年次 後学期 Ⅰ	4年次 後学期 Ⅱ	備考
機関系		機関システム工学入門	2				2								
		ターボ動力工学Ⅰ	2						2						
		ターボ動力工学Ⅱ		2						2					
		ガスタービン工学		2							2				
		内燃機関工学Ⅰ	2						2						
		内燃機関工学Ⅱ		2						2					
		エネルギー工学	2							2					
		海洋流体工学			2						2				
		原子力機関工学		2							2				
		補助機械工学	2						2						
		冷凍空調工学		2						2					
		流体機械工学		2							2				
		電気工学	2						2						
		電気機器学		2						2					
		電気推進基礎論		2								2			
		機関システム管理工学		2							2				
機械系		材料力学	2					2							
		機械力学	2						2						
		トライボロジー			2						2				
		金属材料学	2					2							
		環境材料学			2				2						
		工業熱力学	2					2							
		伝熱工学			2				2						
		流体工学	2					2							
		機械設計製図	2							3	3				
		機械加工学			2		2								
		材料物理工学			2					2					
		計算物理学			2						2				
電子・制御系		ロボット工学Ⅰ	2							2					
		ロボット工学Ⅱ			2						2				
		水中機器学			2							2			
		ソフトウェア工学			2					2					
		制御工学Ⅰ	2						2						
		制御工学Ⅱ			2					2					
		応用制御工学			2						2				
		基礎電子工学	2					2							
		半導体工学			2					2					
		電子回路論			2						2				
		振動と波動			2				2						
		計測工学			2					2					
		化学エネルギー変換工学			2						2				
その他	A	船舶工学Ⅰ		2				2							
		船舶工学Ⅱ		2					2						
		船舶医学		2								2			
		機関英語Ⅰ		2						2					
		機関英語Ⅱ		2							2				
		海事法概論		2								2			
		国際法		2							2				
		海運経営論		2						2					
		海運実務論			2						2				
	B	信号情報処理			2					2					
		信頼性工学			2					2					
		ラプラス・フーリエ解析			2			2							
		確率論			2				2						
		最適化数学			2			2							
		複素解析			2				2						
		データ構造とアルゴリズム			2			2							
		機械学習			2					2					
		数値解析			2						2				
		舶用工業実務論			2						2				
		海洋開発環境エネルギー概論			3					集					

分野		授業科目	単位数 必修	選択必修	選択	毎週授業時間数 1年次 前学期	1年次 後学期	2年次 前学期	2年次 後学期	3年次 前学期	3年次 後学期	4年次 前学期	4年次 後学期 Ⅰ	4年次 後学期 Ⅱ	備考
実験実習等		電子機械工学実習	2					3	3						
		電子機械工学実験	2							3	3				
		材料・機械力学演習	1							2					
		熱流体工学演習	1								2				
		船舶実験（汐路丸）	1									集			
		電子機械工学ゼミナール	1								2				
		キャリア形成論			2			集							
		学外実習			1			㊟集		集					
		短期学外実習Ⅰ（海外）			1			㊟集		集					
		短期学外実習Ⅱ（海外）			1			㊟集		集					
		長期学外実習Ⅰ（海外）			2			㊟集		集					
		長期学外実習Ⅱ（海外）			2			㊟集		集					
		卒業研究	5												
		海洋実習	1			集									
		短艇実習	1			1.5	1.5								
		船舶実習Ⅰ	3			集			集						
		船舶実習Ⅱ	2								集				
		船舶実習Ⅲ			5									集	
		機関実務実習		1								集			
		職業指導（商船）	2									2			
		商船科指導法Ⅰ	2							2					
		商船科指導法Ⅱ	2								2				
教育の基礎的理解に関する科目等	共通	現代教師論	2				2								
		教育原理	2					2							
		教育心理学	2					2							
		特別支援教育概論	1						集						
		教育行政学		2					集						選択必修
		比較教育制度論		2					集						選択必修
		教育方法学	2						2						
		教育相談	2							集					
		教育課程論	1							集					
		生徒・進路指導	2							2					
		特別活動及び総合的な探究の時間の指導法	2								集				
		教職実践演習（高等学校）	2									集			
		教育実習事前事後指導	1									集			
		教育実習	2									集			

履修単位

海洋電子機械工学科
　機関システム工学コース（商船教員養成コース）
　　卒業要件103単位　内訳　必修科目77単位　選択必修16単位　選択科目10単位

　　選択必修 内訳 機関系分野の選択必修科目から8単位
　　その他A分野の選択必修科目から6単位
　　「教育行政学」「比較教育制度論」から1科目（2単位）

　　選択科目 内訳 分野を問わず10単位
　　（選択必修において修得した単位数が選択必修の卒業要件単位数を超える場合、超過した単位数は選択科目に含めることができます。）

選択科目（分野を問わず）の単位は他コース、他学科及び他学部の専門科目6単位を含むことができます。なお、外国人留学生等にあっては、他学部の専門科目に振り替えることができる同学部の外国人留学生代替科目の単位を含むことができます。
ただし、他学部の専門科目で、同学部において卒業に必要な単位数に含まない授業科目を除きます。

※1　「海洋開発環境エネルギー概論」「短期学外実習Ⅱ（海外）」「長期学外実習Ⅱ（海外）」「機関実務実習」は卒業要件に含めません。

※2　他学部開講科目の「海外派遣キャリア演習Ⅰ」及び「海外派遣キャリア演習Ⅱ」は卒業要件に含めない。

授業科目及び単位数（海洋電子機械工学科 機関システム工学コース（商船教員養成コース））

（2021年度入学者）

1 総合科目 【2021年度】

授業科目	単位数		毎週授業時間数								備考
			1年次		2年次		3年次		4年次		
	必修	選択	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	
共通導入科目											
フレッシュマンセミナー	1		集								
海洋生命科学概論	1		1								
海洋工学概論	1		1								
海洋資源環境学概論	1		1								
情報リテラシー	2		2								
日本語表現法	2			2							
文化学系											
文化人類学		2			2						4単位以上
民族誌		2				2					
文学		2					2				
歴史学		2						2			
水中考古学		2					2				
哲学・科学論系											
哲学		2	2								4単位以上
論理学		2			2						
倫理学		2						2			
心理学		2		2							
科学論		2				2					
社会科学系											
経済学		2		2							日本国憲法を含む4単位以上
民法		2			2						
日本国憲法	2			2							
国際政治学		2				2					
社会学		2					2				
健康・スポーツ系											
スポーツⅠ	1		2								2単位以上
スポーツⅡ	1			2							
健康科学		2		2							
生涯スポーツⅠ		1			集						
生涯スポーツⅡ		1				集					
外国語系											
GLI演習Ⅰ		1			2						選択必修
GLI演習Ⅱ		1				2					
Basic EnglishⅠ	1		2								※
Basic EnglishⅡ	1			2							※
Practical EnglishⅠ	1		2								※
Practical EnglishⅡ	1			2							
Effective EnglishⅠ		1			2		②		②		
Effective EnglishⅡ		1				2		②			○数字は複数年次開設
Interactive EnglishⅠ		1			2		②		②		
Interactive EnglishⅡ		1				2		②			
Interactive EnglishⅢ		1			2		②		②		
Interactive EnglishⅣ		1				2		②			
Intensive EnglishⅠ		1			2		②		②		
Intensive EnglishⅡ		1				2		②			
ドイツ語Ⅰ		1	2								
ドイツ語Ⅱ		1		2							
ドイツ語Ⅲ		1			2						
ドイツ語Ⅳ		1				2					必修4単位
フランス語Ⅰ		1	2								
フランス語Ⅱ		1		2							選択必修2単位
フランス語Ⅲ		1			2						
フランス語Ⅳ		1				2					選択2単位
スペイン語Ⅰ		1	2								
スペイン語Ⅱ		1		2							を含め合計8単位
スペイン語Ⅲ		1			2						
スペイン語Ⅳ		1				2					以上
中国語Ⅰ		1	2								
中国語Ⅱ		1		2							
中国語Ⅲ		1			2						
中国語Ⅳ		1				2					
自由選択											2単位以上

履修単位

卒業要件33単位　内訳　必修科目16単位　選択必修科目3単位　選択科目14単位

備考　1）外国語系の選択必修科目は「GLI演習Ⅰ」「GLI演習Ⅱ」のいずれか一方及びまたは英語以外の1外国語2単位を選択必修。

2）総合科目のうち自由選択については、本学部の総合科目の中から各授業科目区分ごとに定める卒業に必要な単位数を超えて修得した単位数を自由選択科目として履修したものとみなし、その単位数を自由選択科目の修得単位数とします。また、他学部の総合科目のうち、本学部と授業科目の名称が異なるものも含めることができます。

3）「Effective EnglishⅠ・Ⅱ」「Interactive EnglishⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」「Intensive EnglishⅠ・Ⅱ」は、「Basic EnglishⅠ・Ⅱ」「Practical EnglishⅠ」の全ての単位を修得した後に履修することができます。
なお、外国人留学生等にあっては、「総合日本語Ⅰ」及び「総合日本語Ⅱ」の単位を修得した場合は、上記履修前提科目（「Basic EnglishⅠ・Ⅱ」、「Practical EnglishⅠ」）のいずれかの単位修得に代えることができます。

※「Basic EnglishⅠ・Ⅱ」「Practical EnglishⅠ」…再履修者を対象とした集中授業を前学期及び後学期に開講します。

2　基礎教育科目

海洋電子機械工学科　機関システム工学コース（商船教員養成コース）　【2021年度】

授業科目	単位数		毎週授業時間数								備考
			1年次		2年次		3年次		4年次		
	必修	選択	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	
学部共通科目											
微分積分Ⅰ	2		2								※
微分積分Ⅱ	2			2							
線形代数Ⅰ	2		2								※
線形代数Ⅱ	2			2							
物理学	2		2								
数学演習		1		2							
力学	2			2							
天文学		2	2								
物理学実験		1	3								
化学熱力学		2	2								
統計学		2	2								
計算機科学		2	2								
情報処理基礎論		2		2							
航海システム概論		2	2								
電子機械工学入門	2		2								
基礎ゼミナール		1	集								
常微分方程式		2			2						
電磁気学		2			2						
物質科学		2			2						
化学実験		1				3					
契約法		2				2					
履修単位	卒業要件21単位 内訳　必修科目14単位　選択科目7単位 ※　「微分積分Ⅰ」「線形代数Ⅰ」･･･再履修者を対象とした集中授業を2年次後学期に開設。 ただし、原則として当該年度前学期に履修した2年学生が履修することができる。										

3　専門科目

海洋電子機械工学科　機関システム工学コース（商船教員養成コース）　【2021年度】

分野		授業科目	単位数 必修	単位数 選択必修	単位数 選択	毎週授業時間数 1年次 前学期	1年次 後学期	2年次 前学期	2年次 後学期	3年次 前学期	3年次 後学期	4年次 前学期	4年次 後学期 Ⅰ	4年次 後学期 Ⅱ	備考
機関系		機関システム工学入門	2				2								
		ターボ動力工学Ⅰ	2						2						
		ターボ動力工学Ⅱ		2						2					
		ガスタービン工学		2							2				
		内燃機関工学Ⅰ	2						2						
		内燃機関工学Ⅱ		2						2					
		エネルギー工学	2							2					
		海洋流体工学			2						2				
		原子力機関工学		2							2				
		補助機械工学	2						2						
		冷凍空調工学		2						2					
		流体機械工学		2							2				
		電気工学	2						2						
		電気機器学		2						2					
		電気推進基礎論		2								2			
		機関システム管理工学		2							2				
機械系		材料力学	2					2							
		機械力学	2						2						
		トライボロジー			2						2				
		金属材料学	2					2							
		環境材料学			2				2						
		工業熱力学	2					2							
		伝熱工学			2				2						
		流体工学	2					2							
		機械設計製図	2							3	3				
		機械加工学			2		2								
		材料物理工学			2					2					
		計算物理学			2						2				
電子・制御系		ロボット工学Ⅰ	2							2					
		ロボット工学Ⅱ			2						2				
		水中機器学			2							2			
		ソフトウェア工学			2					2					
		制御工学Ⅰ	2						2						
		制御工学Ⅱ			2					2					
		応用制御工学			2						2				
		基礎電子工学	2					2							
		半導体工学			2					2					
		電子回路論			2						2				
		振動と波動			2				2						
		計測工学			2					2					
		化学エネルギー変換工学			2						2				
その他	A	船舶工学Ⅰ		2				2							
		船舶工学Ⅱ		2					2						
		船舶医学		2								2			
		機関英語Ⅰ		2						2					
		機関英語Ⅱ		2							2				
		海事法概論		2								2			
		国際法		2							2				
		海運経営論		2						2					
		海運実務論			2						2				
	B	信号情報処理			2					2					
		信頼性工学			2					2					
		ラプラス・フーリエ解析			2			2							
		確率論			2				2						
		最適化数学			2			2							
		複素解析			2				2						
		データ構造とアルゴリズム			2			2							
		機械学習			2					2					
		数値解析			2						2				
		舶用工業実務論			2						2				
		海洋開発環境エネルギー概論			3					集					

分野		授業科目	単位数 必修	選択必修	選択	毎週授業時間数 1年次 前学期	1年次 後学期	2年次 前学期	2年次 後学期	3年次 前学期	3年次 後学期	4年次 前学期	4年次 後学期 Ⅰ	4年次 後学期 Ⅱ	備考
実験実習等		電子機械工学実習	2					3	3						
		電子機械工学実験	2							3	3				
		材料・機械力学演習	1							2					
		熱流体工学演習	1								2				
		船舶実験（汐路丸）	1									集			
		電子機械工学ゼミナール	1								2				
		キャリア形成論			2			集							
		学外実習			1			㊙集		集					
		短期学外実習Ⅰ（海外）			1			㊙集		集					
		短期学外実習Ⅱ（海外）			1			㊙集		集					
		長期学外実習Ⅰ（海外）			2			㊙集		集					
		長期学外実習Ⅱ（海外）			2			㊙集		集					
		卒業研究	5												
		海洋実習	1			集									
		短艇実習	1			1.5	1.5								
		船舶実習Ⅰ	3			集			集						
		船舶実習Ⅱ	2								集				
		船舶実習Ⅲ			5									集	
		機関実務実習		1								集			
		職業指導（商船）	2									2			
		商船科指導法Ⅰ	2							2					
		商船科指導法Ⅱ	2								2				
教育の基礎的理解に関する科目等	共通	現代教師論	2				2								
		教育原理	2					2							
		教育心理学	2					2							
		特別支援教育概論	1						集						
		教育行政学		2					集						選択必修
		比較教育制度論		2					集						選択必修
		教育方法学	2						2						
		教育相談	2							集					
		教育課程論	1							集					
		生徒・進路指導	2							2					
		特別活動及び総合的な探究の時間の指導法	2								集				
		教職実践演習（高等学校）	2									集			
		教育実習事前事後指導	1									集			
		教育実習	2									集			

履修単位

海洋電子機械工学科
　機関システム工学コース（商船教員養成コース）
　　卒業要件103単位　内訳　必修科目77単位　選択必修16単位　選択科目10単位

　　選択必修 内訳 機関系分野の選択必修科目から8単位
　　その他A分野の選択必修科目から6単位
　　「教育行政学」「比較教育制度論」から1科目（2単位）

　　選択科目 内訳 分野を問わず10単位
　　（選択必修において修得した単位数が選択必修の卒業要件単位数を超える場合、超過した単位数は選択科目に含めることができます。）

選択科目（分野を問わず）の単位は他コース、他学科及び他学部の専門科目6単位を含むことができます。なお、外国人留学生等にあっては、他学部の専門科目に振り替えることができる同学部の外国人留学生代替科目の単位を含むことができます。
ただし、他学部の専門科目で、同学部において卒業に必要な単位数に含まない授業科目を除きます。

※1　「海洋開発環境エネルギー概論」「短期学外実習Ⅱ（海外）」「長期学外実習Ⅱ（海外）」「機関実務実習」は卒業要件に含めません。

※2　他学部開講科目の「海外派遣キャリア演習Ⅰ」及び「海外派遣キャリア演習Ⅱ」は卒業要件に含めない。

2016～2021年度入学者の対応科目表（まとめ）

（廃止・代替科目及び開講学期が変更された科目）

授業科目	授業主担当教員	単位数 必修	単位数 選択	履修年次	2020年度以前入学者の対応科目名 ※初回授業時に、担当教員へ2020年度以前入学者である旨を申し出て下さい。	対応科目2021年度開講年次	対応科目2021年度開講学期
総合科目							
海の科学	海洋資源環境学部教員	1		1	海洋資源環境学概論	1年次	前学期
船の科学	海洋工学部教員	1		1	海洋工学概論	1年次	前学期
海と生命	海洋生命科学部教員	1		1	海洋生命科学概論	1年次	前学期
海と文化	なし	1		1	対応科目なし　※ 履修希望者は、教育支援係に申し出ること。	－	－
教養ゼミナール	森下　他		1	1	基礎ゼミナール　※掲示で開講する時期を確認すること。	1年次	通年（集中）
基礎教育科目							
化学	なし		2	1	対応科目なし　※ 履修希望者は、教育支援係に申し出ること。	－	－
物理学演習	大貫		1	1	対応科目なし　※ 履修希望者は、大貫教員に申し出ること。	－	－
基礎数学	竹縄		2	2	対応科目なし　※ 履修希望者は、竹縄教員に申し出ること。	－	－
専門科目【海事システム工学科】							
短艇実習Ⅰ	学科教員	1		1	短艇実習	1年次	通年
短艇実習Ⅱ	学科教員	1		2	対応科目なし　※ 履修希望者は、教育支援係に申し出ること。	－	－
専門科目【海洋電子機械工学科】							
エレクトロニクスⅠ	大貫		2	3	半導体工学	3年次	前学期
エレクトロニクスⅡ	田原		2	3	電子回路論	3年次	後学期
精密加工学	田中(健)		2	1	機械加工学	1年次	後学期
情報数学	中井		2	3	機械学習	3年次	前学期
専門科目【流通情報工学科】							
海事情報システム	なし		2	2	対応科目なし　※ 履修希望者は、教育支援係に申し出ること。	－	－
オペレーティングシステム論	大島		2	3	対応科目なし　※ 履修希望者は、教育支援係に申し出ること。	－	－
物流システム工学	渡部		2	2	データベース工学	2年次	後学期
物流シミュレーション工学	坂井		2	3	データサイエンス	3年次	前学期
応用プログラミング演習	久保(幹)		1	2	データサイエンス演習	2年次	後学期
アルゴリズム設計	橋本		2	2	応用プログラミング	2年次	前学期
認知情報科学	なし		2	3	対応科目なし　※ 履修希望者は、教育支援係に申し出ること。	－	－
情報数学	中井		2	3	機械学習	3年次	前学期
安全管理学	松本		2	3	通信ネットワーク	3年次	後学期
教職科目							
特別活動指導法	(非)稲永		2	3	特別活動及び総合的な探究の時間の指導法	3年次	集中
日本語及び日本事情に関する科目							
日本語Ⅰ	生天目		2	1	総合日本語Ⅰ及び総合日本語Ⅱの２科目を受講すること	1年次	Ⅰ-前期 Ⅱ-後期
日本語Ⅱ	生天目		2	1	総合日本語Ⅲ及び総合日本語Ⅳの２科目を受講すること	1年次	Ⅲ-前期 Ⅳ-後期
日本語Ⅲ	生天目		2	2	応用日本語Ⅰ及び応用日本語Ⅱの２科目を受講すること	2年次	Ⅰ-前期 Ⅱ-後期

3. 船舶実習

【対象学科：海事システム工学科、海洋電子機械工学科】

独立行政法人海技教育機構の練習船により実習が行われています。実習を行う年次及び実習期間等は概ね次のとおりです。

科目名	実習期間	必修科目或いは選択科目
船舶実習Ⅰ	1年次（2022年度のみ） （海事システム工学科） 8月1日～8月31日 （海洋電子機械工学科） 9月1日～9月30日 2年次 10月1日～10月31日	・海事システム工学科 必修科目 ・海洋電子機械工学科 必修科目
船舶実習Ⅱ	海事システム工学科： 4年次 海洋電子機械工学科： 3年次 11月5日～12月5日	・海事システム工学科 **※選択科目** ・海洋電子機械工学科（機関システム工学コース） 必修科目
船舶実習Ⅲ	4年次 1月5日～3月10日 （引き続いて乗船実習科の実習（4月1日～9月30日）が行われます）	・海事システム工学科 **※選択科目** ・海洋電子機械工学科（機関システム工学コース） **※選択科目**

※選択科目であっても、船舶職員養成施設の課程の修了資格を得るために履修すべき科目です。

船舶実習に参加する学生は、船舶実習実施中の事故への対応として「学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険（A：学生教育研究賠償責任保険）」に加入していなければなりません。保険加入については、学生支援係に問い合せて下さい。

保険未加入の場合は、船舶実習に参加できません。

4. インターンシップ

本学部では、学生が企業等において自らの専攻、将来の職業に関連した就業体験を行うことにより、社会的適応性や柔軟な思考方法等の実務能力を養成することを目的に、授業科目としてインターンシップを導入しています。

授業科目は、次の通りです。

【2016～2018年度入学者】

授業科目名	単位数	対象学年	研修期間 （＊原則として休業期間中）
学外実習	1単位	海事システム工学科：3年 海洋電子機械工学科：2・3年 流通情報工学科　　：2・3年	1週間以上
短期学外実習（海外）	1単位	全学科：2・3年	1週間～1か月未満程度
長期学外実習（海外）	2単位	全学科：2・3年	1か月以上

【2019年度以降入学者】

授業科目名	単位数	対象学年	研修期間 （＊原則として休業期間中）
学外実習	1単位	海事システム工学科：3年 海洋電子機械工学科：2・3年 流通情報工学科　　：2・3年	1週間以上
短期学外実習Ⅰ（海外）	1単位	全学科：2・3年	1週間～1か月未満程度
短期学外実習Ⅱ（海外）	1単位	全学科：2・3年	1週間～1か月未満程度
長期学外実習Ⅰ（海外）	2単位	全学科：2・3年	1か月以上
長期学外実習Ⅱ（海外）	2単位	全学科：2・3年	1か月以上

実施にあたっての経費は原則として学生の自己負担です。
また、参加にあたり、研修を行う企業等の就業規則の遵守、機密保持義務が課せられます。

希望する学生は、別途開催される説明会に出席して下さい。
ただし、必ずしも全員がインターンシップに参加できるとは限りません。
インターンシップに参加する学生は、インターンシップ実施中の事故への対応として
「**学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険**（A：学生教育研究賠償責任保険）」に加入していなければなりません。
また、短期・長期にかかわらず、海外のインターンシップに参加する学生は、上記に加えて「**学研災付帯 海外留学保険**」も加入しなければなりません。
保険未加入の場合は、インターンシップに参加できません。

なお、「長期学外実習（海外）」及び「長期学外実習Ⅰ・Ⅱ（海外）」にあっては、インターンシップのみではなく海外の大学等でのプロジェクト体験等も含まれます。

5. 高度海洋技術者専門コース

2017年度より、海洋工学部共通の専門科目として「海洋開発環境エネルギー概論」(3年次・通年・集中）が開設されました。
本コースでは、近年の海洋政策・社会情勢に対応するため、海洋開発分野および環境エネルギー分野において活躍できる高度海洋技術者の資質を強化することを目指しています。

〇海洋開発分野
　海洋石油・天然ガス田の開発・掘削のオペレーション，造船・重機，海洋土木，工程管理・計画など
〇環境エネルギー分野
　エネルギー輸送，浮体構造，流体力学，安全工学，環境関連の国際法など

「海洋開発環境エネルギー概論」は、上記分野の第一線で活躍されている研究者・技術者を講師に招聘し、主に7月から9月末にかけて集中講義で開講します。日程や履修登録方法などの詳細は、学務システム等によりお知らせします。

本コースの修了に必要な学部段階での指定科目及び修了要件

	海事システム工学科	海洋電子機械工学科	流通情報工学科
必修科目	海洋開発環境エネルギー概論（3 単位）		
全学科共通科目	以下の科目より選択（3 科目、6 単位以上） 大気環境学、安全工学、保険契約法、損害賠償法、海洋環境学、国際法、船舶制御、船体構造論、浮体運動論、機関システム工学概論、エネルギー工学、ターボ動力工学Ⅱ、内燃機関工学Ⅱ、流体機械工学、電気推進基礎論、トライボロジー、環境材料学、ロボット工学Ⅱ、制御工学Ⅱ、電子回路論、船舶工学Ⅱ、海事法概論、流通基盤計画学、物流リスク工学、港湾環境工学、作業管理工学		

6. グローバル・リーダーシップ・イニシアティブ（GLI）認定コース

●養成する人材

1875 年（明治 8 年）に創設された商船学校を始祖とする海洋工学部では、常に世界に眼差しを向け、優れたリーダーシップと高い教養を身につけた学生を輩出すべく高度な全人教育を行ってきました。

本コースの目的は、学生の勉学意欲を促進するとともに、社会が期待する人材を多く産み出すことです。

本コースでは、全人教育の伝統に基づく教養を身につけ、将来、グローバルな課題に果敢に挑戦し、異文化の中に身を置いても優れたリーダーシップを発揮できる学生の資質を認定します。2021 年度からは GLI 演習を 4 年次進級要件とし、よりグローバル教育に寄与します。

●養成のための教育内容等

グローバルな活動には、外国語によるコミュニケーションが欠かせず、一定レベル以上の英語能力が要求されます。その上で、日本人のみならず外国人に対しても、正確な知識と高い教養に裏付けられた、視野の広い意見を伝えることも大切です。また、将来、グローバル社会においてリーダーシップを発揮するには、多種多様な人間関係の中、相手を気遣い、お互いの意見を尊重しながらグループに道標を示す資質が必要です。

そのため、本コースの認定には、これらの資質を裏付ける以下の 4 種類の指標を満たす必要があります。

a)　自律的な外国語コミュニケーション能力
b)　グローバル社会で活躍するために必要な教養
　《グローバル教養》
　（[政治・法律・制度・政策]、[環境]、[資源・エネルギー]、[外国語・文化・歴史・哲学]）
c)　グローバル・コミュニケーション体験
d)　リーダーシップの基盤を作る体験

●GLI の認定

認定には、「GLI フェローシップ」と「GLI 認定コース」修了の 2 種類があります。認定についての詳細は以下の通りです。

両認定とも申請し、認定された場合には、認定証書授与を行います。時期については、別途掲示で連絡します。

○「GLI フェローシップ」認定

下記の認定要件 1～3 のいずれかを入学後に満たすこと。ただし、認定要件 1 は、入学前に取得したものも認定の対象となります。

認定要件を満たした学生は、認定要件を満たしたことが分かる資料を添付の上、認定の申請書を教育支援係に提出して下さい。

認定された学生は、認定要件 1 件につき 1 年間、GLI フェローの称号を利用できるほか、海洋工学部に関する行事等の選考において優遇されるなどの特典が与えられます。

また、本認定は履歴書における賞罰欄に記載できます。

ただし、「GLI 演習Ⅰ」または「GLI 演習Ⅱ」の単位を修得した場合、認定要件 1-1 は自動的に認定されます。

GLI フェローシップの認定要件

1. 自律的な外国語コミュニケーション能力

1-1 又は 1-2 を満たすこと。在学中に 1-2 を申請すればレベルアップが認められますが、1-2 の修得はコース修了のために必須ではありません。

1-1 CEFR B1 のレベル以上の英語能力

外部英語能力試験において、世界的な言語能力評価基準である「ヨーロッパ言語共通参照枠（Common European Framework of Reference for Languages、以下 CEFR)」における独立した言語使用者として英語でコミュニケーションが出来るレベルである B1 以上に匹敵する得点を有すること。

なお、CEFR B2 以上の得点を有した学生は CEFR B1 での申請は出来ません。

認定基準

【2020 年度以前の入学者】

英語試験	CEFR B1	CEFR B2
TOEFL ITP	460 点以上 543 点未満	543 点以上
TOEFL iBT	42 点以上 87 点未満	87 点以上
TOEIC	550 点以上 785 点未満	785 点以上
VELC	563 点以上 770 点未満	770 点以上
英検	2 級	準 1 級以上

※表記以外の外部英語能力試験に関しては、CEFR の指標に基づいて認定します。

【2021 年度以降の入学者】

CEFR の認定基準は履修案内の「Ⅲ本学以外の学修　2. 大学以外の教育施設等における学習」の該当する入学年次の表を用います。

GLI 演習（2021 年度以降の入学者）

「GLI 演習Ⅰ」および「GLI 演習Ⅱ」の単位は 2 年次以上において当該科目を履修し、かつ上記の CEFR B1 のレベル認定を満たす資料を提出した場合に与えられます。

レベル認定は入学前に満たしたものも対象となります。

「GLI 演習Ⅰ」および「GLI 演習Ⅱ」はどちらか一方の単位しか修得できません。

1-2 外国語能力のレベルアップ（コース修了のために必須ではありません）

過去に英語で CEFR B1 の認定を受けた学生が、独立した言語使用者として英語で高度なコミュニケーションが出来る CEFR B2 以上のレベルの能力を満たす-こと。または、本

学部で開講している外国語（ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語）で、CEFR B1以上のレベルの能力を満たすこと。各レベルの能力を有していると客観的に認められる場合に認定します。ただし、外国人留学生の場合は、母語以外の言語を認定対象とします。なお、母語かどうかは自己申告および留学生の生育歴などを考慮して判断します。

2. グローバル・コミュニケーション体験

外国人との自主的かつ継続的なコミュニケーション体験をすること。

例：学内で実施するもの…国際海事訓練セミナー、IAMU Student Session[注1]、Maritime Experiential Learning (MEL) Camp[注2]、GLIP (Global Leadership Intern Program)[注3]、学内のチューター、学生寮留学生生活支援相談員（CA）等

学外で実施するもの…CIEE国際ボランティアプロジェクト、IAESTE（日本国際学生技術研修協会）、長期留学、国際ボランティア等

3. リーダーシップの基盤を作る体験

指導的な役割体験をすること。

例：学内で実施するもの…GLIP (Global Leadership Intern Program)[注3]、学科オリエンテーションやオープンキャンパスのサポート、サークルの役員経験（部長等）等

学外で実施するもの…国際ボランティア、外部ボランティア活動等

認定要件2及び3については所属学科主任の確認を必要とします。また、各認定要件の在学中のGLIフェローシップ認定は1.外国語能力のレベルアップを除き、一回に限られます。

○「GLI認定コース」修了認定

GLIフェローシップの認定要件1～3の全てを満たし、かつ、以下の指定科目の単位を修得していること。

該当する学生は、申請書を教育支援係に提出して下さい。

本コースの修了に必要な学部段階での指定科目及び修了要件

	指標	海事システム工学科	海洋電子機械工学科	流通情報工学科
必修科目	b)	海洋工学概論		
	d)	短艇実習Ⅰ※1 短艇実習Ⅱ※1	短艇実習 船舶実習Ⅰ	流通情報工学演習 流通情報工学実験
英語科目 *（選択）	a)	Intensive EnglishⅠ・Ⅱ，Interactive EnglishⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ　※2 Effective EnglishⅠ・Ⅱ		
	＊英語科目については、表中1科目以上の単位修得が必要			
全学科共通科目 **（選択）	b)	文化人類学 国際政治学 海運実務論 国際交通論 科学論 ドイツ語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ，フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ スペイン語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ，中国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ　※3	民族誌 国際法 エネルギー工学 哲学 基礎ゼミナール	歴史学 大気環境学 港湾環境工学 海洋開発環境エネルギー概論 論理学
	c)	短期長期学外実習（海外）※4・長期学外実習（海外）※4		
	d)	キャリア形成論　　学外実習		
	＊＊全学科共通（選択）科目については、表中10科目以上の単位修得が必要			

a)自律的な外国語コミュニケーション能力に関わる指定科目

b)グローバル教養に関わる指定科目

c)グローバルコミュニケーション体験にかかわる指定科目
d)リーダーシップの基盤を作る体験に関わる指定科目
※1 2021年度以降入学者は「短艇実習」「船舶実験Ⅰ（汐路丸)」を履修すること。
※2 留学生の母語については修了要件に算入しません。なお、母語かどうかは自己申告および留学生の生育歴などを考慮して判断します。
※3 2019年度以降の入学者については「短期学外実習（海外）Ⅰ・Ⅱ」、「長期学外実習（海外）Ⅰ・Ⅱ」を対象とします。
※4 2021年度までの入学者については、2022年3月31日までに修得した指定科目についても有効とします。

●補足

注1：IAMU Student Session
　海事大学の国際交流協会(IAMU)が毎年主催する国際会議の中で、各国の海事系大学の学生が研究成果を発表するセッションです。毎年、本校からは海事システム工学科と海洋電子機械工学科の４年生が１名ずつ、この学生セッションに派遣されています。渡航費用等が本学部より支給されます。

注2：Maritime Experiential Learning (MEL) Camp
　シンガポール海事アカデミー(SMA)が主催する海洋体験学習(MEL)キャンプで、スタークルーズの客船で海洋に関する様々なことを学ぶ交流会です。参加者は、シンガポール、インド、マレーシア、日本などの各国の海事系学校の学生です。過去には、流通情報工学科の学生も参加しています。

注3：GLIP (Global Leadership Intern Program)
　海外での職業体験を支援するプログラムです。数名，アジアに拠点を置く企業へ１週間ほど派遣しています。渡航費用などが本学部より支援されます。

7. 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（リテラシーレベル）　（対象：全学科）

本学では学部学生等が数理・データサイエンス・AI等への関心を高めるとともに、必要な知識及び技術を体系的に修得できるよう、次のとおり教育プログラムを設定しています。

１．教育プログラムの名称・概要

(1) 名称　『数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル)』
(2) 概要　全学共通の学部教育プログラムとして数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)を設定し、本プログラム修了者には修了証を発行する。
　なお、本プログラムは、数理・データサイエンス・AIを学ぶ基礎となるリテラシーのプログラムであり、数理・データサイエンス・AIを学ぶことの意義や社会における利用動向・問題、基礎的な技術の概要についての教育を行う。

２．授業科目及び修了要件

授業科目	学年	単位	修了要件
「データサイエンス入門Ａ」	１年	1	２科目を履修し単位を修得すること。
「データサイエンス入門Ｂ」	１年	1	

３．学生が身に付けられる能力

(1) 「データサイエンス入門Ａ」
　① 社会に対する影響を知り、数理・データサイエンス・AIを学ぶことの意義を理解する。

②　データ・AI研究・利用の最新動向を知る。
③　データの種類と収集方法を知る。
④　データ・AIの活用領域を知る。
⑤　具体的なデータ・AIの活用・開発事例を知る。特に海洋におけるデータ・AIの活用事例を知る。
⑥　データ・AI利活用における倫理・法律・情報セキュリティの問題を理解する。

(2)　「データサイエンス入門Ｂ」
①　データを扱う上での統計学の基礎、可視化、手法について理解する。
②　データ・AI利活用の技術の概要を知る。
③　データからモデルを学習する過程を知る。

４．数理・データサイエンス・AI教育における本プログラムの位置付け

リテラシーレベルに続く数理・データサイエンス・AI教育は以下のように整理できるので今後の学習の参考にしてください。

Ⅰ　データ表現とアルゴリズム：「数学基礎（統計数理、線形代数、微分積分）」「アルゴリズム」、「データ表現」、「プログラミング基礎」
Ⅱ　AI・データサイエンス基礎：「AI基礎」「データサイエンス基礎」、「機械学習の基礎と展望」「深層学習の基礎と展望」
Ⅲ　AI・データサイエンス実践：「データエンジニアリング基礎」、「データ・AI活用 企画・実施・評価」
Ⅳ　数学発展：「統計数理」「線形代数」「微分積分」
Ⅴ　AI応用基礎：「機械学習」「深層学習」「知的活動に関わるAI技術」
Ⅵ　データサイエンス応用基礎：「データハンドリング」「学習の分析」「最適化」
Ⅶ　データエンジニアリング応用基礎：「データエンジニアリング」「各種ライブラリ・フレームワーク」

8. 海洋電子機械工学科商船教員養成コース

海洋電子機械工学科機関システム工学コース商船教員養成コースは、将来、商船教員として教育に携わるにふさわしい人物を持続的･計画的に養成することを目的に設置しているものです。

機関システム工学コース商船教員養成コース所属の学生は、1、2年次の共通コースの後、3年次から「機関システム工学コース」に所属することになりますので、コース分けはありません。
機関システム工学コースの卒業要件に教職科目を加えた単位が、本コースの卒業要件となります。

本冊子掲載の「授業科目及び単位数」・「教員免許状の授与資格を得るために履修すべき授業科目及び単位数」の表が機関システム工学コースの学生とは別になるので注意して下さい。

9. 外国人留学生等の履修方法の特例について

外国人留学生や帰国子女で日本語科目等を受講することが教育上有益であると本学部が認めた学生を対象に、日本語及び日本事情に関する授業科目を開設します。

日本語及び日本事情に関する授業科目を履修する学生は、特例により総合科目の卒業要件単位の一部を日本語・日本事情の単位で代えることができます。

1. 趣　旨

(1) 日本語（日本語Ⅰ～Ⅲ（平成24～28年度入学者）・総合日本語Ⅰ～Ⅳ、応用日本語Ⅰ・Ⅱ（2017年度以降入学者））…大学教育の水準に応じた内容の日本語を学習します。

(2) 日本事情Ⅰ～Ⅳ…日本の歴史、文化、政治、経済、自然、科学技術等を通じて、学部の専門分野に応じた基礎知識を学習します。

(3) 論文のための日本語Ⅰ・Ⅱ…日本語で卒業論文を作成するにあたって必要とされる言葉のルール及び論文の組み立て方を学習します。

2. 授業科目及び単位数等

【2016年度以前の入学者】

授業科目	単位数	毎週授業時間数					
		1年次		2年次		3年次	
		前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
日本事情Ⅰ	2	2					
日本事情Ⅱ	2		2				
日本事情Ⅲ	2			2			
日本事情Ⅳ	2				2		
日本語Ⅰ	2	2	2				
日本語Ⅱ	2	2	2				
日本語Ⅲ	2			2	2		
論文のための日本語Ⅰ	1					2	
論文のための日本語Ⅱ	1						2

【2017年度以降入学者】

授業科目	単位数	毎週授業時間数					
		1年次		2年次		3年次	
		前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
日本事情Ⅰ	2	2					
日本事情Ⅱ	2		2				
日本事情Ⅲ	2			2			
日本事情Ⅳ	2				2		
総合日本語Ⅰ	1	2					
総合日本語Ⅱ	1		2				
総合日本語Ⅲ	1	2					
総合日本語Ⅳ	1		2				
応用日本語Ⅰ	1			2			
応用日本語Ⅱ	1				2		
論文のための日本語Ⅰ	1					2	
論文のための日本語Ⅱ	1						2

3．特例による場合の履修方法

【2016年度以前の入学者】

区分		卒業要件単位数	左記のうち、上記の授業科目の単位をもってあてることができる単位数
総合科目	全学共通科目	5	0
	文化学系	12	8（日本事情Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ）
	哲学・科学論系		
	社会科学系		
	健康・スポーツ系	2	0
	外国語系（必修）	4	2（日本語Ⅰ）
	外国語系（選択必修）	2	2（日本語Ⅱ）
	外国語系（選択）	2	0
	自由選択	4	4（日本語Ⅲ、論文のための日本語Ⅰ・Ⅱ）
	計	31	16

●総合科目については次のとおり履修することができます。

ア．全学共通科目必修5単位を履修しなければなりません。

イ．文化学系、哲学・科学論系及び社会科学系から合計12単位中**8単位**を**「日本事情Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」**の単位で代えることができます。

ウ．健康・スポーツ系必修2単位を履修しなければなりません。

エ．外国語系必修4単位中**2単位**を**「日本語Ⅰ」**の単位で代えることができます。但し、これにより、「Practical EnglishⅠ」を修得しなければ第一級海上特殊無線技士の資格を、「Practical EnglishⅠ」及び「Practical EnglishⅡ」を修得しなければ海技免許講習の課程の修了資格を取得することができません。　また、「Basic EnglishⅠ」、「Basic EnglishⅡ」、「Practical EnglishⅠ」の全てを修得しなければ、教員免許状の授与資格を取得することができません。

オ．外国語系選択必修**2単位**を**「日本語Ⅱ」**の単位で代えることができます。

カ．外国語系選択２単位を履修しなければなりません。

キ．自由選択**4単位**を**「日本語Ⅲ」、「論文のための日本語Ⅰ・Ⅱ」**の単位で代えることができます。

【2017年度以降入学者】

区分		卒業要件単位数	左記のうち、上記の授業科目の単位をもってあてることができる単位数
総合科目	共通導入科目	8	0
	文化学系	12	8（日本事情Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ）
	哲学・科学論系		
	社会科学系		
	健康・スポーツ系	2	0
	外国語系（必修）	4	2（総合日本語Ⅰ・Ⅱ）
	外国語系（選択必修）	2	2（総合日本語Ⅲ・Ⅳ）
	外国語系（選択）	2	0
	自由選択	4	4（応用日本語Ⅰ・Ⅱ、論文のための日本語Ⅰ・Ⅱ）
	計	34	16

●総合科目については次のとおり履修することができます。

ア．共通導入科目必修8単位を履修しなければなりません。

イ．文化学系、哲学・科学論系及び社会科学系から合計12単位中**8単位**を**「日本事情Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」**の単位で代えることができます。

ウ．健康・スポーツ系必修2単位を履修しなければなりません。

エ．外国語系必修4単位中**2単位**を**「総合日本語Ⅰ」**及び**「総合日本語Ⅱ」**の単位で代えるこ

とができます。ただし、これにより、「Practical EnglishⅠ」を修得しなければ第一級海上特殊無線技士の資格を、「Practical EnglishⅠ」及び「Practical EnglishⅡ」を修得しなければ海技免許講習の課程の修了資格を取得することができません。　また、「Basic EnglishⅠ」、「Basic EnglishⅡ」、「Practical EnglishⅠ」の全てを修得しなければ、教員免許状の授与資格を取得することができません。

オ．外国語系選択必修**2単位**を**「総合日本語Ⅲ」**及び**「総合日本語Ⅳ」**の単位で代えることができます。

カ．外国語系選択２単位を履修しなければなりません。

キ．自由選択**4単位**を**「応用日本語Ⅰ・Ⅱ」**及び**「論文のための日本語Ⅰ・Ⅱ」**の単位で代えることができます。

・履修前提科目

履修前提科目「Basic EnglishⅠ・Ⅱ」、「Practical English Ⅰ」のいずれかの単位修得に代えて、上記エにより「日本語Ⅰ（2016年度以前入学者）」又は「総合日本語Ⅰ及び総合日本語Ⅱ（2017年度以降入学者）」の単位を修得した場合は、履修前提科目の内１科目の単位を修得すれば、総合科目（外国語系選択科目）「Effective EnglishⅠ・Ⅱ」「Interactive EnglishⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」、「Intensive EnglishⅠ・Ⅱ」、海事システム工学科専門科目「航海英語Ⅰ・Ⅱ」、「科学英語」、「Topics in Maritime Linguistics」を履修することができます。

●基礎教育科目、専門科目については、自分の入学年度の「授業科目及び単位数」表に掲げられた授業科目を履修しなければなりません。（ただし、他学部の専門科目に振り替えることができる同学部の外国人留学生代替科目の単位は、専門科目の選択科目のうち他学部の専門科目の単位に含むことができます。）

履修にあたって不明な点があれば、教育支援係まで問い合わせて下さい。

10. 他学部・他学科・他コースで開設されている授業科目の履修

●他学部科目

学生は、他学部の授業科目のうち「総合科目で海洋工学部と名称が異なる授業科目」及び「専門科目」についても、授業担当教員の許可を得て履修することができます。

●他学科・他コース科目

学生は、海洋工学部の他学科・他コースに開設されている専門科目を、一部科目を除き履修することができます。海洋工学部で開設している科目のうち、所属している学科・コースの学生のみが履修できる対象科目は、次ページ表のとおりです。

●単位

「他学部の総合科目で海洋工学部と名称が異なる授業科目」の単位を修得した場合は、**4単位**を限度として、総合科目の「自由選択」の単位として卒業要件単位数に算入されます。

他学部・他学科・他コースに開設されている専門科目の単位を修得した場合は、**6単位**を限度に、自学科・自コースの専門科目中「選択科目」の単位として卒業要件単位数に算入されます。

ただし、他学部の授業科目で、同学部において卒業に必要な単位数に含まない授業科目の単位を修得しても、卒業要件単位数には算入されません。

なお、海事システム工学科生については、他学部・他学科開設科目を修得しても、専門科目の卒業要件単位数には算入されません。

また、2019年度以降入学者については、海外インターンシップにかかる科目（「海外派遣キャリア演習Ⅰ」「海外派遣キャリア演習Ⅱ」を含む）を修得しても専門科目の卒業要件単位数には算入されません。

【海洋工学部で開設している科目のうち、学科・コースの所属学生のみ履修できる専門科目】

学　科・コース		入学年度	科　目　名	
海洋工学部全学科 他学科同名科目		全て	卒業研究	学外実習
		2018 年度以前入学者	短期学外実習（海外）	長期学外実習（海外）
		2019 年度以降入学者	短期学外実習Ⅰ（海外） 短期学外実習Ⅱ（海外）	長期学外実習Ⅰ（海外） 長期学外実習Ⅱ（海外）
海事システム工学科		全て	海事システム工学実験演習Ⅰ 海事システム工学実験演習Ⅱ 海事システム工学実験演習Ⅲ 海事システム工学実験演習Ⅳ 海事システム工学実験演習Ⅴ 海事システム工学ゼミナールⅠ 海事システム工学ゼミナールⅡ 海事システム工学ゼミナールⅢ	国際海事訓練セミナー 海洋実習 船舶実習Ⅰ 船舶実習Ⅱ 船舶実習Ⅲ
		2020 年度以前入学者	船舶実験（汐路丸） 短艇実習Ⅰ	短艇実習Ⅱ
		2021 年度以降入学者	船舶実験Ⅰ（汐路丸） 船舶実験Ⅱ（汐路丸）	短艇実習
海洋電子機械工学科		全て	電子機械工学実習 電子機械工学ゼミナール 海洋実習	短艇実習 船舶実習Ⅰ
	機関システム工学コース	全て	機械設計製図（機関） 電子機械工学実験（機関） 船舶実験（汐路丸）	船舶実習Ⅱ 船舶実習Ⅲ 機関実務実習
	制御システム工学コース	全て	機械設計製図（制御） 電子機械工学実験（制御）	制御システム工学演習 船舶実験（汐路丸）
流通情報工学科		全て	基礎プログラミング演習 流通情報工学ゼミナールⅠ 流通情報工学ゼミナールⅡ	流通情報工学実験 流通情報工学演習
		2019 年度以前入学者	応用プログラミング演習	
		2020 年度以降入学者	データサイエンス演習	

11. 大学院先行履修制度

東京海洋大学の大学院に進学を希望する学部学生に、より高度な専門知識修得の機会を提供し、また、大学院入学後の教育研究に資することを目的に大学院授業科目を先行して履修する制度があります。先行履修制度により修得した授業科目の単位は、学部の卒業要件単位数に算入しませんが、履修登録上限単位数には算入されます。学部4年次在籍時に、**6単位まで**先行履修でき、大学院入学後、学生自身が行う所定の手続きを経て研究科長が認めた場合は、6単位を上限として大学院で修得した単位として、素点及び成績評価も含めて認定されます。

詳細は、学務システム等にてお知らせします。

12. 障害等のある学生に対する事前相談について

障害等のある学生で修学上特別な配慮を必要とする方に対し、本学では事前相談を受け付けています。特に本学では授業科目に乗船を伴う実習科目等があり、健康状態によってはそれらの実習科目の履修に制約が生じることがあります。その結果、資格取得の制約となることがありますので、授業の履修に関する配慮を必要とする場合は学期当初に申し出てください。なお、修学上の配慮についての相談は随時受け付けています。

Ⅲ．本学以外の学修

1　既修得単位の認定

2　大学以外の教育施設等における学修

3　東京農工大学工学部の授業科目の履修

4　学生交流協定に基づく海外の大学における学修

Ⅲ. 本学以外の学修

1. 既修得単位の認定

本学部に入学する前に、大学、短期大学又は高等専門学校において修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含みます。）は、申請により認定されることがあります。

既修得単位の認定を受けようとする学生は、**1年次の履修登録開始日の前日まで**に、「既修得単位等認定願」に成績証明書及び認定を希望する科目のシラバス等の写しを添えて教育支援係に提出して下さい。なお、認定された単位の成績評価は「認」と表記されます。

2. 大学以外の教育施設等における学修

本学部では、文部科学大臣が定める学修を本学部における授業科目の履修とみなして、次のとおり単位を認定しています。

単位の認定を申請する学生は、「単位認定願」に合格証明書等、学修の成果を明らかにする書類を添えて、**各学期の定期試験開始の前日までに**教育支援係に提出して下さい。

単位の認定は、英語担当の教養・基礎教育委員会委員が窓口となって行い、認定結果は本人に通知します。

なお、一度修得した科目の成績評価を変更することには使用できません。

【2018年度以前入学者】

CEFR	認定する学修	授 業 科 目	単位数	成績評価
C1	実用英語技能検定1級 又は TOEFL ITP 627点以上 又は TOEFL iBT 110点以上 又は IELTS 7 以上	Practical English Ⅰ Practical English Ⅱ Basic English Ⅰ Basic English Ⅱ	1 1 1 1	優 (100点)
		Effective English Ⅱ Interactive English Ⅰ Interactive English Ⅱ Intensive English Ⅰ Intensive English Ⅱ のうち認定を希望する2科目	1 1 1 1 1	
B2	実用英語技能検定準1級 又は TOEFL ITP 543点以上 又は TOEFL iBT　87点以上 又は TOEIC 785点以上 又は IELTS 5.5以上	Effective English Ⅰ Practical English Ⅰ Basic English Ⅰ Basic English Ⅱ	1 1 1 1	優 (100点)

【2019・2020年度入学者】

CEFR	認定する学修	授 業 科 目	単位数	成績評価
C1	実用英語技能検定1級 又は TOEFL ITP 627点以上 又は TOEFL iBT 110点以上 又は IELTS 7 以上	Practical English Ⅰ Practical English Ⅱ Basic English Ⅰ Basic English Ⅱ	1 1 1 1	優 (100点)
		Effective English Ⅰ Effective English Ⅱ Interactive English Ⅰ Interactive English Ⅱ Intensive English Ⅰ Intensive English Ⅱ のうち認定を希望する2科目	1 1 1 1 1 1	
B2	実用英語技能検定準1級 又は TOEFL ITP 543点以上 又は TOEFL iBT　87点以上 又は TOEIC 785点以上 又は IELTS 5.5以上	Practical English Ⅰ Practical English Ⅱ Basic English Ⅰ Basic English Ⅱ	1 1 1 1	優 (100点)

【2021年度以降入学者】

CEFR	認定する学修	授 業 科 目	単位数	成績評価
C1	実用英語技能検定1級 又は TOEFL ITP 627点以上 又は TOEFL iBT 110点以上 又は IELTS 7 以上	Practical English Ⅰ Practical English Ⅱ Basic English Ⅰ Basic English Ⅱ GLI演習ⅠまたはGLI演習Ⅱ	1 1 1 1 1	優 (100点)
		Effective English Ⅰ Effective English Ⅱ Interactive English Ⅰ Interactive English Ⅱ Intensive English Ⅰ Intensive English Ⅱ のうち認定を希望する2科目	1 1 1 1 1 1	

B2	実用英語技能検定準1級 又は TOEFL ITP 543点以上 又は TOEFL iBT　87点以上 又は TOEIC 785点以上 又は IELTS 5.5以上 又は VELC　770点以上	Practical English Ⅰ Practical English Ⅱ Basic English Ⅰ Basic English Ⅱ GLI演習ⅠまたはGLI演習Ⅱ	1 1 1 1	優 (100点)
B1	実用英語技能検定2級 又は TOEFL ITP　460　点以上 又は TOEFL iBT 42点以上 又は TOEIC 550点以上 又は IELTS 4.0以上 又は VELC　600点以上	GLI演習Ⅰ または GLI演習Ⅱ	1	優 (100点)

3. 東京農工大学工学部の授業科目の履修

東京農工大学との単位互換に関する協定により、同大学の特別聴講学生として講義を受講し単位を修得すれば、本学における履修により修得した単位として、**6単位を限度**に専門科目の選択科目として卒業要件単位数に算入され、認定された単位の成績評価は「認」と表記されます。

ただし、海事システム工学科入学者ついては、上記科目を修得しても卒業要件単位として算入されません。

なお、学期ごとに受講できる授業科目を発表し、受講者を募集しますので、掲示に注意して下さい。

4. 学生交流協定に基づく海外の大学における学修

学生交流協定に基づく海外の大学で単位を修得した場合、下記に該当する科目は申請により認定されることがあり、認定された単位の成績評価は「認」と表記されます。

（ア）留学前に承認を得た専門科目

専門科目（＊1）として認定します。

＊1 海洋電子機械工学科生・・・・・・専門科目 分野を問わず

流通情報工学科生・・・・・・・・専門科目

※海事システム工学科生については、上記科目を修得しても卒業要件単位として算入されません。

（イ）派遣大学で修得した本学で開講していない外国語科目

本学部で開講していない外国語の単位を修得すれば、**総合科目の外国語系科目**として**2単位**

を限度として認定します。

ただし、卒業要件に算入する単位数は（ア）及び（イ）で**6単位を限度**とします。
また、学期途中から交換留学に行く場合は、事前に教育支援係に申し出て下さい。

Ⅳ．成績及び試験関係

1　成績評価

2　成績評点システム（GPA）

3　試験関係

4　追加合格制度

Ⅳ. 成績及び試験関係

1. 成績評価

○ 成績の評価等

●合格した成績の取り消しは、いかなる理由があっても認められません。

●成績の評価基準は次のとおりです。

2021年度以前の入学の学生

成 績 評 価		評価の基準
合　格	優	100点～80点
	良	79点～70点
	可	69点～60点
不合格	不可	59点～ 0点

（注）評価の基準は100点を満点とした点数です。

2022年度入学の学生

成 績 評 価		評価の基準
合　格	A+	100点～90点
	A	89点～80点
	B	79点～70点
	C	69点～60点
不合格	F	59点～ 0点

（注）評価の基準は100点を満点とした点数です。

※「合格」の成績評価を取得した場合、又は認定された場合、所定の単位が授与されます。（認定された場合とは、他大学等で修得した単位が申請により本学で認められた場合を指します。）

○ 成績表の配付

●学期ごとに、教育支援係から指導教員宛に成績表を配付し、学生は指導教員から成績表を受け取ることになります。配付時期については、その都度周知します。

●指導教員を定めていない学生には、成績表は配付しません。

指導教員に関する事項は学生支援係に問い合せて下さい。また、前年度と同じ指導教員であっても、「指導承諾書」を学生支援係に提出して下さい。

なお、4 年次生で卒業研究指導教員と指導教員が同一である場合は、「卒業研究履修申請書」を教育支援係に提出すれば、「指導承諾書」を提出する必要はありません。ただし、卒業研究指導教員と指導教員が異なる場合は、「指導承諾書」を学生支援係に提出して下さい。

○ 成績評価に対する申し立て制度

履修登録を行い定期試験（再試験、追加合格及びレポート提出等を含む。）を受験した授業科目の成績評価に疑義が生じた場合は、各学期の成績表配布時に指定する期間内に、「成績評価に関する説明願」を教育支援係に提出することにより申し立てることができます。

申し立てを受けた、当該授業科目の担当教員は評価基準・内容の説明等を当該学生に対し行う等の必要な措置処置（評価内容の精査に基づく成績評価の修正を含む。）をとります。

○ 単位を授与しないケース

納付すべき入学料、授業料を期日までに納付しないことにより除籍された学生は、除籍された学期に合格した授業科目の単位は授与しません。

2. 成績評点システム（GPA）

海洋工学部では、成績評価の厳密性を高め、きめ細かな履修指導を実現するために、従来の「優・良・可・不可」の4段階の成績評価に加え、成績評点システムを導入しています。その概要は下記のとおりです。

各学生個人への成績評点の通知は、学期末に指導教員を通じて各学生に配付する成績表により行いますので、必ず指導承諾書を提出してください。

なお、証明書発行機で発行できる成績証明書に、GPAは記載されません。

＜成績評点への換算＞

①100点～0点までの素点で入力された成績を右の表に従ってA～Fの評定及び4.0～0までの評点に置き換えます。
②試験欠席の場合は、NPの評定及び0の評点とします。
③出席日数不足の場合はMの評定及び0の評点とします。
④通年科目等でその学期には成績評価が行われない場合にはIP、履修登録期間に取り消された場合にはW、他大学での学修により認定された場合にはTの評定として、評点は付けません。

成績評点（Grade Point）への換算表

素　点	評　定		Grade Point
100～90	A	Excellent	4.0
89～85	B＋	Very Good	3.5
84～80	B	Good	3.0
79～75	C＋	Fairly Good	2.5
74～70	C	Fair	2.0
69～65	D＋	Poor	1.5
64～60	D	Very Poor	1.0
59～0	F	Failure	0
試験欠席	NP	Not Present	0
出席不足	M	Missing	0
通年科目未了	IP	In Progress	－
取り消し	W	Withdrawn	－
認　定	T	Transferred	－

＜成績評点の活用方法＞

- 成績評点から、合計点及び平均点（Grade Points Average：GPA）を算出します。
- GPAをもとに成績順位を付け、コース分け（海洋電子機械工学科対象）等の際に利用します。
- GPAの経過から、各学生個人の履修指導に用います。

＜その他＞

- 成績原簿や成績証明書には海洋工学部履修規則の規定どおり「優・良・可」で表記されます。GPAは記載されません。
- 教職に関する科目、大学院先行履修科目は、GPAの計算から除外します。
  また、海事システム工学科生については、上記科目に加え、実験・演習・実習分野の選択科目、資格・海技士分野の全科目及び他学部／他学科開講科目もGPAの計算から除外します。

3. 試験関係

○ 定期試験

●学期末の一定の期間に行う試験を定期試験といいます。

●定期試験は、本冊子掲載の「学事予定表」に定められた試験・補講期間内に実施します。

●定期試験の時間表については、学務システム等により周知します。通常授業期間の時間表とは異なりますので、注意して下さい。

●授業科目によっては、試験・補講期間以前に実施する場合、又はレポート提出等をもって定期試験に代える場合もあります。

●定期試験では必ず「学生証」を呈示して下さい。特に指示がなければ、試験監督者が見やすいように机上に置いて下さい。

○ 追試験

●定期試験の受験資格があり、かつ、病気・忌引・交通機関の事故・火災・風水害等による罹災等の止むを得ない理由で定期試験を欠席した学生を対象に行う試験です。
※単なる遅刻や試験時間表の見間違い等は、止むを得ない理由とは認められません。

●追試験を希望する学生は、医師の診断書等欠席理由を証する書面を添付して、当該定期試験終了後速やかに**「追試験許可願」**（用紙は教育支援係で交付します。）を授業担当教員及び教育支援係に提出しなければなりません。

●追試験を行うかどうかは、その理由等により判断されるものであり、追試験許可願を出しても必ずしも追試験が行われるとは限りません。

●追試験の実施日は、授業担当教員が指示します。

○ 試験等における不正行為等

●試験等とは、定期試験、再試験、追加合格及び試験以外の方法による課題提出等、成績評価に必要なものを指します。

●不正行為等に該当する学生の行為は、次のとおりです。
・カンニング行為
・受験者本人と偽って他人が受験する行為
・試験監督者（以下「監督者」という。）が事前に持ち込み可と指示した物以外の物を机上に置く行為
・監督者の指示または警告に著しく反する行為
・その他、監督者が不正行為であると認められる行為
・試験以外の方法による課題提出等で不正行為であると授業担当教員が認めた場合

●試験に先立ち携帯電話等は電源を切って、鞄にしまわなければなりません。

●不正行為等を行った学生は、**停学処分**となり、**当該学期の履修登録科目の評価点**が**全て0点**となり単位修得ができなくなります。（「授業科目及び単位数」表上の毎週授業時間数欄に「集」と記載されている集中授業を除きます。）また、処分内容等を学内に公示するとともに、保証人に停学とした旨を通知します。

不正行為に対しては、厳しい処分が下されます。
このような愚行をおかさないよう、注意を喚起します。

4. 追加合格制度

定期試験において**不合格（50点～59点）と評価**された学生を対象に、補講や再試験等を行った上で追加合格を行うことがあります。追加合格制度による成績の評価は、60点以下（可または不可）となります。

追加合格を実施することがある授業科目については、各授業科目のシラバスの**「追加合格制度実施の有無」**の欄を参照、または授業担当教員に照会して下さい。

Ⅴ．在学年限、進級及び卒業等

1　在学年限

2　進級

3　コース分け

4　卒業

5　学位

6　早期卒業

7　年度途中（前学期末）卒業

8　転学部・転学科

9　再入学

Ⅴ．在学年限、進級及び卒業等

1．在学年限

① 1～2 年次は、休学期間を除いて 4 年です。（2 年次編入学生は 2 年次に 2 年です。）その間に 3 年次進級基準を満たさない場合は、2 年次末で除籍となります。 ただし、3 年連続して 2 年次進級基準を満たさない場合は、その時点で除籍となります。
② 3～4 年次は、休学期間を除いて 4 年です。その間に卒業要件を満たさない場合は、4 年次末で除籍となります。 ただし、3 年連続して 4 年次進級基準を満たさない場合は、その時点で除籍となります。

2．進級

(1) 2年次進級

1年次末における「進級基準に算入される単位数」が「進級基準単位数」に達しない学生は、2年次に進級することができません。

「進級基準単位数」は、入学年度毎に下表のとおりです。

入学年度	**2年次進級基準単位数**	卒業要件単位数
2021年度以降入学者	**20単位**	130単位
2017～2020年度入学者	**20単位**	129単位
2016年度以前年度入学者	**20単位**	130単位

※ オーバー単位は、進級基準に算入する単位数に算入しません。

「進級基準に算入される単位数」とオーバー単位について

科目区分ごとの「卒業要件単位数」を超えて修得した単位（いわゆるオーバー単位）は、「進級基準に算入される単位数」に算入しません。従って、総修得単位数が「進級基準単位数」を上回っていても、オーバー単位があるために進級基準に達しないということもあり得ますので、十分注意して下さい。

ただし、総合科目のうち自由選択については、本学部の総合科目の中から科目区分ごとに定める「卒業要件単位数」を超えて修得した単位数を自由選択科目の修得単位数とします。また、他学部の総合科目のうち、本学部と授業科目の名称が異なるものも含めることができます。

なお、オーバー単位及び卒業要件単位数に含めない単位についても、成績表には記載されます。

次ページにて、海事システム工学科の2021年度入学者に適用される科目区分ごとの卒業要件単位数を例に、総修得単位数が「進級基準単位数」を超えているにもかかわらず、進級できないケースを説明します。

〔例：進級基準に算入される単位数が進級基準に達しないケース（海事システム工学科）〕

区分			科目区分ごとの卒業要件単位数	修得単位数	オーバー単位	進級基準に算入される単位数
総合科目	共通導入科目	必修	8	2		2
	文化学系	選択	4	0		0
	哲学・科学論系	選択	4	0		0
	社会科学系	選択	4	0		0
	健康・スポーツ系	必修	2	2		2
	外国語系	必修	4	2		2
	外国語系	選必	3	0		0
	外国語系	選択	2	0		0
	自由選択	選択	4	0		0
	計		35	6		6
基礎教育科目	学部共通科目	必修	14	2		2
	学部共通科目	選択	7	9	2	7
	計		21	11	2	9
専門科目	必修科目		48	4		4
	選択科目		26	0		0
	計		74	4		4
合計			130	21	2	19

（進級基準20単位に1単位不足）

● 上の表では、「基礎教育科目」の「学部共通科目　選択」の科目区分において、卒業要件単位数（7単位）を超えて（9単位）単位を修得しているため、差し引き2単位がオーバー単位となり、進級基準に算入される単位数に算入されません。

つまり、21単位を修得していても、その内2単位がオーバー単位のため、進級基準に算入される単位数の合計は19単位となります。従って、進級基準単位数の20単位に1単位不足し、2年次に進級できないということになります。

※気がついたら進級できなかったということにならないためにも、履修計画をきちんと立てて、区分ごとの修得単位数及びオーバー単位数に十分注意することが大切です。

(2) 3年次進級

進　級　基　準
下記①と②の両方を満たさない学生は、3年次に進級することができません。 ①「Basic EnglishⅠ」、「Basic EnglishⅡ」、「Practical EnglishⅠ」、「微分積分Ⅰ」、「線形代数Ⅰ」、「物理学」の**6科目全てを修得すること。** （ただし、外国人留学生等は「Basic EnglishⅠ」、「Basic EnglishⅡ」、「Practical EnglishⅠ」の内2科目を平成28年度以前入学者においては「日本語Ⅰ」、平成29年度以降入学者においては「総合日本語Ⅰ」「総合日本語Ⅱ」に代えることができます。） ②2年次末における「進級基準に算入される単位数」が下表にある「進級基準単位数」に達すること。

「進級基準単位数」は下表のとおりです。

入学年度	**3年次進級基準単位数**	卒業要件単位数
2021年度以降入学者	**65単位**	130単位
2017-2020年度以降入学者	**64単位**	129単位
2016年度以前入学者	**65単位**	130単位

※　オーバー単位は、進級基準に算入する単位数に算入しません。

※　海事システム工学科生の「進級基準に算入される単位数」は、下記A、B及びCの合算によります。

A：総合科目及び基礎教育科目における卒業要件単位数内修得単位数

B：専門科目【必修科目】の全修得単位数

C：専門科目【選択科目】の**基盤数理系**の**4単位**を限度とした修得単位と、**船舶管理系**又は**海事工学系**から**22単位**を限度とした修得単位を加えた単位数。

なお、**船舶管理系又は海事工学系の修得単位数の多い系の単位が卒業要件単位となり、修得単位数の少ない系の単位はオーバー単位となりますので注意して下さい。**

※　不明点は海事システム工学科学生支援教員（学年担当）に問い合わせて下さい。

次ページにて、流通情報工学科の2020年度入学者に適用される科目区分ごとの卒業要件単位数を例に、総修得単位数が「進級基準単位数」を超えているにもかかわらず、進級できないケースを説明します。

〔例：進級基準に算入される単位数が進級基準に達しないケース（流通情報工学科）〕

区分			科目区分ごとの卒業要件単位数	修得単位数	オーバー単位	進級基準に算入される単位数
総合科目	全学共通科目	必修	8	8		8
	文化学系	選択	4	2		2
	哲学・科学論系	選択	4	6	(2)	4
	社会科学系	選択	4	2		2
	健康・スポーツ系	必修	2	6	(4)	2
	外国語系	必修	4	4		4
	外国語系	選必	2	0		0
	外国語系	選択	2	0		0
	自由選択	選択	4	(6)	2	4
	計		34	28	2	26
基礎教育科目	学部共通科目	必修	12	8		8
	学部共通科目	選択	9	10	1	9
	計		21	18	1	17
専門科目	必修科目		39	12		12
	選択科目		35	6		6
	計		74	18		18
合計			129	64	3	61

（進級基準64単位に3単位不足）

● 上の表では、「総合科目」の「哲学・科学論系」と「健康・スポーツ系」で科目区分ごとの卒業要件単位数を超えて修得した単位（2＋4＝6単位）が「自由選択」の単位に算入されますが、「自由選択」の卒業要件単位数（4単位）を超えているため、差し引き2単位がオーバー単位となり、進級基準に算入される単位数に算入されません。

また、「基礎教育科目」の「学部共通科目　選択」の科目区分においても、卒業要件単位数（9単位）を超えて（10単位）単位を修得しているため、差し引き１単位がオーバー単位となり、進級基準に算入される単位数に算入されません。

つまり、64単位を修得していても、その内3単位がオーバー単位のため、進級基準に算入される単位数の合計は61単位となります。従って、進級基準単位数の64単位に3単位不足し、3年次に進級できないということになります。

※気がついたら進級できなかったということにならないためにも、履修計画をきちんと立てて、区分ごとの修得単位数及びオーバー単位数に十分注意することが大切です。

(3) 4年次進級

進　級　基　準
【2021 年度以降入学者】 下記①②③のすべてを満たさない学生は、4 年次に進級することができません。 ①「GLI 演習Ⅰ」、「GLI 演習Ⅱ」のいずれかを**修得すること。** ②本学に**3 年**（3 年次編入学者は 1 年、2 年次編入学者は 2 年）**以上在学**（休学期間及び停学期間は含みません。ただし、1 ヶ月未満の停学期間については含めることがあります。）していること。 ③3 年次末における「進級基準に算入される単位数」が下表にある「進級基準単位数」に達すること。
【2020 年度以前入学者】 下記①②のすべてを満たさない学生は、4 年次に進級することができません。 ①本学に**3 年**（3 年次編入学者は 1 年、2 年次編入学者は 2 年）**以上在学**（休学期間及び停学期間は含みません。ただし、1 ヶ月未満の停学期間については含めることがあります。）していること。 ②3 年次末における「進級基準に算入される単位数」が下表にある「進級基準単位数」に達すること。

「進級基準単位数」は下表のとおりです。

入学年度	**4年次進級基準単位数**	卒業要件単位数
2021年度以降入学者	**110単位**	130単位
2017-2020年度入学者	**109単位**	129単位
2016年度以前入学者	**110単位**	130単位

※　オーバー単位は、進級基準に算入する単位数に算入しません。

※　海事システム工学科生の「進級基準に算入される単位数」は、下記A、B及びCの合算によります。

A：総合科目及び基礎教育科目における卒業要件単位数内修得単位数

B：専門科目【必修科目】の全修得単位数

C：専門科目【選択科目】の**基盤数理系**の**4単位**を限度とした修得単位と、**船舶管理系**又は**海事工学系**から**22単位**を限度とした修得単位を加えた単位数。

なお、**船舶管理系又は海事工学系の修得単位数の多い系の単位が卒業要件単位となり、修得単位数の少ない系の単位はオーバー単位となりますので注意して下さい。**

不明点は海事システム工学科学生支援教員（学年担当）に問い合わせて下さい。

3. コース分け

【対象学科：海洋電子機械工学科】

海洋電子機械工学科の学生は、3年次進級時に本人の志望を踏まえ、機関システム工学コースもしくは制御システム工学コースに分かれます。このコース分けは、次の要領で行います。

1. 3年次進級予定学生は、2年次2月中旬頃に「コース希望届」を教育支援係に提出して下さい。
2. 2年次後学期までの成績で、成績順に希望コースへ振り分けます。ただし、定員の都合上、希望していないコースに振り分けられる場合があります。
3. 疾病その他特別な理由以外での、コースの変更は認められません。
4. コース分けの結果は、4月1日以降に周知します。

なお、詳細については、学務システム等により周知します。

4. 卒業

卒業するためには、4年（3年次編入学者は2年、2年次編入学者は3年）以上在学し（休学期間は含みません。ただし、1ヶ月未満の停学期間については含めることがあります。）、自分の入学年度の「授業科目及び単位数」（本冊子掲載）に掲げられた授業科目区分ごとの卒業に必要な単位を全て修得することが必要です。

以下に、入学年度ごと、学科・コースごとの卒業要件単位数を掲げます。

【2016年度入学者】

区分			海事システム工学科	海洋電子機械工学科			流通情報工学科
				機関システム工学コース	機関システム工学コース（商船教員養成コース）	制御システム工学コース	
総合科目	全学共通科目	必修	5	5	5	5	5
	文化学系	選択	4	4	4	4	4
	哲学・科学論系	選択	4	4	4	4	4
	社会科学系	必修	―	―	2	―	―
		選択	4	4	2	4	4
	健康・スポーツ系	必修	2	2	2	2	2
	外国語系	必修	4	4	4	4	4
		選必	2	2	2	2	2
		選択	2	2	2	2	2
	その他	必修	―	―	2	―	―
	自由選択（※）		4	4	2	4	4
基礎教育科目	全学共通科目	必修	4	4	4	4	4
	学部共通科目	必修	14	14	14	14	12
		選択	7	7	7	7	9
専門科目	必修科目		48	50	73	51	39
	選択必修科目		―	―	16	―	―
	選択科目（※）		26	24	10	23	35
卒業に必要な単位数			130	130	155	130	130

※　総合科目の「自由選択」の単位は「海洋科学部の総合科目で海洋工学部と名称が異なる授業科目」4単位を含むことができます。

※　海洋電子機械工学科、流通情報工学科学生については、専門科目の「選択科目」の単位は他コース、他学科及び海洋科学部の専門科目6単位を含むことができます。（海洋電子機械工学科は「分野を問わず」、流通情報工学科においては「選択科目」に算入。）ただし、海洋科学部の専門科目で、同学部において卒業に必要な単位数に含まない授業科目を除きます。

海事システム工学科学生については、**他学科、海洋科学部及び他大学の科目を修得**しても、専門科目の**卒業要件単位数には算入されません。**

なお、外国人留学生等にあっては、海洋科学部の専門科目に振り替えることができる同学部の外国人留学生代替科目の単位を含むことができます。具体的な授業科目名については、教育支援係に問い合わせて下さい。

【2017・2018年度入学者】

区分			海事システム工学科	海洋電子機械工学科			流通情報工学科
				機関システム工学コース	機関システム工学コース（商船教員養成コース）	制御システム工学コース	
総合科目	共通導入科目	必修	8	8	8	8	8
	文化学系	選択	4	4	4	4	4
	哲学・科学論系	選択	4	4	4	4	4
	社会科学系	必修	―	―	2	―	―
		選択	4	4	2	4	4
	健康・スポーツ系	必修	2	2	2	2	2
	外国語系	必修	4	4	4	4	4
		選必	2	2	2	2	2
		選択	2	2	2	2	2
	自由選択（※）		4	4	2	4	4
基礎教育科目	学部共通科目	必修	14	14	14	14	12
		選択	7	7	7	7	9
専門科目	必修科目		48	50	75	51	39
	選択必修科目		―	―	16	―	―
	選択科目（※）		26	24	10	23	35
卒業に必要な単位数			129	129	154	129	129

※　総合科目の「自由選択」の単位は「他学部の総合科目で海洋工学部と名称が異なる授業科目」4単位を含むことができます。

※　海洋電子機械工学科、流通情報工学科学生については、専門科目の「選択科目」の単位は他コース、他学科及び他学部の専門科目6単位を含むことができます。（海洋電子機械工学科は「分野を問わず」、流通情報工学科においては「選択科目」に算入。）ただし、他学部の専門科目で、同学部において卒業に必要な単位数に含まない授業科目を除きます。

海事システム工学科学生については、**他学科、他学部及び他大学の科目を修得**しても、専門科目の**卒業要件単位数には算入されません。**

なお、外国人留学生等にあっては、他学部の専門科目に振り替えることができる同学部の外国人留学生代替科目の単位を含むことができます。具体的な授業科目名については、教育支援係に問い合わせて下さい。

【2019・2020年度入学者】

区分			海事システム工学科	海洋電子機械工学科			流通情報工学科
				機関システム工学コース	機関システム工学コース（商船教員養成コース）	制御システム工学コース	
総合科目	共通導入科目	必修	8	8	8	8	8
	文化学系	選択	4	4	4	4	4
	哲学・科学論系	選択	4	4	4	4	4
	社会科学系	必修	―	―	2	―	―
		選択	4	4	2	4	4
	健康・スポーツ系	必修	2	2	2	2	2
	外国語系	必修	4	4	4	4	4
		選必	2	2	2	2	2
		選択	2	2	2	2	2
	自由選択（※）		4	4	2	4	4
基礎教育科目	学部共通科目	必修	14	14	14	14	12
		選択	7	7	7	7	9
専門科目	必修科目		48	50	77	51	39
	選択必修科目		―	―	16	―	―
	選択科目（※）		26	24	10	23	35
卒業に必要な単位数			129	129	156	129	129

※　総合科目の「自由選択」の単位は「他学部の総合科目で海洋工学部と名称が異なる授業科目」4単位を含むことができます。

※　海洋電子機械工学科、流通情報工学科学生については、専門科目の「選択科目」の単位は他コース、他学科及び他学部の専門科目6単位を含むことができます。（海洋電子機械工学科は「分野を問わず」、流通情報工学科においては「選択科目」に算入。）ただし、他学部の専門科目で、同学部において卒業に必要な単位数に含まない授業科目を除きます。

海事システム工学科学生については、**他学科、他学部及び他大学の科目を修得**しても、専門科目の**卒業要件単位数には算入されません。**

なお、外国人留学生等にあっては、他学部の専門科目に振り替えることができる同学部の外国人留学生代替科目の単位を含むことができます。具体的な授業科目名については、教育支援係に問い合わせて下さい。

【2021年度入学者】

区　　分			海事システム工学科	海洋電子機械工学科			流通情報工学科
				機関システム工学コース	機関システム工学コース（商船教員養成コース）	制御システム工学コース	
総合科目	共通導入科目	必修	8	8	8	8	8
	文化学系	選択	4	4	4	4	4
	哲学・科学論系	選択	4	4	4	4	4
	社会科学系	必修	―	―	2	―	―
		選択	4	4	2	4	4
	健康・スポーツ系	必修	2	2	2	2	2
	外国語系	必修	4	4	4	4	4
		選必	3	3	3	3	3
		選択	2	2	2	2	2
	自由選択（※）		4	4	2	4	4
基礎教育科目	学部共通科目	必修	14	14	14	14	12
		選択	7	7	7	7	9
専門科目	必修科目		48	50	77	51	39
	選択必修科目		―	―	16	―	―
	選択科目（※）		26	24	10	23	35
卒業に必要な単位数			130	130	157	130	130

※　総合科目の「自由選択」の単位は「他学部の総合科目で海洋工学部と名称が異なる授業科目」4単位を含むことができます。

※　海洋電子機械工学科、流通情報工学科学生については、専門科目の「選択科目」の単位は他コース、他学科及び他学部の専門科目6単位を含むことができます。（海洋電子機械工学科は「分野を問わず」、流通情報工学科においては「選択科目」に算入。）ただし、他学部の専門科目で、同学部において卒業に必要な単位数に含まない授業科目を除きます。

海事システム工学科学生については、**他学科、他学部及び他大学の科目を修得**しても、専門科目の**卒業要件単位数には算入されません。**

なお、外国人留学生等にあっては、他学部の専門科目に振り替えることができる同学部の外国人留学生代替科目の単位を含むことができます。具体的な授業科目名については、教育支援係に問い合わせて下さい。

【2022年度入学者】

区　　分			海事システム工学科	海洋電子機械工学科			流通情報工学科
				機関システム工学コース	機関システム工学コース（商船教員養成コース）	制御システム工学コース	
総合科目	共通導入科目	必修	8	8	8	8	8
	文化学系	選択	4	4	4	4	4
	哲学・科学論系	選択	4	4	4	4	4
	社会科学系	必修	―	―	2	―	―
		選択	4	4	2	4	4
	健康・スポーツ系	必修	2	2	2	2	2
	外国語系	必修	4	4	4	4	4
		選必	3	3	3	3	3
		選択	2	2	2	2	2
	自由選択（※）		4	4	2	4	4
基礎教育科目	学部共通科目	必修	14	14	14	14	12
		選択	7	7	7	7	9
専門科目	必修科目		48	50	77	51	37
	選択必修科目		―	―	16	―	―
	選択科目（※）		26	24	10	23	37
卒業に必要な単位数			130	130	157	130	130

※　総合科目の「自由選択」の単位は「他学部の総合科目で海洋工学部と名称が異なる授業科目」4単位を含むことができます。

※　海洋電子機械工学科、流通情報工学科学生については、専門科目の「選択科目」の単位は他コース、他学科及び他学部の専門科目6単位を含むことができます。（海洋電子機械工学科は「分野を問わず」、流通情報工学科においては「選択科目」に算入。）ただし、他学部の専門科目で、同学部において卒業に必要な単位数に含まない授業科目を除きます。

海事システム工学科学生については、**他学科、他学部及び他大学の科目を修得**しても、専門科目の**卒業要件単位数には算入されません。**

なお、外国人留学生等にあっては、他学部の専門科目に振り替えることができる同学部の外国人留学生代替科目の単位を含むことができます。具体的な授業科目名については、教育支援係に問い合わせて下さい。

5. 学位

本学部を卒業した学生には、学士（工学）の学位が授与されます。

6. 早期卒業

次の要件を充足する学生は、3年次終了時点での卒業（早期卒業）をすることができます。（ただし、船舶職員養成施設の修了資格を得ようとする学生及び教員免許状を取得しようとする学生はこの適用を受けることができません。）

なお、早期卒業申請等の手続きについては教育支援係に問い合せて下さい。

【早期卒業の要件】

(1) **1年次、2年次のそれぞれの学年の成績評価**において、**履修登録した授業科目の単位数の90%以上が「優」**であり、かつ、**2年次後学期までに開設される必修科目を全て修得**していること。

(2) 2年次の11月末日までに指導教員の承認を得て「早期卒業申請書」を提出して下さい。

(3) (1) 及び (2) を充足した学生は3年次の段階で4年次の授業科目を履修できます。
3年次終了時点で**卒業要件単位数を充足**し、かつ3年次での成績評価も履修登録した授業科目の単位数の**90%以上が「優」**であった場合は、3年次終了時点での卒業を認めます。

7. 年度途中（前学期末）卒業

本学部に4年以上在学（休学期間を含みません。）し、前学期開設授業科目の単位を修得することにより卒業要件を充足した場合には、前学期末（9月末）で自動的に卒業となります。この場合、後学期末（3月末）まで卒業を延期することはできませんので、該当する可能性のある学生は注意して下さい。

8. 転学部・転学科

(1)転学部

本学部から海洋生命科学部又は海洋資源環境学部への転学部を希望する場合は、2 年次への転学部が出願可能です。転学部を希望する学生は、1 年次後学期に入ったら教務係（品川キャンパス）に問い合わせて下さい。

（注）海洋生命科学部又は海洋資源環境学部への転学部を希望する学生は、下記の要件を満たさなくてはいけません。

・次に掲げるいずれかの英語資格等を保持していること（出願時に証明書原本を提出すること）。

英語資格等	スコア
TOEIC (Listening & Reading Test)	500 点以上
TOEFL	TOEFL（iBT）52 点以上
IELTS	バンド 4.5 以上

・大学入学共通テストにおいて、転学部希望先の各学科が指定する次の教科を受験していること。

海洋生物資源学科　数学，理科，外国語
食品生産科学科　数学，理科，外国語
海洋政策文化学科　なし
海洋環境科学科　数学，理科，外国語
海洋資源エネルギー学科　数学，理科，外国語

・一般選抜により入学した学生であること。
・第１年次に在学している学生（ただし留年した学生を除く。）

・東京海洋大学海洋工学部履修規則第１９条の規定に基づく第２年次進級要件を満たしていること、又は見込みがあること。

⑵転学科

転学科は、在学中1回に限り出願できます。転学科を希望する学生は、1年次又は2年次後学期に入ったら教育支援係に問い合わせて下さい。

なお、転学科を申し出ることができる学生の成績基準は、転学科を申し出る時点において**累積GPAによる順位が所属する学科及び年次の上位50%以内**です。

また、船舶職員養成施設の修了資格を得ようとする学生は、海事システム工学科及び海洋電子機械工学科**2年次**への転学科に限りますので、注意して下さい。

9. 再入学

本学を退学又は除籍後3年以内に再入学を願い出たときは、選考の上、許可することがあります。
なお、再入学を希望する者は、再入学をしようとする学期の2ヶ月前までに窓口に願い出る必要があり、再入学が許可されるには条件がありますので、詳細は教育支援係に問い合わせて下さい。

Ⅵ. 資格取得

1　教員免許状

2　船舶職員に関係する資格

VI. 資格取得

1. 教員免許状

在学中に教員免許状取得に必要な単位を修得して卒業すれば、高等学校教諭１種免許状を授与される資格が得られます。免許状授与の申請は、本人が直接、都道府県の教育委員会に申請することになります。文部科学省より認定を受けている免許教科は次のとおりです。

学科		教科
海事システム工学科		商船又は工業
海洋電子機械工学科	機関システム工学コース	商船
	制御システム工学コース	工業
流通情報工学科		工業

教職課程の授業科目を履修しようとする学生は、当該学期の履修登録に先立って**「教職課程履修者登録届」**を提出して下さい。届け出を提出
しなければ、教職課程授業科目の履修登録は認められません。また、一度届け出を提出すれば、在学期間を通じてその登録を有効とします。なお、登録を取り消す場合は、**「教職課程履修者登録辞退届」**を教職課程担当教員に提出して下さい。

教員免許状取得に必要な単位については、次ページ以降掲載の「教員免許状の授与資格を得るために履修すべき授業科目及び単位数」表を参照して下さい。

教員免許状の授与資格を得るために履修すべき授業科目及び単位数
（2016年度入学者）

【履修上の注意】

1. **教職に関する科目及び文部科学省令で定める科目**：免許教科の区分に従い全て履修して下さい。
2. **教科に関する科目**：職業指導は必修。学科・コースごとの表に従い所要の単位数を修得して下さい。
3. 教職に関する科目は卒業要件の単位には算入されないので留意して下さい。（商船教員養成コースを除く。）
4. 教育実習は、4年次の5月から6月頃の2週間の期間で実施しますが、3年次までに履修すべき「教職に関する科目」の単位すべてを修得している学生だけが履修できます。
   なお、教育実習を履修する学生は、教育実習実施中の事故への対応として「学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険（A:学生教育研究賠償責任保険）」に加入することが必要となります。
   保険に加入していない場合は、教育実習を履修できません。保険加入については、学生支援係に問い合わせて下さい。
5. 教育実習参加に際しては、実習校より、麻疹等に感染していないことを証明する書類の提出を求められる場合があります。

1　教職に関する科目及び文部科学省令で定める科目　　【2016年度】

区分	免許教科	授業科目	単位数	毎週授業時間数									備考
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期 Ⅰ	後学期 Ⅱ	
教職に関する科目	共通	現代教師論	2		2								
		教育原理	2			2							
		教育心理学	2			2							
		教育行政学	2				集						教職選択必修注1
		比較教育制度論	2				集						
		教育方法学	2				2						
		教育相談	2					集					
		生徒・進路指導	2					2					
		特別活動指導法	2						集				
		教職実践演習（高等学校）	2							集			
		教育実習事前事後指導	1							集			
		教育実習	2							集			
	商船	商船科指導法Ⅰ	2					2					教職選択必修注2
		商船科指導法Ⅱ	2						2				
	工業	工業科指導法Ⅰ	2					2					教職選択必修注3
		工業科指導法Ⅱ	2						2				
文部科学省令で定める科目	共通	日本国憲法	単位数及び毎週授業時間数は、授業科目及び単位数の表の1総合科目のとおり										
		スポーツⅠ											
		スポーツⅡ											
		Basic EnglishⅠ											
		Basic EnglishⅡ											
		Practical EnglishⅠ											
		Practical EnglishⅡ											
		情報リテラシー	単位数及び毎週授業時間数は、授業科目及び単位数の表の2基礎教育科目のとおり										

注1　「教育行政学」「比較教育制度論」から1科目選択必修
注2　高等学校教諭１種免許状（商船）の課程履修者必修
注3　高等学校教諭１種免許状（工業）の課程履修者必修
注4　外国人留学生等が、「Basic EnglishⅠ・Ⅱ」「Practical EnglishⅠ・Ⅱ」のいずれかの単位修得に代えて、「日本語Ⅰ」の単位を修得した場合には、教員の免許状授与の所要資格を取得することはできません。

2　教科に関する科目

(1) 海事システム工学科

【2016年度】

区分	免許教科	授業科目	単位数	毎週授業時間数 1年次 前学期	1年次 後学期	2年次 前学期	2年次 後学期	3年次 前学期	3年次 後学期	4年次 前学期	4年次 後学期 Ⅰ	4年次 後学期 Ⅱ	備考
教科に関する科目	商船	職業指導（商船）	単位数及び毎週授業時間数は、授業科目及び単位数の表の1総合科目のとおり。 ただし、当該表にかかわらず、必修科目とする。										
		大気環境学 抵抗推進論 航海システムⅠ 運航管理 保険契約法 海上危機管理論 海洋環境学 国際法 船舶運航論 組織管理論 計測工学Ⅱ 船体構造論 航海システムⅡ 航海システムⅢ マリナーズファクターと安全運航 機関システム工学概論 航海システム概論 船舶実験（汐路丸） 海洋実習 短艇実習Ⅰ 短艇実習Ⅱ 航海英語Ⅰ 航海英語Ⅱ 海事法規 船舶医学 国際海事訓練セミナー	単位数及び毎週授業時間数は、授業科目及び単位数の表の3専門科目のとおり。 ただし、「機関システム工学概論」にあっては、当該表にかかわらず、必修科目とする。										
履修単位			「職業指導（商船）」及び「機関システム工学概論」を含め36単位以上修得して下さい。										

【平成28年度（2016年度）】

区分	免許教科	授業科目	単位数	毎週授業時間数 1年次 前学期	1年次 後学期	2年次 前学期	2年次 後学期	3年次 前学期	3年次 後学期	4年次 前学期	4年次 後学期 Ⅰ	4年次 後学期 Ⅱ	備考
教科に関する科目	工業	職業指導（工業）	単位数及び毎週授業時間数は、授業科目及び単位数の表の1総合科目のとおり。 ただし、当該表にかかわらず、必修科目とする。										
		計算機科学	単位数及び毎週授業時間数は、授業科目及び単位数の表の2基礎教育科目のとおり。 ただし、当該表にかかわらず、必修科目とする。										
		海事システム工学概論 電気工学 船舶基礎力学 電子通信工学 信号情報処理 安全工学 信頼性工学 海事情報処理 浮体運動論 制御工学 海事システム工学実験演習Ⅰ 海事システム工学実験演習Ⅱ 海事システム工学実験演習Ⅲ 海事システム工学実験演習Ⅳ Topics in Maritime Linguistics 海事システム工学実験演習Ⅴ アルゴリズム 計測工学Ⅰ 通信ネットワーク ラプラス・フーリエ解析 最適化数学 確率論 振動と波動 複素解析 数値解析	単位数及び毎週授業時間数は、 授業科目及び単位数の表の3専門科目のとおり。										
履修単位			「職業指導（工業）」及び「計算機科学」を含め36単位以上修得して下さい。										

(2) 海洋電子機械工学科　機関システム工学コース（商船教員養成コース除く）　【2016年度】

区分	免許教科	授業科目	単位数	毎週授業時間数 1年次 前学期	1年次 後学期	2年次 前学期	2年次 後学期	3年次 前学期	3年次 後学期	4年次 前学期	4年次 後学期 Ⅰ	4年次 後学期 Ⅱ	備考
教科に関する科目	商船	職業指導（商船）	単位数及び毎週授業時間数は、授業科目及び単位数の表の1総合科目のとおり。 ただし、当該表にかかわらず、必修科目とする。										
		機関システム工学入門 ターボ動力工学Ⅰ ターボ動力工学Ⅱ ガスタービン工学 内燃機関工学Ⅰ 内燃機関工学Ⅱ エネルギー工学 原子力機関工学 補助機械工学 冷凍空調工学 流体機械工学 電気工学 電気機器学 船舶工学Ⅰ 船舶工学Ⅱ 船舶医学 機関英語Ⅰ 機関英語Ⅱ 海事法概論 国際法 海運経営論 材料・機械力学演習 熱流体工学演習 船舶実験（汐路丸） 電子機械工学ゼミナール 海洋実習 短艇実習 機関実務実習	単位数及び毎週授業時間数は、授業科目及び単位数の表の3専門科目のとおり。 ただし、「機関システム工学入門」にあっては、当該表にかかわらず、必修科目とする。										
履修単位			「職業指導（商船）」及び「機関システム工学入門」を含め36単位以上修得して下さい。										

(3) 海洋電子機械工学科　制御システム工学コース　【平成28年度（2016年度）】

区分	免許教科	授業科目	単位数	毎週授業時間数 1年次 前学期	1年次 後学期	2年次 前学期	2年次 後学期	3年次 前学期	3年次 後学期	4年次 前学期	4年次 後学期 Ⅰ	4年次 後学期 Ⅱ	備考
教科に関する科目	工業	職業指導（工業）	単位数及び毎週授業時間数は、授業科目及び単位数の表の1総合科目のとおり。 ただし、当該表にかかわらず、必修科目とする。										
		計算機科学	単位数及び毎週授業時間数は、授業科目及び単位数の表の2基礎教育科目のとおり。 ただし、当該表にかかわらず、必修科目とする。										
		材料力学 機械力学 トライボロジー 金属材料学 環境材料学 工業熱力学 伝熱工学 流体工学 機械設計製図 精密加工学 材料物理工学 計算物理学 ロボット工学Ⅰ ロボット工学Ⅱ ソフトウェア工学 制御工学Ⅰ 制御工学Ⅱ 基礎電子工学 制御システム工学演習 エレクトロニクスⅠ エレクトロニクスⅡ 振動と波動 計測工学 化学エネルギー変換工学 信号情報処理 信頼性工学 データ構造とアルゴリズム 情報数学 電子機械工学実習 電子機械工学実験 ラプラス・フーリエ解析 確率論 最適化数学 複素解析 数値解析	単位数及び毎週授業時間数は、 授業科目及び単位数の表の3専門科目のとおり。										
履修単位			「職業指導（工業）」及び「計算機科学」を含め36単位以上修得して下さい。										

(4) 海洋電子機械工学科　機関システム工学コース（商船教員養成コース）　【平成28年度（2016年度）】

区分	免許教科	授業科目	単位数	毎週授業時間数								備考
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期 Ⅰ Ⅱ	
教科に関する科目	商船	職業指導（商船）	単位数及び毎週授業時間数は、授業科目及び単位数の表の1総合科目のとおり。 ただし、当該表にかかわらず、必修科目とする。									
		機関システム工学入門 ターボ動力工学Ⅰ ターボ動力工学Ⅱ ガスタービン工学 内燃機関工学Ⅰ 内燃機関工学Ⅱ エネルギー工学 原子力機関工学 補助機械工学 冷凍空調工学 流体機械工学 電気工学 電気機器学 船舶工学Ⅰ 船舶工学Ⅱ 船舶医学 機関英語Ⅰ 機関英語Ⅱ 海事法概論 国際法 海運経営論 材料・機械力学演習 熱流体工学演習 船舶実験（汐路丸） 電子機械工学ゼミナール 海洋実習 短艇実習 機関実務実習	単位数及び毎週授業時間数は、授業科目及び単位数の表の3専門科目のとおり。 ただし、「機関システム工学入門」にあっては、当該表にかかわらず、必修科目とする。								
履修単位			「職業指導（商船）」及び「機関システム工学入門」を含め36単位以上修得して下さい。									

(5) 流通情報工学科 【2016年度】

区分	免許教科	授業科目	単位数	毎週授業時間数								備考
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期 Ⅰ Ⅱ	
教科に関する科目	工業	職業指導（工業）	単位数及び毎週授業時間数は、授業科目及び単位数の表の1総合科目のとおり。 ただし、当該表にかかわらず、必修科目とする。									
		計算機科学	単位数及び毎週授業時間数は、授業科目及び単位数の表の2基礎教育科目のとおり。 ただし、当該表にかかわらず、必修科目とする。									
		物流施設計画学 コンテナ輸送工学 物流管理工学 物流リスク工学 流通最適化工学 流通基盤計画学 港湾環境工学 物流システム工学 流通オペレーションズ・リサーチ 作業管理工学 交通計画学 流通データ分析 物流シミュレーション工学 基礎プログラミング演習 応用プログラミング演習 アルゴリズム設計 流通情報システム 認知情報科学 情報数学 データ構造とアルゴリズム 流通情報工学ゼミナールⅠ 流通情報工学ゼミナールⅡ 流通情報工学実験 流通情報工学演習 安全管理学 衛星測位工学 安全工学 ラプラス・フーリエ解析 確率論 最適化数学 複素解析 数値解析	単位数及び毎週授業時間数は、 授業科目及び単位数の表の3専門科目のとおり。									
履修単位			「職業指導（工業）」及び「計算機科学」を含め36単位以上修得して下さい。									

教員免許状の授与資格を得るために履修すべき授業科目及び単位数
（2017・2018年度入学者）

【履修上の注意】

1. **教職に関する科目及び文部科学省令で定める科目**：免許教科の区分に従い全て履修して下さい。
2. **教科に関する科目**：職業指導は必修。学科・コースごとの表に従い所要の単位数を修得して下さい。
3. 教職に関する科目は卒業要件の単位には算入されないので留意して下さい。（商船教員養成コースを除く。）
4. 教育実習は、4年次の5月から6月頃の2週間の期間で実施しますが、3年次までに履修すべき「教職に関する科目」の単位すべてを修得している学生だけが履修できます。
   なお、教育実習を履修する学生は、教育実習実施中の事故への対応として「学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険（A:学生教育研究賠償責任保険）」に加入することが必要となります。
   保険に加入していない場合は、教育実習を履修できません。保険加入については、学生支援係に問い合わせて下さい。
5. 教育実習参加に際しては、実習校より、麻疹等に感染していないことを証明する書類の提出を求められる場合があります。

1　教職に関する科目及び文部科学省令で定める科目　【2017・2018年】

区分	免許教科	授業科目	単位数	毎週授業時間数									備考
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期 Ⅰ	後学期 Ⅱ	
教職に関する科目	共通	現代教師論	2		2								
		教育原理	2			2							
		教育心理学	2			2							
		教育行政学	2				集						教職選択必修注1
		比較教育制度論	2				集						
		教育方法学	2				2						
		教育相談	2					集					
		生徒・進路指導	2					2					
		特別活動指導法	2						集				
		教職実践演習（高等学校）	2							集			
		教育実習事前事後指導	1							集			
		教育実習	2							集			
	商船	商船科指導法Ⅰ	2					2					教職選択必修注2
		商船科指導法Ⅱ	2						2				
	工業	工業科指導法Ⅰ	2					2					教職選択必修注3
		工業科指導法Ⅱ	2						2				
文部科学省令で定める科目	共通	情報リテラシー	単位数及び毎週授業時間数は、授業科目及び単位数の表の1総合科目のとおり										
		日本国憲法											
		スポーツⅠ											
		スポーツⅡ											
		Basic EnglishⅠ											
		Basic EnglishⅡ											
		Practical EnglishⅠ											
		Practical EnglishⅡ											

注1　「教育行政学」「比較教育制度論」から1科目選択必修
注2　高等学校教諭１種免許状（商船）の課程履修者必修
注3　高等学校教諭１種免許状（工業）の課程履修者必修
注4　外国人留学生等が、「Basic EnglishⅠ・Ⅱ」「Practical EnglishⅠ・Ⅱ」のいずれかの単位修得に代えて、「総合日本語Ⅰ」、「総合日本語Ⅱ」の単位を修得した場合には、教員の免許状授与の所要資格を取得することはできません。

2　教科に関する科目

(1) 海事システム工学科

【2017・2018年度】

区分	免許教科	授業科目	単位数	毎週授業時間数 1年次 前学期	1年次 後学期	2年次 前学期	2年次 後学期	3年次 前学期	3年次 後学期	4年次 前学期	4年次 後学期 Ⅰ	4年次 後学期 Ⅱ	備考
教科に関する科目	商船	大気環境学 抵抗推進論 航海システムⅠ 運航管理 保険契約法 海上危機管理論 海洋環境学 国際法 船舶運航論 組織管理論 計測工学Ⅱ 船体構造論 航海システムⅡ 航海システムⅢ マリナーズファクターと安全運航 機関システム工学概論 職業指導（商船） 航海システム概論 船舶実験（汐路丸） 海洋実習 短艇実習Ⅰ 短艇実習Ⅱ 航海英語Ⅰ 航海英語Ⅱ 海事法規 船舶医学 国際海事訓練セミナー	単位数及び毎週授業時間数は、授業科目及び単位数の表の3専門科目のとおり。 ただし、「機関システム工学概論」及び「職業指導（商船）」にあっては、当該表にかかわらず、必修科目とする。										
履修単位			「機関システム工学概論」及び「職業指導（商船）」を含め36単位以上修得して下さい。										

【平成29・30年度（2017・2018年度）】

区分	免許教科	授業科目	単位数	毎週授業時間数 1年次 前学期	1年次 後学期	2年次 前学期	2年次 後学期	3年次 前学期	3年次 後学期	4年次 前学期	4年次 後学期 Ⅰ	4年次 後学期 Ⅱ	備考
教科に関する科目	工業	計算機科学	単位数及び毎週授業時間数は、授業科目及び単位数の表の2基礎教育科目のとおり。 ただし、当該表にかかわらず、必修科目とする。										
		海事システム工学概論 電気工学 船舶基礎力学 電子通信工学 信号情報処理 安全工学 信頼性工学 海事情報処理 浮体運動論 制御工学 職業指導（工業） 海事システム工学実験演習Ⅰ 海事システム工学実験演習Ⅱ 海事システム工学実験演習Ⅲ 海事システム工学実験演習Ⅳ Topics in Maritime Linguistics 海事システム工学実験演習Ⅴ アルゴリズム 計測工学Ⅰ 通信ネットワーク ラプラス・フーリエ解析 最適化数学 確率論 振動と波動 複素解析 数値解析	単位数及び毎週授業時間数は、授業科目及び単位数の表の3専門科目のとおり。 ただし、「職業指導（工業）」にあっては、当該表にかかわらず、必修科目とする。										
履修単位			「計算機科学」及び「職業指導（工業）」を含め36単位以上修得して下さい。										

(2) 海洋電子機械工学科　機関システム工学コース（商船教員養成コース除く）　【2017・2018年度】

区分	免許教科	授業科目	単位数	毎週授業時間数								備考
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期 Ⅰ Ⅱ	
教科に関する科目	商船	機関システム工学入門 ターボ動力工学Ⅰ ターボ動力工学Ⅱ ガスタービン工学 内燃機関工学Ⅰ 内燃機関工学Ⅱ エネルギー工学 原子力機関工学 補助機械工学 冷凍空調工学 流体機械工学 電気工学 電気機器学 電気推進基礎論 機関システム管理工学 船舶工学Ⅰ 船舶工学Ⅱ 船舶医学 機関英語Ⅰ 機関英語Ⅱ 海事法概論 国際法 海運経営論 材料・機械力学演習 熱流体工学演習 船舶実験（汐路丸） 電子機械工学ゼミナール 海洋実習 短艇実習 機関実務実習 職業指導（商船）	単位数及び毎週授業時間数は、授業科目及び単位数の表の3専門科目のとおり。 ただし、「機関システム工学入門」及び「職業指導（商船）」にあっては、当該表にかかわらず、必修科目とする。									
履修単位			「機関システム工学入門」及び「職業指導（商船）」を含め36単位以上修得して下さい。									

(3) 海洋電子機械工学科　制御システム工学コース　【平成29・30年度（2017・2018年度）】

区分	免許教科	授業科目	単位数	毎週授業時間数								備考
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期 Ⅰ Ⅱ	
教科に関する科目	工業	計算機科学	単位数及び毎週授業時間数は、授業科目及び単位数の表の2基礎教育科目のとおり。 ただし、当該表にかかわらず、必修科目とする。									
		海洋流体工学 材料力学 機械力学 トライボロジー 金属材料学 環境材料学 工業熱力学 伝熱工学 流体工学 機械設計製図 機械加工学 材料物理工学 計算物理学 ロボット工学Ⅰ ロボット工学Ⅱ 水中機器学 ソフトウェア工学 制御工学Ⅰ 制御工学Ⅱ 応用制御工学 基礎電子工学 制御システム工学演習 半導体工学 電子回路論 振動と波動 計測工学 化学エネルギー変換工学 信号情報処理 信頼性工学 データ構造とアルゴリズム 情報数学 電子機械工学実習 電子機械工学実験 ラプラス・フーリエ解析 確率論 最適化数学 複素解析 数値解析 職業指導（工業）	単位数及び毎週授業時間数は、授業科目及び単位数の表の3専門科目のとおり。 ただし、「職業指導（工業）」にあっては、当該表に関わらず、必修科目とする。									
履修単位			「計算機科学」及び「職業指導（工業）」を含め36単位以上修得して下さい。									

(4) 海洋電子機械工学科　機関システム工学コース（商船教員養成コース）　【平成29・30年度（2017・2018年度）】

区分	免許教科	授業科目	単位数	毎週授業時間数									備考
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期 Ⅰ	後学期 Ⅱ	
教科に関する科目	商船	機関システム工学入門 ターボ動力工学Ⅰ ターボ動力工学Ⅱ ガスタービン工学 内燃機関工学Ⅰ 内燃機関工学Ⅱ エネルギー工学 原子力機関工学 補助機械工学 冷凍空調工学 流体機械工学 電気工学 電気機器学 電気推進基礎論 機関システム管理工学 船舶工学Ⅰ 船舶工学Ⅱ 船舶医学 機関英語Ⅰ 機関英語Ⅱ 海事法概論 国際法 海運経営論 材料・機械力学演習 熱流体工学演習 船舶実験（汐路丸） 電子機械工学ゼミナール 海洋実習 短艇実習 機関実務実習 職業指導（商船）	単位数及び毎週授業時間数は、授業科目及び単位数の表の3専門科目のとおり。 ただし、「機関システム工学入門」及び「職業指導（商船）」にあっては、当該表にかかわらず、必修科目とする。										
履修単位			「機関システム工学入門」及び「職業指導（商船）」を含め36単位以上修得して下さい。										

(5) 流通情報工学科 【2017・2018年度】

区分	免許教科	授業科目	単位数	毎週授業時間数									備考
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期 Ⅰ	後学期 Ⅱ	
教科に関する科目	工業	計算機科学	単位数及び毎週授業時間数は、授業科目及び単位数の表の2基礎教育科目のとおり。 ただし、当該表にかかわらず、必修科目とする。										
		物流施設計画学 コンテナ輸送工学 物流管理工学 物流リスク工学 流通最適化工学 流通基盤計画学 港湾環境工学 物流システム工学 流通オペレーションズ・リサーチ 作業管理工学 交通計画学 流通データ分析 物流シミュレーション工学 基礎プログラミング演習 応用プログラミング演習 アルゴリズム設計 流通情報システム 認知情報科学 情報数学 データ構造とアルゴリズム 流通情報工学ゼミナールⅠ 流通情報工学ゼミナールⅡ 流通情報工学実験 流通情報工学演習 安全管理学 衛星測位工学 安全工学 最適化数学 確率論 数値解析 職業指導（工業） ラプラス・フーリエ解析 複素解析	単位数及び毎週授業時間数は、授業科目及び単位数の表の3専門科目のとおり。 ただし、「職業指導（工業）」にあっては、当該表にかかわらず、必修科目となる。									
履修単位			「計算機科学」及び「職業指導（工業）」を含め36単位以上修得して下さい。										

教員免許状の授与資格を得るために履修すべき授業科目及び単位数
（2019年度入学者）

【履修上の注意】

1. **教育の基礎的理解に関する科目等及び文部科学省令で定める科目**：全て履修して下さい。
2. **教科及び教科の指導法に関する科目**：免許教科ごとの表に従い所要の単位数を修得して下さい。
3. 教育の基礎的理解に関する科目等は卒業要件の単位には算入されないので留意して下さい。（商船教員養成コースを除く。）
   また、教科及び教科の指導法に関する科目のうち、「商船科指導法Ⅰ・Ⅱ」、「工業化指導法Ⅰ・Ⅱ」、「職業指導（商業または工業）」は卒業要件単位数に含みません。
4. 教育実習は、4年次の5月から6月頃の2週間の期間で実施しますが、3年次までに履修すべき「教職に関する科目」の単位すべてを修得している学生だけが履修できます。
   なお、教育実習を履修する学生は、教育実習実施中の事故への対応として「学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険（A：学生教育研究賠償責任保険）」に加入することが必要となります。
   保険に加入していない場合は、教育実習を履修できません。保険加入については、学生支援係に問い合わせて下さい。
5. 教育実習参加に際しては、実習校より、麻疹等に感染していないことを証明する書類の提出を求められる場合があります。

1　教育の基礎的理解に関する科目等　　【2019年度】

免許教科	授業科目	単位数	毎週授業時間数									備考
			1年次		2年次		3年次		4年次			
			前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期 Ⅰ	後学期 Ⅱ	
共通	現代教師論	2		2								
	教育原理	2			2							
	教育心理学	2			2							
	特別支援教育概論	1				集						
	教育行政学	2				集						教職選択必修注1
	比較教育制度論	2				集						教職選択必修注1
	教育方法学	2				2						
	教育相談	2					集					
	教育課程論	1					集					
	生徒・進路指導	2					2					
	特別活動及び総合的な探究の時間の指導法	2						集				
	教職実践演習（高等学校）	2							集			
	教育実習事前事後指導	1							集			
	教育実習	2							集			

注1　「教育行政学」「比較教育制度論」から1科目選択必修

2　文部科学省令で定める科目

免許教科	授業科目	単位数	毎週授業時間数
共通	情報リテラシー		単位数及び毎週授業時間数は、授業科目及び単位数の表の1総合科目のとおり
	日本国憲法		
	スポーツⅠ		
	スポーツⅡ		
	Basic EnglishⅠ		
	Basic EnglishⅡ		
	Practical EnglishⅠ		
	Practical EnglishⅡ		

注2　外国人留学生等が、「Basic EnglishⅠ・Ⅱ」「Practical EnglishⅠ・Ⅱ」のいずれかの単位修得に代えて、「総合日本語Ⅰ」、「総合日本語Ⅱ」の単位を修得した場合には、教員の免許状授与の所要資格を取得することはできません。

3　教科及び教科の指導法に関する科目

（1）商船

以下の表の中から36単位以上修得すること。　【2019年度】

海事システム工学科	海洋電子機械工学科 機関システム工学コース （商船教員養成コースも含む）	備　　考
商船科指導法Ⅰ※ 商船科指導法Ⅱ※ 機関システム工学概論　※ 職業指導（商船）　※	商船科指導法Ⅰ※ 商船科指導法Ⅱ※ 機関システム工学入門　※ 職業指導（商船）　※	※のついた4科目（8単位）は全て修得する必要がある。
大気環境学 抵抗推進論 航海システムⅠ 運航管理 保険契約法 海上危機管理論 海洋環境学 国際法 船舶運航論 組織管理論 計測工学Ⅱ 船体構造論 航海システムⅡ 航海システムⅢ マリナーズファクターと安全運航 航海システム概論 船舶実験（汐路丸） 海洋実習 短艇実習Ⅰ 短艇実習Ⅱ 航海英語Ⅰ 航海英語Ⅱ 海事法規 船舶医学 国際海事訓練セミナー	ターボ動力工学Ⅰ ターボ動力工学Ⅱ ガスタービン工学 内燃機関工学Ⅰ 内燃機関工学Ⅱ エネルギー工学 原子力機関工学 補助機械工学 冷凍空調工学 流体機械工学 電気工学 電気機器学 電気推進基礎論 機関システム管理工学 船舶工学Ⅰ 船舶工学Ⅱ 船舶医学 機関英語Ⅰ 機関英語Ⅱ 海事法概論 国際法 海運経営論 材料・機械力学演習 熱流体工学演習 船舶実験（汐路丸） 電子機械工学ゼミナール 海洋実習 短艇実習 機関実務実習	単位数及び毎週授業時間数は、授業科目及び単位数の表の3専門科目のとおり。

(2) 工業

以下の表の中から36単位以上修得すること。 【2019年度】

海事システム工学科	海洋電子機械工学科 制御システム工学コース	流通情報工学科	備　　考
工業科指導法Ⅰ※ 工業科指導法Ⅱ※ 計算機科学　※ 職業指導（工業）　※	工業科指導法Ⅰ※ 工業科指導法Ⅱ※ 計算機科学　※ 職業指導（工業）　※	工業科指導法Ⅰ※ 工業科指導法Ⅱ※ 計算機科学　※ 職業指導（工業）　※	※のついた4科目（8単位）は全て修得する必要がある。
海事システム工学概論 電気工学 船舶基礎力学 電子通信工学 信号情報処理 安全工学 信頼性工学 海事情報処理 浮体運動論 制御工学 海事システム工学実験演習Ⅰ 海事システム工学実験演習Ⅱ 海事システム工学実験演習Ⅲ 海事システム工学実験演習Ⅳ Topics in Maritime Linguistics 海事システム工学実験演習Ⅴ アルゴリズム 計測工学Ⅰ 通信ネットワーク ラプラス・フーリエ解析 最適化数学 確率論 振動と波動 複素解析 数値解析	海洋流体工学 材料力学 機械力学 トライボロジー 金属材料学 環境材料学 工業熱力学 伝熱工学 流体工学 機械設計製図 機械加工学 材料物理工学 計算物理学 ロボット工学Ⅰ ロボット工学Ⅱ 水中機器学 ソフトウェア工学 制御工学Ⅰ 制御工学Ⅱ 応用制御工学 基礎電子工学 制御システム工学演習 半導体工学 電子回路論 振動と波動 計測工学 化学エネルギー変換工学 信号情報処理 信頼性工学 データ構造とアルゴリズム 情報数学 電子機械工学実習 電子機械工学実験 ラプラス・フーリエ解析 確率論 最適化数学 複素解析 数値解析	物流施設計画学 コンテナ輸送工学 物流管理工学 物流リスク工学 流通最適化工学 流通基盤計画学 港湾環境工学 物流システム工学 流通オペレーションズ・リサーチ 作業管理工学 交通計画学 流通データ分析 物流シミュレーション工学 基礎プログラミング演習 応用プログラミング演習 アルゴリズム設計 流通情報システム 情報数学 データ構造とアルゴリズム 流通情報工学ゼミナールⅠ 流通情報工学ゼミナールⅡ 流通情報工学実験 流通情報工学演習 安全管理学 衛星測位工学 安全工学 最適化数学 確率論 数値解析 ラプラス・フーリエ解析 複素解析	単位数及び毎週授業時間数は、授業科目及び単位数の表の3専門科目のとおり。 　ただし、「計算機科学」は表2のとおり。

教員免許状の授与資格を得るために履修すべき授業科目及び単位数
（2020・2021年度入学者）

【履修上の注意】

1. **教育の基礎的理解に関する科目等及び文部科学省令で定める科目**：全て履修して下さい。
2. **教科及び教科の指導法に関する科目**：免許教科ごとの表に従い所要の単位数を修得して下さい。
3. 教育の基礎的理解に関する科目等は卒業要件の単位には算入されないので留意して下さい。（商船教員養成コースを除く。）
   また、教科及び教科の指導法に関する科目のうち、「商船科指導法Ⅰ・Ⅱ」、「工業化指導法Ⅰ・Ⅱ」、「職業指導（商業または工業）」は卒業要件単位数に含みません。
4. 教育実習は、4年次の5月から6月頃の2週間の期間で実施しますが、3年次までに履修すべき「教職に関する科目」の単位すべてを修得している学生だけが履修できます。
   なお、教育実習を履修する学生は、教育実習実施中の事故への対応として「学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険（A：学生教育研究賠償責任保険）」に加入することが必要となります。
   保険に加入していない場合は、教育実習を履修できません。保険加入については、学生支援係に問い合わせて下さい。
5. 教育実習参加に際しては、実習校より、麻疹等に感染していないことを証明する書類の提出を求められる場合があります。

1　教育の基礎的理解に関する科目等　　【2020・2021年度】

免許教科	授業科目	単位数	毎週授業時間数									備考
			1年次		2年次		3年次		4年次			
			前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期 Ⅰ	後学期 Ⅱ	
共	現代教師論	2		2								
	教育原理	2			2							
	教育心理学	2			2							
	特別支援教育概論	1				集						
	教育行政学	2				集						教職選択必修注1
	比較教育制度論	2				集						
	教育方法学	2				2						
	教育相談	2					集					
	教育課程論	1					集					
	生徒・進路指導	2					2					
通	特別活動及び総合的な探究の時間の指導法	2						集				
	教職実践演習（高等学校）	2							集			
	教育実習事前事後指導	1							集			
	教育実習	2							集			

注1　「教育行政学」「比較教育制度論」から1科目選択必修

2　文部科学省令で定める科目

免許教科	授業科目	単位数	毎週授業時間数
共	情報リテラシー		単位数及び毎週授業時間数は、授業科目及び単位数の表の1総合科目のとおり
	日本国憲法		
	スポーツⅠ		
	スポーツⅡ		
	Basic EnglishⅠ		
	Basic EnglishⅡ		
通	Practical EnglishⅠ		
	Practical EnglishⅡ		

注2　外国人留学生等が、「Basic EnglishⅠ・Ⅱ」「Practical EnglishⅠ・Ⅱ」のいずれかの単位修得に代えて、「総合日本語Ⅰ」、「総合日本語Ⅱ」の単位を修得した場合には、教員の免許状授与の所要資格を取得することはできません。

3　教科及び教科の指導法に関する科目　【2020・2021年度】

（1）商船

以下の表の中から36単位以上修得すること。

海事システム工学科	海洋電子機械工学科 機関システム工学コース （商船教員養成コースも含む）	備　　考
商船科指導法Ⅰ※ 商船科指導法Ⅱ※ 機関システム工学概論　※ 職業指導（商船）　※	商船科指導法Ⅰ※ 商船科指導法Ⅱ※ 機関システム工学入門　※ 職業指導（商船）　※	※のついた4科目（8単位）は全て修得する必要がある。
大気環境学 抵抗推進論 航海システムⅠ 運航管理 保険契約法 海上危機管理論 海洋環境学 国際法 船舶運航論 組織管理論 計測工学Ⅱ 船体構造論 航海システムⅡ 航海システムⅢ マリナーズファクターと安全運航 航海システム概論 船舶実験（汐路丸）*1 海洋実習 短艇実習Ⅰ*2 短艇実習Ⅱ*3 航海英語Ⅰ 航海英語Ⅱ 海事法規 船舶医学 国際海事訓練セミナー	ターボ動力工学Ⅰ ターボ動力工学Ⅱ ガスタービン工学 内燃機関工学Ⅰ 内燃機関工学Ⅱ エネルギー工学 原子力機関工学 補助機械工学 冷凍空調工学 流体機械工学 電気工学 電気機器学 電気推進基礎論 機関システム管理工学 船舶工学Ⅰ 船舶工学Ⅱ 船舶医学 機関英語Ⅰ 機関英語Ⅱ 海事法概論 国際法 海運経営論 材料・機械力学演習 熱流体工学演習 船舶実験（汐路丸） 電子機械工学ゼミナール 海洋実習 短艇実習 機関実務実習	単位数及び毎週授業時間数は、授業科目及び単位数の表の3専門科目のとおり。 *1　2021年度入学者は「船舶実験Ⅱ（汐路丸）」を修得する。 *2　2021年度入学者は「短艇実習」を修得する。 *3　2021年度入学者は「船舶実験Ⅰ（汐路丸）」を修得する。

(2) 工業

以下の表の中から36単位以上修得すること。 【2020・2021年度】

海事システム工学科	海洋電子機械工学科 制御システム工学コース	流通情報工学科	備　　考
工業科指導法Ⅰ※ 工業科指導法Ⅱ※ 計算機科学　※ 職業指導（工業）　※	工業科指導法Ⅰ※ 工業科指導法Ⅱ※ 計算機科学　※ 職業指導（工業）　※	工業科指導法Ⅰ※ 工業科指導法Ⅱ※ 計算機科学　※ 職業指導（工業）　※	※のついた4科目（8単位）は全て修得する必要がある。
海事システム工学概論 電気工学 船舶基礎力学 電子通信工学 信号情報処理 安全工学 信頼性工学 海事情報処理 浮体運動論 制御工学 海事システム工学実験演習Ⅰ 海事システム工学実験演習Ⅱ 海事システム工学実験演習Ⅲ 海事システム工学実験演習Ⅳ Topics in Maritime Linguistics 海事システム工学実験演習Ⅴ アルゴリズム 計測工学Ⅰ 通信ネットワーク ラプラス・フーリエ解析 最適化数学 確率論 振動と波動 複素解析 数値解析	海洋流体工学 材料力学 機械力学 トライボロジー 金属材料学 環境材料学 工業熱力学 伝熱工学 流体工学 機械設計製図 機械加工学 材料物理工学 計算物理学 ロボット工学Ⅰ ロボット工学Ⅱ 水中機器学 ソフトウェア工学 制御工学Ⅰ 制御工学Ⅱ 応用制御工学 基礎電子工学 制御システム工学演習 半導体工学 電子回路論 振動と波動 計測工学 化学エネルギー変換工学 信号情報処理 信頼性工学 データ構造とアルゴリズム 機械学習 電子機械工学実習 電子機械工学実験 ラプラス・フーリエ解析 確率論 最適化数学 複素解析 数値解析	物流施設計画学 コンテナ輸送工学 物流管理工学 物流リスク工学 流通最適化工学 流通基盤計画学 港湾環境工学 データベース工学 流通オペレーションズ・リサーチ 作業管理工学 交通計画学 流通データ分析 データサイエンス 基礎プログラミング演習 データサイエンス演習 応用プログラミング 流通情報システム 機械学習 データ構造とアルゴリズム 流通情報工学ゼミナールⅠ 流通情報工学ゼミナールⅡ 流通情報工学実験 流通情報工学演習 通信ネットワーク 衛星測位工学 安全工学 最適化数学 確率論 数値解析 ラプラス・フーリエ解析 複素解析	単位数及び毎週授業時間数は、授業科目及び単位数の表の3専門科目のとおり。 　ただし、「計算機科学」は表2のとおり。

教員免許状の授与資格を得るために履修すべき授業科目及び単位数
（2022年度入学者）

【履修上の注意】

1. **教育の基礎的理解に関する科目等及び文部科学省令で定める科目**：全て履修して下さい。
2. **教科及び教科の指導法に関する科目**：免許教科ごとの表に従い所要の単位数を修得して下さい。
3. 教育の基礎的理解に関する科目等は卒業要件の単位には算入されないので留意して下さい。（商船教員養成コースを除く。）
   また、教科及び教科の指導法に関する科目のうち、「商船科指導法Ⅰ・Ⅱ」、「工業科指導法Ⅰ・Ⅱ」、「職業指導（商業または工業）」は卒業要件単位数に含みません。
4. 教育実習は、4年次の5月から6月頃の2週間の期間で実施しますが、3年次までに履修すべき「教職に関する科目」の単位すべてを修得している学生だけが履修できます。
   なお、教育実習を履修する学生は、教育実習実施中の事故への対応として「学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険（A：学生教育研究賠償責任保険）」に加入することが必要となります。
   保険に加入していない場合は、教育実習を履修できません。保険加入については、学生支援係に問い合わせて下さい。
5. 教育実習参加に際しては、実習校より、麻疹等に感染していないことを証明する書類の提出を求められる場合があります。

1　教育の基礎的理解に関する科目等　　【2022年度】

免許教科	授業科目	単位数	毎週授業時間数									備考
			1年次		2年次		3年次		4年次			
			前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期 Ⅰ	後学期 Ⅱ	
共	現代教師論	2		2								
	教育原理	2			2							
	教育心理学	2			2							
	特別支援教育概論	1				集						
	教育行政学	2				集						教職選択必修注1
	比較教育制度論	2				集						教職選択必修注1
	教育方法・情報通信技術活用論	2				2						
	教育相談	2					集					
	教育課程論	1					集					
	生徒・進路指導	2					2					
通	特別活動及び総合的な探究の時間の指導法	2						集				
	教職実践演習（高等学校）	2							集			
	教育実習事前事後指導	1							集			
	教育実習	2							集			

注1　「教育行政学」「比較教育制度論」から1科目選択必修

2　文部科学省令で定める科目

免許教科	授業科目	単位数	毎週授業時間数
共	情報リテラシー		単位数及び毎週授業時間数は、授業科目及び単位数の表の1総合科目のとおり
	日本国憲法		
	スポーツⅠ		
	スポーツⅡ		
	Basic EnglishⅠ		
	Basic EnglishⅡ		
通	Practical EnglishⅠ		
	Practical EnglishⅡ		

注2　外国人留学生等が、「Basic EnglishⅠ・Ⅱ」「Practical EnglishⅠ・Ⅱ」のいずれかの単位修得に代えて、「総合日本語Ⅰ」、「総合日本語Ⅱ」の単位を修得した場合には、教員の免許状授与の所要資格を取得することはできません。

3　教科及び教科の指導法に関する科目

（1）商船

以下の表の中から36単位以上修得すること。　【2022年度】

海事システム工学科	海洋電子機械工学科 機関システム工学コース （商船教員養成コースも含む）	備　　考
商船科指導法Ⅰ※ 商船科指導法Ⅱ※ 機関システム工学概論　※ 職業指導（商船）　※	商船科指導法Ⅰ※ 商船科指導法Ⅱ※ 機関システム工学入門　※ 職業指導（商船）　※	※のついた4科目（8単位）は全て修得する必要がある。
大気環境学 抵抗推進論 航海システムⅠ 運航管理 保険契約法 海上危機管理論 海洋環境学 国際法 船舶運航論 組織管理論 計測工学Ⅱ 船体構造論 航海システムⅡ 航海システムⅢ マリナーズファクターと安全運航 航海システム概論 船舶実験（汐路丸）Ⅰ 船舶実験（汐路丸）Ⅱ 海洋実習 短艇実習Ⅰ 航海英語Ⅰ 航海英語Ⅱ 海事法規 船舶医学 国際海事訓練セミナー	ターボ動力工学Ⅰ ターボ動力工学Ⅱ ガスタービン工学 内燃機関工学Ⅰ 内燃機関工学Ⅱ エネルギー工学 原子力機関工学 補助機械工学 冷凍空調工学 流体機械工学 電気工学 電気機器学 電気推進基礎論 機関システム管理工学 船舶工学Ⅰ 船舶工学Ⅱ 船舶医学 機関英語Ⅰ 機関英語Ⅱ 海事法概論 国際法 海運経営論 材料・機械力学演習 熱流体工学演習 船舶実験（汐路丸） 電子機械工学ゼミナール 海洋実習 短艇実習 機関実務実習	単位数及び毎週授業時間数は、授業科目及び単位数の表の3専門科目のとおり。

(2) 工業

以下の表の中から36単位以上修得すること。 【2022年度】

海事システム工学科	海洋電子機械工学科 制御システム工学コース	流通情報工学科	備　　考
工業科指導法Ⅰ※ 工業科指導法Ⅱ※ 計算機科学　※ 職業指導（工業）　※	工業科指導法Ⅰ※ 工業科指導法Ⅱ※ 計算機科学　※ 職業指導（工業）　※	工業科指導法Ⅰ※ 工業科指導法Ⅱ※ 計算機科学　※ 職業指導（工業）　※	※のついた4科目（8単位）は全て修得する必要がある。
海事システム工学概論 電気工学 船舶基礎力学 電子通信工学 信号情報処理 安全工学 信頼性工学 海事情報処理 浮体運動論 制御工学 海事システム工学実験演習Ⅰ 海事システム工学実験演習Ⅱ 海事システム工学実験演習Ⅲ 海事システム工学実験演習Ⅳ Topics in Maritime Linguistics 海事システム工学実験演習Ⅴ アルゴリズム 計測工学Ⅰ 通信ネットワーク ラプラス・フーリエ解析 最適化数学 確率論 振動と波動 複素解析 数値解析	海洋流体工学 材料力学 機械力学 トライボロジー 金属材料学 環境材料学 工業熱力学 伝熱工学 流体工学 機械設計製図 機械加工学 材料物理工学 計算物理学 ロボット工学Ⅰ ロボット工学Ⅱ 水中機器学 ソフトウェア工学 制御工学Ⅰ 制御工学Ⅱ 応用制御工学 基礎電子工学 制御システム工学演習 半導体工学 電子回路論 振動と波動 計測工学 化学エネルギー変換工学 信号情報処理 信頼性工学 データ構造とアルゴリズム 機械学習 電子機械工学実習 電子機械工学実験 ラプラス・フーリエ解析 確率論 最適化数学 複素解析 数値解析	物流施設計画学 コンテナ輸送工学 物流管理工学 物流リスク工学 流通最適化工学 流通基盤計画学 港湾環境工学 データベース工学 流通オペレーションズ・リサーチ 作業管理工学 交通計画学 流通データ分析 データサイエンス 基礎プログラミング演習 データサイエンス演習 応用プログラミング 流通情報システム 機械学習 データ構造とアルゴリズム 流通情報工学ゼミナールⅠ 流通情報工学ゼミナールⅡ 流通情報工学実験 流通情報工学演習 通信ネットワーク 衛星測位工学 安全工学 最適化数学 確率論 数値解析 ラプラス・フーリエ解析 複素解析	単位数及び毎週授業時間数は、授業科目及び単位数の表の3専門科目のとおり。 　ただし、「計算機科学」は表2のとおり。

2. 船舶職員に関係する資格

○船舶職員養成施設及び海技免許講習の修了資格の資格

【対象学科：海事システム工学科入学者・
海洋電子機械工学科（機関システム工学コース）入学者】

船舶職員となるためには、海技免状の交付を受けなければなりません。
海技免状は、海技士国家試験に合格し、国土交通大臣が指定する海技免許講習の課程を修了した者に与えられます。ただし、国土交通大臣が指定した船舶職員養成施設を修了した者には、海技士国家試験の筆記試験が免除されます。

船舶職員養成施設の修了資格を得るためには、本冊子掲載の「船舶職員養成施設の課程の修了資格を得るために履修すべき授業科目」(海技科目)の単位を全て修得して学部を卒業後(※注)、さらに乗船実習科を修了しなければなりません。

※注：2年次に転学部・転学科・編入学により、海事システム工学科、海洋電子機械工学科（機関システム工学コース）の所属になった学生についても、乗船実習科への進学を希望する場合はその入学要件である「船舶職員養成施設の修了資格を得るために履修すべき科目」（海技科目）の単位を全て修得する必要があります。なお、船舶職員養成施設の修了資格及び海技士国家試験（筆記試験）についての詳細は、教育支援係に問い合わせて下さい。

本学部は、次のとおり船舶職員養成施設及び海技免許講習の課程として国土交通大臣の指定を受けています。

①　船舶職員養成施設

船舶職員養成施設の種類	指定を受けた本学部の学科（コース）等
三級海技士（航海）第一種養成施設	海事システム工学科 及び　乗船実習科（航海課程）
三級海技士（機関）第一種養成施設	海洋電子機械工学科（機関システム工学コース） 及び　乗船実習科（機関課程）

②　海技免許講習の課程

海技免許講習の課程の種類	指定を受けた本学部の学科（コース）
レーダー観測者講習	海事システム工学科
レーダー・自動衝突予防援助装置（ARPA）シミュレータ講習	
救命講習	
消火講習	
上級航海英語講習	
機関救命講習	海洋電子機械工学科（機関システム工学コース）
消火講習	
上級機関英語講習	

船舶職員養成施設及び海技免許講習の課程の修了資格取得に必要な単位については、次ページ以降掲載の「船舶職員養成施設の課程の修了資格を得るために履修すべき授業科目」及び「海技免許講習の課程の修了資格を得るために履修すべき授業科目」を参照して下さい。

船舶職員養成施設の修了資格を得るために履修すべき授業科目

(1)　海事システム工学科　【2016-2021年度入学者】

養成施設の種類	三級海技士（航海）第一種養成施設											
必修履修科目の区分		毎週授業時間数										備考
		1年次		2年次		3年次		4年次				
授業科目	単位数	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期 Ⅰ	後学期 Ⅱ		
基礎教育科目	単位数及び毎週授業時間数は、授業科目及び単位数の表の2基礎教育科目のとおり											
学部共通科目												
航海システム概論												
専門科目	単位数及び毎週授業時間数は、授業科目及び単位数の表の3専門科目のとおり											「船舶実習Ⅰ」、「船舶実習Ⅱ」及び「船舶実習Ⅲ」については、独立行政法人海技教育機構において実施する。
電気工学												
船舶基礎力学												
電子通信工学												
大気環境学												
抵抗推進論												
計測工学Ⅰ												
航海システムⅠ												
運航管理												
船体管理												
海洋環境学												
国際法												
船舶運航論												
輸送管理												
海商法												
組織管理論												
船体構造論												
浮体運動論												
航海システムⅡ												
航海システムⅢ												
制御工学												
マリナーズファクターと安全運航												
機関システム工学概論												
海事システム工学実験演習Ⅰ												
海事システム工学実験演習Ⅱ												
海事システム工学実験演習Ⅲ												
船舶実験（汐路丸）※												※2021年度入学者は「船舶実験Ⅱ（汐路丸）」を修得する。
海洋実習												
船舶実習Ⅰ												
海事法規												
船舶医学												
船舶実習Ⅱ												
船舶実習Ⅲ												

(1)　海事システム工学科　【2022年度入学者】

養成施設の種類	三級海技士（航海）第一種養成施設											
必修履修科目の区分		毎週授業時間数										備考
		1年次		2年次		3年次		4年次				
授業科目	単位数	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期 Ⅰ	後学期 Ⅱ		
基礎教育科目	単位数及び毎週授業時間数は、授業科目及び単位数の表の2基礎教育科目のとおり											
学部共通科目												
航海システム概論												
専門科目	単位数及び毎週授業時間数は、授業科目及び単位数の表の3専門科目のとおり											「船舶実習Ⅰ」、「船舶実習Ⅱ」及び「船舶実習Ⅲ」については、独立行政法人海技教育機構において実施する。
電気工学												
船舶基礎力学												
電子通信工学												
大気環境学												
抵抗推進論												
計測工学Ⅰ												
航海システムⅠ												
運航管理												
船体管理												
海洋環境学												
国際法												
船舶運航論												
輸送管理												
海商法												
組織管理論												
船体構造論												
浮体運動論												
航海システムⅡ												
航海システムⅢ												
制御工学												
マリナーズファクターと安全運航												

機関システム工学概論		※2021年度入学者は「船舶実験Ⅱ（汐路丸）」を修得する。
海事システム工学実験演習Ⅰ		
海事システム工学実験演習Ⅱ		
海事システム工学実験演習Ⅲ		
海事システム工学実験演習Ⅳ		
船舶実験（汐路丸）※		
海洋実習		
船舶実習Ⅰ		
海事法規		
船舶医学		
船舶実習Ⅱ		
船舶実習Ⅲ		

(2)　海洋電子機械工学科　機関システム工学コース（商船教員養成コースを含む）

養成施設の種類	三級海技士（機関）第一種養成施設											
必修履修科目の区分		毎週授業時間数										備考
		1年次		2年次		3年次		4年次				
授業科目	単位数	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期Ⅰ	後学期Ⅱ		
専門科目	単位数及び毎週授業時間数は、授業科目及び単位数の表の3専門科目のとおり											「船舶実習Ⅰ」、「船舶実習Ⅱ」及び「船舶実習Ⅲ」については、独立行政法人海技教育機構において実施する。
ターボ動力工学Ⅰ												
ターボ動力工学Ⅱ												
内燃機関工学Ⅰ												
内燃機関工学Ⅱ												
補助機械工学												
電気工学												
電気機器学												
材料力学												
金属材料学												
工業熱力学												
流体工学												
機械設計製図												
制御工学Ⅰ												
基礎電子工学												
船舶工学Ⅰ												
船舶工学Ⅱ												
船舶医学												
海事法概論												
電子機械工学実験												
船舶実験（汐路丸）												
海洋実習												
短艇実習												
船舶実習Ⅰ												
船舶実習Ⅱ												
船舶実習Ⅲ												

海技免許講習の課程の修了資格を得るために履修すべき授業科目

海事システム工学科　【2016-2020年度入学者】

授業科目	単位数	海技免許講習の課程の種類				
		レーダー観測者講習	レーダー・自動衝突予防援助装置（ARPA）シミュレータ講習	救命講習	消火講習	上級航海英語講習
海事システム工学実験演習Ⅲ	2	◎	◎	◎	◎	
海事システム工学実験演習Ⅳ	2	◎	◎	◎	◎	
海事システム工学実験演習Ⅴ	4	◎	◎	◎	◎	
海洋実習	1			◎		
船舶実験（汐路丸）	2			◎	◎	
短艇実習Ⅰ	1			◎		
短艇実習Ⅱ	1			◎		
航海英語Ⅰ	2					◎
航海英語Ⅱ	2					◎
Practical English Ⅰ	1					◎
Practical English Ⅱ	1					◎

注1　◎印は、海技免許講習の課程の種類ごとに履修しなければならない授業科目を表します。
注2　外国人留学生等が、「Practical EnglishⅠ」「Practical EnglishⅡ」のいずれかの単位修得に代えて2016年度以前入学者は「日本語Ⅰ」を、2017年度以降入学者は「総合日本語Ⅰ」、「総合日本語Ⅱ」の単位を修得した場合には、海技免許講習の課程の修了資格を取得することはできません。

海事システム工学科　【2021年度以降入学者】

授業科目	単位数	海技免許講習の課程の種類				
		レーダー観測者講習	レーダー・自動衝突予防援助装置（ARPA）シミュレータ講習	救命講習	消火講習	上級航海英語講習
海事システム工学実験演習Ⅲ	2	◎	◎	◎	◎	
海事システム工学実験演習Ⅳ	2	◎	◎	◎	◎	
海事システム工学実験演習Ⅴ	4	◎	◎	◎	◎	
海洋実習	1			◎		
船舶実験Ⅰ（汐路丸）	1			◎		
船舶実験Ⅱ（汐路丸）	2			◎	◎	
短艇実習	1			◎		
航海英語Ⅰ	2					◎
航海英語Ⅱ	2					◎
Practical English Ⅰ	1					◎
Practical English Ⅱ	1					◎

注1　◎印は、海技免許講習の課程の種類ごとに履修しなければならない授業科目を表します。
注2　外国人留学生等が、「Practical EnglishⅠ」「Practical EnglishⅡ」のいずれかの単位修得に代えて2016年度以前入学者は「日本語Ⅰ」を、2017年度以降入学者は「総合日本語Ⅰ」、「総合日本語Ⅱ」の単位を修得した場合には、海技免許講習の課程の修了資格を取得することはできません。

海洋電子機械工学科　機関システム工学コース（商船教員養成コースを含む）

授業科目	単位数	海技免許講習の課程の種類		
		機関救命講習	消火講習	上級機関英語講習
船舶実験（汐路丸）	1	◎	◎	
機関実務実習	1	◎	◎	
船舶医学	2	◎		
海洋実習	1	◎		
短艇実習	1	◎		
機関英語Ⅰ	2			◎
機関英語Ⅱ	2			◎
Practical English Ⅰ	1			◎

注1　◎印は、海技免許講習の課程の種類ごとに履修しなければならない授業科目を表します。
注2　外国人留学生等が、「Practical EnglishⅠ」の単位修得に代えて2016年度以前入学者は「日本語Ⅰ」を、2017年度以降入学者は「総合日本語Ⅰ」又は「総合日本語Ⅱ」のいずれかの単位を修得した場合には、海技免許講習の課程の修了資格を取得することはできません。

○船舶衛生管理者の資格

【対象学科：海事システム工学科・海洋電子機械工学科（機関システム工学コース）】

海事システム工学科、海洋電子機械工学科機関システム工学コースの学生で、海技免状と併せて**船舶衛生管理者の資格を取得しようとする者は、海技科目の他に「健康科学」2単位を修得しなければなりません。**

船舶衛生管理者の資格は、乗船実習科修了後（編入学生は学部卒業後）、船員災害防止協会の行う認定講習を受講し、修了試験に合格した者に与えられます。「健康科学」は選択科目ですが、船舶衛生管理者の資格を得ようとする学生は、必ず履修して下さい。

なお、工業高等専門学校からの編入学生に係る同資格の取得に必要な授業科目は、他学生と同様ですが、高等専門学校の商船学科からの編入学生に係る同資格の取得に必要な授業科目は下記のとおりです。また、申請に必要な「船舶衛生関係科目履修時間証明書」は乗船実習科修了式（編入学生は学部卒業式）に配付します。

授　業　科　目			
健康科学 （2単位）	スポーツⅠ （1単位）	海洋実習 （1単位）	船舶医学 （2単位）

○ECDIS講習の資格

【対象学科等：海事システム工学科】

2017年1月1日以降、国際航海に従事する船舶の甲板部職員には、電子海図情報表示装置（ECDIS）の使用に関する能力の習得が義務化されることに伴い、2014年度より電子海図情報表示装置講習（以下、「ECDIS講習」という。）を受講し、ECDIS講習資格を有しなければならないこととなりました。（ECDIS講習資格がないとECDIS搭載船に乗り組むことができない限定海技免状となります。）本学部において、ECDIS講習の修了資格を得るためには、下記「ECDIS講習の課程の修了資格を得るために履修すべき授業科目」を全て修得する必要があります。

ECDIS講習の課程の修了資格を得るために履修すべき授業科目

授　業　科　目	
海事システム工学実験演習Ⅴ （4単位）	船舶実験（汐路丸） （2単位）※

※2021年度以降入学者は「船舶実験Ⅱ（汐路丸）Ⅱ」を修得する。

○第一級海上特殊無線技士の資格

【対象学科等：海事システム工学科】

2002年2月1日以降、国際航海に従事する船舶の甲板部職員は、第一級海上特殊無線技士以上の資格を有しなければなりません。そこで、海事システム工学科の学生で、無線従事者長期型養成課程の所要の単位を修得して卒業した者については、第一級海上特殊無線技士の資格が授与されます。履修すべき授業科目は下記のとおりです。

（2017年度以降入学者）

総合科目（外国語系）	専　門　科　目	
Practical English Ⅰ （1単位）	電子通信工学（2単位） 航海英語Ⅰ(2単位) 航海英語Ⅱ(2単位) 海上無線法規（2単位） 短艇実習Ⅰ(1単位)*1 短艇実習Ⅱ(1単位)*2	海事システム工学実験演習Ⅱ（2単位） 海事システム工学実験演習Ⅲ（2単位） 海事システム工学実験演習Ⅳ（2単位） 海事システム工学実験演習Ⅴ（4単位） 船舶実験（汐路丸）（2単位）*3

※外国人留学生等が、「Practical English Ⅰ」の単位修得に代えて、「総合日本語Ⅰ」又は「総合日本語Ⅱ」の単位を修得した場合には、第一級海上特殊無線技士の資格を取得することはできません。

***1　2021年度以降入学者は短艇実習（1単位）を修得すること。**

***2　2021年度以降入学者は船舶実験Ⅰ（汐路丸）（1単位）を修得すること。**

***3　2021年度以降入学者は船舶実験Ⅱ（汐路丸）（2単位）を修得すること。**

○資格試験と就職

【一級海技士及び二級海技士の筆記試験】

【対象学科：海事システム工学科・海洋電子機械工学科（機関システム工学コース）】

海技従事者国家試験の一級海技士及び二級海技士の筆記試験は、在学中から受験することができます。在学中に筆記試験に合格した場合は、就職後、必要な乗船履歴を得て、口述試験に合格することによってその資格を得ることができます。

卒業後、船舶職員になろうとする場合は、就職の際に二級海技士以上の筆記試験合格を要求されることもあるので、在学中に合格しておくことが望ましいと考えられます。

ただし、船舶実習中に筆記試験受験のため等で自己都合により上陸することはできないので、注意して下さい。

【第三級海上無線通信士】

【対象学科等：海事システム工学科】

第三級海上無線通信士の資格は、財団法人日本無線協会が実施している国家試験（毎年2回）を受け、これに合格することによって取得することができます。なお、本資格は第一級海上特殊無線技士の上位資格になります。

卒業後、国際航海に従事する船舶の甲板部職員になろうとする場合は、就職の際に本資格取得を要求されることもあるので、在学中に合格しておくことが望ましいと考えられます。なお、本

資格試験の詳しい内容は財団法人日本無線協会のホームページを参照して下さい。

○GMDSS（世界海洋遭難安全システム）訓練

【対象学科等：海事システム工学科】

海事システム工学科の学生を対象として長期実習中に船舶局無線従事者に必要なGMDSS訓練が行われますが、この認定訓練を受講し、修了証書の発給を受けるためには、長期実習開始までに次の①～③のいずれかの要件を満たしている必要があります。

①第三級海上無線通信士（三海通）の試験科目すべてに合格済であること。
②第一級海上特殊無線技士（一海特）の試験科目すべてに合格済であること。
③一海特の長期型養成課程の授業科目の80％以上の単位数を修得済であること。

詳しくは4年次に実施するガイダンスで案内します。
なお、GMDSS訓練は、財団法人日本無線協会又は総務省等が実施している訓練でも受講可能です。なお、船舶実習修了後に①②を修得しても、遡及してGMDSS訓練の修了証書の発給を受けることはできません。

○乗船実習科

【海事システム工学科・海洋電子機械工学科（機関システム工学コース）の学生のみ進学可】

乗船実習科は、本学部卒業後、海技従事者の免許を受けようとする者に対して乗船実習を行い、船舶の運航技術を習得させるために設けられたもので、航海課程及び機関課程の2つの課程が置かれています。

(1)　入学資格

①本学部の「船舶職員養成施設の修了資格を得るために履修すべき授業科目」の単位をすべて修得していること。（2年次に、転学部・転学科・編入学した学生も同条件）
②船舶職員及び小型船舶操縦者法施行規則第40条別表第3に定める身体検査基準を充足していること。
③学内における選考に合格していること。

(2)　入学願書の提出

学部4年次後学期の所定の期日までに入学願書を提出して下さい。なお、学部卒業後、引き続いて乗船実習科に進学する者については、「検定料」は免除されます。
詳細については、学務システム等及び乗船実習科進学希望者ガイダンス（4年次9月頃実施予定）で指示します。

(3)　入学手続

①所定の期日までに「学籍カード」及び「誓書」を提出して下さい。
②学部卒業後、引き続いて乗船実習科に進学する者については、入学料は免除されます。
授業料は入学後の5月下旬に指定の口座から引き落とされます。
③例年、遠洋航海が行われるので、進学する学生は事前にパスポート・VISAを取得するよう連絡する場合があります。

(4)　実習について

乗船実習科での実習は、独立行政法人海技教育機構又は各船社で行われます。船社が所有する船舶を練習船として用いて自ら行う実習のことを社船実習といいます。社船実習の募集は、4年次7月頃に周知予定です。

Ⅶ.　国立科学博物館等の利用

1　国立科学博物館

2　国立美術館

Ⅶ. 国立科学博物館等の利用

1. 国立科学博物館

本学では、「国立科学博物館　大学パートナーシップ」に加入しています。
本学の学生証を提示することで、下記施設の常設展が**無料**で利用できます。特典の詳細は下記をご覧下さい。

【入場料は若干異なることがあります】

特　典　内　容	学生入場料 （受講料）	通常入場料 （通常受講料）
常　設　展	**無　料**	630 円
特　別　展	**630 円引き**	1,700 円程度
博 物 館 実 習	**5,250 円 （＋教材費 2,000 円程度）**	10,480 円
大学生のための科学技術史講座	**6,300 円**	12,600 円
大学生のための自然史講座 （隔年で開講、次回令和５年）	**8,400 円**	16,800 円

施　設　名	郵便番号	住　　所	ＵＲＬ
国立科学博物館 （上野公園）	〒110-8718	東京都台東区上野公園 ７－２０	http://www.kahaku.go.jp/
附属自然教育園	〒108-0071	東京都港区白金台 ５－２１－５	http://www.ins.kahaku.go.jp
筑波実験植物園	〒305-0005	茨城県つくば市天久保 ４－１－１	http://www.tbg.kahaku.go.jp/

2. 国立美術館

本学では、「国立美術館キャンパスメンバーズ」に加入しています。
本学の学生証を提示することで、下記施設の常設展が**無料**で利用できます。特典の詳細は下記ＵＲＬをご覧下さい。

施　設　名	郵便番号	住　　所	ＵＲＬ
東京国立近代美術館（本館）	〒102-8322	東京都千代田区北の丸公園 ３－１	https://www.momat.go.jp/
国立工芸館（東京国立近代美術館工芸館）	〒920-0963	石川県金沢市出羽町３－２	https://www.momat.go.jp/cg/
国立西洋美術館	〒110-0007	東京都台東区上野公園７－７	https://www.nmwa.go.jp/
国立新美術館	〒106-8558	東京都港区六本木７－２２－２	https://www.nact.jp/
国立映画アーカイブ	〒104-0031	東京都中央区京橋３－７－６	https://www.nfaj.go.jp/

ポータルシステム利用マニュアル

ログイン等の基本事項
授業連絡（休講等）
レポート
授業共有ファイル

ログイン

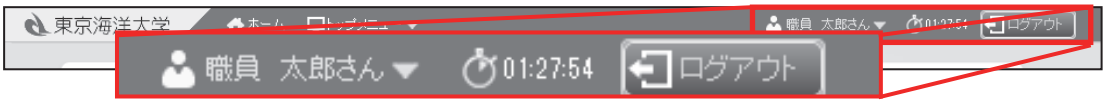
1 ブラウザを起動してLiveCampusポータルシステム（https://lc.s.kaiyodai.ac.jp/）へアクセスします。

2 ユーザ情報を入力します。

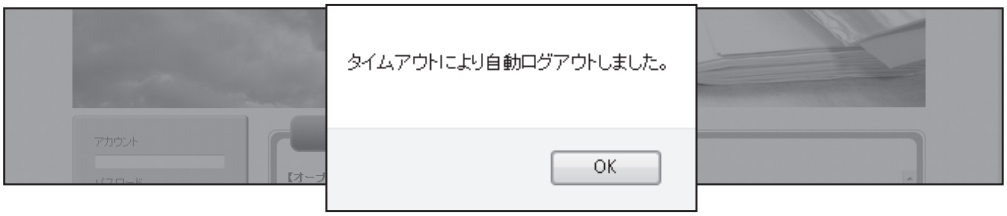
3 「ログイン」ボタンをクリックします。

ログアウト

ポータルシステムの利用を終了するときは、画面右上の「ログアウト」ボタンをクリックします。



システムにログインしたまま一定時間（90分）操作を行わない状態が続いた場合は、タイムアウトとなり、操作を行うとログイン画面を表示し、下記のダイアログが表示されます。



画面の基本構成

各画面で共通的に使用されているヘッダやメニューなどについて説明します。

メインメニューバー

番号	項目名	種類(桁数)	説明
1	ホーム	―	ホーム画面が表示されます。
2	トップメニュー	―	トップメニューにマウスポインタをのせると、メインメニューが表示されます。項目をクリックすると、各トップページに移動します。
3	ログインユーザ名	―	ユーザ名が表示されます。 ユーザ名にマウスポインタをのせると、個人設定メニューが表示されます。項目をクリックすると、各ページに移動します。
4	自動ログアウト時間	―	自動ログアウトするまでの残り時間が表示されます。 残り時間が0になると、自動的にログアウトします。

- 表示されるメニューは、ログインユーザに設定された権限に応じて異なります。利用権限のないメニューはメニューバーに表示されません。

サブメニューバー

メインメニューを選択すると、サブメニューバー（メインメニュー・サブメニュー）が表示されます。

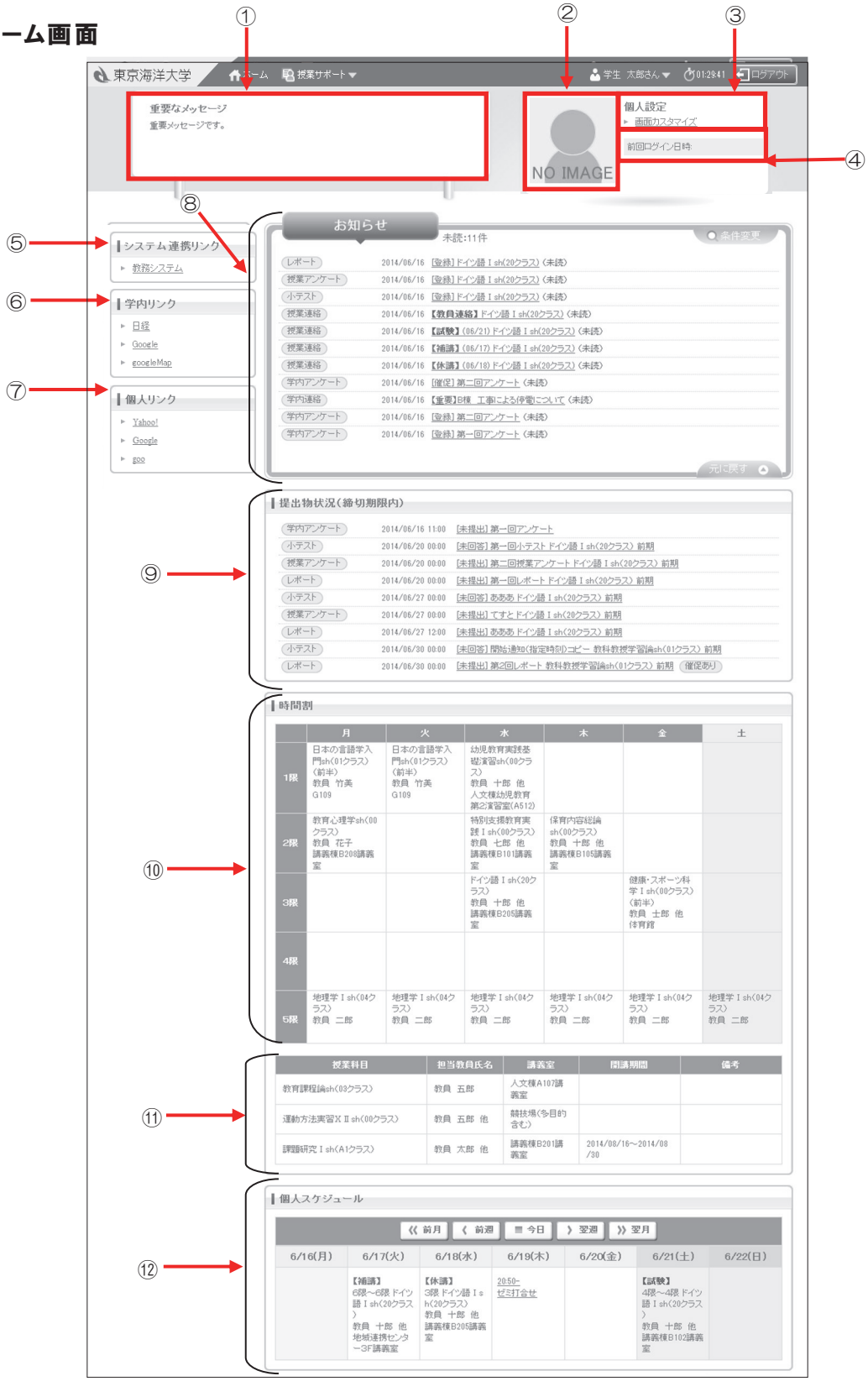
【授業サポート】

【キャンパスライフ】

ホームの説明

ホームについて説明します。

ホーム画面



番号	項目名	種類(桁数)	説明
1	重要なメッセージ	ラベル	メッセージ設定の重要なメッセージの内容が表示されます。
2	お気に入り画像	ー	お気に入り画像が表示されます。
3	個人設定	リンク	個人設定のメニューが表示されます。 [画面カスタマイズ]をクリックすると、[画面カスタマイズ]ページに移動します。ホーム画面の設定変更ができます。
4	前回ログイン日時	ラベル	前回ログイン日時が表示されます。
5	システム連携リンク	リンク	システム連携可能な他システムが一覧表示されます。 リンクをクリックすると選択したシステムのホーム画面が表示されます。連携先のシステムが停止中の場合は、ダイアログが出力され表示されません。
6	学内リンク	リンク	登録されている学内リンクが表示されます。
7	個人リンク	リンク	登録した個人リンクが表示されます。
8	お知らせエリア	リンク	初期表示時には、未読の連絡、提出物情報が表示されます。 各アイコンをクリックすると、対応したページに移動します。 各タイトルをクリックすると、各機能の詳細画面に移動します。 [もっと見る]をクリックすると、全てのお知らせ情報が参照できます。また、[表示条件変更]をクリックし、設定を変更することで、画面に表示する内容を絞ることができます。
9	提出物状況エリア	リンク	レポート、小テスト、授業アンケート、授業評価アンケート、学内アンケートのうち、締め切前で未提出の物が表示されます 各タイトルをクリックすると、各機能の詳細画面に移動します。
10	時間割エリア	ラベル	履修登録した科目の時間割が表示されます。
11	時間割外エリア	ラベル	履修登録した科目のうち時間割外の科目が表示されます。
12	個人スケジュールエリア	ラベル	学事予定と学生及び教員が登録した個人スケジュールが表示されます。各リンクをクリックすると、詳細画面に移動します。 トップメニューから[キャンパスライフ]をクリック後に表示されるメニューから[スケジュール]をクリックすると、[週間スケジュール]画面が表示されます。【3-3_[1.0版]スケジュール】

基本操作の説明

各画面での項目の種類と基本操作について説明します。

検索/参照する

各種一覧を表示するメニューでは、検索条件変更のタブが収納されています。
初期表示時には、当年度当学期に開講されており、かつ画面を利用している学生が履修している授業科目の連絡等のみが一覧に表示されています。さかのぼって連絡等を見たい場合や特定の科目のものを絞り込みたい場合には、こちらで検索条件を指定することで表示されます。

授業連絡について

履修登録している授業に対する授業連絡（「休講」、「補講」、「試験」、「講義室変更」、「教員連絡」）を検索/参照できます。

[授業サポート]のサブメニューバーに表示される[授業連絡]をクリックすると、[授業連絡一覧]画面が表示されます。

授業連絡を検索/参照する

初期表示時には、当年度当学期に開講されており、かつ画面を利用している学生が履修登録している授業科目を対象としている授業連絡のうち、連絡日が６ヶ月前の一日以降のものが一覧表示されます。

検索条件変更をクリックすることで、複数の条件から絞り込みができたり、６ヶ月より以前の授業連絡の確認ができます。

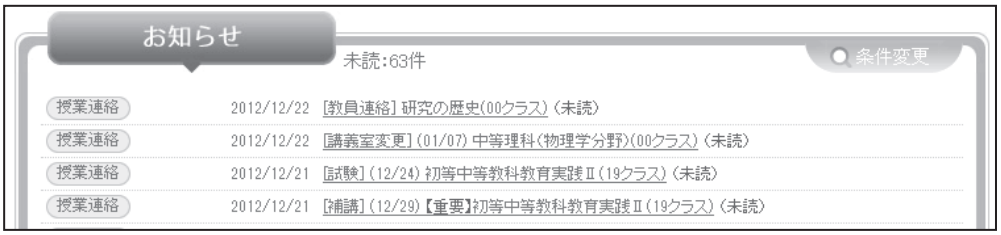
一覧は、連絡日時の降順、授業連絡の登録順（降順）で表示されます。

No	項目名	種類（桁数）	説明
1	授業科目 学期/曜日時限	ラベル	授業科目名と、開講学期、開講曜日時限が表示されます。
2	タイトル	リンク	授業連絡のタイトルが表示されます。 「重要度」が「重要」に設定されている場合、タイトルの先頭に赤字で「【重要】」と表示されます。 添付ファイルがある場合、タイトルの後ろに「 」が表示されます。 ToDoとした場合、タイトルの後ろに「 」が表示されます。 タイトルをクリックすると[授業連絡詳細]画面が表示されます。
3	連絡種別	ラベル	連絡種別が表示されます。
4	対象日	ラベル	「休講」の場合は「休講日」、「補講」の場合は「補講日」、「試験」の場合は「試験日」、「講義室変更」の場合は「講義室変更日」が表示されます。
5	連絡日時	ラベル	連絡日時が表示されます。

一覧に表示されている[タイトル]をクリックすると、[授業連絡詳細]画面が表示されます。

No	項目名	種類(桁数)	説明
1	連絡内容エリア	ラベル	授業連絡の内容が表示されます。
2	対象授業科目表示エリア	ラベル	対象授業科目が表示されます。
3	返信	ボタン	クリックすると、[授業連絡返信参照]画面が表示されます。 [返信]ボタンが表示されるのは、返信要求されている授業連絡の場合のみです。
4	ToDoに追加/解除	ボタン	[ToDoに追加]ボタンをクリックすると、該当の授業連絡がToDoに追加されます。ToDoに追加した授業連絡の場合、[ToDo解除]ボタンが表示されます。[ToDo解除]ボタンをクリックすると、ToDoを解除できます。 同一の授業連絡が複数の授業科目に関連付けられている場合、1つの授業科目をToDoに追加/解除すると、全ての授業科目から同一タイトルの授業連絡がToDoに追加/解除されます。

なお、画面を利用している学生が履修登録している授業科目に新しく授業連絡が登録されると、[ホーム]画面のお知らせに表示されます。



リンクから[授業連絡詳細]画面を表示することができます。

連絡に返信する

[授業連絡詳細]画面にある[返信]ボタンをクリックすると、[授業連絡返信参照]画面が表示されます。

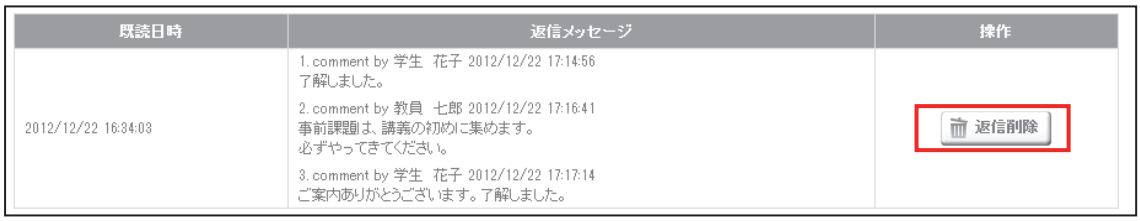
No	項目名	種類(桁数)	説明
1	既読日時	ラベル	該当の授業連絡の[授業連絡詳細]画面を最初に表示した日時が表示されます。
2	返信メッセージ	ラベル	返信メッセージが表示されます。 返信を返した場合は、時系列に返信のやり取りが表示されます。
3	返信	ボタン	クリックすると[授業連絡返信]画面が表示されます。

[返信]ボタンをクリックすると、[授業連絡返信]画面が表示されます。

No	項目名	種類(桁数)	説明
1	連絡内容エリア	ラベル	返信のやり取りが表示されます。
2	返信メッセージ	テキストエリア	返信メッセージを入力します。
3	確認	ボタン	クリックすると[授業連絡返信確認]画面が表示されます。

「返信メッセージ」を入力して、[確認]ボタンをクリックします。
[授業連絡返信確認]画面が表示されますので、内容に問題がなければ、[登録]ボタンをクリックします。
これで連絡への返信は完了となります。

返信を取り消す場合は、[授業連絡返信参照]画面で[返信削除]ボタンをクリックします。
※[返信削除]ボタンは画面を利用している学生が最終返信者の場合にのみ表示されます。



レポートについて

履修している授業に関するレポートの提出と集計結果確認ができます。
[授業サポート] のサブメニューバーに表示される[レポート]をクリックすると、[レポート一覧]画面が表示されます。

レポートを検索/参照する

初期表示時には、当年度当学期に開講されており、かつ画面を利用している学生が履修している授業科目で作成されたレポートのうち、提出対象になっている一覧が表示されます。
検索条件変更をクリックすることで、複数の条件から絞り込みができます。

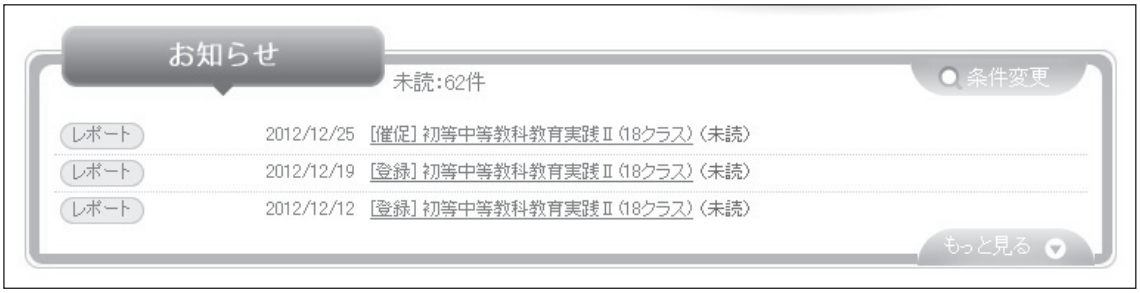
一覧は、開講学期コードの昇順、曜日時限コードの昇順、授業科目コードの昇順、クラスコードの昇順、レポートの登録順で表示されます。

No	項目名	種類(桁数)	説明
1	授業科目 学期/曜日時限	ラベル	対象の授業科目と、開講学期、開講曜日時限が表示されます。
2	タイトル	リンク	レポートのタイトルが表示されます。 リンクをクリックすると[提出レポート参照]画面が表示されます。
3	状態	ラベル	レポートの状態が表示されます。 表示される状態は、以下の3つとなります。 「受付中」…提出期間中の状態。 「締切」…提出期間の終了日時が過ぎている状態。 「結果公開中」…提出期間の終了日時を過ぎて、結果が公開されている状態。
4	提出期間	ラベル	レポートの提出期間が表示されます。
5	提出状況	ラベル	レポートの提出状況が表示されます。
6	実施形式	ラベル	レポートの実施形式を表示します。
7	操作	ボタン	状態が「受付中」の際、提出状況が「未提出」の場合は、[提出]ボタンが、「提出済」の場合は、[提出取消]ボタンが表示されます。 [提出]ボタンをクリックすると、[レポート登録]画面が表示されます。

一覧に表示されている[タイトル]をクリックすると、[提出レポート参照]画面が表示されます。

No	項目名	種類(桁数)	説明
1	レポート概要エリア	ラベル	レポートのタイトルや状態、提出期間などが表示されます。 [ファイル名]をクリックするとダウンロードできます。
2	催促通知エリア	ラベル	催促通知の一覧が表示されます。 催促通知がない場合は、「登録されていません」と表示されます。
3	レポート提出履歴エリア	ラベル	レポート提出や教員コメントの履歴が表示されます。
4	提出	ボタン	提出状況が[未提出]の場合、[提出]ボタンが表示されます。 [提出]ボタンをクリックすると[レポート登録]画面が表示されます。

なお、学生が履修している授業科目で作成されたレポートが開始通知された時や催促通知された時は、[ホーム]画面のお知らせが表示されます。



リンクから[レポート登録]画面を表示することができます。

レポートを提出する

レポート一覧に表示されている、「受付中」で「未提出」のレポートに表示される[提出]ボタンをクリックすると、[レポート登録]画面が表示されます。

No	項目名	種類(桁数)	説明
1	レポート概要エリア	ラベル	レポートのタイトルや状態、提出期間などが表示されます。
2	レポート提出履歴エリア	ラベル	レポート提出や教員コメントの履歴が表示されます。
3	提出レポート	ラベル	提出するレポートファイルを添付します。
4	コメント	テキストエリア	必要に応じてコメントを入力します。
5	登録	ボタン	レポートを提出します。

入力後、[登録]ボタンをクリックします。
これでレポートの提出は完了となります。

なお、学生が履修している授業科目で作成されたレポートが未提出で提出期間内の場合は、[ホーム]画面と[授業サポート Top]画面の提出物状況（締切期限内）でお知らせが表示されます。

リンクから[レポート登録]画面を表示することができます。

レポートの提出を取消す

「受付中」で「提出済」のレポートに表示される[提出取消]ボタンをクリックすると、レポートの提出を取消しが行えます。

レポートの評価結果を確認する

レポート一覧に表示されている、「結果公開中」のレポートの[タイトル]をクリックすると、[レポート提出参照]画面が表示されます。

No	項目名	種類(桁数)	説明
1	評価結果	ラベル	評価の結果が表示されます。
2	レポート提出履歴エリア	ラベル	レポート提出や教員コメントの履歴が表示されます。

授業共有ファイルについて

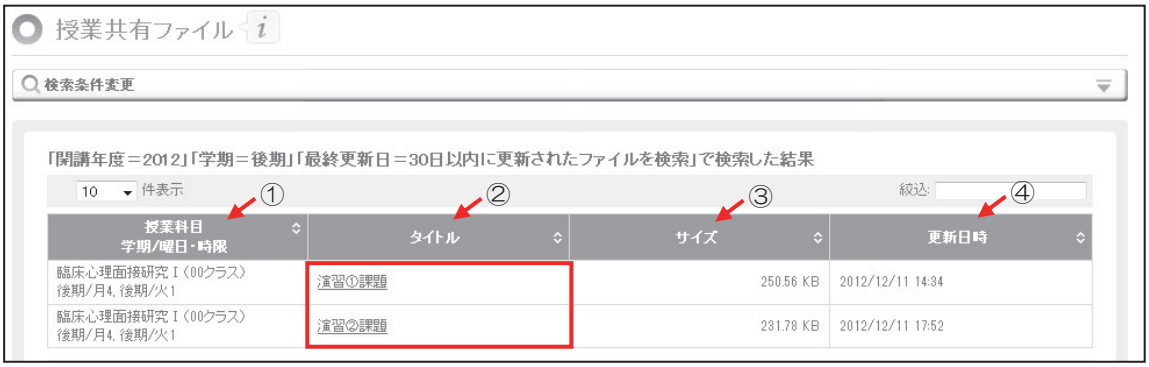
履修登録している授業に関するファイルを検索/参照できます。

[授業サポート]のサブメニューバーに表示される[授業共有ファイル]をクリックすると、[授業共有ファイル]画面が表示されます。

授業共有ファイルを検索/参照する

初期表示時には、当年度当学期に履修登録している授業科目を対象としている授業共有ファイルのうち、30 日以内に更新されたものが一覧表示されます。

検索条件変更をクリックすることで、複数の条件から絞り込みができます。



一覧は、授業科目コードの昇順、授業共有ファイルの登録順で表示されます。

No	項目名	種類(桁数)	説明
1	授業科目 学期/曜日時限	ラベル	授業科目名と、開講学期、開講曜日時限が表示されます。
2	タイトル	リンク	授業共有ファイルのタイトルが表示されます。 リンクをクリックすると[授業共有ファイル詳細]画面が表示されます。
3	サイズ	ラベル	ファイルの合計サイズが表示されます。
4	更新日時	ラベル	最終更新日時が表示されます。

一覧に表示されている[タイトル]をクリックすると、[授業共有ファイル詳細]画面が表示されます。

No	項目名	種類(桁数)	説明
1	概要エリア	ラベル	授業共有ファイルの概要が表示されます。 ファイル名のリンクをクリックするとダウンロードできます。 [一括ダウンロード]ボタンをクリックすると添付ファイルをzip形式で一括ダウンロードできます。
2	対象授業科目表示エリア	ラベル	対象授業科目が表示されます。

スケジュールについて

個人スケジュールを管理（追加、修正、削除）することができます。また、教務システムにて設定された学内スケジュールを確認できます。

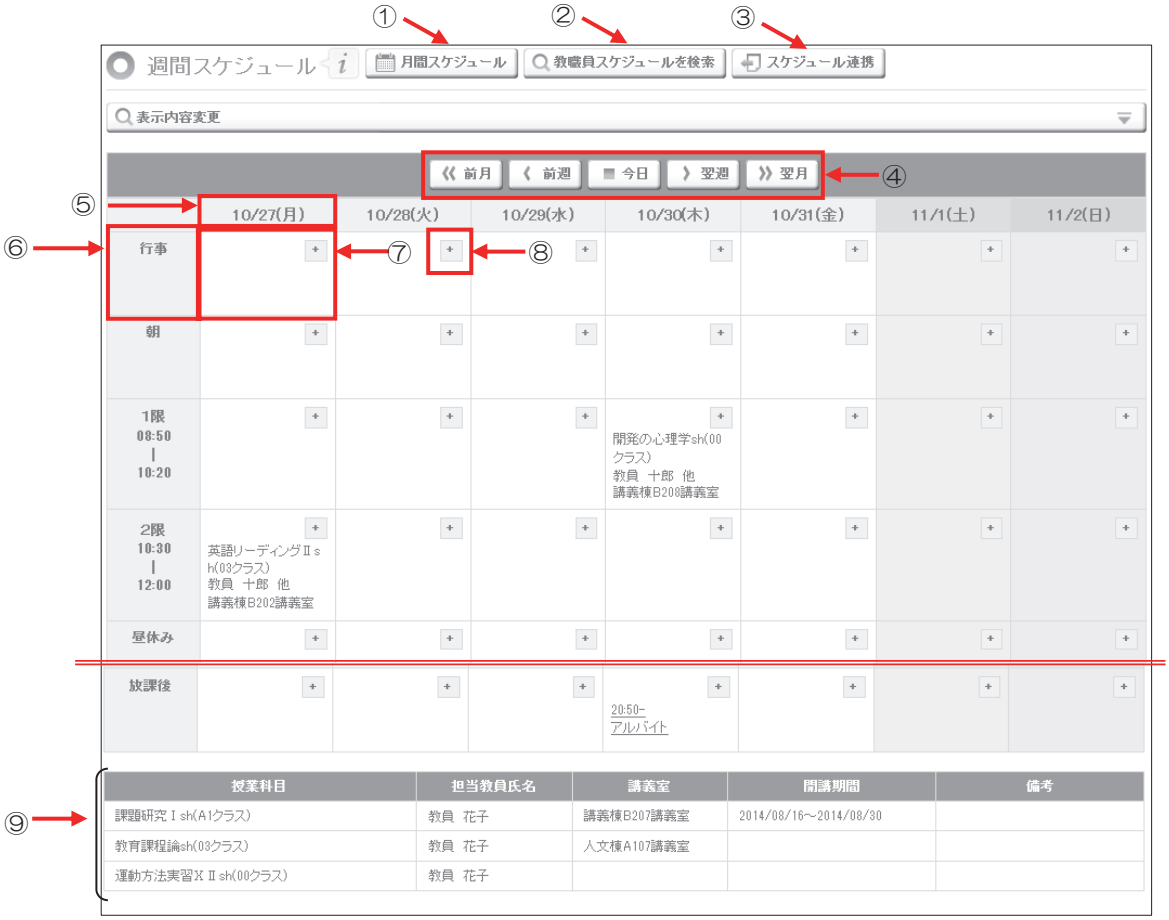
[キャンパスライフ]のサブメニューバーに表示される[スケジュール]をクリックすると、[週間スケジュール]画面が表示されます。

週間/月間スケジュールを参照する

初期表示は当日を含む週の月曜日から日曜日までが表示されます。当日は黄色、土曜日は水色、祝日または日曜日は赤色、その他は白色の背景色で表示されます。

週間スケジュールでは履修している授業が時限単位で表示されます。また、提出物(小テスト・アンケート・レポート)の締切日に提出物のアイコンと、各提出物詳細ページへのタイトルリンクを表示します。

月間スケジュールでは画面を利用している学生の時間割が表示されます。また、授業連絡の対象日(休講日、補講日など)に講義情報が表示されます。

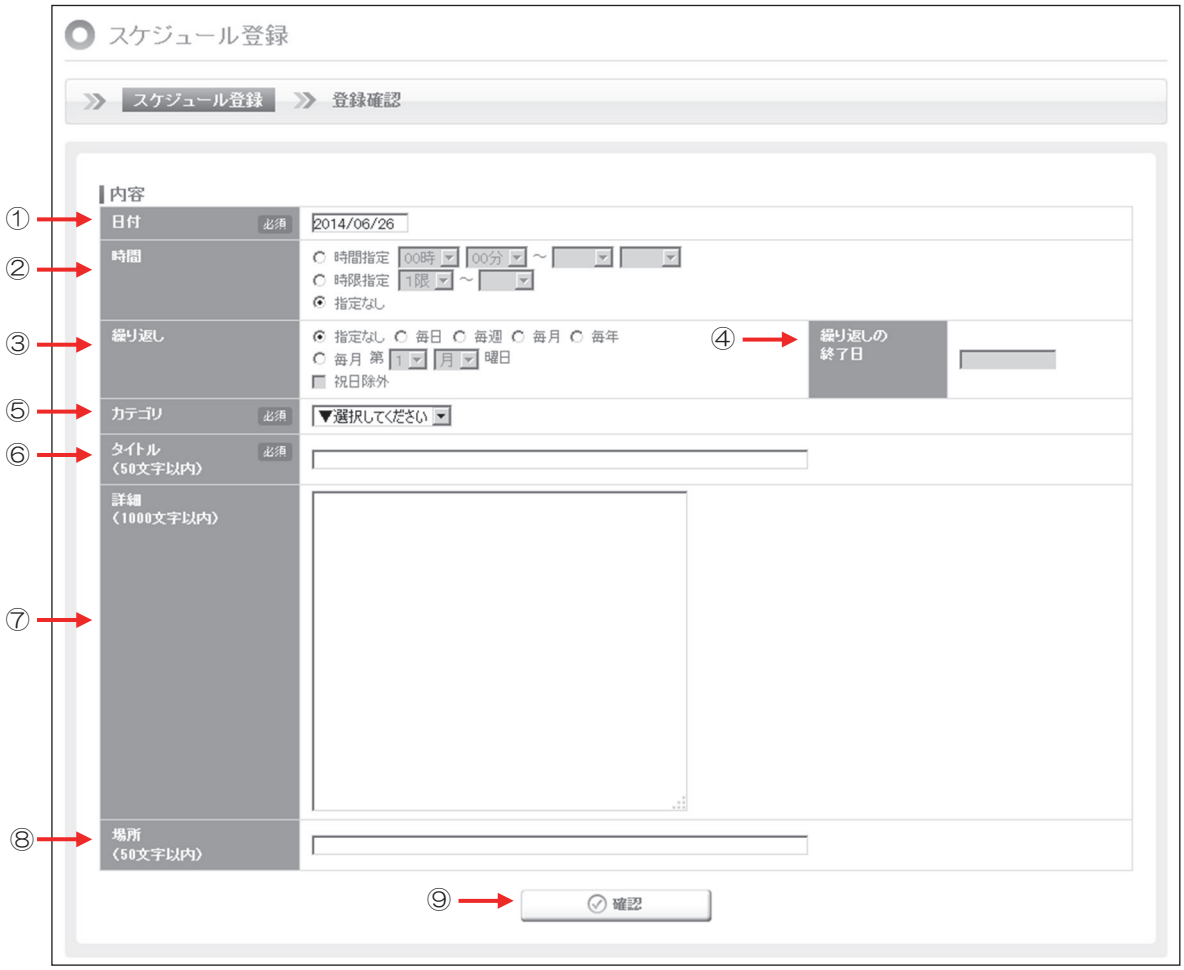


No	項目名	種類(桁数)	説明
1	月間スケジュール	ボタン	[月間スケジュール]画面が表示されます。
2	教職員スケジュールを検索	ボタン	[教職員検索]画面が表示されます。 教職員のスケジュールを検索・確認できます。ただし、各教職員のスケジュールの公開範囲(学生)が「公開」となっているスケジュールのみ表示されます。
3	スケジュール連携	ボタン	[スケジュール連携]画面が表示されます。
4	日付切り替え	ボタン	日付を切り替えます。
5	スケジュール日付	ラベル	日付、曜日が表示されます。

6	スケジュール時間	ラベル	「行事」、「朝」、「昼」、「放課後」、「X限～X限」が表示されます。
7	スケジュール情報	ラベル リンク	スケジュール情報が表示されます。スケジュール情報が複数時限にまたがる場合、スケジュール情報が複数表示されます。 「個人スケジュール」…画面を利用している学生が登録したスケジュールが表示されます。 「提出物」…提出物の締切日に提出物タイトルが表示されます。締切日以後の提出物タイトルにはリンクは表示されません。 「講義情報」…履修している授業科目の「講義名（クラス名）」、「主担当教員名」「講義室名」が表示されます。
8	スケジュール追加	リンク	[スケジュール登録]画面が表示されます。
9	時間割外エリア	ラベル	履修している時間割外の講義が表示されます。

スケジュールを登録する

[週間スケジュール]画面もしくは[月間スケジュール]画面の［＋］をクリックすると、[スケジュール登録]画面が表示されます。



No	項目名	種類（桁数）	説明
1	日付	日付	入力欄をクリックすると、カレンダーが表示されます。
2	時間	ラジオボタン コンボボックス	スケジュールに登録する時間を選択します。 「指定なし」を選択した場合、[週間スケジュール]画面では「行事」箇所に表示されます。
3	繰り返し	ラジオボタン コンボボックス チェックボックス	繰り返しをいずれかから選択します。 「指定なし」以外を選択した場合、祝日除外を設定できます。 チェックを付けた場合、祝日と重なった予約日は登録されません。

4	繰り返し終了日	日付	3.繰り返しで「指定なし」以外を選択した場合、必須入力となります。入力欄をクリックすると、カレンダーが表示されます。
5	カテゴリ	コンボボックス	カテゴリを選択します。
6	タイトル	テキスト	タイトルを入力します。
7	詳細	テキストエリア	詳細を入力します。
8	場所	テキスト	場所を入力します。
9	確認	ボタン	[登録確認]画面が表示されます。

入力後、[確認]ボタンをクリックします。
登録内容の確認画面が表示されますので、内容に問題がなければ、[登録]ボタンをクリックします。
これでスケジュールの登録は完了となります。

スケジュールの詳細を参照する

[週間スケジュール]画面もしくは[月間スケジュール]画面の [スケジュール]をクリックすると、[スケジュール参照]画面が表示されます。

番号	項目名	種類(桁数)	説明
1	内容エリア	ラベル	スケジュールの「タイトル」や「日付」など、スケジュールの詳細情報が表示されます。
2	削除	ボタン	スケジュールを削除します。
3	当日のみ削除	ボタン	当日のみスケジュールを削除します。 ※繰り返しが「指定なし」の場合、非表示となります。
4	編集	ボタン	スケジュールを編集します。
5	当日のみ編集	ボタン	当日のみスケジュールを編集します。 ※繰り返しが「指定なし」の場合、非表示となります。

※②～⑤のボタンはスケジュールの利用レベルが更新権限以上の場合にのみ、クリックできます。
※繰り返しスケジュールの場合、[削除] /[編集]ボタンをクリックすると、繰り返しスケジュール全ての内容が削除/編集対象となります。選択した日付のみ削除/編集する場合は、[当日のみ削除] /[当日のみ編集]ボタンをクリックして下さい。当日のみの削除/編集を行った日付は、他の繰り返しスケジュールと別グループ扱いとなります。

教務システム利用マニュアル

基本的事項
履修登録
時間割参照
成績情報参照
学籍情報更新
シラバス閲覧
履修登録確認表

教務システム基本動作の説明

LiveCampus教務システムでは、履修登録や成績情報・単位修得状況の参照などが行えます。
なお、ご利用の際には、ブラウザのポップアップブロックを解除しておいてください。

アクセス方法

LiveCampus総合ポータルシステムのサイトにアクセスし、LiveCampus教務システムにアクセスします。

ログアウト

教務システムの利用を終了するときは、画面右上の「LOGOUT」（メニュー画面）か「LOGOUT」（個別機能画面）をクリックしてください。

■メニュー画面

■個別機能画面

システムにログインしたまま一定時間（60分）操作を行わない状態が続いた場合、セキュリティ確保のため、自動的にログアウトされます。

LiveCampus教務システム Webメニュー画面

★ 履修関連.....今年度開講科目から履修登録できます。

★ 時間割関連.....履修登録をした時間割を確認できます。

★ 成績情報関連..... 履修登録し、成績が確定した科目の成績情報を参照できます。

★ 学生情報関連.....自身の学籍情報の確認・修正を行えます。

★ その他.....シラバスや学内スケジュールの確認を行えます。

履修情報を登録する

履修登録期間内に、今年度開講されている授業科目の中から、履修したい科目を登録します。

機能概要

以下の場合、登録エラーとなり、履修登録できません。

① 登録しようとした開講科目の曜日時限に、既に別の科目が履修登録されている場合
② 登録しようとした科目が、既に履修登録済みであった場合
③ 当年度もしくは当学期に履修登録可能な単位数を超過する場合
④ 登録しようとした科目に履修前提科目があり、当該科目を未修得もしくは未履修であった場合
⑤ 登録しようとした科目が、上位学年の科目であった場合
⑥ 登録しようとしたクラスが、再履修者を対象にしたクラスであった場合
⑦ キャンパスが異なる場合、対象の時間割が履修不可であった場合

- 各学期の初回の履修登録時には、学籍情報の変更がないかを確認する画面が表示されます。登録してある情報に変更があった場合は、必ず修正してください。
- 履修登録期間中であれば、いつでも履修登録科目の追加および修正は可能です。
- 履修登録期間外にアクセスしても、履修登録を行うことはできません。事前に履修登録期間を確認した上で、必ず履修登録期間中に履修登録を行ってください。

履修登録方法

1 **メニュー画面より、「一般・集中講義履修登録」をクリックします。**

2 履修登録の前に、学籍情報の確認を行う必要があります。「次へ」ボタンをクリックします。

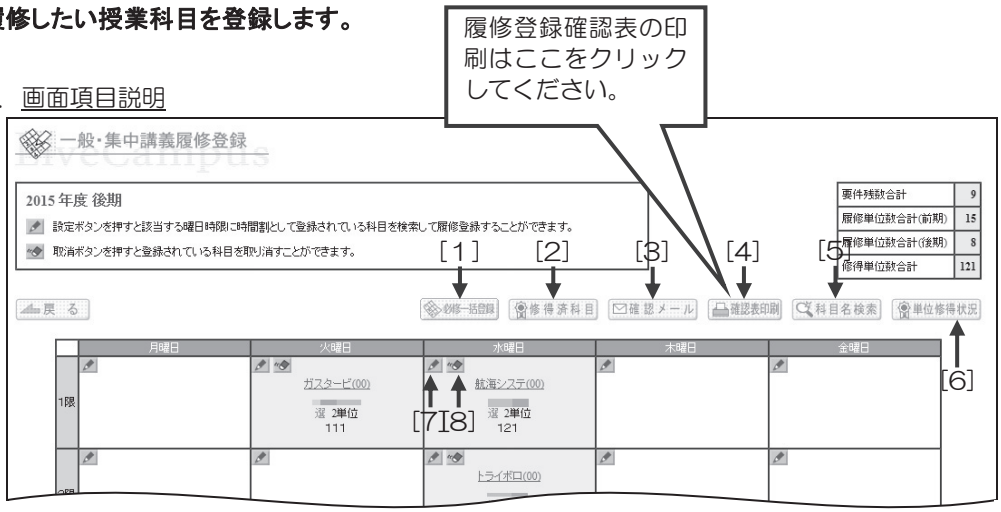
学籍情報確認は、各学期の初回履修登録時のみです。２回目以降は、直接履修登録画面へ移動します。

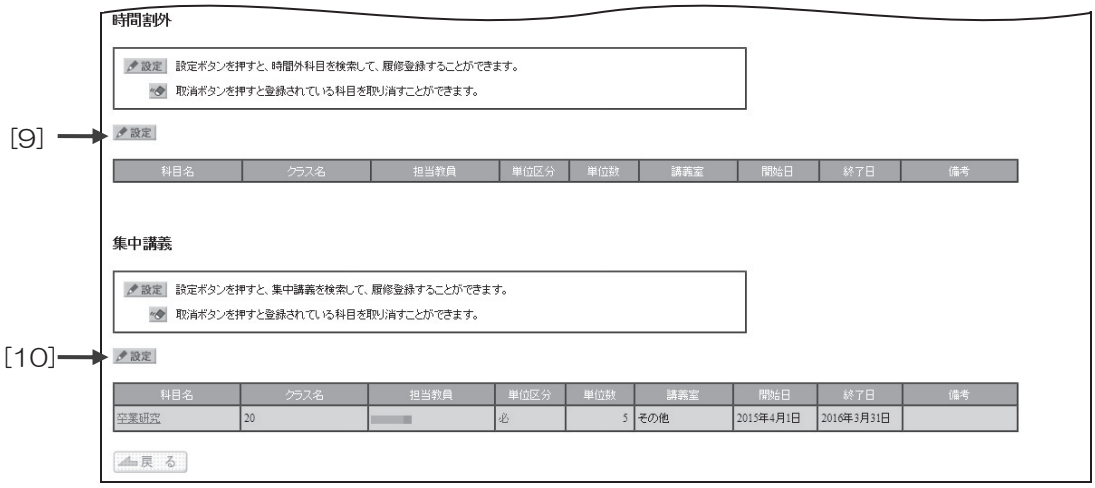
学籍情報の更新については、≪学籍情報を更新する≫の項目を参照してください。

3 履修登録画面へ遷移するために、「履修登録画面へ」ボタンをクリックします。

4 履修したい授業科目を登録します。

1．画面項目説明

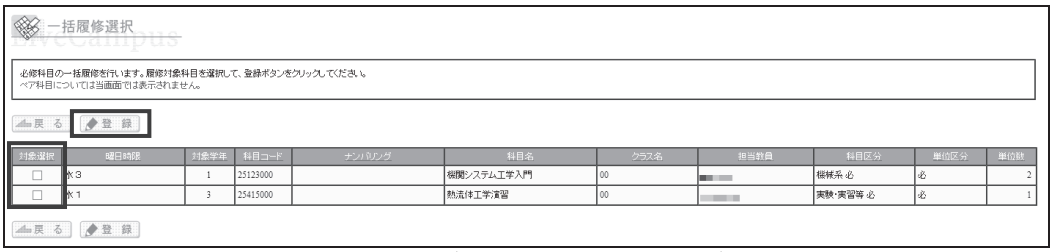




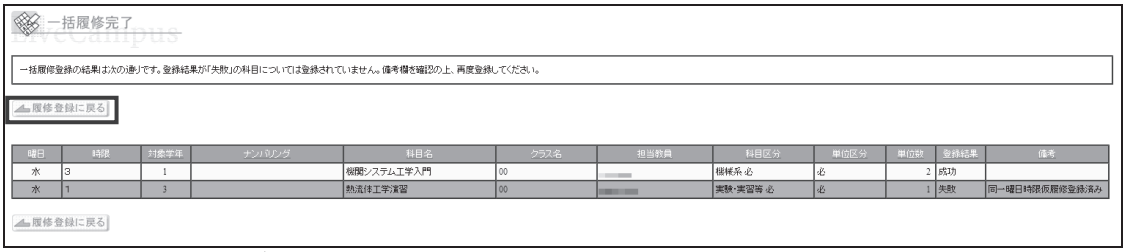
項目名	種類（桁数）	説明
[1]必修一括登録	ボタン	カリキュラム上の必修科目を一括で履修登録できます。 詳細は下記の「2-1 必修一括登録ボタンからの履修登録を行う場合」を参照してください。
[2]修得済科目	ボタン	自身が修得済みの科目を一覧表示します。
[3]確認メール	ボタン	履修登録した内容を学籍情報に登録してある「メールアドレス」宛てに送信します。
[4]確認表印刷	ボタン	履修登録した内容と、単位修得状況がPDFファイルで表示されます。
[5]科目名検索	ボタン	科目名を指定して履修登録できます。 詳細は下記の「2-2 科目名検索ボタンからの履修登録を行う場合」を参照してください。
[6]単位修得状況	ボタン	適用要件に対する単位修得状況が表示されます。
[7]鉛筆	ボタン	指定した曜日時限に開講されている授業科目を履修登録できます。 詳細は下記の「2-3 鉛筆ボタンからの履修登録を行う場合」を参照してください。
[8]消しゴム	ボタン	履修登録した授業科目を削除できます。 詳細は下記の「2-4 消しゴムボタンからの履修取消を行う場合」を参照してください。
[9]時間外設定	ボタン	実験・実習等の時間外科目を履修登録できます。
[10]集中講義設定	ボタン	実験・実習等の集中講義を履修登録できます。

2.履修登録

2-1. 必修一括登録ボタンからの履修登録を行う



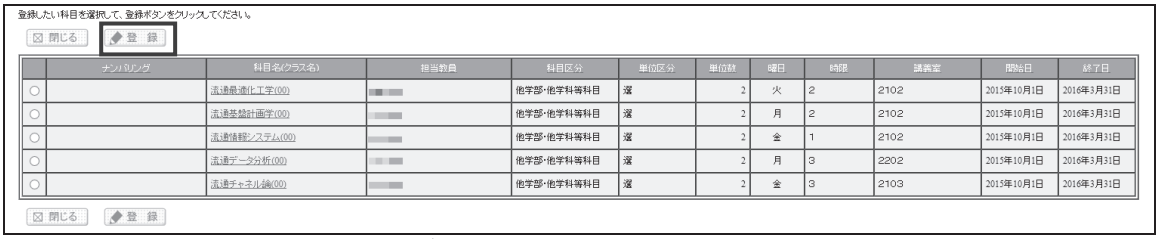
・開講されている授業科目のうち、自身が未修得である必修科目が表示されます。
・履修登録すべき科目にチェックを入れて、「登録」ボタンをクリックします。



・一括履修の登録結果が表示されます。
・一括履修登録に失敗した場合は、備考にその理由が表示されます。
・「履修登録に戻る」ボタンをクリックすると、履修登録画面に遷移します。

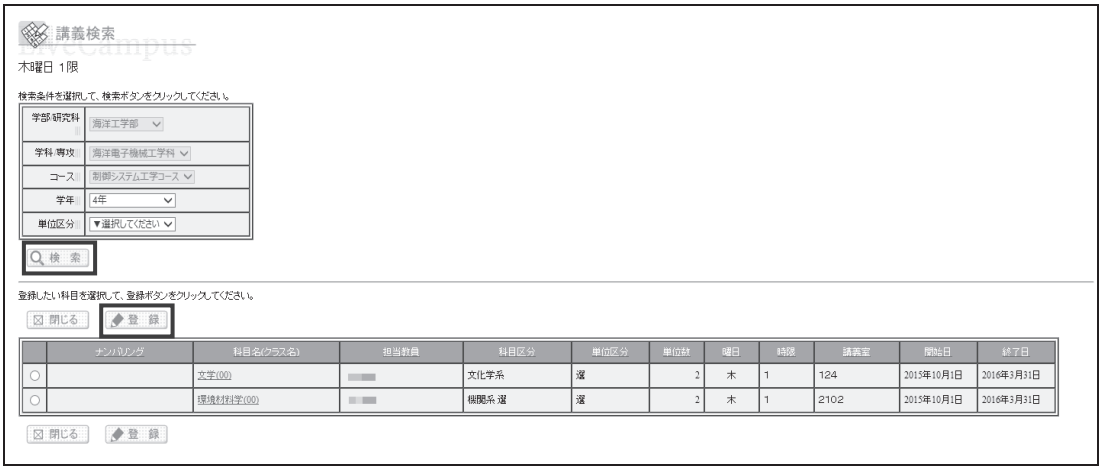
2-2. 科目名検索ボタンからの履修登録を行う

・「科目名検索」ボタンをクリックすると、科目目検索ウィンドウが表示されます。
・学年、単位区分（必修／選択等）、科目名の条件を指定して「検索」ボタンをクリックします。
（初期表示時は自身の学年が指定されています。科目名は部分一致で検索されます。科目名はカナ名を指定することもできます。）



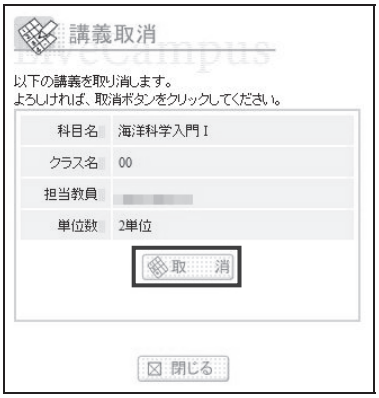
・検索条件に合致する授業科目の一覧が表示されます。
・一覧から履修登録したい科目にチェックを入れて「登録」ボタンをクリックします。
・科目の詳細が知りたい場合は、科目名をクリックします。

2-3.鉛筆ボタンからの履修登録を行う



・履修を行いたい曜日時限の「鉛筆」ボタンをクリックすると、講義検索ウィンドウが表示され、選択した曜日時限に開講されている授業科目の一覧が表示されます。
・学年、単位区分（必修／選択等）の条件を指定して「検索」ボタンをクリックすると、指定した検索条件に合致する授業科目一覧を再表示します。（初期表示時は自身の学年が指定されています。）
・一覧から履修登録したい科目にチェックを入れて「登録」ボタンをクリックします。
・科目の詳細が知りたい場合は、科目名をクリックします。

2-4. 消しゴムボタンからの履修取消を行う



・履修登録した科目を取り消したい場合には、取り消したい曜日時限の「消しゴム」ボタンをクリックすると、講義取消ウィンドウが表示されます。
・「取消」ボタンをクリックすると、登録した履修情報が取り消されます。

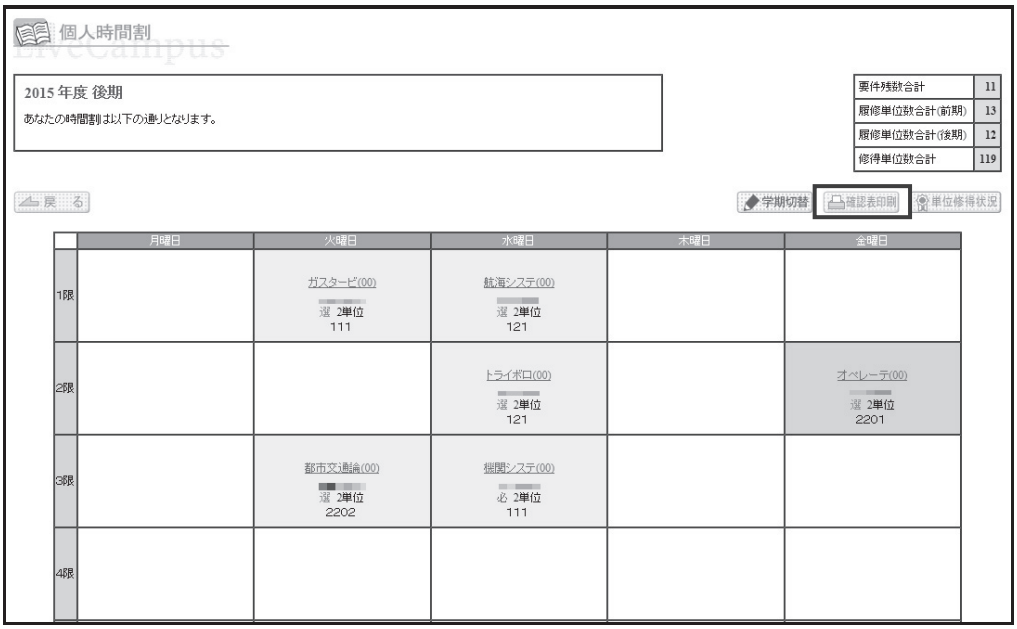
時間割を参照する

今年度に自身が履修登録した授業科目を履修登録確認表として確認できます。
履修登録した授業科目のうち、試験を実施する科目の試験日等を試験時間割として確認できます。

- 履修登録確認期間中に、自身の履修登録内容を変更したい場合は、こちらから履修登録確認表を印刷してください。赤ペンで変更を記入の上、教育支援係に提出してください。

1 **メニュー画面より、「個人時間割」をクリックします。**

2 **既に履修登録済みの授業科目が表示されます。**



表示内容を印刷したい場合は、画面右上の「印刷」ボタンをクリックします。

成績情報を参照する

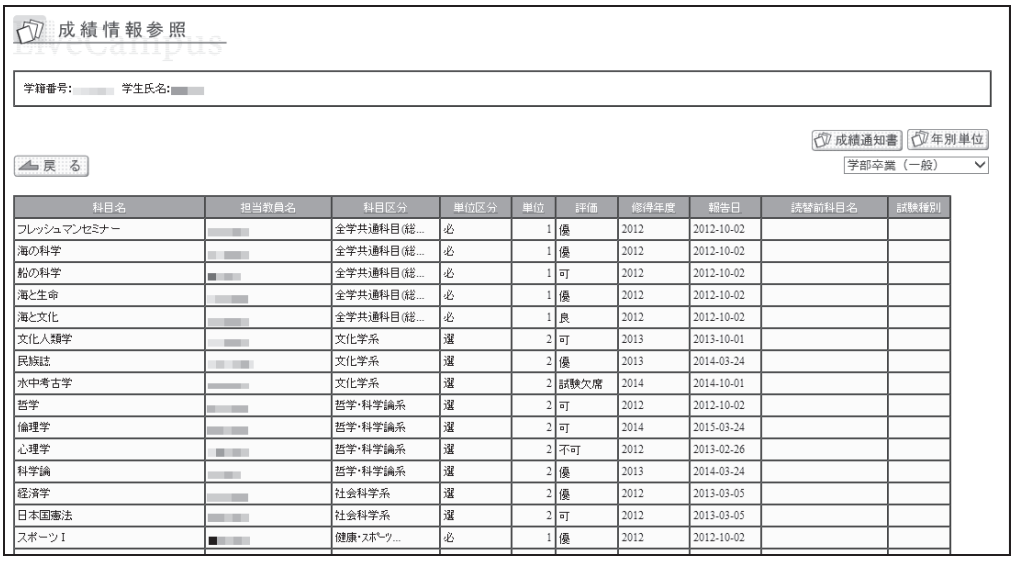
自身がこれまでに履修した授業科目の成績情報を参照できます。
進級や卒業に必要な単位数や不足している単位数を確認できます。

- 成績情報は、担当教員が成績報告を行い、教育支援係が「公開」の状態に設定した後、参照可能となります。

成績情報参照方法

1 メニュー画面より、「成績情報の参照」をクリックします。

2 自身がこれまでに履修した授業科目のうち、成績報告が完了した科目の成績情報が表示されます。



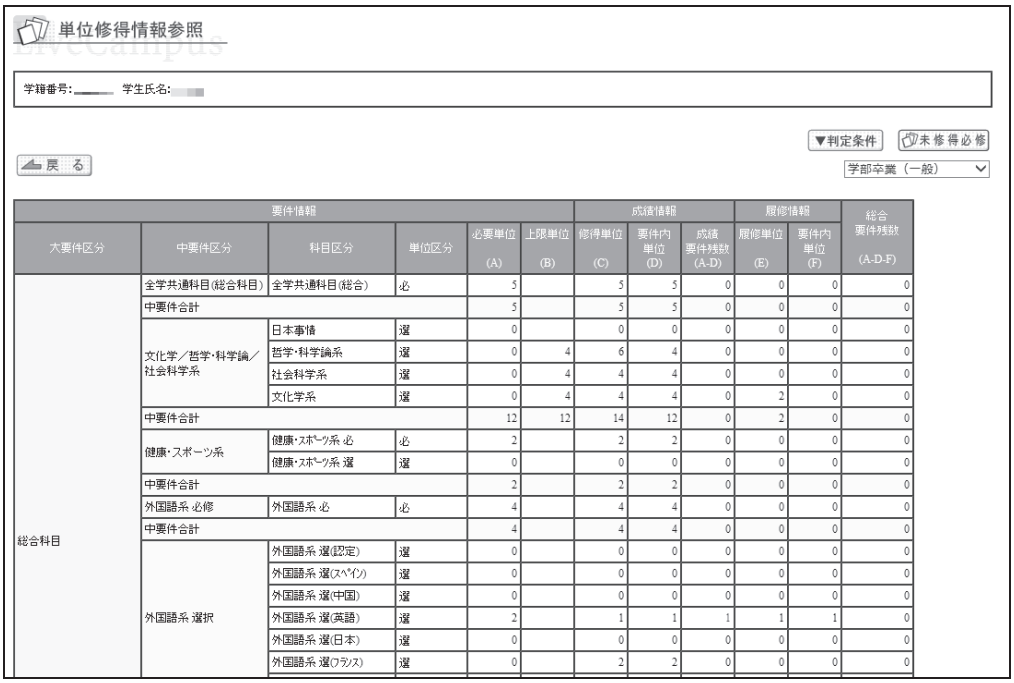
科目名	担当教員名	科目区分	単位区分	単位	評価	修得年度	報告日	読替前科目名	試験種別
フレッシュマンセミナー		全学共通科目(総...	必	1	優	2012	2012-10-02		
海の科学		全学共通科目(総...	必	1	優	2012	2012-10-02		
船の科学		全学共通科目(総...	必	1	可	2012	2012-10-02		
海と生命		全学共通科目(総...	必	1	優	2012	2012-10-02		
海と文化		全学共通科目(総...	必	1	良	2012	2012-10-02		
文化人類学		文化学系	選	2	可	2013	2013-10-01		
民族誌		文化学系	選	2	優	2013	2014-03-24		
水中考古学		文化学系	選	2	試験欠席	2014	2014-10-01		
哲学		哲学・科学論系	選	2	可	2012	2012-10-02		
倫理学		哲学・科学論系	選	2	可	2014	2015-03-24		
心理学		哲学・科学論系	選	2	不可	2012	2013-02-26		
科学論		哲学・科学論系	選	2	優	2013	2014-03-24		
経済学		社会科学系	選	2	優	2012	2013-03-05		
日本国憲法		社会科学系	選	2	可	2012	2013-03-05		
スポーツⅠ		健康・スポーツ...	必	1	優	2012	2012-10-02		

画面右上の「成績通知書」ボタンをクリックすると、成績通知書を出力できます。
画面右上の「年別単位」ボタンをクリックすると、年度別の修得単位数が確認できます。
画面右上のコンボボックスで確認する要件を切り替えることができます。

単位修得情報参照方法

1 メニュー画面より、「単位修得情報の参照」をクリックします。

2 必要単位数、修得単位数、履修登録単位数と、判定条件の一覧が表示され、右上のコンボボックスで選択した要件を満たすことができるかどうか確認できます。



要件情報						成績情報			履修情報		総合
大要件区分	中要件区分	科目区分	単位区分	必要単位 (A)	上限単位 (B)	修得単位 (C)	要件内単位 (D)	成績要件残数 (A-D)	履修単位 (E)	要件内単位 (F)	要件残数 (A-D-F)
総合科目	全学共通科目(総合科目)	全学共通科目(総合)	必	5		5	5	0	0	0	0
	中要件合計			5		5	5	0	0	0	0
	文化学／哲学・科学論／社会科学系	日本事情	選	0		0	0	0	0	0	0
		哲学・科学論系	選	0	4	6	4	0	0	0	0
		社会科学系	選	0	4	4	4	0	0	0	0
		文化学系	選	0	4	4	4	0	2	0	0
	中要件合計			12	12	14	12	0	2	0	0
	健康・スポーツ系	健康・ｽﾎﾟｰﾂ系 必	必	2		2	2	0	0	0	0
		健康・ｽﾎﾟｰﾂ系 選	選	0		0	0	0	0	0	0
	中要件合計			2		2	2	0	0	0	0
	外国語系 必修	外国語系 必	必	4		4	4	0	0	0	0
	中要件合計			4		4	4	0	0	0	0
	外国語系 選択	外国語系 選(認定)	選	0		0	0	0	0	0	0
		外国語系 選(ｽﾍﾟｲﾝ)	選	0		0	0	0	0	0	0
		外国語系 選(中国)	選	0		0	0	0	0	0	0
		外国語系 選(英語)	選	2		1	1	1	1	1	0
		外国語系 選(日本)	選	0		0	0	0	0	0	0
		外国語系 選(ﾌﾗﾝｽ)	選	0		2	2	0	0	0	0

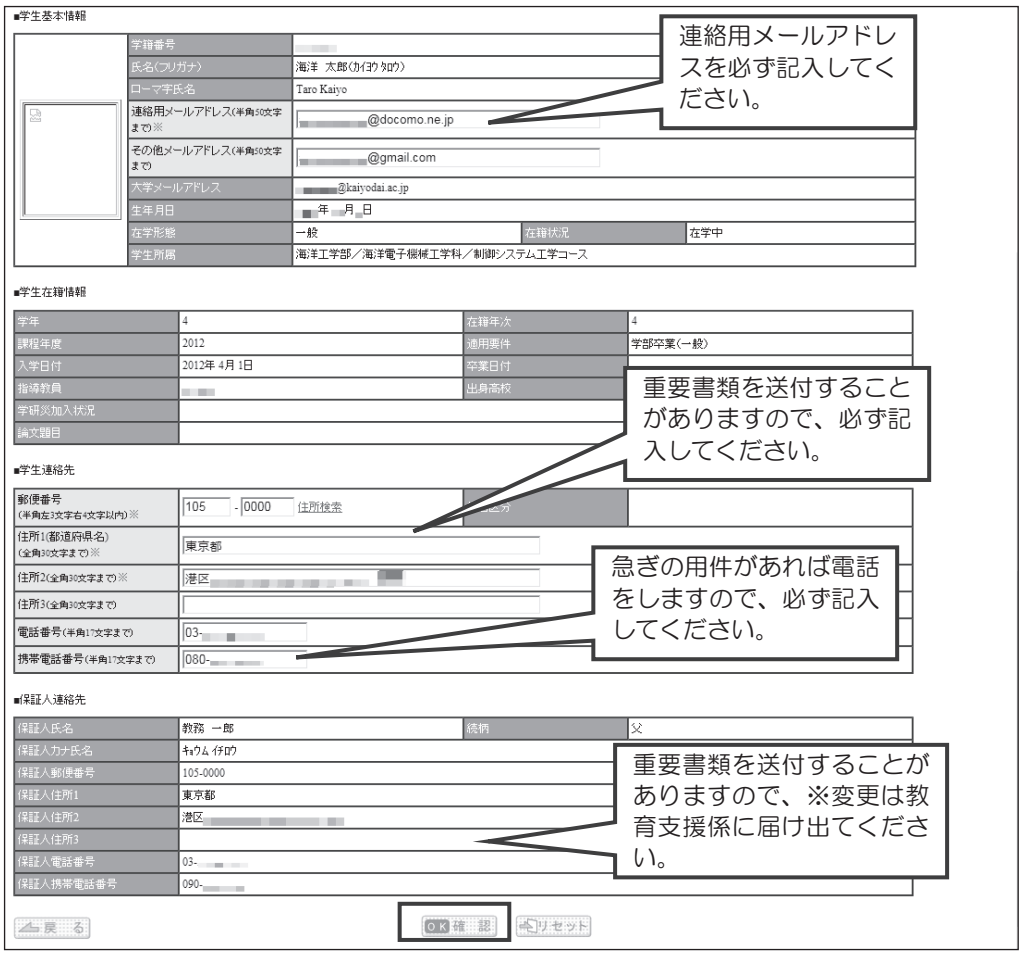
画面右上の「未修得必修」ボタンをクリックすると、未修得の必修科目名、単位数、対象学年を確認できます。

学籍情報を更新する

自分自身の連絡先等の情報を参照および更新することができます。更新可能な項目は、項目名の背景色が緑色となっています。項目名の背景色が青色の項目は教育支援係に届け出てください

1 **メニュー画面より、「学籍情報の更新」をクリックします。**

2 **更新したい項目に入力して「確認」ボタンをクリックします。**



3　**登録内容に変更がある項目は黄色の背景色で表示されます。入力内容に誤りがないか確認の上、「登録」ボタンをクリックします。**

4　**正常に更新が完了すると、下記画面が表示されます。**

学籍情報の参照画面の右上にある「更新」ボタンをクリックしても、同様に学籍情報の更新を行うことができます。

各年度、各学期の初回履修登録時における学籍情報の更新の際は「メニューへ戻る」のボタンではなく、「履修登録画面へ」のボタンが表示され、履修登録画面へと遷移します。

シラバスを参照する

シラバス公開期間内であり、確定済みになっているシラバスのみ参照することができます。

- フリーワード検索では、スペースで検索語を区切って、最大3つまでの複合検索が可能です。
- フリーワードは部分一致検索となっています。

1 **メニュー画面より、「シラバス参照」をクリックします。**

2 **参照したいシラバスの科目名等を入力して、「検索」ボタンをクリックします。**

「フォルダ」コンボボックスは、タイトルが選択されると、選択したタイトルに登録されているフォルダから選択できるようになります。

3 参照したいシラバスの「和」ボタンもしくは「E」ボタンをクリックします。

「和」ボタンをクリックすると、日本語版のシラバスが、「E」ボタンをクリックすると、英語版のシラバスが表示されます。

4 選択したシラバスが表示されます。

履修登録確認表について

履 修 登 録 確 認 表　(20××年度　前学期)

1421000　○○ ○○

海洋工学部　海事システム工学科　　3年

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限					
2時限					
3時限	前期 ○○○Ⅰ ×× ××	前期 ○○工学 ×× ××			
4時限					
5時限					前期 ○○○論 ×× ××

その他	集中 ○○実験 ×× ××			

履修・修得状況	❶ 必要単位	❷ 修得単位	❸ 登録単位数
◆総合科目◆	31	31	
◇全学共通科目◇	5	5	
◇文化学系◇	4	4	
◇哲学・科学論系◇	4	4	
◇社会科学系◇	4	4	
◇健康・スポーツ系 必修◇	2	2	
◇健康・スポーツ系 選択◇	0	0	
◇外国語系 必修◇	4	4	
◇外国語系 選択必修◇	2	2	
◇外国語系 選択◇	2	0	1
◇その他◇	0	0	
◇自由選択◇	4	4	
◆基礎教育科目◆	25	25	
◇全学共通科目◇	4	4	
◇学部共通科目 必修◇	14	14	
◇学部共通科目 選択◇	7	7	
◆専門科目◆	74	54	
◇基礎専門科目系 必修◇	24	22	2
◇基盤数理系 選択◇	4	4	
◇船舶管理系 選択◇	0	0	
◇海事工学系 選択◇	22	16	2
◇実験・演習・実習 必修◇	24	12	1
◇実験・演習・実習 選択◇	0	0	
◇資格・海技士 選択◇	0	0	
** 総合計 **	120	110	6
◆要件外単位		12	

❶　必要単位数　・・各入学年度、学科・コースの卒業要件単位数が記載されています。
ただし、以下は「-」と表示されてしまうので注意して下さい。
【海洋電子機械工学科1・2年次対象】…専門科目 必修及び選択
　→コース分け前のため、どの系列が卒業要件になるか未定のため

❷　修得単位・・・　必要単位数（卒業要件単位数）の内、修得した単位数が記載されています。
　　オーバー単位等は、「◆要件外単位」の欄に記載されます。

❸　登録単位・・・　各学期に履修登録をした単位数が記載されています。オーバー単位等は、考慮しません。

東京海洋大学
海洋工学部履修規則

※その他の規則については、本学ホームページ内の下記ページに掲載していますので、必要に応じて内容を確認して下さい。

https://www.kaiyodai.ac.jp/student/kisoku/kisoku.html

東京海洋大学海洋工学部履修規則

平成１６年４月１日海洋大規第１９２号
改正　平成１７年２月１０日海洋大規第２５０号
改正　平成１８年２月９日海洋大規第２５０－２号
改正　平成１８年９月２７日海洋大規第２５０－３号
改正　平成１９年２月８日海洋大規第２５０－４号
改正　平成１９年３月１４日海洋大規第２５０－５号
改正　平成１９年３月１９日海洋大規第２５０－６号
改正　平成２０年２月１４日海洋大規第２５０－７号
改正　平成２１年３月１３日海洋大規第１４号
改正　平成２２年２月１０日海洋大規第２３号
改正　平成２４年３月２７日海洋大規第３５号
改正　平成２５年２月１４日海洋大規第８号
改正　平成２６年３月２０日海洋大規第６２号
改正　平成２６年４月１０日海洋大規第６３号
改正　平成２６年５月８日海洋大規第６４号
改正　平成２７年３月９日海洋大規第８７号
改正　平成２７年３月２０日海洋大規第８８号
改正　平成２７年３月２０日海洋大規第８８号
改正　平成２７年１１月１２日海洋大規第１０１号
改正　平成２８年２月１２日海洋大規第１２８号
改正　平成２８年３月１０日海洋大規第１３４号
改正　平成２８年３月２２日海洋大規第１３５号
改正　平成２９年２月２８日海洋大規第４８号
改正　平成３１年３月６日海洋大規第１５号
改正　令和２年２月１３日海洋大規第５号
改正　令和３年２月１２日海洋大規第１４号
改正　令和３年１２月９日海洋大規第１５８号
改正　令和４年３月２２日海洋大規第２２号

第１章　総則

（趣旨）

第１条　東京海洋大学学則（以下「学則」という。）第３１条及び第３２条の規定に基づく東京海洋大学海洋工学部（以下「本学部」という。）における授業科目の区分，履修方法及び単位の修得その他必要な事項については，この規則の定めるところによる。

第２章　教育課程

（授業科目の区分）

第２条　授業科目は，総合科目，基礎教育科目，専門科目及び教職に関する科目に区分する。

（単位）

第３条　各授業科目の単位数は，１単位の授業科目を４５時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし，次の基準により計算する。

一　講義については，１５時間をもって１単位とする。

二　演習については，３０時間をもって１単位とする。

三　実験，実習及び実技については，４５時間をもって１単位とする。

２　前項の規定にかかわらず，卒業研究については，これに必要な学修等を考慮して，単位数を定めることができる。

（コースの所属）

第４条　海洋電子機械工学科の第３年次または第４年次の学生は，当該学科に置かれる次のコースに所属するものとする。

機関システム工学コース

制御システム工学コース

２　コースの所属に関し必要な事項は，別に定める。

（商船教員養成コース）

第４条の２　海洋電子機械工学科に商船教員養成コースを置く。

（卒業の要件）

第５条　本学部を卒業するためには，次表に掲げる授業科目の区分ごとに定める単位を修得しなければならない。ただし，授業科目の区分及び履修単位の詳細は，別表１の定めによるものとする。

授業科目の区分 ＼ 学科及びコース			海事システム工学科	海洋電子機械工学科 機関システム 工学コース	海洋電子機械工学科 機関システム 商船教員養成コース	海洋電子機械工学科 制御システム工学コース	流通情報工学科
総合科目	共通導入科目	必修	8	8	8	8	8
	文化学系	選択	4	4	4	4	4
	哲学・科学論系	選択	4	4	4	4	4
	社会科学系	必修	－	－	2	－	－
		選択	4	4	2	4	4
	健康・スポーツ系	必修	2	2	2	2	2
	外国語系	必修	4	4	4	4	4
		選必	3	3	3	3	3
		選択	2	2	2	2	2
	自由選択		4	4	2	4	4
基礎教育科目	学部共通科目	必修	１４	１４	１４	１４	１２
		選択	7	7	7	7	9
専門科目	必修科目		４８	５０	７７	５１	３７
	選択必修科目		－	－	１６	－	－
	選択科目		２６	２４	１０	２３	３７
卒業に必要な単位数			１３０	１３０	１５７	１３０	１３０

（早期卒業の要件）

第６条　卒業の要件として定める単位を優秀な成績で修得した学生については，学則第４２条第２項の規定により，３年以上の在学で卒業を認めることができる。

２　早期卒業に関し必要な事項は，別に定める。

第３章　授業科目及び履修方法

（授業科目及び単位数）

第７条　授業科目，単位数及び毎週授業時間数は，別表１のとおりとする。

（履修方法）

第８条　学生は，別表１に定める開講年次に従い，履修するものとする。

（履修科目の登録）

第９条　学生は，所定の期間内に，その学年において履修しようとする授業科目を所定の方法により登録し，その内容を確認しなければならない。

２　前項の登録内容に不備がある場合は，所定の期間内に所定の方法で修正しなければならない。

３　止むを得ない理由により，前項の期間終了後に履修登録内容を修正する場合については，別に定める。

（履修登録単位数の上限）

第１０条　当該年度中に履修登録できる単位数は，６０単位を超えてはならない。

２　前学期又は後学期において，履修登録確認後においてもなおかつ前項の上限を超えている場合には，当該学期の全授業科目の履修登録を無効とする。

３　別表１及び別表２に規定する集中授業（特定期間に集中して行う授業をいう。）は，前２項に定める単位数に算入しない。

４　第１項の規定にかかわらず，２年次以降で前年度までの成績評価において，Grade Point Avarage（以下、「GPA」という。）が３．５以上であり，かつ，前年度までに開講される必修科目を全て修得している場合については，当該年度の履修登録単位数の上限を超えて８単位まで履修登録することができる。なお，GPA の取り扱いについては別に定める。

（他コース，他学科及び他学部の授業科目の履修）

第１１条　学生は，他学科及び他学部の授業科目を履修することができるものとし，海洋電子機械工学科の学生については，これにあわせて同学科の他コースの授業科目を履修することができる（各学科が別に定める，所属している学科・コースの学生のみが履修できる授業科目を除くものとする。）。なお，海事システム工学科の学生は，これらの単位を修得しても卒業に必要な単位数に算入しない。

２　他学部の授業科目の履修を希望する学生は，「他学部の授業科目の履修願」に希望する授業科目の担当教員の署名又は押印を得て，履修科目の登録期間内に越中島地区事務室に提出しなければならない。

３　第１項に定める他学部の授業科目で，同学部において卒業に必要な単位数に含まない授業科目は，卒業に必要な単位数に算入しない。

（先行履修）

第１１条の２　第４年次の学生は，第２０条に定める卒業研究の指導教員が教育上有益であり修学に支障がないと認め，かつ東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科博士前期課程（以下「大学院」という。）の授業科目の担当教員が履修可能と認めた場合，６単位を限度として当該授業科目を先行して履修（以下「先行履修」という。）することができる。

２　先行履修を希望する学生は，「先行履修許可願」に卒業研究の指導教員及び希望する大学院の授業科目の担当教員の署名又は押印を得て，履修科目の登録期間内に越中島地区事務室に提出しなければならない。

３　先行履修により修得した単位は，卒業に必要な単位数に算入しない。

（外国人留学生等の履修方法の特例）

第１２条　学則第４７条に規定する外国人留学生及び外国において相当の期間，中等教育を受けた学生の教育に必要があると認められる場合の履修方法の特例については，別に定める。

（編入学生の履修方法の特例）

第１２条の２　学則第２７条及び東京海洋大学海洋工学部編入学規則により編入学した学生の履修方法の特例については，別に定める。

第４章　試験，成績評価及び単位の授与等

（定期試験）

第１３条　定期試験は，授業科目ごとに，当該授業が終了した学期の終わりに期日を定めて行う。ただし，定期試験以外の試験をもってこれに代えることができる。

２　学生は，履修登録を行った授業科目に限り，定期試験を受けることができる。

３　学生は，履修登録を行った授業科目の出席時数が全授業時数の３分の２に満たない場合は，当該科目の定期試験を受けることができない。ただし，東京海洋大学海洋工学部における再履修方法の特例に関する取扱要領又は東京海洋大学海洋工学部における編入学生の履修方法の特例に関する取扱要領による場合にあっては，この限りでない。

（追試験）

第１４条　疾病その他やむを得ない事由で定期試験を受けられなかった学生は，授業担当教員の承諾を得た場合に限り，追試験を受けることができる。

２　追試験を受けようとする学生は，当該学期の定期試験の終了後速やかに，追試験願にその事由を証明する診断書等を添えて，授業担当教員の承諾を得たうえで越中島地区事務室に提出しなければならない。

３　追試験の実施日は，授業担当教員が指定する。

（追加合格制度）

第１４条の２　第１３条に規定する定期試験に合格しなかった学生に対し，追加合格制度を適用することがある。

２　追加合格制度について必要な事項は，別に定める。

（成績の評価）

第１５条　成績の評価は，平常の学業成績及び定期試験等の成績を総合して行うものとする。

（成績の評価基準）

第１６条　成績の評価基準は，次のとおりとする。

成績評価		評価点	評価基準
合格	A+	１００～９０点	到達目標を達成し，特に優秀な成績を修めている。
	A	８９～８０点	到達目標を達成し，優秀な成績を修めている。
	B	７９～７０点	到達目標を達成し，良好な成績を修めている。

	C	６９～６０点	到達目標を達成している。
不合格	F	５９～　０点	到達目標に達していない。

（注）評価点は，１００点を満点とした点数である。

（単位の授与）

第１７条　成績評価の結果，合格の評価を得た学生に対しては，所定の単位を授与する。

２　前項の規定にかかわらず，学則第５４条第３号又は第４号の規定に基づき除籍となった学生に対しては，入学料納付期日の属する学期又は授業料未納学期における単位を授与しない。

（再履修）

第１８条　不合格となった授業科目の単位を修得するためには，その授業科目を再履修しなければならない。なお，再履修科目が他の履修科目と曜日・時限が重複することはできない。ただし，東京海洋大学海洋工学部における再履修方法の特例に関する取扱要領又は東京海洋大学海洋工学部における編入学生の履修方法の特例に関する取扱要領による場合にあっては，この限りでない。

第５章　進級の要件及び卒業研究

（進級の要件）

第１９条　次の各号に掲げる年次への進級の要件は，当該各号に定めるとおりとする。

一　第２年次　第１年次の末までに修得した授業科目の単位数の合計が２０単位以上あること。

二　第３年次　第２年次の末までに修得した授業科目の単位数の合計が６５単位以上あり，かつ次の授業科目の単位を全て修得していること。

「Basic English Ⅰ」
「Basic EnglishⅡ」
「Practical English Ⅰ」
「微分積分Ⅰ」
「線形代数Ⅰ」
「物理学」

ただし，海事システム工学科の学生は，次の区分の修得単位数の内，卒業に必要な単位数の合計が６５単位以上あること。

総合科目及び基礎教育科目の修得単位数
専門科目中の必修科目の修得単位数
専門科目中の選択科目の修得単位数の内，基盤数理系から修得した４単位を限度とした修得単位数及び船舶管理系又は海事工学系から修得した２２単位を限度とした修得単位数を加えた単位数。なお，船舶管理系又は海事工学系から修得した単位数が同数の場合は，海事工学系の単位数を卒業に必要な単位数に算入し，同数でない場合は，修得した単位数が多い系の単位数を卒業に必要な単位数に算入する。

三　第４年次　本学に３年（第３年次に編入学した学生については１年，第２年次に編入学した学生については２年，再入学した学生については学則第２０条に定める修業年限から入学年次を控除した数の年数）以上在学（休学期間及び東京海洋大学学生懲戒規則第２条２号の規定により修業年限に算入しない停学期間を除く。）し，かつ第３年次の末までに修得した授業科目の単位数の合計が１１０単位以上あり，かつ，「GLI 演習Ⅰ」または「GLI 演習Ⅱ」を修得すること。ただし，海事システム工学科の学生は，次の区分の修得単位数の内，卒業に必要な単位数の合計が１１０単位以上あること。

総合科目及び基礎教育科目の修得単位数
専門科目中の必修科目の修得単位数
専門科目中の選択科目の修得単位数の内，基盤数理系から修得した４単位を限度とした修得単位数及び船舶管理系又は海事工学系から修得した２２単位を限度とした修得単位数を加えた単位数。なお，船舶管理系又は海事工学系から修得した単位数が同数の場合は，海事工学系の単位数を卒業に必要な単位数に算入し，同数でない場合は，修得した単位数が多い系の単位数を卒業に必要な単位数に算入する。

２　前項各号に規定する進級の要件となる単位数には，第５条に規定する授業科目の区分ごとに定められた単位数を超えて修得した単位は，算入しない。

３　第１項各号に規定する進級の要件に満たない学生であって，第１４条第１項の規定による追試験の結果により進級の要件を満たすことができるものについては，教授会の議を経て，当該年次への進級を認めることができる。

（卒業研究）

第２０条　卒業研究を履修する学生は，所属する学科の教授，准教授，専任講師及び助教の中から当該教員の許可を得た上で指導教員を選び，その指導を受けるものとする。

２　前項の規定にかかわらず，所属する学科の長の承認を得た場合は，当該学科以外の教員を指導教員に選び，その指導を受

けることができる。
３　卒業研究は，第１９条第１項第三号の規定に定める第４年次への進級の要件を満たさない学生は，履修することができない。
４　卒業研究を履修する学生は，第１項又は第２項に定める指導教員の許可を得た後，「卒業研究履修申請書」を第４年次前学期の履修登録期間内に越中島地区事務室に提出しなければならない。

（卒業論文及びゼミナール）

第２１条　学生は，前条に定める卒業研究の成果を，卒業論文として取りまとめるものとする。
２　学生は，卒業論文の題目及び研究計画を決定し，第４年次の授業開始日から１ヶ月以内に前条に定める指導教員に提出しなければならない。
３　学生は，完成した卒業論文を第４年次の１月末日までに越中島地区事務室に提出しなければならない。
４　各学科が定めるゼミナールの単位には，別に定める研究者倫理教育の学修を修了することを含むものとする。

第６章　免許の取得に関する科目

（教育職員の免許取得に関する授業科目）

第２２条　学則第３７条の規定に基づく，教員の免許状授与の所要資格を取得しようとする学生の修得しなければならない授業科目，単位及び毎週授業時間数は，別表２に定めるとおりとする。ただし，同表に掲げる授業科目のうち，教職に関する科目は，卒業に必要な単位数に算入しない。

（船舶職員養成施設の種類及び授業科目）

第２３条　学則第３８条の規定に基づく，船舶職員養成施設の種類及び同施設の修了資格を取得しようとする学生の修得しなければならない授業科目，単位数及び毎週授業時間数は，別表３に定めるとおりとする。

（海技免許講習の課程の種類及び授業科目）

第２４条　学則第３９条の規定に基づく，海技免許講習の課程の種類及び同講習の課程の修了資格を取得しようとする学生の修得しなければならない授業科目は，別表４に定めるとおりとする。

（ＥＣＤＩＳ講習の課程の授業科目）

第２５条　船舶職員及び小型船舶操縦者法施行規則（昭和２６年運輸省令第９１号）第４条の４に定める電子海図情報表示装置（ＥＣＤＩＳ）講習の課程の修了資格を取得しようとする学生の修得しなければならない授業科目，単位数及び毎週授業時間数は，別表９に定めるとおりとする。

（第一級海上特殊無線技士の授業科目）

第２６条　学則第４１条の規定に基づく，第一級海上特殊無線技士の資格を取得しようとする学生の修得しなければならない授業科目，単位数及び毎週授業時間数は，別表６に定めるとおりとする。

（グローバル・リーダーシップ・イニシアティブ（GLI）認定コースの授業科目）

第２７条　グローバル・リーダーシップ・イニシアティブ（GLI）認定コースの修了資格を取得しようとする学生の修得しなければならない授業科目，単位数及び毎週授業時間数は，別表８に定めるとおりとする。

附　則

この規則は，平成１６年４月１日から施行する。

附　則（平成１７年海洋大規第２５０号）

この規則は，平成１７年２月１０日から施行し，平成１６年度入学者から適用する。ただし，第１４条の２の規定は，平成１７年４月１日から適用する。

附　則（平成１８年海洋大規第２５０－２号）

１　この規則は，平成１８年４月１日から施行し，平成１６年度入学者から適用する。
２　平成１６年度及び平成１７年度入学者に係る別表１の２，３（２）及び３（３），別表２の２（４）及び２（５）並びに別表７については，附則別表のとおりとし，第５条に規定する卒業の要件を読み替えて適用するものとする。
３　この規則の施行日前に学生が履修した授業科目については，改正後の別表に定める授業科目を履修したものとみなす。

附　則（平成１８年海洋大規第２５０－３号）

この規則は，平成１９年４月１日から施行する。

附　則（平成１９年海洋大規第２５０－４号）

この規則は，平成１９年３月１４日から施行し，平成１６年度入学者から適用する。

附　則（平成１９年海洋大規第２５０－５号）

１　この規則は，平成１９年４月１日から施行する。
２　平成１９年３月３１日に在学する学生については，改正後の別表１の３（１）及び（２）並びに別表２の２（１）及び（３）の「海運政策論」の項を除き，なお従前の例による。

附　則（平成１９年海洋大規第２５０－６号）

この規則は，平成１９年４月１日から施行する。

附　則（平成２０年海洋大規第２５０－７号）

この規則は，平成２０年４月１日から施行する。ただし，別表１の３（１）及び（２）に「舶用工業実務論」の項を追加する改正は，平成１６年度入学者から適用し，別表１の３（３）及び別表２の２（５）に「港湾ロジスティクス工学」の項を追加する改正，並びに別表２の２（２）及び（５）から「海事情報ネットワーク」の項を削除する改正は，平成１８年度入学者から適用する。

附　則（平成２１年海洋大規第１４号）

１　この規則は，平成２１年４月１日から施行する。ただし，第２０条の改正規定は，平成２１年３月３１日から施行し，平成１９年４月１日から適用する。
２　平成２１年３月３１日に在学する学生については，改正後の第１１条の２，改正後の第２０条，別表１の３（１）及び（２）に「国際輸送実務論」の項を追加する改正，別表１の３（３）に「国際輸送実務論」及び「舶用工業実務論」の項を追加する改正並びに別表３から「当分の間，」を削る改正を除き，なお従前の例による。

附　則（平成２２年海洋大規第２３号）

１　この規則は，平成２２年４月１日から施行する。ただし，別表２の１の「総合演習」の項を削り，「教職実践演習（高等学校）」の項を追加する改正は，平成２５年４月１日から施行する。
２　平成２２年３月３１日に在学する学生については，第９条に第３項を追加する改正，第１７条に第２項を追加する改正，第２０条に第６項を追加する改正，第２１条第２項を改める改正，第２２条の見出しを改める改正，第２４条を改める改正，別表１の１の備考の欄及び履修単位の項を改める改正，別表１の１の３の履修単位の項になお書きを追加する改正，別表１の３の（２）の「船舶実験（汐路丸）」の項を改め，※を削る改正，別表２の１の注４を追加する改正，同表２の２（２），（４）及び（５）の備考の欄を改める改正，別表４中海技免許講習の種類を海技免許講習の課程の種類に改め，※を削り注１及び注２を追加する改正，並びに別表６に注を追加する改正を除き，なお従前の例による。
３　附則第２項中，第１７条に第２項を追加する改正は，平成１７年４月１日から，別表１の１及び同表１の３の履修単位の項になお書きを追加する改正，別表２の１に注４を追加する改正，別表４中※を削り注１及び注２を追加する改正，並びに別表６に注を追加する改正は，平成１６年度入学者から適用する。

附　則（平成２４年海洋大規第３５号）

１　この規則は，平成２４年４月１日から施行する。ただし，別表２の改正は，平成２３年４月１日から適用する。
２　平成２４年３月３１日に在学する学生については，別表２の改正を除き，なお従前の例による。

附　則（平成２５年海洋大規第８号）

１　この規則は，平成２５年４月１日から施行する。ただし，別表１の２に※５を追加する改正は，平成２４年度入学者から適用し，別表１の３（１），（２）及び（３）中「国際輸送実務論」の項を削る改正は，平成２８年度入学者から適用する。
２　平成２５年３月３１日に在学する学生については，別表１の２に※５を追加する改正を除き，なお従前の例による。

附　則（平成２６年海洋大規第６２号）

１　この規則は，平成２６年４月１日から施行する。
２　平成２６年３月３１日に在学する学生及び施行日から平成２８年３月３１日までの間に海洋工学部３年次に編入学する学生については，改正後の第２８条及び別表８を除き，なお従前の例による。

附　則（平成２６年海洋大規第６３号）

１　この規則は，平成２６年４月１０日から施行し，平成２６年４月１日から適用する。
２　平成２６年３月３１日に在学する学生及び適用日から平成２８年３月３１日までの間に海洋工学部３年次に編入学する学生については，なお従前の例による。

附　則（平成２６年海洋大規第６４号）

この規則は，平成２６年５月８日から施行し，平成２６年４月１日から適用する。

附　則（平成２７年海洋大規第８７号）

１　この規則は，平成２７年４月１日から施行する。
２　平成２７年３月３１日に在学する学生については，なお従前の例による。ただし，次の各号に掲げる改正規定は，当該各号に定めるとおり適用する。

一　第１９条第１項第３号及び第２０条第３項の改正規定　　平成２４年度入学者から適用
二　第２５条の改正規定及び別表９を追加する改正　　平成２６年４月１日に在学する学生から適用
三　別表１の３（２）中「電気機器学」の項の改正，「海運経済論」の項の改正，同表（３）中「海事情報システム」の項を削る改正，別表２の２（２）中「海運経済論」の項の改正及び同表（４）中「海事情報システム」の項を削る改正　平成２７年３月３１日に在学する学生から適用
四　別表２の２（４）中「最適化数学」，「確率論」，「数値解析」，「ラプラス・フーリエ解析」及び「複素解析」の項を追加する改正　平成２６年度入学者から適用
３　前項第２号に定める別表９の適用において，平成２６年４月１日に在学する学生については，「海事システム工学実験演習Ⅴ」の項を「海事システム工学実験演習Ⅰ」及び「海事システム工学実験演習Ⅱ」と読み替える。

附　則（平成２７年海洋大規第８８号）

１　この規則は，平成２７年４月１日から施行する。
２　ただし，次の各号に掲げる改正規定は，当該各号に定めるとおり適用する。
一　別表１の３（２）中「国際法」の項の改正，「デジタル情報処理」の項の改正，「知的財産概論」，「海運政策論」及び「海事情報処理」の項を削る改正，同表（３）中「海事情報処理」及び「知的財産概論」の項を削る改正，同表（４）中「国際法」の項の改正，「デジタル情報処理」の項の改正，「知的財産概論」，「海運政策論」及び「海事情報処理」の項を削る改正，別表２の２（２）中「海運政策論」の項を削る改正，同表（３）中「デジタル情報処理」の項の改正及び「海事情報処理」及び「知的財産概論」の項を削る改正，同表（４）中「海事情報処理」及び「知的財産概論」の項を削る改正並びに同表（５）中「海運政策論」の項を削る改正　平成２７年３月３１日に在学する学生から適用
二　別表１の３（３）中「損害賠償法」の項を追加する改正，別表２の２（３）中「ラプラス・フーリエ解析」，「確率論」，「最適化数学」，「複素解析」及び「数値解析」の項を追加する改正　平成２６年度入学者から適用

附　則（平成２７年海洋大規第１０１号）

１　この規則は，平成２７年４月１日から施行する。
２　ただし，次の各号に掲げる改正規定は，当該各号に定めるとおり適用する。
一　別表１の３（２）中「知的財産概論」，「海運政策論」及び「海事情報処理」を追加する改正，
　　同表（３）中「海事情報処理」及び「知的財産概論」を追加する改正，
　別表２の２（２）中「海運政策論」を追加する改正，
　　同表（３）中「知的財産概論」及び「海事情報処理」を追加する改正，
　　同表（４）中「海事情報処理」及び「知的財産概論」を追加する改正
　平成26年３月３１日に在学する学生のみ適用

二　別表１の３（３）中「海事情報システム」を追加する改正，
　別表２の２（４）中「海事情報システム」を追加する改正
　平成27年３月31日に在学する学生のみ適用

附　則（平成２７年海洋大規第１２８号）

１　この規則は，平成28年４月１日から施行する。
２　平成28年３月31日に在学する学生については，なお従前の例による。ただし，次の各号に掲げる改正規定は，当該各号に定めるとおり適用する。
一　第４条第１項の改正規定　　平成28年３月31日に在学する学生から適用
二　別表１の３(３)中「オペレーティングシステム論」の項を削る改正，別表２の２(２)中「機関システム工学入門」の項を追加する改正，同表(３)中「計算機科学」の項を追加する改正，同表(４)中「計算機科学」の項を追加する改正，「オペレーティングシステム論」の項を削る改正及び同表(５)中「機関システム工学入門」の項を追加する改正　平成28年度入学者から適用
三　別表１の１(１)中「文学」の項の改正，同表(２)中「文学」の項の改正及び別表１の３(３)中「安全工学」の項の改正　平成26年度入学者から適用

附 則（平成２８年海洋大規第１３４号）

この規則は，平成28年４月１日から施行する。ただし，別表３に科目を追加する改正は，平成26年度入学者から適用する。

附 則（平成２８年海洋大規第１３５号）

この規則は，平成28年４月１日から施行し，平成26年度入学者から適用する。

附　則（平成２９年海洋大規第４８号）
１　この規則は，平成29年４月１日から施行する。
２　平成29年３月31日に在学する学生並びに施行日から平成30年３月31日までの間に２年次に編入学する学生及び平成31年３月31日までの間に３年次に編入学する学生については，なお従前の例による。ただし，次の各号に掲げる改正規定は，当該各号に定めるとおり適用する。

一　第１１条の改正規定，別表１の２（１）及び（２）中履修単位の欄に「ただし，原則として当該年度前学期に履修した２年次学生が履修することができる」を追加する改正，３（１）中「短期学外実習(海外)」及び「長期学外実習(海外)」の項を追加する改正，同表（２）中「短期学外実習(海外)」，「長期学外実習(海外)」及び「機関実務実習」の項を追加する改正並びに「学外実習」の項の改正並びに履修単位の欄に「＊注　「海洋開発環境エネルギー概論」及び「機関実務実習」は，卒業要件に含めない。」中の「機関実務実習」を追加する改正，同表（３）中「短期学外実習(海外)」及び「長期学外実習(海外)」の項を追加する改正並びに「学外実習」の項の改正，同表（４）中「短期学外実習(海外)」，「長期学外実習(海外)」及び「機関実務実習」の項を追加する改正並びに「学外実習」の項の改正並びに履修単位の欄に「＊注　「海洋開発環境エネルギー概論」及び「機関実務実習」は，卒業要件に含めない。」中の「機関実務実習」を追加する改正，別表２　２（２）中「機関実務実習」の項を追加する改正，同表（５）中「機関実務実習」の項を追加する改正，別表４（２）中「機関実務実習」の項を追加する改正　平成２９年４月１日に在学する学生から適用

二　別表１の３（１）中「海洋開発環境エネルギー概論」の項を追加する改正及び「海事システム工学実験演習Ｖ」の項の改正並びに履修単位の欄に「＊注　「海洋開発環境エネルギー概論」及び」を追加する改正，同表（２）中「海洋開発環境エネルギー概論」の項を追加する改正並びに履修単位の欄に「＊注　「海洋開発環境エネルギー概論」及び「機関実務実習」は，卒業要件に含めない。」中の「海洋開発環境エネルギー概論」を追加する改正，同表(３)中「海洋開発環境エネルギー概論」の項を追加する改正並びに履修単位の欄に「＊注　海洋開発環境エネルギー概論」は，卒業要件に含めない。」を追加する改正，別表４（１）中「海事システム工学実験演習Ｖ」の項の改正　平成26年度入学者から適用

三 別表１の３（４）中「海洋開発環境エネルギー概論」の項を追加する改正並びに履修単位の欄に「＊注　「海洋開発環境エネルギー概論」及び「機関実務実習」は，卒業要件に含めない。」中の「海洋開発環境エネルギー概論」を追加する改正 平成28年度入学者から適用

附　則（平成31年海洋大規第15号）
１　この規則は，平成31年４月１日から施行する。
２　平成31年３月31日に在学する学生並びに施行日から平成32年３月31日までの間に２年次に編入学する学生及び平成33年３月31日までの間に３年次に編入学する学生については，なお従前の例による。

附　則（令和２年海洋大規第５号）
１　この規則は，令和２年２月１３日から施行し，令和２年度入学者から適用する。
２　ただし，次の各号に掲げる改正規定は，当該各号に定めるとおり適用する。

一　別表８の必修科目（２）中「短期学外実習(海外)」及び「長期学外実習(海外)」の項を追加する改正，同表選択科目（２）中「海洋開発環境エネルギー概論」，「学外実習」，「短期学外実習(海外)」及び「長期学外実習(海外)」の項を追加する改正　平成３１年３月３１日に在学する学生から適用

二　別表８の必修科目（２）中「短期学外実習Ⅰ(海外)」，「短期学外実習Ⅱ(海外)」，「長期学外実習Ⅰ(海外)」及び「長期学外実習Ⅱ(海外)」の項を追加する改正，同表選択科目（１）中「Interactive English Ⅲ」及び「Interactive English Ⅳ」の項を追加する改正，同表選択科目（２）中「短期学外実習Ⅰ(海外)」，「短期学外実習Ⅱ(海外)」，「長期学外実習Ⅰ(海外)」及び「長期学外実習Ⅱ(海外)」の項を追加する改正　平成３１年度入学者から適用

附　則（令和３年海洋大規第１４号）
１　この規則は，令和３年４月１日から施行する。

２　令和３年３月３１日に在学する学生並びに施行日から令和４年３月３１日までの間に２年次及び３年次に編入学する学生並びに令和５年３月３１日までの間に３年次に編入学する学生については，第１０条第４項の改正を除き，なお従前の例による。

附　則（令和３年海洋大規第１５８号）

この規則は，令和３年１２月９日から施行する。

附　則（令和４年海洋大規第２２号）

１　この規則は，令和４年４月１日から施行する。

２　令和４年３月３１日に在学する学生並びに施行日から令和５年３月３１日までの間に２年次及び３年次に編入学する学生並びに令和６年３月３１日までの間に３年次に編入学する学生については，別表８の改正を除き，なお従前の例による。

2022年度海洋工学部授業時間表（集中授業）

1. 開講時期が確定している科目（WEB履修登録は不要。履修登録は、教育支援係にて行います。）

・次の集中授業の開講時期は学事予定表を参照して下さい。

・履修登録は、教育支援係にて行いますが、履修に関する手続きが別途必要となることがありますので、通知又は掲示を確認してください。

海事システム工学科			海洋電子機械工学科		
1～2年次	前学期	◎ 海洋実習	1～2年次	通年	◎ 船舶実習Ⅰ
1～2年次	通年	◎ 船舶実習Ⅰ	3年次	通年	◎ 船舶実習Ⅱ（機関システム工学コース）
2年次	通年	◎ 船舶実験Ⅰ（汐路丸）	4年次	通年	☆ 船舶実習Ⅲ（機関システム工学コース）
3年次	通年	◎ 船舶実験（汐路丸）		前学期	◎ 船舶実験（汐路丸）（機関システム工学コース）
4年次	通年	☆ 船舶実習Ⅱ	海洋電子機械工学科（制御ｼｽﾃﾑ工学コース）		
		☆ 船舶実習Ⅲ	3年次	後学期	◎ 制御システム工学演習
海洋電子機械工学科					◎ 船舶実験（汐路丸）
1～2年次	通年	◎ 海洋実習			

2. 開講時期が未確定の科目（WEB履修登録）

・次の集中授業の開講時期等の詳細については、別途通知又は掲示します。

全　学　科							
2年次	前学期		生涯スポーツⅠ	3年次	前学期		材料物理工学
	後学期		生涯スポーツⅡ			★	教育相談
		★	比較教育制度論			★	教育課程論
		★	特別支援教育概論		後学期	★	特別活動及び総合的な探究の時間の指導法
	通年		キャリア形成論	4年次	前学期		電気推進基礎論

3. 開講時期が未確定の科目（WEB履修登録は不要。履修登録は、教育支援係にて行います。）

・次の集中授業の開講時期等の詳細については別途通知又は掲示します。

・履修登録は教育支援係にて行いますが、履修に関する手続きが別途必要となることがありますので、通知又は掲示を確認して下さい。

全　学　科							
1年次	前学期	◎	フレッシュマンセミナー	4年次	前学期		国際海事訓練セミナー
	通年		基礎ゼミナール			△	機関実務実習
2～3年次	通年		学外実習　（＊注１）		通年	◎	卒業研究
	通年		短期学外実習（海外）・Ⅰ・Ⅱ				
	通年		長期学外実習（海外）・Ⅰ・Ⅱ				
3年次	通年		海洋開発環境エネルギー概論				

（＊注１）海事システム工学科においては、開講年次は３年次のみ。

4. 4年次全学科教職に関する授業科目（WEB履修登録は不要。履修登録は、教育支援係にて行います。）

・次の科目は、前年度に担当教員へ**『教育実習履修申請書』**を提出し、**且つ履修要件を充足した学生のみ**履修出来ます。当該学生は改めて同科目を履修登録する必要はありません。

全　学　科					
4年次	通年	★ 教育実習	4年次	通年	★ 教職実践演習（高等学校）
		★ 教育実習事前事後指導			

5. 再履修者向け集中授業（WEB履修登録）

○全学科「Basic EnglishⅠ」・「Basic EnglishⅡ」・「Practical EnglishⅠ」については、再履修者対象の集中授業を前学期・後学期に開講します。

○全学科「微分積分Ⅰ」・「線形代数Ⅰ」については、平成24年度入学者から再履修者対象の集中授業を後学期に開講します。ただし、原則として当該年度前学期に履修した2年次学生を対象とします。

○全学科**「日本語表現法」**については、再履修者対象の集中授業を後学期に開講します。なお、開講時期については別途通知又は掲示します。

2022年度海洋工学部授業時間表（前学期）

区分		月曜日					火曜日				
		1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限
四年次（二〇一九年度入学者）	海事システム	★教育実習事前事後指導 ※授業日程は別途周知 森下・市川(桂)・市川(愛) 【125】	★職業指導 (商船・工業) 岡田(賢) 【125】	3～5限３コマ △海事システム工学実験演習V 学科教員 【126】【2101】			Topics in Maritime Linguistics 英語系教員 【123】	Effective English Ⅰ 内田 【123】			
	海洋電子機械 機関制御										
	海洋電子機械 流通情報										
三年次（二〇二〇度入学者）	海事システム	◎運航管理 竹本 【大教室】	△▲航海英語Ⅰ 藤 【111】		損害賠償法 逸見 【大教室】	☆船舶運航論 石橋 【大教室】		文　学 笠井 Effective English Ⅰ 内田 【123】	（前半）◎海事システム工学実験演習Ⅰ （後半）◎海事システム工学実験演習Ⅱ 学科教員 【113】【126】【2101】【教育】 《注意》２科目とも履修登録すること		
	海洋電子機械 機関	信頼性工学 陶山 【2101】	◎エネルギー工学 波津久 【大教室】	冷凍空調工学 小嶋 【121】	◎機械設計製図 岩本 【製図】【教育】 ◎電子機械工学実験 学科教員		信号情報処理 福田(厳)・久保(信) 【教育】 【大教室】		(機関☆) 内燃機関工学Ⅱ 塚本 【111】	◎電子機械工学実験 学科教員 ◎機械設計製図 田中(健) 【製図】【教育】	
	海洋電子機械 制御										
	流通情報		港湾環境工学 渡邉 【2101】	◎流通情報工学演習 橋本・久保(幹)・兵藤・坂井 【111】【112】【114】【115】	損害賠償法 逸見 【大教室】	作業管理工学 黒川 【2201】			国際交通論 遠藤 【2102】	産業経済論 奥村 【講堂】	
二年次（二〇二一年度入学者）	海事システム	信頼性工学 陶山 【2101】		◎大気環境学 岩坂 【大教室】	常微分方程式 竹縄 【2102】 キャリア形成論 藤井 【111】 *上記の2科目は、開講日が重ならないため、希望学生は両科目を履修することが出来ます。授業日程は別途周知します。		◎信号情報処理 福田(厳)・久保(信) 【教育】 【大教室】	ラプラス・フーリエ解析 茂木 【講堂】 最適化数学 関口(良)	ﾄﾞｲﾂ語Ⅲ 小林 ﾌﾗﾝｽ語Ⅲ 大柳【125】 ｽﾍﾟｲﾝ語Ⅲ 柏倉【122】 中国語Ⅲ 張【115】 Effective English Ⅰ 高木 【114】 内田 【123】 ■応用日本語Ⅰ 生天目 【2103】	電磁気学 関口(美) 【2103】	文化人類学 岩淵 【講堂】
	海洋電子機械		(◎流通) データ構造とアルゴリズム 関口(良)	◎基礎電子工学 田原 【大教室】			◎材料力学 藤野 【大教室】				
	流通情報	◎物流管理工学 黒川 【2102】		物流リスク工学 渡部 【2102】							
一年次（二〇二二年度入学者）	海事システム	◎フレッシュマンセミナー ※授業日程は別途周知 各担当	◎情報リテラシー 古谷 【教育】 【113】	◎スポーツⅠ 田村・藤本		(海事◎) 航海システム概論 西崎・平井 【講堂】	統計学 奥村 【講堂】	(学期前半) (◎フレッシュマンセミナー) ※授業日程は別途周知 各担当 (学期後半) ◎海洋資源環境学概論 海洋資源環境学部教員 《注意》 授業開始日を注意すること	◎物理学 村山 【大教室】	◎線形代数Ⅰ 今野 【大教室】	
	海洋電子機械		◎スポーツⅠ 田村・藤本	◎情報リテラシー 清水 【教育】					◎物理学 吉岡 【大教室】	◎微分積分Ⅰ 関口(良) 【大集会室】	
	流通情報			◎ロジスティクス概論 黒川 【116】	◎スポーツⅠ 田村・藤本				◎物理学 小野(宜)	◎微分積分Ⅰ 茂木 【2102】	

区分		水曜日					木曜日				
		1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限
四年次（二〇一九年度入学者）	海事システム	海上危機管理論 岩淵 【2103】	☆機関システム工学概論 海洋電子教員 【111】	3～5限３コマ △海事システム工学実験演習V 学科教員 【121】【2101】			☆マリナーズファクターと安全運航 内野 【111】		Intensive English Ⅰ 藤 【112】 内田 【115】 Interactive EnglishⅢ Cossar 【2103】	Interactive English Ⅰ Cossar 【2103】	(海事) ▲海上無線法規 杉山 【114】 Interactive English Ⅰ Cossar 【2103】
	海洋電子機械 機関制御										
	海洋電子機械 流通情報										
三年次（二〇二〇度入学者）	海事システム	☆航海システムⅡ 榧野・福田(厳) 【2101】	社会学 岩淵 【講堂】 (海洋・流通) 機械学習 中井 【2202】	計測工学Ⅱ 福田(厳)・久保(信) 【111】	☆海商法 逸見 【大教室】			☆海事法規 竹本 【2102】	水中考古学 林原 【講堂】 ★商船科指導法Ⅰ 逸見・塚本・小嶋 ★工業科指導法Ⅰ 近藤・章・遠藤 【125】 Intensive English Ⅰ 藤　内田 【112】【115】 Interactive EnglishⅢ Cossar 【2103】 ■論文のための日本語Ⅰ 生天目【123】	★生徒・進路指導 岩渕 【125】 Interactive English Ⅰ Cossar 【2103】	
	海洋電子機械 機関	(機関☆) ターボ動力工学Ⅱ 桑田 【大教室】			◎ロボット工学Ⅰ 清水	◎材料・機械力学演習 田中(健)・地引・藤野 【大教室】	ソフトウェア工学 大島 【教育】	(制御◎) 半導体工学 大貫 【121】			
	海洋電子機械 制御										
	流通情報	衛星測位工学 久保(信) 【121】		流通オペレーションズ・リサーチ 橋本				データサイエンス 坂井 【2101】			
二年次（二〇二一年度入学者）	海事システム		◎船舶基礎力学 南・笹原 【大集会室】	◎電子通信工学 松本			★教育心理学 石川(遥)	★教育原理 森下・市川 【125】 民法 金岡 【大教室】	Intensive English Ⅰ 藤 【112】 内田 【115】 Interactive EnglishⅢ Cossar 【2103】	◎GLI演習Ⅰ 笠井 【111】 Interactive English Ⅰ Cossar 【2103】	◎GLI演習Ⅰ 笠井 【111】 論理学 四津 【大集会室】 【2202】 Interactive English Ⅰ Cossar 【2103】 ■日本事情Ⅲ 関 【3号館203】
	海洋電子機械		◎金属材料学 盛田 【大教室】	◎工業熱力学 井上 【大教室】	◎電子機械工学実習 学科教員						
	流通情報		◎応用プログラミング 久保(幹)		◎交通経済論 寺田 【111】						
一年次（二〇二二年度入学者）	海事システム	(後半クラス) ◎Practical English Ⅰ (海事) 藤【112】 (海洋) 森田【123】 (流通) 薄井【114】 (前半クラス) ﾄﾞｲﾂ語Ⅰ 小林 ﾌﾗﾝｽ語Ⅰ 大柳 【2201】 ｽﾍﾟｲﾝ語Ⅰ 水口 中国語Ⅰ 張【115】	(前半クラス) ◎Practical English Ⅰ (海事) 藤【112】 (海洋) 森田【123】 (流通) 薄井【114】 (後半クラス) ﾄﾞｲﾂ語Ⅰ 小林 ﾌﾗﾝｽ語Ⅰ 大柳【2201】 ｽﾍﾟｲﾝ語Ⅰ 水口 中国語Ⅰ 張【115】 ■総合日本語Ⅰ 生天目 【3号館203】	化学熱力学 藤田 【2202】	◎短艇実習 学科教員 【126】		(前半クラス) ◎Basic English Ⅰ 小野(雅) 【112】 (前半クラス) ◎Basic English Ⅰ 高木 【114】 (前半クラス) ◎Basic English Ⅰ 木村 【116】	(後半クラス) ◎Basic English Ⅰ (海事) 小野(雅) 【112】 (海洋) 高木 【114】 (流通) 木村 【116】 ■総合日本語Ⅲ 生天目 【3号館203】	◎微分積分Ⅰ 茂木 【大集会室】 ◎線形代数Ⅰ 竹縄 【大教室】 ◎線形代数Ⅰ 中井 【2101】	哲学 杉本	計算機科学 石川(正) 【大教室】
	海洋電子機械				物理学実験 大貫・村山・柴田 【物理】						
	流通情報				◎情報リテラシー 中井・渡部・麻生 【教育】						

区分		金曜日				
		1時限	2時限	3時限	4時限	5時限
四年次（二〇一九年度入学者）	海事システム	海事教育技法 竹本・石橋 【126】	(海事☆) (機関☆△) 船舶医学 福田(直) 【大教室】			
	海洋電子機械 機関制御			水中機器学 後藤 【123】		(機関☆) 海事法概論 藻垣 【122】
	海洋電子機械 流通情報			安全管理学 陶山 【2103】		
三年次（二〇二〇度入学者）	海事システム	☆制御工学 陶山 【大教室】	◎海事システム工学 ゼミナールⅡ 学科教員 【講堂】	(前半)◎海事システム工学実験演習Ⅰ (後半)◎海事システム工学実験演習Ⅱ 学科教員 【112】【113】【126】【2101】【教育】 (後半のみ【大教室】) 《注意》２科目とも履修登録すること		
	海洋電子機械 機関	(機関△) 機関英語Ⅰ 高木 【111】	海運経営論 遠藤	制御工学Ⅱ 章 【2102】	(機関☆) 電気機器学 木船 【111】	
	海洋電子機械 制御					
	流通情報			交通計画学 兵藤・坂井	通関実務論 魚住	◎流通情報工学ゼミナールⅠ 学科教員 【2102】
二年次（二〇二一年度入学者）	海事システム	◎アルゴリズム 古谷 【大集会室】 【113】	海運経営論 遠藤	物質科学 藤田 【2202】		
	海洋電子機械	☆船舶工学Ⅰ 南 【2102】	◎流体工学 地下 【大集会室】			
	流通情報				◎流通経済論 中川 【2102】	
一年次（二〇二二年度入学者）	海事システム	(海洋◎) 電子機械工学入門 海洋電子機械工学科教員 【講堂】	(学期前半) ◎海洋工学概論 海洋工学部教員 (学期後半) ◎海洋生命科学概論 海洋生命科学部教員 《注意》 ２科目とも履修登録すること	天文学 吉岡 【大教室】 ■日本事情Ⅰ 榎 【3号館203】		
	海洋電子機械				◎短艇実習 学科教員 【121】	
	流通情報					

授業時間表　凡例

◎ 印＝必修科目
☆ 印＝選択科目中の海技必修科目（船舶職員養成施設の修了資格を得るために必要な授業科目）
△ 印＝選択科目中の海技必修科目（海技免許講習の課程の修了資格を得るために必要な授業科目）
▲ 印＝選択科目中の一海特必修科目（第一級海上特殊無線技士の資格を得るために必要な授業科目）

★ 印＝教職科目
■ 印＝日本語科目

＜開講形態の表記について＞
「／」印は変則開講の授業を表します。

＜教室の表記について＞
1.【大教室】は、第4実験棟5階の「大教室」です。
2.【製図】は、2号館2階の「製図教室」です。
3.【物理】は、2号館2階の「光学実験室」、「力学実験室」、「電磁気学実験室」です。
4.【化学】は、2号館3階の「無機及び有機化学実験室」です。
5.【教育】は、2号館2階の「教育用計算機室」です。
6.【講堂】は、越中島会館2階の「講堂」です。
7.【大集会室】は、85周年記念会館1階の「大集会室」です。
8.教室の表記がない授業科目については、学期当初に掲示等により受講場所を連絡します。

2022年度海洋工学部授業時間表（後学期）

区分		月曜日					火曜日				
		１時限	２時限	３時限	４時限	５時限	１時限	２時限	３時限	４時限	５時限
四年次（二〇一九年度入学者）	海事システム										
	海洋電子機械 機関										
	海洋電子機械 制御										
	流通情報										
三年次（二〇二〇度入学者）	海事システム	☆浮体運動論 石橋・笹原 【大集会室】	☆組織管理論 石橋 【大集会室】		☆航海英語Ⅱ 内田 【教育】 【2101】	船舶制御 岡崎・平井 【126】	☆輸送管理 逸見 【121】	Effective EnglishⅡ 未定 Intensive EnglishⅡ 藤 【114】	（前半）◎海事システム工学実験演習Ⅲ （後半）◎海事システム工学実験演習Ⅳ 学科教員 【111】【113】【126】【教育】 《注意》２科目とも履修登録すること		
	海洋電子機械 機関	計算物理学 吉岡 【2201】 【113】	△機関英語Ⅱ 高木【114】	原子力機関工学 波津久・井原 【111】	◎機械設計製図 岩本 【製図】【教育】		ガスタービン工学 桑田 【111】		ロボット工学Ⅱ 後藤 【121】	◎電子機械工学実験 学科教員	
	海洋電子機械 制御				◎電子機械工学実験 学科教員					◎機械設計製図 田中(健) 【製図】【教育】	
	流通情報		通信ネットワーク 松本	流通データ分析 兵藤 【2202】 【113】			安全工学 内野 【2101】				
二年次（二〇二一年度入学者）	海事システム		通信ネットワーク 松本	☆船体構造論 増田 【大集会室】	契約法 金岡 【121】 化学実験 藤田 【化学】 【2202】	化学実験 藤田 【化学】 【2202】	安全工学 内野 【2101】	◎航海システムⅠ 榧野・田丸 【大集会室】	ﾄﾞｲﾂ語Ⅳ 小林 ﾌﾗﾝｽ語Ⅳ 大柳【125】 ｽﾍﾟｲﾝ語Ⅳ 柏倉 中国語Ⅳ 張 Effective EnglishⅡ 岡本 Intensive EnglishⅡ 藤【114】 ■応用日本語Ⅱ 生天目		
	海洋電子機械		◎機械力学 地引	環境材料学 元田 【2102】				◎補助機械工学 小嶋 【2102】			
	流通情報		◎流通基盤計画学 坂井 【2102】	データベース工学 渡部 【大教室】			◎産業政策論 奥村 【2102】	◎流通最適化工学 橋本			
一年次（二〇二二年度入学者）	海事システム	健康科学 田村・福田(直)	◎電気工学 久保(信) 【大教室】	◎スポーツⅡ 田村・千足・稲葉		◎海事システム工学概論 学科教員 【大教室】	◎情報処理基礎論 松本	◎線形代数Ⅱ 今野 【大教室】	数学演習 河野 【2201】	物理学実験 大貫・村山・柴田 【物理】	
	海洋電子機械		◎スポーツⅡ 田村・千足・稲葉	情報処理基礎論 大島 【教育】 【2201】	◎日本語表現法 森下・市川 【116】 【111】		◎力学 大貫 【大教室】		◎微分積分Ⅱ 関口(良) 【大集会室】	数学演習 河野 【2101】	
	流通情報		物流施設計画学 麻生	◎コンテナ輸送工学 渡邉 【2101】	◎スポーツⅡ 田村・稲葉			数学演習 河野 【2103】	◎微分積分Ⅱ 茂木 【2101】	物理学実験 大貫・村山・柴田 【物理】	

区分		水曜日					木曜日				
		１時限	２時限	３時限	４時限	５時限	１時限	２時限	３時限	４時限	５時限
四年次（二〇一九年度入学者）	海事システム										
	海洋電子機械 機関										
	海洋電子機械 制御										
	流通情報										
三年次（二〇二〇度入学者）	海事システム	☆航海システムⅢ ◎田丸・庄司・竹本 【大集会室】		数値解析 竹縄	◎船体管理 南 【大集会室】	海運実務論 田丸・関根 【大教室】		保険契約法 金岡 【2102】	国際輸送実務論 若岡・他 【115】 ★商船科指導法Ⅱ 逸見・塚本・小嶋【124】 ★工業科指導法Ⅱ 豊田 ■論文のための日本語Ⅱ 生天目 Interactive EnglishⅣ 内田 【112】 Cossar 【2103】	倫理学 杉本 Interactive EnglishⅡ Cossar 【2103】	船用工業実務論 各講師 【116】 Interactive EnglishⅡ Cossar 【2103】
	海洋電子機械 機関	◎熱流体工学演習 波津久・小嶋 【大教室】	トライボロジー 藤野・地引 【121】		電子回路論 田原 【2103】		機関システム管理工学 釜田 【121】 応用制御工学 小池	国際法 逸見 【講堂】 海洋流体工学 井原			
	海洋電子機械 制御										
	流通情報		◎都市交通論 寺田 【2102】					保険契約法 金岡 【2102】			
二年次（二〇二一年度入学者）	海事システム	民族誌 岩淵 【講堂】	◎計測工学Ⅰ 村井(康)・近藤 【大教室】			海事情報処理 近藤 【113】 【111】	◎抵抗推進論 南 【大教室】	☆国際法 逸見 【講堂】	(海事・海洋)振動と波動 関口(美) 【2201】 Interactive EnglishⅣ 内田 【112】 Cossar 【2103】	◎GLI演習Ⅱ 笠井 【111】 科学論 東 Interactive EnglishⅡ Cossar 【2103】	◎GLI演習Ⅱ 笠井 【111】 ★教育行政学 山村 【125】 Interactive EnglishⅡ Cossar 【2103】 ■日本事情Ⅳ 関 【3号館203】
	海洋電子機械		◎電気工学 米田 【大集会室】	伝熱工学 井上 【121】	◎電子機械工学実習 学科教員		☆船舶工学Ⅱ 南 【大教室】	◎内燃機関工学Ⅰ 塚本 【大教室】			
	流通情報			物流経済論 寺田 【2102】	◎流通情報工学実験 渡部・麻生・黒川 【2102】【教育】 【第3実験棟101】 【第3実験棟103】			◎国際経済論 遠藤 【2101】			
一年次（二〇二二年度入学者）	海事システム	（前半クラス） ◎Practical EnglishⅡ （海事） 森田 （海洋） 薄井 （流通） 町田 （後半クラス） ﾄﾞｲﾂ語Ⅱ 小林 ﾌﾗﾝｽ語Ⅱ 大柳【2201】 ｽﾍﾟｲﾝ語Ⅱ 水口 中国語Ⅱ 張	（後半クラス） ◎Practical EnglishⅡ （海事） 森田 （海洋） 薄井 （流通） 町田 （前半クラス） ﾄﾞｲﾂ語Ⅱ 小林 ﾌﾗﾝｽ語Ⅱ 大柳【2201】 ｽﾍﾟｲﾝ語Ⅱ 水口 中国語Ⅱ 張 ■総合日本語Ⅱ 生天目 【3号館203】	◎短艇実習 学科教員 【113】【126】		経済学 奥村 【講堂】	（後半クラス） ◎Basic EnglishⅡ 内田 【112】 （後半クラス） ◎Basic EnglishⅡ 笠井 【111】 （後半クラス） ◎Basic EnglishⅡ 小野(雅) 【115】	（前半クラス） ◎Basic EnglishⅡ 内田 【112】 ◎Basic EnglishⅡ 笠井 【111】 ◎Basic EnglishⅡ 小野(雅) 【115】 ■総合日本語Ⅳ 生天目 【3号館203】	◎微分積分Ⅱ 茂木 【大集会室】 ◎線形代数Ⅱ 竹縄 【大教室】 ◎線形代数Ⅱ 中井 【2102】	日本国憲法 松村	データサイエンス入門A・B 竹縄・中井・福田(厳)
	海洋電子機械			◎機関システム工学入門 学科教員 【大教室】	機械加工学 田中(健) 【大教室】						
	流通情報			◎基礎プログラミング演習 橋本 【2101】	◎日本語表現法 森下・村井(典) 【116】 【111】						

区分		金曜日				
		１時限	２時限	３時限	４時限	５時限
四年次（二〇一九年度入学者）	海事システム					
	海洋電子機械 機関					
	海洋電子機械 制御					
	流通情報					
三年次（二〇二〇度入学者）	海事システム	歴史学 中川	◎海事システム工学ゼミナールⅢ 学科教員	（前半）◎海事システム工学実験演習Ⅲ （後半）◎海事システム工学実験演習Ⅳ 学科教員 【113】【114】【教育】【汐路丸】 《注意》２科目とも履修登録すること		
	海洋電子機械 機関		流体機械工学 小嶋 【121】	化学エネルギー変換工学 藤田 【2202】	計測工学 村山 【2201】	◎電子機械工学ゼミナール 学科教員
	海洋電子機械 制御					
	流通情報			流通チャネル論 中川	マーケティング論 梶田 【2103】	◎流通情報工学ゼミナールⅡ 学科教員 【2102】
二年次（二〇二一年度入学者）	海事システム	☆海洋環境学 小橋 【大教室】	◎海事システム工学ゼミナールⅠ 学科教員 【2101】 【2102】 【2103】	複素解析 今野 【大教室】		国際政治学 片原 【2101】
	海洋電子機械	◎ターボ動力工学Ⅰ 桑田 【大集会室】	◎制御工学Ⅰ 章			
	流通情報	◎流通情報システム 麻生	◎データサイエンス演習 久保(幹)			
一年次（二〇二二年度入学者）	海事システム		心理学 下野 【大教室】	◎日本語表現法 森下・落合 【116】 【111】	力学 関口(美) 【大教室】	★現代教師論 森下・市川 【125】
	海洋電子機械			◎短艇実習 学科教員 【大集会室】		
	流通情報		■日本事情Ⅱ 榎 【3号館203】	◎情報処理基礎論 未定	力学 関口(美) 【大教室】	

授業時間表　凡例
◎ 印＝必修科目
☆ 印＝選択科目中の海技必修科目（船舶職員養成施設の修了資格を得るために必要な授業科目）
△ 印＝選択科目中の海技必修科目（海技免許講習の課程の修了資格を得るために必要な授業科目）
▲ 印＝選択科目中の一海特必修科目（第一級海上特殊無線技士の資格を得るために必要な授業科目）

★ 印＝教職科目
■ 印＝日本語科目

＜開講形態の表記について＞
「／」印は変則開講の授業を表します。

＜教室の表記について＞
1.【大教室】は、第4実験棟5階の「大教室」です。
2.【製図】は、2号館2階の「製図教室」です。
3.【物理】は、2号館2階の「光学実験室」、「力学実験室」、「電磁気学実験室」です。
4.【化学】は、2号館3階の「無機及び有機化学実験室」です。
5.【教育】は、2号館2階の「教育用計算機室」です。
6.【講堂】は、越中島会館2階の「講堂」です。
7.【大集会室】は、85周年記念会館1階の「大集会室」です。
8.教室の表記がない授業科目については、学期当初に掲示等により受講場所を連絡します。

2022/3/17

2022 年度

履 修 案 内

東京海洋大学越中島地区事務室教育支援係
〒135－8533 東京都江東区越中島 2－ 1 －6